

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅸ

(2003、2006、2011年度)



2013

熊本大学埋蔵文化財調査センター

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅹ

(2003、2006、2011年度)

2013

熊本大学埋蔵文化財調査センター



1. 1104調査地点遠景(南より)



2. 1104調査地点出土銭貨

卷頭図版(2)



1. 1121調査地点要棺検出状況(北より)



2. 0304調査地点遺物出土状況(北西より)

序 文

熊本大学のキャンパスには大きな遺跡が二つある。一つは黒髪遺跡群であり、もう一つは本庄遺跡である。前者は延喜式にみる「蜚飼駅」、飽田郡司の居所と推定されており、後者は古代の役所と目される二本木遺跡群に続く地域である。本告は、これらを含む4地区計13件の発掘調査（黒髪北地区3件、黒髪南地区1件、本庄北地区7件、本庄中地区2件、大江地区1件）にかかわる報告書である。

黒髪地区は立田山（標高152m）の南西にのびる緩やかな斜面にあり、南は白川の低位段丘に、西は坪井川の沖積低地に続いている。ここに縄文時代から近世に至る遺跡が重層的に遺っている。今回の発掘調査では、弥生時代の甕棺墓、古墳時代の大型独立柱建物、古代の住居、近世以前の畑跡が見つかった。今回の調査で、黒髪北地区の住居址は予想より深いところ（地下1.5m）に構築されていることがわかり、今後の遺跡の保存に期待がもてることになった。

本庄地区は白川左岸の自然堤防上にあり、本学医学部附属病院側から旧医学部側に緩やかに傾斜する砂地の中を白川から分岐した小河川が暗渠となって流れている。ここにも縄文時代から近世に至る遺跡の重なりがみとめられる。2011年、臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業にともなって、500余m²の土地の発掘調査を行った。地下から現れたのは古代の住居と近代の墓地のおびただしい重複であった。以前仙崇寺の墓所であったため、墓が密集しているのである。発掘調査によって明治から大正・昭和時代の約450の墓が検出され、副葬品の六道銭やキセル・耳かきのついた簪・着物・泥面子、さらに人骨から当時の庶民の姿がよみがえった。出土人骨については、松下孝幸氏（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム名誉館長）から玉箸を賜わることができた。本告により、少し前の、しかし確実に隔たりゆく過去の時代と生活を再発見し、遺跡・遺物が語る人々の暮らしぶりに思いをはせていただければ幸いである。

さて、大学構内における発掘調査は、配管工事や建物取り壊し、増設工事に伴う小規模な面積の場合が多い。しかしどんな小さな面積でも、考古学の技術とこれまで蓄積してきた経験によって、地下の情報を的確かつ最大限にひきだし、それをジグソーパズルのように繋げ、やがては過去の姿歴史像を明らかにしていくことが可能である。大学にとって教育研究施設の充実は不可欠なことではあるが、それによって地下の文化財に影響が及ぶ場合、それを適切に保存し、記録し、活用し、後世に伝えていくことが学術教育機関の責務でもあろう。

2011年10月1日、これまでの埋蔵文化財調査室は熊本大学学内共同教育研究施設として改組され、埋蔵文化財調査センターとなった。2012年4月に発足したセンター運営委員会は、2010年以前の調査に対応する報告書の刊行予算を本部に要求し、今後3年間の刊行計画に対する予算措置が実現した。安定的な報告書刊行の環境整備に尽力くださった谷口学長、センター運営委員会委員各位、施設担当各位に厚く御礼申し上げます。

平成25年3月11日

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査センター
センター長 木下高子

例 言

1. 本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査室（平成23年10月1日より「熊本大学埋蔵文化財調査センター」に改組）が2003（一部）・2006・2011年度に実施した発掘調査に関するものである。
2. 本書に収録した報告は、2003（一部）・2006・2011年度に埋蔵文化財調査室が実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、13件の発掘調査に関する成果である。
3. 上記調査地点の報告にあたっては、下記のように地区ごとに分けて報告する。
Ⅱ章：黒髪北地区 0603調査地点・0604調査地点・1116調査地点
Ⅲ章：黒髪南地区 1121調査地点
Ⅳ章：本荘北地区 0304調査地点・1104調査地点・1112・1113調査地点・1114調査地点・1129調査地点・1145調査地点
Ⅴ章：本荘中地区 1106調査地点・1130調査地点
Ⅵ章：大江地区 1125調査地点
4. 以上の調査を実施した2003・2006・2011年度の埋蔵文化財調査室の組織と調査体制は以下のとおりである。
室 長：甲元眞之（文学部教授）（03～05年度）・木下尚子（文学部教授）（05～11年度）
調 査 員：小畑弘己（文学部助教授）・大坪志子（文学部助手・埋蔵文化財調査センター助教）・石丸恵利子（技術補佐員）
事務補佐員：坂元紀乃（2003年度）・中川木綿子（2006年度）・村田知聖（2011年度）
5. 遺物番号は地区ごとに1から番号を付けている。写真図版中の番号はこれに一致する。
6. 本文は、小畑弘己、大坪志子、石丸恵利子が執筆した。
7. 本書に使用した遺構実測図に関しては、小畑弘己、大坪志子、石丸恵利子をはじめとする調査に参加した熊本大学考古学研究室学生、株式会社埋蔵文化財サポートシステムによるものである。
8. 本書に使用した遺物実測図は、井上裕美、入江由真、山崎早苗、與嶺友紀也、大坪、石丸が製作した。
9. 本書に使用した図版の製図は鬼塚美枝、首藤優子、増井弘子、石丸が行った。
10. 遺構実測及び製図には手描による記録とともに遺跡調査汎用システム（カタタ Ver.3-アーケオテクノ社）、株式会社 CUBIC の遺跡実測支援システム「遺構くん」及び製図システム「トレース3Dくん」を使用した。
11. 本書に使用した現場写真は小畑・大坪・石丸が、遺物写真は小山正子、末吉美紀がこれを撮影した。
12. 本書で使用した遺物観察表は、首藤が作成した。
13. 本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財センターで保管している。
14. 1104調査地点出土人骨については、松下孝幸氏・松下真実氏の玉稿を賜った。
15. 本書の編集は大坪が行った。

本文目次

I	構内遺跡と調査の概要	
1.	熊本大学敷地と構内遺跡の概要	1
2.	調査に至る経緯	4
3.	これまでの調査と本書収録の遺跡	5
II	黒髪北地区の調査	
1.	資料館改修工事に伴う発掘調査（電気工事）(0603調査地点)	21
(1)	調査の目的と経過	21
(2)	調査区の基本層序	21
(3)	検出遺構	21
(4)	出土遺物	23
(5)	まとめ	23
2.	資料館改修工事に伴う発掘調査（屋外工事）(0604調査地点)	26
(1)	調査の目的と経過	26
(2)	調査区の基本層序	26
(3)	検出遺構	26
(4)	出土遺物	27
(5)	まとめ	27
3.	文法学部講義棟便所増築等改修工事に伴う発掘調査（1116調査地点）	29
(1)	調査の目的と経過	29
(2)	調査区の基本層序	29
(3)	検出遺構	30
(4)	出土遺物	30
(5)	まとめ	30
III	黒髪南地区の調査	
1.	基幹・環境整備（屋外排水設備等）工事に伴う発掘調査（1121調査地点）	35
(1)	調査の目的と経過	35
(2)	調査区の基本層序	35
(3)	検出遺構	39
(4)	出土遺物	39
(5)	まとめ	64
IV	本荘北地区の調査	
1.	本荘団地北地区基幹・環境整備工事に伴う発掘調査（0304調査地点）	69
(1)	調査の目的と経過	69
(2)	調査区の基本層序	71
(3)	検出遺構	71
(4)	出土遺物	76
(5)	まとめ	83
2.	臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）	88

(1) 調査の目的と経過	88
(2) 調査区の基本層序	89
(3) 検出遺構	89
(4) 出土遺物	96
(5) まとめ	114
熊本市本庄遺跡1104調査地点出土の近代人骨	116
3. 基幹・環境整備（第6病棟等支障配線・配管替え）機械設備工事に伴う発掘調査	
(1112・1113調査地点)	140
(1) 調査の目的と経過	140
(2) 調査区の基本層序	140
(3) 検出遺構	142
(4) 出土遺物	144
(5) まとめ	146
4. 基幹・環境整備（第6病棟等支障配線・配管替え）機械整備工事に伴う発掘調査	
(1112調査地点)	150
(1) 調査の目的と経過	150
(2) 調査区の基本層序	150
(3) 検出遺構	150
(4) 出土遺物	151
(5) まとめ	152
5. 基幹・環境整備（第6病棟等支障配線・配管替え）機械設備工事その2に伴う発掘調査	
(1114調査地点)	153
(1) 調査の目的と経過	153
(2) 調査区の基本層序	153
(3) 検出遺構	153
(4) 出土遺物	154
(5) まとめ	154
6. 基幹・環境整備（旧中央診療棟とりこわし）工事に伴う発掘調査（1129調査地点）	157
(1) 調査の目的と経過	157
(2) 調査区の基本層序	157
(3) 検出遺構	157
(4) 出土遺物	159
(5) まとめ	159
7. 基幹・環境整備（第6病棟とりこわし）工事に伴う発掘調査（1145調査地点）	162
(1) 調査の目的と経過	162
(2) 調査区の基本層序	162
(3) 検出遺構	162
(4) 出土遺物	163
(5) まとめ	163

V 本荘中地区の調査

1. 医学部基礎研究棟 (A 棟) とりこわし工事に伴う発掘調査 (1106調査地点) 167
 - (1) 調査の目的と経過 167
 - (2) 調査区の基本層序 167
 - (3) 検出遺構 169
 - (4) 出土遺物 169
 - (5) まとめ 169
2. 医学部基礎研究棟 (B・D 棟) とりこわし工事に伴う発掘調査 (1130調査地点) 173
 - (1) 調査の目的と経過 173
 - (2) 調査区の基本層序 173
 - (3) 検出遺構 173
 - (4) 出土遺物 174
 - (5) まとめ 174

VI 大江地区の調査

1. 北門周辺環境整備 (植栽・外灯) 工事に伴う発掘調査 (1125調査地点) 177
 - (1) 調査の目的と経過 177
 - (2) 調査区の基本層序 177
 - (3) 検出遺構 177
 - (4) 出土遺物 177
 - (5) まとめ 178

挿 図 目 次

- | | |
|--|---|
| 図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)..... 2 | 図9 1121調査地点配置図 (Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅶ区) (1/1000)37 |
| 図2 黒髪北地区西半における調査地点配置図 (1/2000)22 | 図10 1121調査地点配置図 (Ⅵ・Ⅶ区) (1/1000)38 |
| 図3 0603・0604調査地点位置図・遺構配置図・基本土層柱状模式図 (1/400・1/100・1/50)24 | 図11 Ⅱ区①・②・③・⑤・⑥・⑩・⑬・⑯・Ⅴ区④・Ⅵ区④遺構配置図・Ⅳ区⑥基本土層柱状模式図 (1/200・1/40) ... 40 |
| 図4 0603調査地点出土遺物実測図 (1/4)25 | 図12 Ⅱ区③1号窠棺墓実測図 (1/20・1/40)42 |
| 図5 0604調査地点出土遺物実測図 (1/4)28 | 図13 Ⅱ区④・⑤・⑧・⑯・Ⅲ区②・Ⅳ区②・③・④・⑦・⑧・⑨・⑱遺構配置図・土層断面図・Ⅱ区④基本土層柱状模式図 (1/200・1/50・1/40)51 |
| 図6 1116調査地点遺構配置図・西壁土層断面図・南壁土層断面図 (1/50)31 | 図14 Ⅳ区⑥・⑭・⑮・㉔遺構配置図 (1/200)58 |
| 図7 1116調査地点出土遺物実測図 (1/4)32 | 図15 Ⅳ区⑯・㉔遺構配置図 (1/200)61 |
| 図8 黒髪南地区における調査地点配置図 (1/2000)36 | |

図16	1121調査地点出土遺物実測図1 (1/4・1/3).....	66	図36	1104調査地点出土遺物実測図4 (1/3)	100
図17	1121調査地点出土遺物実測図2 (1/4・1/1).....	67	図37	1104調査地点出土遺物実測図5 (3/4)	101
図18	本荘北地区における調査地点配置図 (1/2000).....	70	図38	1104調査地点出土遺物実測図6 (3/4)	103
図19	0304調査地点遺構配置図・西壁土層断面 実測図 (1/200・1/50).....	72	図39	1104調査地点出土遺物実測図7 (3/4)	104
図20	1・3・56号竪穴住居址実測図 (1/50)	73	図40	1104調査地点出土遺物実測図8 (3/4・ 1/4).....	105
図21	51号溝遺物出土状況・92号溝土層断面実 測図 (1/50).....	75	図41	1104調査地点出土遺物実測図9 (1/4・ 3/4).....	106
図22	15号溝敷石断面図・15号溝土層断面実測 図・2号土坑実測図・1・2・3号挿立 柱遺物実測図 (1/25・1/50).....	77	図42	1104調査地点出土遺物実測図10 (3/4・ 1/1).....	107
図23	0304調査地点出土遺物実測図1 (1/4)	79	図43	1104調査地点出土遺物実測図11 (3/4)	108
図24	0304調査地点出土遺物実測図2 (1/4)	80	図44	1104調査地点出土遺物実測図12 (3/4)	109
図25	0304調査地点出土遺物実測図3 (1/4)	81	図45	1104調査地点出土遺物実測図13 (3/4)	110
図26	0304調査地点出土遺物実測図4 (1/4)	82	図46	1104調査地点出土遺物実測図14 (3/4)	111
図27	1104調査地点調査区壁土層断面実測図 (1/150).....	90	図47	1104調査地点出土遺物実測図15 (3/4)	112
図28	1104調査地点墓墳実測図 (1/120).....	91	図48	1104調査地点出土遺物実測図16 (3/4)	113
図29	1104調査地点1・2・3・4号竪穴住居 址配置図 (1/120).....	92	図49	1112・1113調査地点遺構配置図 (1/200・ 1/100).....	141
図30	1104調査地点1・4号竪穴住居址実測図 (1/40).....	93	図50	1・7・10・16?号竪穴住居址・27号 土坑実測図・西壁土層断面図 (1/50)	143
図31	1104調査地点2号竪穴住居址実測図 (1/30).....	94	図51	1112・1113調査地点出土遺物実測図1 (1/4).....	145
図32	1104調査地点3号竪穴住居址実測図 (1/50).....	95	図52	1112・1113調査地点出土遺物実測図2 (1/4).....	146
図33	1104調査地点出土遺物実測図1 (1/4)	97	図53	1112調査地点遺構配置図・出土遺物実測 図 (1/50・1/4).....	151
図34	1104調査地点出土遺物実測図2 (1/4)	98	図54	1114調査地点遺構配置図・基本土層柱状 模式図・19号溝断面図・出土遺物実測図 (1/100・1/20・1/25・1/4).....	155
図35	1104調査地点出土遺物実測図3 (1/4)	99			

図55	1129調査地点遺構配置図・1号溝・2号土坑土層断面図・遺構配置全体図(1/100・1/50・1/600)……………	160
図56	1129調査地点出土遺物実測図(1/4・1/2)……………	161
図57	1145調査地点遺構配置図・出土遺物実測図(1/100・1/4)……………	164
図58	本荘中地区における調査地点配置図(1/2000)……………	168
図59	1106・1130調査地点遺構配置図(1/500)……………	170
図60	1106調査地点遺構配置図(1/200)……………	171
図61	1106調査地点出土遺物実測図(1/4)……………	172
図62	1130調査地点遺構配置図・出土遺物実測図(1/100・1/4)……………	175
図63	大江地区(薬学部)における調査地点配置図(1/2000)……………	178
図64	1125調査地点遺構配置図・基本土層柱状模式図・出土遺物実測図(1/50・1/20・1/4)……………	179

図 版 目 次

図版 1	0603調査地点・同出土遺物……………	181
写真 1	作業風景(北東より)	
写真 2	道路部分完掘状況(南より)	
写真 3	道路部分完掘状況(東より)	
写真 4	資料館緑地帯掘削状況(北より)	
図版 2	0604調査地点・同出土遺物……………	182
写真 5	作業風景(北東より)	
写真 6	トレンチ1掘削状況(西より)	
写真 7	1号竪穴住居址掘削状況(南より)	
写真 8	トレンチ3溝状遺構掘削状況(東より)	
図版 3	1116調査地点……………	183
写真 9	作業風景(西より)	
写真10	竇粘土検出状況(南より)	
写真11	2号竪穴住居址掘削状況(東より)	
写真12	2号竪穴住居址遺物出土状況(東より)	
写真13	調査区完掘状況(北より)	
図版 4	1116調査地点・同出土遺物1……………	184
写真14	調査区南壁土層断面(北西より)	
写真15	宮線研究室学生見学	
写真16	見学の様子(北東より)	
写真17	測量体験の様子(北西より)	
図版 5	1116調査地点出土遺物2……………	185
図版 6	1121調査地点……………	186
写真18	Ⅱ-①掘削後の状況(南東より)	
写真19	Ⅱ-②西端ピット掘り下げ後の状況(東より)	
写真20	Ⅱ区③掘削風景(北西より)	
写真21	Ⅱ区③地山検出面(北より)	
写真22	甕棺墓半裁状況(北より)	
図版 7	1121調査地点……………	187
写真23	Ⅱ区③作業風景(東より)	
写真24	Ⅱ区③甕棺掘り上げ後の状況(北より)	
写真25	Ⅱ区③南壁セクション(北より)	
写真26	Ⅱ区④完掘状況(北より)	
写真27	Ⅱ区⑤-1調査区全景(北より)	
写真28	Ⅱ区⑤-2遺構完掘状況(西より)	
写真29	Ⅱ区⑥-1作業風景(南より)	
写真30	Ⅱ区⑥-2第4スパン遺構面上面(北より)	
図版 8	1121調査地点……………	188
写真31	Ⅱ区⑥-3第5スパン遺構面上面(北より)	
写真32	Ⅱ区⑥-4第6スパン住居址掘削状況(東より)	
写真33	Ⅱ区⑥-5第6スパン掘削状況(北より)	
写真34	Ⅱ区⑧掘削状況(南より)	
写真35	Ⅱ区⑧ピット半裁状況(北より)	
写真36	Ⅱ区⑩掘削状況(南西より)	
写真37	Ⅱ区⑩住居址掘削状況(東より)	
写真38	Ⅱ区⑬-1作業風景(北より)	

図版9 1121調査地点…………… 189

- 写真39 II区③-2 住居址掘削状況(南東より)
- 写真40 II区③-1 調査風景(南より)
- 写真41 II区③-2 完掘状況(西より)
- 写真42 II区③-1 作業風景(西より)
- 写真43 II区③-2 樹1ピット掘削(南より)
- 写真44 II区③-3 樹2ピット掘削状況(東より)
- 写真45 III区②-1 西側全景(南より)
- 写真46 III区②-2 溝完掘状況(南より)

図版10 1121調査地点…………… 190

- 写真47 III区②-3 溝土層断面(南より)
- 写真48 III区②-4 東側全景(北より)
- 写真49 IV区③-1 作業風景(北より)
- 写真50 IV区③-2 遺構掘削状況(南より)
- 写真51 IV区③-3 中央ピット掘削状況(西より)
- 写真52 IV区③ 南半ピット掘削状況(西より)
- 写真53 IV区④ 北半部掘削状況(西より)
- 写真54 IV区⑥-1 作業風景(東より)

図版11 1121調査地点…………… 191

- 写真55 IV区⑥ 東西部西部遺構面検出状況(東より)
- 写真56 IV区⑥-3 東西部西半掘削状況(東より)
- 写真57 IV区⑥-4 東西部遺構掘削状況(東より)
- 写真58 IV区⑥-5 東西部遺構掘削状況(北より)
- 写真59 IV区⑥-6 東西部東端部掘削状況(東より)
- 写真60 IV区⑦-1 作業風景(東より)
- 写真61 IV区⑦-2 調査区東半完掘状況(東より)
- 写真62 IV区⑦-3 調査区西半完掘状況(西より)

図版12 1121調査地点…………… 192

- 写真63 IV区⑦-4 ピット完掘状況(南より)
- 写真64 IV区⑧-1 調査風景(東より)
- 写真65 IV区⑧-2 緑地帯北部完掘状況(南より)
- 写真66 IV区⑧-3 道路南半完掘状況(南より)
- 写真67 IV区⑧-4 道路北半完掘状況(南より)
- 写真68 IV区⑧-5 道路北端完掘状況(北より)
- 写真69 IV区⑨-1 作業風景(西より)
- 写真70 IV区⑨-2 ピット完掘状況(西より)

図版13 1121調査地点…………… 193

- 写真71 IV区⑩-1 調査風景(北より)
- 写真72 IV区⑩-2 第3スパン完掘状況(北より)
- 写真73 IV区⑩-3 第4スパン完掘状況(南より)
- 写真74 IV区⑩-4 第6スパン完掘状況(西より)
- 写真75 IV区⑭-1 作業風景(南東より)
- 写真76 IV区⑭-2 南北トレンチ完掘状況(北より)
- 写真77 IV区⑭-3 東西トレンチ東半完掘状況(東より)
- 写真78 IV区⑭-4 東西トレンチ西半完掘状況(東より)

図版14 1121調査地点…………… 194

- 写真79 IV区⑮-1 作業状況(第10スパン)(西より)
- 写真80 IV区⑮-2 第10スパンピット1完掘状況(西より)
- 写真81 IV区⑮-3 第10スパンピット2・3完掘状況(南より)
- 写真82 IV区⑯-1 作業風景(第1スパン)(西より)
- 写真83 IV区⑯-2 ピット1完掘状況(東

	より)	写真105	作業風景
写真84	Ⅳ区㊸-3 ビット2完掘状況(東より)	写真106	92号溝完掘状況(南東より)
写真85	Ⅳ区㊸-1 作業風景(北より)	写真107	92号溝土層(南東より)
写真86	Ⅳ区㊸-2 第1スパン完掘状況(南より)	写真108	51号溝遺物出土状況(西より)
図版15	1121調査地点…………… 195	写真109	51号溝遺物出土状況(北西より)
写真87	Ⅳ区㊸-1 作業風景(北より)	図版22	0304調査地点…………… 202
写真88	Ⅳ区㊸-2 第2スパン完掘状況(北より)	写真110	51号溝完掘状況(西より)
写真89	Ⅳ区㊸-3 第4スパン完掘状況(西より)	写真111	51号溝遺物出土状況(北西より)
写真90	Ⅳ区㊸-4 第4スパン完掘状況(北より)	写真112	51号溝遺物出土状況(北東より)
写真91	V区㊸-1 作業風景(西より)	写真113	51号溝遺物出土状況(西より)
写真92	V区㊸-2 遺構検出状況(西より)	写真114	51号溝土層断面(北東より)
写真93	V区㊸-3 遺構検出状況(西より)	図版23	0304調査地点…………… 203
写真94	Ⅵ区㊸-1 畑検出状況(南より)	写真115	15号溝敷石検出状況(南東より)
図版16	1121調査地点出土遺物1…………… 196	写真116	15号溝断面(北東より)
図版17	1121調査地点出土遺物2…………… 197	写真117	15号溝(北西より)
図版18	1121調査地点出土遺物3…………… 198	写真118	15号溝完掘状況(南西より)
図版19	0304調査地点…………… 199	写真119	15号溝全景(北西より)
写真95	調査区全景(北西より)	図版24	0304調査地点出土遺物1…………… 204
写真96	調査区全景(北側)(北東より)	図版25	0304調査地点出土遺物2…………… 205
図版20	0304調査地点…………… 200	図版26	0304調査地点出土遺物3…………… 206
写真97	作業風景	図版27	0304調査地点出土遺物4…………… 207
写真98	作業風景	図版28	1104調査地点…………… 208
写真99	1号竪穴住居址土層断面(南東より)	写真120	近代墓掘り上げ後の状況:東側(南より)
写真100	1号竪穴住居址完掘状況(北西より)	写真121	近代墓掘り上げ後の状況:南側(東より)
写真101	3号竪穴住居址掘削状況(南より)	写真122	近代墓掘り上げ後の状況:中央(東より)
図版21	0304調査地点…………… 201	写真123	近代墓掘り上げ後の状況:北側(東より)
写真102	59号竪穴住居址土層断面(北西より)	写真124	南壁セクション遠景(北東より)
写真103	59号竪穴住居址発掘状況(南東より)	図版29	1104調査地点…………… 209
写真104	掘立柱建物(南より)	写真125	西壁セクション遠景:南半部(北東より)
		写真126	西壁セクション遠景:北半部(南東より)
		写真127	北壁セクション遠景(南東より)
		写真128	作業風景(東より)
		写真129	作業風景
		写真130	21・47号墓検出状況(北より)

写真131	278・260号墓副辺検出状況(南より)	写真153	4号竪穴住居址竈(南より)
写真132	334・335号墓検出状況(南より)	写真154	4号竪穴住居址完掘後の状況:西側立ち上がり(南より)
図版30	1104調査地点…………… 210	写真155	4号竪穴住居址完掘後の状況(南東より)
写真133	334・335・413号墓検出状況(南より)	図版33	1104調査地点…………… 213
写真134	100号甕棺(南より)	写真156	11号墓(南より)
写真135	231号甕棺埋設状況(南西より)	写真157	35号墓(南西より)
写真136	100号甕棺に刻まれた文字	写真158	39号墓(北東より)
写真137	232号甕棺に刻まれた文字	写真159	43号墓(北東より)
写真138	1号竪穴住居址完掘後状況(南より)	写真160	88号墓(北より)
写真139	1号竪穴住居址完掘後状況(北東より)	写真161	128・138号墓(東より)
図版31	1104調査地点…………… 211	写真162	132・144号墓(南より)
写真140	1号竪穴住居址竈(北東より)	写真163	134・193・168号墓(東より)
写真141	1号竪穴住居址竈(南西より)	図版34	1104調査地点…………… 214
写真142	1号竪穴住居址完掘後状況:北側(西より)	写真164	149号墓六道銭出土状況(南西より)
写真143	1号竪穴住居址完掘後状況:南側(西より)	写真165	151号墓(南より)
写真144	2号竪穴住居址上面硬化面検出状況(北西より)	写真166	153号墓(北より)
写真145	2号竪穴住居址上面掘り上げ状況(南西より)	写真167	184号墓(南より)
写真146	2号竪穴住居址完掘後の状況(南より)	写真168	192号墓(北より)
写真147	3号竪穴住居址掘削状況:ベルト残(北西より)	写真169	211号墓(西より)
図版32	1104調査地点…………… 212	写真170	231号墓(北東より)
写真148	3号竪穴住居址掘削状況:ベルト残(北東より)	写真171	253号墓(西より)
写真149	3号竪穴住居址焼土・粘土塊(西より)	図版35	1104調査地点…………… 215
写真150	3号竪穴住居址上面完掘後状況(東より)	写真172	258号墓(北より)
写真151	3号竪穴住居址完掘後状況(南より)	写真173	279・280・331号墓(東より)
写真152	3号竪穴住居址完掘後状況(南東より)	写真174	283号墓(南より)
		写真175	287号墓(西より)
		写真176	291号墓(北より)
		写真177	336号墓(西より)
		写真178	391号墓六道銭出土状況(東より)
		写真179	410号墓(南より)
		図版36	1104調査地点出土遺物1…………… 216
		図版37	1104調査地点出土遺物2…………… 217
		図版38	1104調査地点出土遺物3…………… 218
		図版39	1104調査地点出土遺物4…………… 219
		写真180	1104調査地点出土 泥メンコ
		図版40	1104調査地点出土遺物5…………… 220
		図版41	1104調査地点出土遺物6…………… 221

図版42	1104調査地点出土遺物7	222	図版59	1112・1113調査地点出土遺物3	239
図版43	1104調査地点出土遺物8	223	図版60	1112調査地点・同出土遺物	240
図版44	1104調査地点出土遺物9	224	写真195	調査区掘削風景(北より)	
図版45	1104調査地点出土遺物10	225	写真196	溝状遺構上場検出状況(南より)	
図版46	1104調査地点出土遺物11	226	写真197	溝状遺構土層断面(西より)	
図版47	1104調査地点出土遺物12	227	写真198	調査区被容壁土層(西より)	
図版48	1104調査地点出土遺物13	228	写真199	調査区西壁土層(東より)	
図版49	1104調査地点出土遺物14	229	写真200	溝状遺構完掘状況(南より)	
図版50	1104調査地点出土遺物15	230	図版61	1114調査地点	241
図版51	1104調査地点出土遺物16	231	写真201	作業風景(西より)	
図版52	1104調査地点出土遺物17	232	写真202	作業風景(東より)	
図版53	1104調査地点出土遺物18	233	写真203	調査区全景(東より)	
図版54	1104調査地点出土遺物19	234	写真204	9号竪穴住居址掘削状況(東より)	
図版55	1112・1113調査地点	235	写真205	3号ピット・18号溝掘削状況(南西より)	
写真181	調査区全景(北より)		写真206	調査区東半ピット群(東より)	
写真182	調査区全景(南より)		写真207	調査区東端ピット掘削状況(東より)	
写真183	1号竪穴住居址完掘状況(北より)		図版62	1114調査地点出土遺物	242
写真184	1号竪穴住居址東壁土層断面(西より)		図版63	1129調査地点	243
写真185	7号竪穴住居址遺物出土状況(北西より)		写真208	IV区掘削風景(北東より)	
写真186	7号竪穴住居址付近完掘状況(南西より)		写真209	IV区調査区西側包含層完掘状況(北東より)	
図版56	1112・1113調査地点	236	写真210	IV区調査区中央包含層完掘状況(北より)	
写真187	7号竪穴住居址西壁(北東より)		写真211	IV区調査区東側包含層完掘状況(北西より)	
写真188	10号竪穴住居址完掘状況(北西より)		写真212	1号溝土層断面(南西より)	
写真189	16号竪穴住居址?掘削状況(東より)		写真213	1号溝完掘状況(南西より)	
写真190	16号竪穴住居址?西壁土層断面(南東より)		写真214	15号ピット遺物出土状況(東より)	
写真191	16号竪穴住居址?下ピット群(東より)		写真215	17号ピット(半截)遺物出土状況(西より)	
写真192	16号竪穴住居址?北側ピット群(東より)		図版64	1129調査地点・同出土遺物	244
写真193	27号土坑付近(南より)		写真216	調査区完掘状況全景(東より)	
写真194	管理棟南東西部東端遺構検出状況(東より)		写真217	建物外周部掘削状況(西より)	
図版57	1112・1113調査地点出土遺物1	237	写真218	4号土坑遺物(土器)出土状況(西より)	
図版58	1112・1113調査地点出土遺物2	238	写真219	4号土坑遺物(石器)出土状況(西より)	
			図版65	1145調査地点	245

写真220	掘削風景 (東より)		
写真221	Ⅱ区遺構検出面 (南より)	写真238	南21スパン3号溝掘り上げ状況 (南より)
写真222	Ⅱ区遺構検出面 (東より)	写真239	北25スパンピット掘り上げ状況 (南西より)
写真223	遺物出土状況 (南西より)	写真240	看板移籍先掘削前後 (北より)
写真224	Ⅱ区掘り下げ後の状況 (南より)	図版69	1130調査地点…………… 249
図版66	1145調査地点・同出土遺物…………… 246	写真241	掘削風景 (南西より)
写真225	1号溝土層断面 (北より)	写真242	1号溝検出面遼景 (西より)
写真226	2号土坑土層断面 (西より)	写真243	1号溝北側立ちあがり部検出状況 (西より)
写真227	1号土坑掘り上げ状況 (北より)	写真244	1号溝土層断面：東側 (西より)
図版67	1106調査地点…………… 247	写真245	1号溝掘り下げ後の状況：東側部分 (西より)
写真228	掘削風景 (東より)	図版70	1130調査地点・同出土遺物…………… 250
写真229	南9スパン1号溝掘り上げ状況 (北より)	写真246	1号溝掘り上げ後の状況：全体 (西より)
写真230	南10スパン作業風景 (南より)	写真247	動物骨出土状況 (北西より)
写真231	南9・10スパン掘り上げ状況 (南より)	図版71	1125調査地点・同出土遺物…………… 251
写真232	北20・21スパン2号溝検出状況 (北より)	写真248	1号溝西側立ちあがり部検出状況 (南より)
写真233	2号溝掘削作業風景 (南西より)	写真249	1号溝床面遺物出土状況 (西より)
写真234	2号溝土層断面 (北より)	写真250	1号溝南壁土層断面 (北より)
写真235	2号溝掘り上げ状況 (北より)	写真251	1号溝完掘状況 (南より)
図版68	1106調査地点・同出土遺物…………… 248		
写真236	南23スパン3号溝掘り上げ状況 (南より)		
写真237	南22スパン3号溝掘り上げ状況		

表 目 次

表1	熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧…………… 1	表10	本庄遺跡1104調査地点出土人骨一覧 (List of skeletons) …… 118
表2	既往調査地点と本書収録調査地点一覧表…………… 6	表11	1104調査地点出土遺物一覧表…………… 123
表3	0603調査地点出土遺物一覧表……………25	表12	1112・1113調査地点出土遺物一覧表…………… 147
表4	0604調査地点出土遺物一覧表……………28	表13	1112調査地点出土遺物一覧表…………… 152
表5	1116調査地点出土遺物一覧表……………33	表14	1114調査地点出土遺物一覧表…………… 156
表6	1121調査地点出土遺物一覧表……………68	表15	1129調査地点出土遺物一覧表…………… 161
表7	0304調査地点出土遺物一覧表……………84	表16	1145調査地点出土遺物一覧表…………… 165
表8	資料数 (Number of materials) …… 117	表17	1106調査地点出土遺物一覧表…………… 172
表9	年齢区分 (Division of age) …… 117	表18	1130調査地点出土遺物一覧表…………… 175
		表19	1125調査地点出土遺物一覧表…………… 179

I 構内遺跡と調査の概要

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪地区・本荘地区・大江地区・宇留毛地区・京町地区・城東地区及び下南部地区の8区、市外の合津地区・阿蘇地区の2地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている(表1)。

法・文・教育・工学・理学部の校舎が設置されている黒髪地区は黒髪町遺跡群(熊本市埋蔵文化財地図№8-88)に含まれる。本遺跡は熊本市中心部のほぼ北東端に位置する立田山(標高151.6m)の南西部の緩斜面が、西を坪井川の作る沖積面と南を白川河岸の低位段丘によって囲まれる東西900m、南北1000mの遺跡群であり、縄文時代から歴史時代に至る遺構・遺物を包蔵している。遺跡発見の経緯は昭和11年に遡り、大学に隣接する熊本県立中学済々學(現済々黌高校)の校庭から甕棺2基が発見されたことに始まる。また昭和40年には隣接する九州女学院敷地においてやはり弥生時代中期の甕棺や古墳時代の須臾器などが発見するに至り、その重要性が認識されるに至った。黒髪町式土器の指標遺跡である。このように弥生時代を中心とした遺跡としての認識が高いが、1983年に実施された済々黌高校内における新たな調査によって古代の堅穴住居跡と土師器・須臾器・黒色土器などの関連遺物が出土し、その中には「寺門」銘の墨書土器が含まれているなど古代飽田郡における拠点的な性格をもった遺跡であることが予想された(『新熊本市史料編第1巻考古資料』新熊本市史編纂室1996)。古代官道や駅伝制の研究上、文献で推定されていた延喜式にみる「養賢駅」、旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた(木下1975・1995)が、近年ではこれまでの周辺遺跡での発掘成果および文献資料の検討、そして本調査室による発掘成果を受けて、済々黌高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司郡建部公の居所であり、飽田郡家として比定するなどの積極的な意見が展開されている(鶴嶋1997)。このように、本遺跡は先史時代のみならず、古代律令制下の駅伝制を考える上できわめて重要なものである。本報告において黒髪北地区3地点、黒髪南地区1地点の発掘調査記録を収録している。

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧

No.	地区名(学部名)	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区(法・文・教・大教センター) 黒髪東地区(教育学部附属特別支援学校)	熊本市中央区黒髪2丁目40-1 熊本市中央区黒髪5丁目17-1	黒髪町遺跡群	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
2	黒髪南地区(工・理)	熊本市中央区黒髪2丁目39-1	黒髪町遺跡群	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
3	京町地区(教育学部附属小・中学校)	熊本市中央区京町本75-12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区(教育学部附属幼稚園)	熊本市中央区城東町5-9	熊本城址	城館址・熊本城 関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市東区新南部6丁目5-8	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	沿岸環境科学教育研究センター	上天草市松島町大字合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査によって貝塚でないことが判明
7	本荘中地区 (発生医学研究所、エイズ学研究センター等)	熊本市中央区本荘2丁目2-1	本荘遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	
8	本荘北地区 (医学部附属病院・医学部等)	熊本市中央区本荘1丁目1-1	本荘遺跡 (熊大病院敷地遺跡)	散布地・集落址	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近代	
9	本荘南地区(保健学科等)	熊本市中央区九品寺4丁目24-1	本荘遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・縄道遺跡 中世	
10	大江地区(薬学部等)	熊本市大江本町5-1	大江遺跡群	官衙址	奈良・平安	縄道遺跡
11	渡鹿地区(課外活動施設)	熊本市渡鹿4丁目1-1	大江遺跡	集落址	奈良・平安	
12	宇留毛地区(学生寄宿舎・職員宿舎等)	熊本市中央区黒髪7丁目	宇留毛神社 関連遺跡群	散布地	弥生・奈良・平安	

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要



図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)
 (この地図は国土地理院発行1/25000地形図「熊本」を使用したものである)

医学部附属病院および医学部がある**本荘地区**は、**本荘遺跡**（熊本大学病院敷地遺跡）（熊本市埋蔵文化財地図No.8-95）を包括する。本遺跡は黒髪町遺跡と同じく熊本平野を形成する扇状地形の中央を流れる白川の河岸堤防上に位置する遺跡であり、標高は13~12mである。附属病院の所在する白川寄りの地点が標高が高く、南東部（医学部側）へと緩やかに傾斜する地勢である。敷地内を白川より分岐した小河川が暗渠として流れており、古来この一帯は流通を変えながら幾本もの小河川が流れていた可能性が高い。「熊本市中央北地区文化財調査報告書」（熊本市教育委員会1980）によれば、1963年ごろ熊本大学医学部附属病院の敷地内から須恵器、土師器、布目瓦片類が採集されており、遺跡の存在が確実であるとされ、遺跡としての認定を受けている。しかし、その後本敷地内において学術的な発掘調査は一度も実施されておらず、遺跡の詳細な内容に関しては本調査室における調査が実施されるまで不明であった。しかし、先の報告の中では、東側に隣接する仙崇寺小松原墓地（現在の小松原公園）内においても須恵器片が採集され、遺跡の包含地がより広いことが想定されていた。この地区で最初に本格的な埋蔵文化財の調査が行われたのは、1995年に道路を挟んで隣接する医学部敷地内において計画されたRI総合センター遺伝子実験施設の建築に先立つ発掘調査である。この調査によってより南側の地区まで良好な状態で遺跡の広がりを確認することができた。よって、遺跡の範囲は東西500m、南北500mを超えるものと推定される。なお、本報告では**本荘北地区**（本大学附属病院内）で実施した発掘調査の記録7件、**本荘中地区**（医学部）2件を収録した。医学部保健学科の位置する**本荘南地区**は、この遺跡の範囲に入る。本格的な発掘調査が実施されていなかったため、保育園新築のための発掘調査を実施した。しかし、本地区のより西側の地域では立会調査において古代の遺物包含層が確認されていたが、今回は明確な遺構を検出することはできなかった。同地区では本調査1件を収録した。

薬学部が所在する薬学部地区は、大江遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-93）の南西端に位置する。また、本学大江総合運動場は本遺跡群の北東端に位置している。地形は本荘遺跡とほぼ同じで、白川河岸に隣接し、標高は13~20mである。本遺跡群は詫間郡家および渡鹿廃寺などの推定地を含む熊本市内でも有数の大規模（東西1.8km、南北1.7km）かつ貴重な古代を中心とした遺跡群であり、これまで60次にわたる調査が実施され、各種遺物を伴って、8・9世紀代を中心とした古代堅穴住居址群、掘立柱建物址、道路址、溝址などが検出されている（新熊本市史編纂室1996）。本学が実施した調査においては、大江総合運動公園整備に伴う調査によって古代関連の遺物・遺構群が発見された他は、薬学部敷地の北西部において古代包含層の一部を確認しているにすぎない。薬学部敷地内においては大規模な建替えが最近実施されたが、この際の試掘によって、構内の東側では遺構や包含層は存在せず、北西部に絞られる様相が明らかになってきた。本報告では、1件の調査記録を収録した。

附属中学校・小学校の所在する京町地区は京町台遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-45）（東西400m、南北350m）に包括され、同遺跡群内には熊本市立京陵中学校と熊本営林局も含まれる。本台地は熊本平野の北部にある阿蘇4火砕流（凝灰岩）が形成した標高30~40mの平坦な台地であり、東西両側はそれぞれ坪井川と井芹川が流れて急峻な崖地を形成している。この天然の要害ともいべき地の利を活かして台地の南端には熊本城が築かれており、周辺の台地上には武家屋敷が築かれていた。本遺跡における発掘調査の嚆矢は、1966年、営林署内の宿舍改築工事の際、遺構は検出されなかったが、重弧文をもつ弥生式土器、土師器、瓦器片が少量出土したことであり、現在では弥生時代遺跡として認定されている（熊本市文化財調査会1971）。これまでの発掘成果によると、構内の西側を中心として弥生時代~近世の遺構・遺物が確認されている。

沿岸域環境科学教育研究センター附属合津マリンステーションの占拠する合津地区は、熊本県上天

草市松島町合津に所在する。遺跡は本地区のある松島の南西部端、標高12mの丘陵端部に位置する。この松島を含めた一帯は有明海から不知火海へ抜ける海上交通の要衝にあたり、天草で唯一の形象埴輪を出土したカミノハナ古墳群や長沙連古墳、大戸鼻古墳群など重要な古墳が密集しているように、古来より重要な拠点として意識されていたところでもある。また、縄文時代にはカルウ島遺跡や柳遺跡のように海岸部や海底に位置する遺跡群が数多く発見されている。沿岸域環境科学教育研究センター附属合津マリンスターションは、1956年に天草で始めて発見された縄文時代遺跡として著名な前島貝塚（熊本県遺跡地図57-013）とその東部にある梅殿古墳（同014）の隣接地にあたり、同貝塚の広がり合津マリンスターション敷地内に残存する可能性も大きく、古墳関連の遺構の存在も予想されるような位置にある（熊本県教育委員会1968）。実際、1996年に合津マリンスターションの北部丘陵斜面にある宿舎が建設された際、建設業者によって7本の石斧が発見されているし、合津マリンスターションの船着場南側の海岸では本学考古学研究室の学生諸氏によって縄文時代早期～前期を中心とした土器や石器が採集されている。よって合津マリンスターション内とその周辺は縄文時代の遺跡・遺構が存在する可能性がきわめて高いところとして周知されていたところであった。本地区においては、1995年に合津マリンスターション改築工事に伴う発掘調査によって、前島貝塚が貝塚ではなく、本丘陵上には縄文時代早期の遺物包含層や遺構群が存在することが明らかになった（熊本大学埋蔵文化財調査室1996・小畑2001）。

2. 調査に至る経緯

熊本大学の校地は先に示したように8地区に分散しており、どの校地も狭量化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区の医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成5年に現地再開発することが決定されたので、全学が現地再開発で取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などによって古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成5年10月から黒髪南地区において情報処理センターの建設工事が始まったところ、熊本市教育委員会文化課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ向向き確認したところ、平成5年4月1日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係る試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のような回答があった。

①国の機関（大学等）は考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成6年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いでも9月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中

心となってもらうべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略する）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成6年4月7日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成6年5月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元眞之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成6年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。以下の経緯については『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』を参照されたい。

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

以後平成24年3月末日現在まで、再開発計画に則り行われた事業の事前調査として、表2のような調査が実施されてきた。本書はこの中から2003（一部）・2006・2011年度に実施した発掘調査の成果を報告する。試掘・立会調査などについては年報において既報告であるので、本書からは除外した。

2003年度は本荘北地区において本荘団地北地区基幹・環境整備工事に伴う発掘調査（0304調査地点）、2006年度は黒髪北地区において資料館改修工事（電気工事）に伴う発掘調査（0603調査地点）および資料館改修工事（屋外排水工事）に伴う発掘調査（0604調査地点）が実施された。2011年度は黒髪北地区において文学部講義棟復所増築等改修工事に伴う発掘調査（1116調査地点）、黒髪南地区においては基幹・環境整備（屋外排水設備等）工事に伴う発掘調査（1121調査地点）が実施された。本荘地区では北地区において臨床医学教育研究センター整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）、基幹・環境整備（第6病棟等支障配線・配管替え）機械設備工事に伴う発掘調査（1112・1113調査地点）、基幹・環境整備（第6病棟等支障配線・配管替え）機械設備工事（その2）に伴う発掘調査（1114調査地点）、基幹・環境整備（旧中央診療棟とりこわし）工事に伴う発掘調査（1129調査地点）、基幹・環境整備（第6病棟とりこわし）工事に伴う発掘調査（1145調査地点）が実施された。本荘中地区では医学部基礎研究棟（A棟）とりこわし工事に伴う発掘調査（1129調査地点）、医学部基礎研究棟（B・D棟）とりこわし工事に伴う発掘調査（1130調査地点）が実施された。大江地区では北門周辺環境整備（植栽・外灯）工事に伴う発掘調査（1125調査地点）が実施された。

本報告では、2003・2006・2011年度に実施した、黒髪北地区3件、黒髪南地区1件、本荘北地区7件、本荘中地区2件、大江地区1件の計14件の発掘調査の報告を掲載した。

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

表2 既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1984年度						
94-4-15-17	9401 (東北) 運動場整備 (照明増設) 工事	発掘調査	128㎡	古 代	古代土師器・須恵器	年報1
94-4-21	9402 (東北・南) 基幹整備 (教育学館エレベーター取付) 工事	発掘調査	47.5㎡	現 代	ガラス・磁器片	年報1
94-4-25	9403 (東北・南) 地中給排水 (工学部エレベーター取付) 工事	発掘調査	48㎡		包含解埋蔵土、土師片	年報1
94-8-13-14	9404 (東北) 福利施設建設予定地の樹木移植	立会調査	30㎡	古 代		年報1
94-5-17-6・25	9405 (宮城) 南城中学校体育館建設工事	発掘調査	400㎡	弥生・古墳	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・近世陶磁器・磁石・銅銭・瓦・ガラス瓶	年報告1
94-5-20/23/24	9406 (東北) 武蔵原運動場整備 (排水機埋設) 工事	発掘調査	100㎡	古 代		年報1
94-5-23-7・28	9407 (東北) 福利施設建設工事	発掘調査	1,200㎡	古 代		年報告1
94-8-1-8-10	9408 (茨城) グランド水泳プール整備工事	発掘調査 立会調査	40.4㎡	古 代	土師器	年報告1
94-8-11	9409 (東北) 武蔵原郡山原新営工事・外灯基礎工事	立会調査	23.4㎡		包含層に達せず遺構なし。土師器	年報1
94-8-12	9410 (宮城) 南城中学校電気引込み配線工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし。	年報1
94-8-22	9411 (東北) 基幹整備 (南城中学校スロープ取付) 工事	立会調査	25.5㎡		包含層に達せず。遺構・遺物なし	年報1
94-9-12-10-31	9412 (宮城) 工学部実験棟新営工事	発掘調査	743.6㎡	古 代	古代型穴住居址。古代土師器・須恵器・瓦・土師片。石器・縄文土器	年報告1
94-11-14-12-22	9413 (茨城) グランド整備工事	発掘調査	250㎡	縄文・古代	古代型穴住居址・遺物址。古代土師器・須恵器・布着瓦・磁石・貝類器・縄文土器・石器	年報告1
95-1-17-21	9414 (東北) 福利施設設備工事	立会調査	169㎡		遺構・遺物なし	年報1
95-1-9-11、1-26-2-1	9415 (東北) 工学部共同館工事	立会調査	50㎡		遺構・遺物なし	年報1
95-2-27	9416 (岐阜) 郡城幼稚園排水管敷設工事併設工事	立会調査	129.7㎡		遺構・遺物なし	年報1
95-3-15-23	9417 (宮城) 福利施設設備工事					
1985年度						
95-4-25-5-2	9501 (宮城) 工学部研究実験棟新営1期共同館建設工事	発掘調査	90㎡	古代～近世	古代型穴住居址・柱穴・溝。縄文後期土師片・古代土師器・須恵器	年報告1
95-5-9-10	9502 (宮城) 工学部附属工機センター新築工事	試掘調査	20㎡	古 代	包含解埋蔵土。古代土師器・須恵器	年報2
95-5-15-16	9503 (宮城) 工学部附属研究実験棟建設及び設備整備	試掘調査	20㎡	古 代	新石。古代土師器・須恵器	年報2
95-5-29/30 9504-05 4-21	9504 (宮城) 工学部研究実験棟新営電気設備 (その2) に伴う高圧ケーブル埋設	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報2
95-8-21	9505 (宮城) 工学部通信設備整備	立会調査	1.4㎡		遺構・遺物なし	年報2
95-8-22	9506 (宮城) 事務局外灯取付改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95-9-8-10-12	9507 (合計) 工学部附属臨海実験棟実験棟改修工事	発掘調査	288㎡	縄 文	新石。縄文後期末土師・石器	年報2
95-11-2	9508 (宮城) 工学部研究実験棟新営1期に伴うガス配管	立会調査		古 代	古代包含解埋蔵土。古代土師片	年報2
95-11-6-8	9511 (本庄南) 医学部附属総合センター通信子実験施設建設及び内装切り替え	試掘調査	200㎡	古 代	古代包含解埋蔵土。型穴住居址。古代土師器・須恵器	年報2
95-11-13-16	9512 (宮城) 工学部研究実験棟新営1期に伴う排水設備設置	発掘調査	60㎡	古 代	古代型穴住居址・柱穴・包含層。縄文後期末土師片・古代土師器・須恵器	年報告1
95-11-17	9513 (宮城) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95-11-17	9514 (宮城) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査		古 代	古代土師器・須恵器片	年報2
95-11-21-22	9503 (宮城) 工学部附属研究実験棟建設に伴う基礎掘削	立会調査		古 代	古代土師器・須恵器	年報2
95-11-22	9515 (宮城) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査		古 代	包含解埋蔵土。古代土師器	年報2
95-11-24	9511 (本庄南) 医学部附属総合センター通信子実験施設建設工事	立会調査			一部包含解埋蔵土。遺構・遺物なし	年報2
95-11-28-29	9516 (宮城) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	発掘調査	72㎡	縄文～古代	包含層・柱穴。縄文土師片・古代土師器	年報告1
95-12-1	9511 (本庄南) 医学部附属総合センター通信子実験施設建設に伴う外溝切替	立会調査			包含解埋蔵土。遺構・遺物なし	年報2
95-12-4	9517 (本庄南) 医学部附属総合センター通信子実験施設に伴う排水設備	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95-12-5	9518 (宮城) 工学部附属研究実験棟建設に伴う外溝工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95-12-12-14	9519 (宮城) 工学部研究実験棟新営1期に伴うガス配管	立会調査		古 代	古代柱穴・溝。古代土師器・須恵器	年報2
95-12-18	9520 (東北) 教養部前道路改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95-12-25-96-2-22	9511 (本庄南) 医学部附属総合センター通信子実験施設建設	発掘調査	976.9㎡	縄文・古代	古代型穴住居址。独立柱住居址・溝。独立柱地母。土塊・柱穴。縄文後期末土師器。弥生中期末土師器・須恵器。鉄器・瓦	年報告1
96-3-1	9521 (宮城) 工学部技術舎新築	試掘調査		弥 生	弥生土塊・ビッド。弥生中期末土師	年報2
96-3-8	9522 (東北) 文法学部・第五高等学校記念館耐震補修工事	立会調査		古 代	包含解埋蔵土。古代土師器	年報2
96-3-21	9523 (岐阜) 教育学部附属調整池水汲りポンプ基礎及び鳴設備整備受入工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
96-3-25-26	9524 (宮城) 教育学部附属小学校給排水管取替工事	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報2
1996年度						
96-4-19	9601 (本庄北) 医学部校舎建設	試掘調査	33㎡	古 代	古代包含層・溝。古代土師器・須恵器	年報告1
96-5-10	9602 (東北) 法文学部記念館新築	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報3
96-5-10-6-24	9603 (宮城) 工学部校舎建設	発掘調査	1000㎡	縄文・弥生・古代	縄文後期包含層。古代型穴住居址・溝。独立柱地母。土塊・柱穴。縄文後期末土師器。弥生中期末土師器・須恵器。鉄器・瓦	年報告1
96-5-13	9604 (東北) 教育学部ATMネットワーク付設工事	立会調査	40㎡	近 代	遺構・遺物なし	年報3

96-5-14	9605	(京町) 教育庁附属小学校 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	14㎡	近代遺跡	遺構・遺物なし	年報3
96-5-15	9606	(大正) 薬学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報3
96-6-17	9607	(東北) 法文学部外灯設置工事	立会調査	4㎡	古代	一部包含層を確認、古代瓦器等	年報3
96-6-19	9608	(京南) 工学部 旧 実験配線工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報3
96-8-5	9609	(東北) 工学部 入試管理棟建設工事 (改築)	発掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報3
96-8-6-9	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う跡地管理棟・貯水貯蔵施設工事 (1・2・3区)	発掘調査	45.7㎡	古墳・古代	古墳時代前期晩期火住跡、古代型穴住跡、古墳時代土師器・須恵器	本報古V
96-8-22-27	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う切り跡入道路建設 (4区)	発掘調査	37.4㎡	古代	型穴住跡、柱穴、古代土師器・須恵器	本報古V
96-8-29-30	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う切り跡入道路建設 (5区)	発掘調査	28.2㎡	古代	堀、古代土師器・須恵器	本報古V
96-9-6	9610	(東北) 教養部夏目石巻修繕工事	試掘調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報3
96-10-1-9	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う跡地管理切り跡入工事 (6区)	発掘調査	104.3㎡	古代	古代遺跡、型穴住跡、古代土師器・須恵器	本報古V
96-10-11-97-1-17	9601	(本荘北) 医学部校舎改修工事 (本調査区)	発掘調査	1686㎡	縄文・古墳・古代	縄文包含層、古墳土層、古代遺跡、型穴住跡、竪立住建物・土壇、近代瓦葺、縄文及新土器、古墳 / 古代土師器、須恵器、瓦葺、石葺	本報古V
96-10-21-29	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う跡地管理切り跡入工事 (7・8・9区)	発掘調査	62.5㎡	古代	古代型穴住跡、堀、古代土師器・須恵器	本報古V
96-11-12-13	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う跡地管理切り跡入工事 (10区)	発掘調査	21.8㎡	古代	古代型穴住跡、古代土師器・須恵器	本報古V
96-11-12	9611	(京南) 工学部外灯付設工事	立会調査	0.4㎡		遺構・遺物なし	年報3
96-12-18	9612	(京南) 工学部電線架設工事	立会調査	74㎡		遺構・遺物なし	年報3
97-3-2-31	9613	(京南) 工学部研究実験棟 II 新着機設備工事	立会調査	175㎡		遺構・遺物なし	年報3
97-3-7	9614	(京南) 工学部新エネルギー実験所大東東館改修工事	立会調査	105㎡		遺構・遺物なし	年報3
1997年度							
97-4-8	9701	(本荘南) 医学部情報リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21㎡		一部包含層を確認、遺構なし、古代土器片	年報4
97-5-7	9702	(京南) 理学部ヘリウム補給室・ヘリウム管理改修工事	立会調査	126.6㎡		遺構・遺物なし	年報4
97-5-26	9703	(本荘北) 工学部外米鑑別研究施設血液製剤管理用取組工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報4
97-7-26-11-4	9704	(京南) 工学部校舎新築工事	発掘調査	1783.3㎡	弥生・古代	弥生時代遺構、古代型穴住跡、溝、竪立住建物・柱穴、遺物、弥生・弥生中期瓦葺、土師器・鉄器、古代須恵器、透瓦陶磁器	年報4
97-10-29	9705	(京町) 教育庁附属中学校女性学生館建立	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報4
97-10-22	9706	(東北) 法文学部旧南館改修工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報4
97-11-11-98-3-31	9707	(本荘北) 医学部基礎実験棟別館配線工事	立会調査	33㎡	古代・近代	近代瓦葺、古代土師器・柱穴、甕・人骨、瓦葺等、古代土器	年報4
98-1-30-2-12	9708	(東北) 法・文・教育学部外灯設備増設工事	立会調査	61.9㎡	古代	溝	年報4
98-2-3-2-13	9709	(京南) 管理棟第6号倉庫改修増設工事	立会調査	116㎡	古代	一部包含層を確認、遺構なし、明瓦した古代土器	年報4
1998年度							
98-4-14	9804	(京南) 工学部校舎建設に伴う跡地管理改修工事	立会調査	16㎡		跡地により遺構なし	年報5
98-6-26-7-2	9801	(本荘南) 医学部エイズ研究センター・動物資源開発センター新着支障配管特設工事	立会調査	2.4㎡	古代	遺構・遺物認められず	年報5
98-7-6	9801	(本荘南) 同前棟工務工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報5
98-7-13	9809	(京南) 工学部3号館電気改修工事	立会調査	3㎡	古代	遺物包含層を確認	年報5
98-7-28-9-10	9801	(本荘南) 医学部エイズ研究センター・動物資源開発センター新着工事	発掘調査	97.2㎡	縄文・古代・近世	縄文遺跡、竪立住建物・溝・土壇	本報古V
98-9-21-22	9803	(東北) 文化部京取設工事に伴う跡地管理工事	立会調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報5
98-9-25-11-6	9802	(東北) 文化部京取設工事に伴う跡地管理工事	発掘調査	575㎡	縄文・弥生・縄文・古墳	縄文土層、弥生土層、石葺等・土壇・溝、縄文・弥生遺物包含層確認	本報古V
98-9-28	9805	(本荘北) 大学病院南棟新築工事	試掘調査	10㎡	古墳・古代	古墳、古代土師	年報5
98-9-29	9806	(本荘北) 大学病院中央診療棟新築工事	試掘調査	5㎡		河成砂礫層を掘削、遺構・遺物なし	年報5
98-9-30	9807	(本荘北) 大学病院東館新築工事	試掘調査	2㎡	古代	遺物包含層・柱穴痕跡、古代土器片	年報5
98-10-6	9808	(京南) 工学部1・9号館電気改修工事	立会調査	30㎡		遺構跡に達せず、遺物なし	年報5
98-10-26-11-20	9807	(本荘北) 大学病院東館新築工事	発掘調査	175㎡	古代	縄文土層、石葺等、古代型穴住跡、土壇・溝、近代溝	本報古V
98-11-2	9801	医学部エイズ研究センター・動物資源開発センター関連設備修繕工事	発掘調査	130㎡		削平のため存在せず	本報古V
98-12-14-12-18	9810	(京南) 理学部自然学等総合実験棟新築支障配管特設工事	立会調査	35㎡	古代	遺物包含層・柱穴痕跡、古代土器片	年報5
98-12-16	9802	(東北) 文化部京取設工事に伴う跡地管理改修工事	立会調査	35㎡	古代	遺構層を確認、遺構・遺物なし	年報5
98-12-17-99-1-10	9805	(本荘北) 大学病院南棟新築に伴う支障配管特設工事	立会調査	33㎡	古代	型穴住跡、古代土器片	年報5
99-1-12	9811	(京南) 工学部実験室新設工事	試掘調査	14㎡	縄文後期	土師	年報5
99-1-21-3-25	9810	(京南) 理学部自然学等総合実験棟新築工事	発掘調査	1,096㎡	縄文・古代・近代	縄文土層、石葺等、古代型穴住跡・柱穴・溝、近世溝	本報古V
99-2-2	9802	(東北) 環境整備事業に伴う文化館新築工事	立会調査	256㎡		遺構・遺物なし	年報5
99-2-10	9802	(東北) 環境整備事業に伴う建築工事	立会調査	4㎡		遺構跡には達せず、遺物なし	年報5
99-2-18	9802	(東北) 環境整備事業に伴う修繕工事	立会調査	12.3㎡		地台下2mで弥生時代遺物包含層・遺構層を確認、遺構・遺物なし	年報5

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

99-2-9-3-9	9802	(東北) 環境影響事案に伴う電気配設工事	立会調査	4m		地表下30cmで水堀土を抽出。遺跡、遺物なし	年報5	
99-3-11-12	9812	(江口) 茂電田地区周防ブロック改修工事	立会調査	70m		瓦葺、土堀跡、土器、須恵器、遺物なし	年報5	
99-3-10-31	9801	(本荘南) 医学部エイズ研究センター、動物資源開発研究センター新舎に係る配管改修工事	立会調査	57.5m	古 代	一部瓦葺跡、遺物埋蔵誌(ピット)、遺物なし	年報6	
1999年度								
99-4-5-8-31	9901	(本荘北) 病院(棟) 新築工事	発掘調査	2,400㎡	縄文・古墳・ 古代・近代	縄文時代石器、玉、古墳時代住居跡、溝、土堀跡、古代住居跡、住居跡、土堀跡、土器跡、須恵器、鉄器、陶瓦葺、土堀、近代施設	年報6	
99-6-14-7-14	9902	(本荘南) 医学部エイズ研究センター、動物資源開発研究センター新舎電気工事立会	立会調査	40m	古 代	古代住炊、溝、遺物を少量検出	年報6	
99-6-17	9903	(奥曲) 工学部研究実験棟B-2-2新築工事に伴う検視立会	立会調査	10m		遺跡、遺物なし	年報6	
99-7-19-26	9904	(本荘南) 医学部エイズ研究センター、動物資源開発研究センター新舎基礎工事立会	立会調査	2m	古 代	遺跡、遺物なし	年報6	
99-7-29-7-30	9905	(奥曲) 自然科学研究科、理学部総合研究実験棟新舎ガス配管工事	立会調査	50m		遺跡、遺物なし	年報6	
99-7-2-8-7	9906	(奥曲) 自然科学研究科、理学部総合研究実験棟新舎電気配管工事立会	立会調査	300m	古 代	古代遺跡ら、柱穴2個、古代土器片少量を抽出	年報6	
99-9-22-10-5	9907	(奥曲) 工学部実験用フロン新築工事	発掘調査	136.5㎡	縄文前期～ 縄文時代	ピット群、縄文土器片出土	本報告付	
99-11-24-11-25	9908	(奥曲) 附属農芸学部校舎増築改修工事	試掘調査	42m	近世以降	トレンチ2本掘設して調査したが、遺物なし。近世瓦葺跡	年報6	
00-2-14-3-24	9909	(奥曲) 工学部畜産、附属環境研究センター・サナライズ・ベンチャー・ビジネス、ラボラトリー棟新築工事	試掘調査	1,633㎡	近世以降	堀跡、基礎、瓦葺、埋設管、埋設管	本報告付	
00-1-25	9910	(本荘北) 畜産科管理棟改築工事	試掘調査	2m		遺跡、遺物なし	年報6	
00-3-6-14	9911	(奥曲) 水産動物飼育舎改修工事	発掘調査	70.9㎡		縄文土器、古代土器跡、須恵器	年報7	
00-3-14	9912	(奥曲・東) 外科改修工事立会	立会調査	3m		遺跡、遺物ともに確認できず	年報6	
00-3-2	9913	医学部消化器系供給設備改修工事立会	立会調査	7.84m		遺跡、遺物なし	年報6	
00-3-16-17	9914	(本荘南) さく井設備工事立会	立会調査	25m		遺跡、遺物なし	年報6	
2000年度								
00-4-7	0001	(奥曲) 水産動物飼育舎新設給排水設備工事	立会調査	4.1m		遺跡、遺物なし	年報7	
00-4-11	0002	(奥曲) 水産動物飼育舎新設電気設備工事	立会調査	6.1m		遺跡、遺物なし	年報7	
00-4-17	0003	(本荘北) 附属病院附属修繕改修工事	試掘調査	5.8m		遺跡、遺物なし	年報7	
00-10-23	0004	(奥曲) 工学部畜産、附属環境研究センター・サナライズ・ベンチャー・ビジネス、ラボラトリー棟新設電気設備工事	立会調査	18m		遺跡、遺物なし	年報7	
00-10-30	0005	(奥曲) 工学部機械工事	立会調査	63m		遺跡、遺物なし	年報7	
00-11-6-22	0006	(本荘北) 附属病院基幹、環境整備第3期(入水設備改修工事(1区))	発掘調査	119.64㎡	縄文・古墳 古代	縄文時代石器、古墳時代住炊、住居跡、土堀跡、土器跡、須恵器	本報告付	
00-11-22	0006	(本荘北) 附属病院基幹、環境整備第3期(入水設備改修工事)	試掘調査	4m	遺・近代系	遺・近代系土器、瓦葺、遺物	年報7	
00-11-27-29	0006	(本荘北) 附属病院基幹、環境整備給排水配管工事	立会調査	85.5m		遺跡、遺物なし	年報7	
00-12-4-13	0006	(本荘北) 附属病院基幹、環境整備給排水配管工事(Ⅱ区)	発掘調査 立会調査	22㎡	縄文・古代	土堀跡、遺物、縄文時代石器、土器、ガラス玉、鉄器、須恵器	本報告付	
00-12-8-01-1-10	0006	(本荘北) 附属病院基幹、環境整備電気設備改修工事(野1区)	立会調査	31.5m	古 代	遺跡なし、土器器散点	年報7	
00-12-19-20	0006	(本荘北) 附属病院基幹、環境整備給排水配管工事(Ⅲ区)	発掘調査 立会調査	39.4m	古 代	住居跡、土器跡	本報告付	
00-12-26-28	0006	(本荘北) 附属病院基幹、環境整備給排水配管工事	立会調査	100.7m	遺・近代系	近代瓦葺、礫石、遺物	年報7	
01-1-29	0006	(本荘北) 附属病院基幹、環境整備給排水配管工事(Ⅴ区)	立会調査	7.7m		遺跡、遺物なし	年報7	
01-1-22-20	0007	(江口) 附属中学校体育館(旧東新築工事)	発掘調査	119.4㎡	弥生・古代	弥生、古代土器跡、鉄器、土器跡、須恵器	年報7	
01-2-5	0008	(奥曲) 生理学地域研究センタースロープ取設工事	立会調査	28m		遺跡のた遺物、遺物なし	年報7	
01-2-6-9	0009	(奥曲) 理学部1・2号館身作降ろり増設設備改修工事	立会調査	70m	古 代	瓦葺跡を掘誌、古代土器跡、須恵器	年報7	
01-2-16-19	0010	(奥曲) 体育系部室解体・新築工事	立会調査	32m		遺跡、遺物なし	年報7	
01-2-22	0011	(江口) 財政学館解体工事、新館1号館解体改修工事	立会調査	172㎡		遺跡、遺物なし	年報7	
01-3-5-6	0012	(奥曲) 外科取付工事	立会調査	3m		遺跡、遺物なし	年報7	
01-3-6	0013	(江口) 屋内運動場(高武館) 取り壊し工事	立会調査	500㎡		遺跡、遺物なし	年報7	
01-3-22	0014	(奥曲) 創作活動同組合事務所解体改修工事	立会調査	66㎡		遺跡、遺物なし	年報7	
2001年度								
01-4-9-7-3	0101	(本荘北) 附属病院工学部総合研究棟新築工事	発掘調査	1733.75㎡	古墳・古代・ 近世・近代	住居跡、溝、堀跡、鉄器跡、土器跡、須恵器	本報告付	
01-5-14	0102	(奥曲) 基幹・環境整備	試掘調査	4.8㎡			本報告付	
01-5-14	0103	高岡町地蔵王ケル改修工事	立会調査	59.5㎡		遺跡、遺物なし	年報8	
01-7-9-26	0102	(奥曲) 基幹・環境整備	発掘調査	418.5㎡	縄 文	縄文土器、寛永遺物、瓦葺、須恵器	年報8	
01-7-4-10-20	0101	(本荘北) 附属病院基幹、環境整備(14棟設置)	発掘調査	1,023.8㎡	縄文・弥生・ 古墳・古代	住居跡、溝、縄文土器、弥生土器、土器跡、須恵器、鉄器、瓦葺、須恵器	本報告付	
01-7-13	0105	(江口) 正門取設工事	立会調査	7.12㎡		遺跡、遺物なし	年報8	
01-7-30-11-14	0106	(奥曲) 大学教育研究センター等改修工事	立会調査	3,907㎡		遺跡、遺物なし	年報8	
01-7-31	0107	(江口) 理学部共同実験棟改修工事	立会調査	97.84㎡		遺跡、遺物なし	年報8	
01-8-1/13	0108	(江口) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	35m		遺跡、遺物なし	年報8	
01-8-2/21	0109	(奥曲) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	56m		遺跡、遺物なし	年報8	

01・8・27	0110	(大庄) 養子部キャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	20mf	遺構・遺物なし	年報8
01・9・4	0111	(本荘北) 医学部キャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	2,78mf	遺構・遺物なし	年報8
01・8・22/9・4	0112	(大庄) 食衣部テラス換気工事	立会調査	662mf	遺構・遺物なし	年報8
01・9・14/10・1	0113	(本荘南) 医療技術短期大学キャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	106mf	遺構・遺物なし	年報8
01・9・17	0114	(本荘北) 町域南院キャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	38mf	遺構・遺物なし	年報8
01・10・19	0115	(本荘南) 理学部2号館南増築工事	立会調査	8,4mf	遺構・遺物なし	年報8
01・10・22/02・2・19	0116	(本荘北) 町域南院高塔・環境整備 (A-D地区・ボイラー設置等)	立会調査	426mf	遺構・遺物なし	年報8
01・12・8/02・2・9	0117	(本荘北) 医学部総合研究棟新舎機械設備工事	立会調査	133.0mf	古代 住居址・住居跡 土師器・灰器等	年報8
01・12・12/02・2・4	0118	(庄南) 高幹・環境整備 (特高変電設備等・屋敷その他)	立会調査	111.7mf	遺構・遺物なし	年報8
02・2・25/3・30	0119	(本荘北) 円形使用ガスを給電機強電取込工事	発掘調査	205.8mf	縄文・古墳・ 住居址・溝・竪立建物跡・縄文土師器・土師器・灰器等	本報古1
02・3・18	0120	(本荘北) 総合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1492.7mf	遺構・遺物なし	年報8
02・3・18	0121	(本荘北) 町域南院西側棟 (北上Ⅱ) 新築工事	立会調査	1076.4mf	溝?・遺物なし	年報8
02・3・22	0122	(本荘北) 町域南院西側棟電気設備工事 (北上Ⅱ)	立会調査	54mf	遺構・遺物なし	年報8
2003年度						
02・4・3~4	0201	(庄北) 大学教育研究センターC棟空調機取込工事給排水及び室外機基礎工事	立会調査	20.3mf	遺構・遺物なし	年報9
02・4・15~16	0202	(庄北) 外灯設置工事	立会調査	199mf	遺構・遺物なし	年報9
02・4・17	0203	(庄南) インキュベーション施設管営工事	試掘調査	3mf	遺構・遺物なし	年報9
02・4・17	0204	(庄南) 総合研究棟管営工事	試掘調査	4mf	遺構・遺物なし	年報9
02・4・24	0205	(庄南) 食衣部エコグリーントイレ工事	立会調査	0.73mf	遺構・遺物なし	年報9
02・5・20~29	0206	(庄南) 総合研究棟新舎に伴う樹木移植工事	発掘調査	24mf	灰器	年報9
02・5・30~8・2	0207	(庄南) インキュベーション施設管営工事	発掘調査	810mf	畑地	年報9
02・6・3	0207	(庄南) 総合研究棟新舎一次掘削に伴う電気工事	立会調査	3.2mf	遺構・遺物なし	年報9
02・6・12~8・14	0204	(庄南) 総合研究棟管営工事	発掘調査	2,802mf	縄文・古墳・ 住居址・溝・火葬墓・縄文土師器・土師器・灰器等	年報9
02・7・2	0208	(庄北) 図書館南側学生部駐車場舗装工事	立会調査	24mf	遺構・遺物なし	年報9
02・8・29	0209	(京町) 町域小学校スロープ取込工事	立会調査	13mf	遺構・遺物なし	年報9
02・10・1~10・3, 11・18	0210	(庄南) 工学部新本棟舗装工事	発掘調査	61.19mf	仏舎利・縄文土師器・灰器	年報9
02・10・7	0211	(本荘北) 医学部総合研究棟新舎工事 (渡り廊下部分)	立会調査	32mf	遺構・遺物なし	年報9
02・12・3/4/11	0212	(庄南) 通用廊拡張工事	立会調査	480mf	遺構・遺物なし	年報9
	0213	(本荘北) 総合研究棟新舎電気設備工事	立会調査	216mf	遺構・遺物なし	年報9
03・2・7	0214	(本荘北) 高幹環境整備外灯工事	立会調査	216mf	遺構・遺物なし	年報9
03・2・18	0215	(大庄) 養子部2号館動物管理棟新築工事	立会調査	3.4mf	遺構・遺物なし	年報9
03・2・21	0216	(庄北) 外灯設置工事	立会調査	18.5mf	遺構・遺物なし	年報9
03・3・7	0217	(本荘南) 体育館室 (プレハブ) 新築工事	立会調査	3mf	遺構・遺物なし	年報9
03・3・10	0218	(庄北) 外灯設置工事	立会調査	27mf	古代 住居址・土師器・灰器等	年報9
03・3・11	0219	(本荘北) 町域南院 新築工事	立会調査	30mf	遺構・遺物なし	年報9
03・3・26	0220	(新南館) 教育学部新南館増築・緑地境界柵り	立会調査	40mf	古代 住居址・住居跡・溝・古代土師器・灰器等	年報9
2003年度						
03.4.10	0301	(庄南) 工学部薬品庫新設工事	立会調査	2mf	遺構・遺物なし	年報10
03.4.10	0302	(庄南) 総合研究棟共同廊設備工事	試掘調査	0.6mf	土師器	年報10
03.5.20	0303	(庄南) 事務局排水管修理工事	立会調査	16.8mf	遺構・遺物なし	年報10
03.6.2~7.2	0304	(本荘北) 高幹・環境整備工事	発掘調査	333.5mf	縄文・弥生・ 住居址・溝・縄文土師器・土師器・ 古墳・弥生・灰器等・近代陶磁器 古代	本報
03.7.18	0302	(庄南) 総合研究棟共同廊設備工事	立会調査	206mf	遺構・遺物なし	年報10
03.8.19	0305	(京町) 町域小・中学校フェンス取込工事	立会調査	44.3mf	遺構・遺物なし	年報10
03.8.6~9.12	0302	(庄南) 総合研究棟共同廊設備工事 (I区)	発掘調査	106.23mf	縄文・古代 溝・ピット・土坑・遺物仏舎利・ 縄文土師器	本報古2
03.9.4~9.8	0306	(本荘南) 医療技術短期大学北側駐車場環境整備工事	立会調査	530.2mf	遺構・遺物なし	年報10
03.9.5	0307	(養) 大江総合研究棟給排水管および電気工事	立会調査	7.54mf	遺構・遺物なし	年報10
03.9.29	0308	(宇留毛) 小坂町第1種雨水管排水修理工事	立会調査	3.61mf	遺構・遺物なし	年報10
03.10.2	0309	(本荘南) 動物管理棟管営工事	立会調査	4.02mf	遺構・遺物なし	年報10
03.10.1~10.10	0302	(庄南) 総合研究棟共同廊設備工事	発掘調査	253.5mf	縄文・古代 溝・ピット・陶磁器・土師器・灰器等・縄文土師器・石器	本報古2
03.10.27		(庄北) 教室新築工事	試掘調査	13.75mf	遺構・遺物なし	年報10
03.11.6		(養) 記念館建設工事	試掘調査	7.4mf	古代 土師器	年報10
03.11.17~28	0310	(本荘南) 発生医学研究センター施設整備事業	立会調査	557mf	遺構・遺物なし	年報10
03.11.26	0302	(庄南) 総合研究棟共同廊設備工事 (ガス管)	立会調査	3.6mf	遺構・遺物なし	年報10
03.12.9		(本荘南) 発生医学研究センター整備事業本館工事	試掘調査	26.58mf	遺構・遺物なし	年報10
03.12.10	0311	(本荘北) 中央診療棟 (輸) 設備工事	立会調査	4mf	遺構・遺物なし	年報10
04.1.13	0312	(養) 養子部取込工事	立会調査	11.2mf	遺構・遺物なし	年報10
04.1.14	0307	(養) 大江総合研究棟給排水管及び電気工事	立会調査	45.8mf	遺構・遺物なし	年報10
04.1.15~19	0313	(庄北) 教室新築工事	立会調査	398.8mf	遺構・遺物なし	年報10
04.1.23~27	0314	(本荘南) 医学部日棟・E棟・R1・目録物倉取込工事	発掘調査	1,000mf	古代 溝・ピット・土師器	本報古2
04.1.30	0315	(本荘北) 東側駐車場整備工事	立会調査	30.7mf	遺構・遺物なし	年報10
04.2.9						
04.2.16	0316	(庄南) 理学部4号館別館プレハブ等設備工事	立会調査	83mf	遺構・遺物なし	年報10
04.2.23	0317	(本荘北) 養子の水塔	立会調査	16mf	遺構・遺物なし	年報10

3. これまでの調査と本書収録の道跡

04-3-4	0338	(湖北) 荆城黄湾学校門前水道水処理工	立会調査	2㎡	中世・古代	遺跡・遺物なし	
04-3-5-9	0334	(本荘南) 医学部旧棟(棟・棟・R1・旧動物舎取壊工事)	発掘調査	1,000㎡		溝・ピット・陶磁器・土師器	本報告書
04-3-9	0339	(本荘) 市庁改修工事	立会調査	2.3㎡		遺跡・遺物なし	
04-3-9	0320	(湖北) 福有施設改修取壊取壊工事	立会調査	13.19㎡		遺跡・遺物なし	
04-3-10	0321	(本荘) 外灯設置工事	立会調査	3.4㎡		遺跡・遺物なし	
04-3-10	0322	(本荘) 総合研究棟外灯設置工事	立会調査	4㎡		遺跡・遺物なし	
04-3-10	0333	(湖北) 教習新築工事	立会調査	10㎡		遺跡・遺物なし	
04-3-10	0323	(湖北) 教習新築工事(宮内閣施設)	立会調査	44㎡		遺跡・遺物なし	
04-3-11	0324	(本荘南) 外灯設置工事	立会調査	4㎡		遺跡・遺物なし	
04-3-11	0325	(本荘南) 外灯設置工事	立会調査	11.2㎡		遺跡・遺物なし	
04-3-15	0326	(湖北) 外灯設置工事	立会調査	3.54㎡		縄文土師器	
04-3-16	0327	(本) 外灯設置工事	立会調査	11.8㎡		遺跡・遺物なし	
04-3-17	0323	(湖北) 教室新築工事(棟)	立会調査	832㎡	古	土師器・埴土器片	
04-3-22	0328	(本荘) 教育学部附属小中学校新築外灯設置工事	立会調査	7㎡		遺跡・遺物なし	
04-3-19	0329	(湖北) 跡代地立役地	立会調査	1.08㎡		遺跡・遺物なし	
2004年度							
04-4-7	0401	茨城県北地区教育館新築工事(複層下設)	立会調査	33.8㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-4-9		本荘南地区(中央)診療棟(棟) 改修工事	試掘調査	10.44㎡	古	遺跡?・土師器	本報11
04-4-13-5-31	0402	本荘南地区(免学)医学研究センター建設工事	発掘調査	1241.75㎡	古	土師器・埴土器片・縄文土器	本報11
04-5-26		茨城県北地区(熊本)大学文化科学研究科研究室新築工事	試掘調査	7.26㎡	古	ピット・土師器	本報11
04-5-14	0403	本荘南地区(中央)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	150㎡	古	土師器	本報11
04-10-14							
04-5-21	0404	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	3.3㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-6-25	0405	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	68.68㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-6-28		本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	試掘調査	10㎡	古	土師器・縄文土器・土	本報11
04-5-24	0406	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	1332.4㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-5-28							
04-6-4							
04-10-26-28							
04-11-12							
04-11-29							
04-7-26	0408	宇都宮県(本荘)小幡町小幡町水配管改修工事	立会調査	36.2㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-7-29	0409	茨城県北地区(記念)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	72㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-8-6							
04-8-20							
04-8-23		茨城県南地区(理学部)総合実験場改修工事	試掘調査	11㎡	古	住穴・埴土器・土師器	本報11
04-8-9	0410	茨城県北地区(熊本)大学文化科学研究科研究室新築工事	立会調査	370㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-8-10-11							
04-11-5							
04-11-11							
04-8-17-19-23	0411	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	420㎡		土師器・埴土器・縄文土器・埴土器片	本報11
04-9-3		本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	発掘調査			住居址・溝・ピット	
04-9-14-22							
05-1-27							
04-9-16	0412	本荘南地区(附属)病院部事務室改修工事	立会調査	5.7㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-9-16	0413	高野町(附属)中学校校舎風害による倒壊工事	立会調査	4㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-9-16	0414	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	4㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-9-21	0415	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	10㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-9-21	0416-1	本荘南地区(附属)病院部事務室改修工事	立会調査	8㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-9-21	0416-2	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	1.5㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-10-12	0417	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	0.5㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-10-12	0417	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	0.5㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-10-19	0418	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	0.3㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-10-22	0419	本荘南地区(附属)病院部事務室改修工事	立会調査	2.25㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-11-1-28	0411	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	発掘調査	351㎡	縄文・古銅	住穴・住居址・竪穴住居跡・溝・住穴・土師器・埴土器・縄文土器・鉄器・瓦・石	本報11
04-11-26	0420	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	896㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-11-29	0421	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	43㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-12-6	0422	本荘南地区(中央)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	60.20㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-12-15		本荘南地区(中央)診療棟(棟) 改修工事	試掘調査	18㎡	古	住居址・住穴・埴土器・土師器	本報11
04-12-24	0423	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	754㎡		遺跡・遺物なし	本報11
04-1-11	0424	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	14.5㎡		遺跡・遺物なし	本報11
05-2-1-2-7-9	0425	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	160.08㎡	古	土師器・埴土器	本報告書
05-2-21-3-30-5-9-6-10	0425	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	発掘調査	1170.4㎡	古	土師器・埴土器	本報告書
05-2-4-8-9	0426	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	試掘・発掘	84㎡	近	溝・土師器・埴土器・瓦片・陶器	本報告書
05-2-4	0427	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	1.5㎡		遺跡・遺物なし	本報11
05-2-21-22	0428	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	139㎡		遺跡・遺物なし	本報11
05-2-21	0429	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	4.25㎡		遺跡・遺物なし	本報11
05-2-28-3-14-4-1	0430	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	1.846㎡		遺跡・遺物なし	本報11
05-3-1	0431	本荘南地区(免学)診療棟(棟) 改修工事	立会調査	1.2㎡		遺跡・遺物なし	本報11
05-3-1	0432	教育学部附属小中学校平屋記念館改修工事	立会調査	0.945㎡		遺跡・遺物なし	本報11

05-3-1	0433	教育庁部局福祉館附属施設設置工事	立会調査	0.81㎡					遺構・遺物なし
05-3-2	0434	黒雲南地区工芸部危険物処理施設工事(仮称)	立会調査	192.5㎡					遺構・遺物なし
05-3-9	0435	黒雲南地区よくぞ建設工事(追加部分)	立会調査	3.6㎡					遺構なし・土器部
05-3-10・15・16-18	0436	黒雲南地区事務所倉庫改修工事	立会調査	62.14㎡					遺構なし
05-3-14-16	0437	大江地区赤十字部灯台建設工事	立会調査	8.1㎡					遺構・遺物なし
05-3-22	0438	教育庁部局福祉館附属施設工事	立会調査	4.14㎡					遺構・遺物なし
05-3-23	0439	黒雲南地区製氷機工事	立会調査	6㎡					遺構・遺物なし
05-3-24	0440	教育庁部局黒川小学校洗室改修工事	立会調査	2㎡					遺構・遺物なし
05-3-24	0441	教育庁部局黒川小学校洗室改修工事	立会調査	2㎡					遺構・遺物なし
05-3-24	0442	黒雲南地区黒川小学校ガス管工事	立会調査	9.18㎡					遺構・遺物なし
05-3-24	0443	(本荘北)中央診療棟給排水管工事	立会調査	0.9㎡					遺構・遺物なし
05-3-25	0444	黒雲南地区教育庁部局黒雲南学校給水管耐水改修工事	立会調査	1.74㎡					遺構・遺物なし
05-3-28	0445	黒雲南地区事務所附属水栓工事	立会調査	3.35㎡					遺構・遺物なし
2005年度									
05-4-19-4-20	0501	本荘団地北地区駐車場増設工事(追加)	立会調査	26㎡	古代	土師器・灰器部			年報12
05-4-27	0502	医学部附属病院水処理設備ポンプアップ排水管修繕	立会調査	4㎡					遺構・遺物なし
05-2-4-8-10	0425	(国英)情報ネットワーク館本館工事	発掘調査	1065.2㎡	縄文・古代	縄文・遺物なし、縄文土器・土師器・灰器部、黒色土器			年報10
05-5-30、6-4~6-5、6-14	0503	(本荘)発生医学研究センター施設整備事業(外構)	立会調査	2337.2㎡					遺構・遺物なし
05-6-7、6-10	0504	小規模倉庫建設ガス配管埋設修繕・施設工事	立会調査	7㎡					遺構・遺物なし
05-6-9~6-10、6-12	0505	(医師)基幹・増設整備(設備・免る室前)	立会調査	53.96㎡					遺構・遺物なし
05-6-20	0506	(大江)漢字部テニスコートフェンス取設	立会調査	2.28㎡					遺構・遺物なし
05-6-21	0507	(本荘中)敷地境界フック改修工事	立会調査	40.5㎡					遺構・遺物なし
05-7-8	0508	(国英)情報ネットワーク館拡張工事	立会調査	1036㎡	古代	土師器・灰器部			年報12
05-7-13~7-14、7-19~9-30	0509	(医師)基幹・増設整備(免る室・移動先)	発掘調査	1147㎡	縄文・弥生	住居址・溝・土師器・灰器部			年報12
05-7-19	0511	本荘団地北地区雨水配管修繕	立会調査	7.6㎡	古代	仏舎利・土師器・灰器部			年報12
05-8-1	0512	教育庁部局福祉館附属施設	立会調査	0.96㎡					遺構・遺物なし
05-8-2-8-3	0513X①	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-1	立会調査	92㎡	古代	土師器・灰器部			年報12
05-8-2-8-25	0513X②	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	108.75㎡	古代	土師器・灰器部			年報12
05-8-5	0514	医学部附属地区テニスコート内排水設備工事	立会調査	10.91㎡					遺構・遺物なし
05-8-5-8-10	0513X③	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-1	立会調査	17.8㎡					遺構・遺物なし
05-8-8-8-18	0513X④	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2	発掘調査	80.86㎡	古代	住居址・土師器・灰器部			年報12
05-8-18	0515	本荘団地(北地区)駐車場増設整備工事(その2)、追加調査	立会調査	235.96㎡	古代	住居址・土師器・灰器部			年報12
05-8-18-8-23	0513X⑤	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	14.7㎡					遺構・遺物なし
05-8-19-8-29	0513X⑥	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-4	立会調査	259㎡					遺構・遺物なし
05-8-24	0516	本荘団地中地区灯台建設工事	立会調査	11.4㎡					遺構・遺物なし
05-8-29-8-29	0513X⑦	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	17.2㎡					遺構・遺物なし
05-8-29	0513X⑧	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-1	立会調査	14.7㎡					遺構・遺物なし
05-8-29	0513X⑨	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	86.1㎡					遺構・遺物なし
05-8-29	0513X⑩	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-1	立会調査	65㎡					遺構・遺物なし
05-8-29	0513X⑪	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	120.25㎡					遺構・遺物なし
05-8-29-8-30	0513X⑫	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	21.6㎡					遺構・遺物なし
05-8-30-9-1	0513X⑬	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	20.4㎡					遺構・遺物なし
05-9-1-9-13	0513X⑭	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-1	発掘調査	67.6㎡	縄文・古代	居住址・土師器・灰器部			年報12
05-9-1、9-20	0517	(医師)基幹・増設整備(免る室・現在地)	立会調査	1337㎡					遺構・遺物なし
05-9-4-9-5	0513X⑮	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-1	立会調査	48.75㎡					遺構・遺物なし
05-9-12-9-27	0513X⑯	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	43.9㎡					遺構・遺物なし
05-9-13	0518	黒雲南地区ガス設備改修工事	立会調査	39㎡					遺構・遺物なし
05-9-14	0519	(国英北)学務部倉庫改修工事	立会調査	157.76㎡					遺構・遺物なし
05-9-15	0513X⑰	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-5	立会調査	0.79㎡					仏舎利・ビッド
05-9-15	0513X⑱	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-1	立会調査	40.5㎡					遺構・遺物なし
05-9-15	0520	本荘団地北地区入居院前スロープ取設工事	立会調査	17.18㎡					遺構・遺物なし
05-9-15	0521	本荘団地(北地区)台蔵庫可成し	立会調査	2.35㎡					遺構・遺物なし
05-9-16-10-2	0513X⑲	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	97.34㎡	古代	土師器・灰器部			年報12
05-9-16	0522	医学部附属病院管理棟外排水バルブ取付工事	立会調査	2.25㎡					遺構・遺物なし
05-9-27	0523	(医師)中央診療棟(北上)	立会調査	57.6㎡					遺構・遺物なし
05-10-11~11-7	0513X⑳	(国英南)工学部施設改修施設設備等事業-2、3	立会調査	150㎡	古代	住居址・溝・土師器・灰器部			年報12
05-10-11	0524	本荘団地(北地区)駐車場整備工事	立会調査	361.33㎡					遺構・遺物なし
05-10-13~10-14、10-17~10-18	0525	(国英)情報ネットワーク館工事	立会調査	73.6㎡	古代	住居・土師器・灰器部			年報12
05-10-14	0526	歴史調査室内部改修機材設置工事	立会調査	2㎡					遺構・遺物なし

3. これまでの調査と本書収録の道跡

05-10-19~ 10-20	0527	(宮城北) 支法学部本館スロープ整備工事	立会調査	44㎡	遺構・遺物なし	年報12	
05-10-21	0528	工学部ものづくり実習室新設工事	立会調査	810㎡	遺構・遺物なし	年報12	
05-10-25	0529	(宮南) 外庫建築学研究所共同利用施設整備工事	立会調査	281.12㎡	遺構・遺物なし	年報12	
05-10-26	0530	養子部以東館(旧東館) 補修工事	立会調査	5.5㎡	遺構・遺物なし	年報12	
05-11-4	0531	旧情報地誌センター-屋外排水改修工事	立会調査	9㎡	遺構・遺物なし	年報12	
05-11-7	0532	教育学部附属養護学校給水引込込み雨水給排水	立会調査	3.5㎡	遺構・遺物なし	年報12	
05-11-7	0533	五反田ビル4階-室給水管補修工事	立会調査	1.1㎡	遺構・遺物なし	年報12	
05-11-16, 11-21	0534	荒巻市地区開闢改修工事	立会調査	124.3㎡	遺構・遺物なし	年報12	
05-11-20 12-15	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	48㎡	古 代	住居址・柱穴	年報12
05-11-20 12-5	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	発掘調査	24㎡	古 代	住居址・溝・ピット・土師器・須恵器	年報12
05-12-4	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	117.4㎡	古 代	土師器	年報12
05-12-7	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	87㎡	古 代	ピット・土師器・須恵器	年報12
05-12-9	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	25㎡	古 代	包含溝・土師器・須恵器	年報12
05-12-12	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2, 5	立会調査	㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-12	0535	教育学部附属養護学校給水引込込み雨水給排水	立会調査	455.7㎡		柱穴	年報12
05-12-13	0513.128	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-1	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513.128	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513.128	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-1	立会調査	87.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513.124	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-14	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	86.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-14	0536	医学部附属施設改修工事	立会調査	82.73㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-15	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-1, 2	立会調査	286.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-16	0537	理学部プレハブ自家新築工事	立会調査	107㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-19~ 12-21, 12-26	0538	(宮城) 情報ネットワーク開設工事(追加)	立会調査	70.235㎡	古 代	土師器・須恵器	年報12
06-1-6~ 1-11, 2-27~ 3-2	0539	本館1階地(中地区)ゴミ処理施設	立会調査	48.51㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-26	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-4~ 1-19	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	発掘調査	80㎡	古 代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06-1-5	0513.136	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	70㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-10, 1-25	0540	本館1階地(南地区)理設系管理改修工事	立会調査	61.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-17	0513.128	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-7	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-20	0513.128	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-7	立会調査	706㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-26, 2-2, 2-10, 2-27	0541	(宮城南) 理学部附属施設改修工事(追加・再追加含む)	立会調査	1116.0㎡	古 代	土師器・須恵器	年報12
06-1-23	0513.127	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-7	立会調査	45.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-24	0513.128	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-2	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-26	0513.128	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-1	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-27	0542	(宮南) 各種・環境整備(曳き家・移転経路)	立会調査	149.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-30	0513.120	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業-3	立会調査	696.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-13	0543	附属南校舎1号生施設環境整備	立会調査	338.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-16, 3-13	0544	(宮南) 各種・環境整備(設備・曳き家後)	立会調査	39㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-17	0545	教育学部附属養護学校用プラットフォーム敷設	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-24, 3-7~ 3-8, 3-13, 3-16~ 3-17	0546	(宮城) 情報ネットワーク新設工事に伴う外庫工事	立会調査	1837㎡	古 代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06-3-10	0547	(宮城) 北地区学生会館西側パイタ開場設置工事	立会調査	48㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-12	0548	本館1階地(中地区)流り廊下設置	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-24	0549	(宮南) 外庫化学療法センター-屋外排水改修工事	立会調査	130.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-26	0550	釜木給排水工事	立会調査	0.91㎡		遺構・遺物なし	年報12
2008年度							
06-4-11	0601	教育学部附属中学校テニスコート移設	立会調査	5.9㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-11	0602	(宮城北) 補修工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-11	0603	(宮城北) 資料館改修工事	発掘調査	32.1㎡	古 代	居住遺構・ピット 土師器・須恵器	本書
06-4-11~ 4-12	0604	(宮城北) 資料館改修工事(屋外排水)	発掘調査	25.12㎡	古 代	住居址?・溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本書
06-4-12	0606	工学部研究実験用車庫改修工事	立会調査	49.05㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-13	0605	放送大学案内取説改修工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-18~ 4-19	0607	(宮城南) 工学部施設改修施設設備等事業④	立会調査	5.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-21	0608	(宮城北) 南側歩道拡充補修工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報13

06-4-24	0609	理学部数値場ガス流れ補修	立会調査	1.7㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-5-2	0640	教育学部附属小学校校具新設	立会調査	096㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-5-11	0611(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-1	立会調査	32㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-5-22 8-25	0611(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-2	立会調査	129㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-5-22	0612(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-3	発掘調査	2.1㎡	柱穴・土師器	年報13
06-5-22~ 5-24	0612(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-6	発掘調査	14㎡	柱穴・土師器・灰土器	年報13
06-6-12	0644	(国策南) 環境安全センター給水配管補修	立会調査	057㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-6-19	0643	附属病院中央診療棟新設電気設備工事	立会調査	724㎡	土師器	年報13
06-6-22 6-28 7-3	0615	附属病院中央診療棟新設電気設備(衛生)工事	立会調査	153㎡	古代 土師器・灰土器	年報13
06-7-2 7-7	0612(3)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-1	立会調査	2196㎡	古代 土師器・灰土器	年報13
06-8-7	0616	教育学部附属中学校給水配管補修工事	立会調査	1.7㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-8-11	0617	(国策南) プール附属等環境配慮改修(アスベスト処理)工事	立会調査	059㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-8-11	0618	医学部附属病院駅前市場整備	立会調査	8.75㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-8-21	0619	教育学部附属看護学院外国人定員増その他の工事	立会調査	420.51㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-8-24~ 8-25	0611(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-3	立会調査	20.7㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-8-31~ 9-1	0611(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-2	立会調査	64.1㎡	古代 土師器	年報13
06-9-7	0620	教育学部附属小学校プール系統給排水補修工事	立会調査	2.8㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-9-11	0611(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-10	立会調査	4964㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-9-12	0611(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-10	立会調査	140㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-9-14~ 9-15	0611(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-10	立会調査	3296㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-9-20~ 9-21	0611(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-10	立会調査	55.1㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-10-2	0613(0)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-2	立会調査	10.5㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-10-2	0621	(国策南) プール附属等環境配慮改修(アスベスト処理)工事その2	立会調査	44㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-10-2 10-16 10-27 10-30 11-13	0622	(医務) 環境整備(西側駐車場等)工事	発掘調査	8,077.5㎡ (30,09㎡)	古代 土師器・灰土器・縄文土器	本報付録
06-10-10 10-12	0623	附属病院外灯取設その他の工事	立会調査	26.79㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-10-13	0624	附属病院設備管理棟アキウムレーザードレン管漏れ修理	立会調査	2.16㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-10-16	0625	(医務) 高弁・環境整備(外灯)工事	立会調査	296.4㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-10-19	0626	(医務) 高弁整備(ボイラー設備取替)工事	立会調査	106.7㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-10-25	0627	(大江工務) 雨水設備工事	立会調査	0.24㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-11-2	0628	医学部附属病院管理棟北新外灯設置工事	立会調査	2.8㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-11-17 11-27 12-4	0629	(本荘) 医学部附属学校社会改修電気設備工事	立会調査	228.4㎡	古代 土師器	年報13
06-11-20	0630	宮城県地区工学部造門門周改修	立会調査	15㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-11-30	0631	造門周防排水排水工事	立会調査	96.93㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-12-1	0632	学食島正門木補修	立会調査	3.36㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-12-15 12-18~ 12-25 12-27~ 12-28 07-14~ 1-9	0612(3)	(国策南) 工学部機械社会改修施設整備等事業-6	発掘調査	162.7㎡	古代 土師器・灰土器・動物骨	年報13
06-12-19	0633	平荘北地区南側駐車場歩道環境整備工事	立会調査	2943.79㎡	遺構・遺物なし	年報13
06-12-25	0634	(本荘) 医学部附属学校社会改修機械設備工事	立会調査	113.39㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-4-2	0635	附属養老学校ガス漏れ緊急立会	立会調査	13.65㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-1-10~ 1-11 1-19	0636	理学部4号館昇降機取替工事	発掘調査	30.35㎡	古代 土師器・灰土器・漆	年報13
07-1-30	0637	(本荘) 医学部附属学校社会改修工事	立会調査	341.2㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-2-1	0638	(宇津島) プール置き場取替工事	立会調査	35㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-2-20	0639	(本荘) 医学部附属学校社会CT増設工事	立会調査	4.35㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-2-26	0640	附属地北地区加命ガス漏れ調査	立会調査	1.52㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-3-1	0641	(本荘中) 医学部門周取替り填し工事	立会調査	52.42㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-3-6	0642	宇津島地区災害復旧工事	立会調査	134.82㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-3-8	0643	(国策南) 理学部取替り填し工事	立会調査	101.7㎡	古代 土師器	年報13
07-3-8	0644	(南地区) 西側周防改修工事	立会調査	55.28㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-3-12	0645	本荘南地区テニスコート建設給水管漏水工事	立会調査	763㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-3-20	0646	(医務) 環境整備(給水配管) 機械設備工事	立会調査	5.77㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-3-22	0647	(医務) 附属給排水設備改修工事	立会調査	25.7㎡	遺構・遺物なし	年報13
07-3-26	0648	(医務) 環境整備(山崎完全型外都改修)工事	立会調査	1.15㎡	遺構・遺物なし	年報13

3. これまでの調査と本資料録の追跡

2007年度						
07-4-10	0701	(政) 附属養正中学校改修工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-4-12	(本荘) 医学部附属看護学校工事	試掘調査	古 代		溝・柱穴・土器	年報14
07-4-13	0702	教育芸術館幼稚園側小川取込工事	立会調査	18.21㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-4-16 4-20	0703①	(高更南) 工学部施設改修施設整備等事業-6	立会調査	61㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-5-7~ 5-8	0704	(高更南) 新宮工事に伴う雨水排水工事	立会調査	446㎡	古 代 土師器・須恵器	年報14
07-6-7	(医病) 薬病棟改修工事	試掘調査				年報14
07-6-13	0705	(医病) 薬病棟改修に伴う配線設備工事(電気設備)	立会調査	7㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-6-19 6-21 6-22	0703②	(高更南) 工学部施設改修施設整備等事業-13	立会調査	492.2㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-6-20	0706	本荘南地区保健字庁通用整備	立会調査	17.8㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-6-20	(本荘) 本荘北地区総合文化センター工事	試掘調査			柱穴・土器	年報14
07-6-25	0703③	(高更南) 工学部施設改修施設整備等事業-13	立会調査	31.4㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-6-26 6-29 7-10 7-18~ 7-19	0707	(本荘) 医学部附属看護学校改修工事	立会調査	1,500㎡	障害物除去・一次掘削	年報14
07-6-28	0708	(高更北) 大教センター南側排水管つり修理	立会調査	1.5㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-6-29	0709	(本荘北) 施設改修地下取込工事	立会調査	43.5㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-7-3	0702②	(高更南) 工学部施設改修施設整備等事業-6、14	立会調査	36㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-7-4	0710	(京町) 教育芸術館附属小中学校施設改修工事(電気)	立会調査	40.9㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-7-9~ 7-10	0703④	(高更南) 工学部施設改修施設整備等事業-6	立会調査	58.75㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-7-17	0711	(医病) 薬病・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う電気設備)工事	立会調査	8.34㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-7-17	0703⑤-1	(高更南) 工学部施設改修施設整備等事業-13	立会調査	1,576.6㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-7-19	0703⑤-2	(高更南) 工学部施設改修施設整備等事業-13	立会調査	300.06㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-7-30~ 9-3	0707	(本荘) 医学部附属看護学校改修工事	発掘調査	1,500㎡	縄文・古代 聖穴住居址・水田遺構・ビッド 縄文時代石器・縄文土器・土師器・須恵器・鉄器	本報寄稿
07-8-7	0712	(医病) 薬病棟改修工事	立会調査	21㎡	一次掘削	本報付V
07-8-10	0713	医学部附属看護学校改修工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-8-22	0714	(高更南) 理学部1、2号館附属取込工事	立会調査	15.7㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-8-23	0715	(高更南) 工学部施設改修施設整備等事業-19	立会調査	210㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-8-27~ 10-25	0712	(医病) 薬病棟改修工事	発掘調査	509.29㎡	縄文・弥生 器・古代土器・須恵器・石 斧・古刀・古銭	本報付V
07-9-3	0716	本荘南地区駐車場出入口整備	立会調査	291.8㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-9-14 10-3	0717	(医病) 薬病・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う機械設備)工事	立会調査	49.4㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-9-25~ 9-27 10-2	0703⑥	(高更南) 工学部施設改修施設整備等事業-6、16	発掘調査	275.5㎡	古 代 住居址・ビッド・土師器・須恵器	年報14
07-9-27 10-1~ 10-2	0718	(大工) 医学部本館耐震改修工事	発掘調査	264.32㎡	古 代 溝・土師器	年報14
07-10-4 10-15~ 10-16 10-22 10-25	0719	(京町) 教育芸術館附属小中学校施設改修工事	立会調査	308.66㎡	弥生・古代 ビッド・弥生土器 土師器	本報付V
08-1-30~ 1-31 2-13	0720	華南岡南高等学校給水管補修工事	立会調査	2.5㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-10-26~ 11-28	0719	(京町) 教育芸術館附属小中学校施設改修工事	発掘調査	230.3㎡	弥生・古代 聖穴住居址・ビッド・溝・弥生土器・土師器・須恵器・打製石器	本報付V
07-12-3~ 12-4 12-6~ 12-7	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	立会調査	1,309.05㎡	弥生・古代 聖穴住居址・ビッド・弥生土器・土 器・近代 磁器・須恵器・遺銭・近代陶磁器	本報付V
08-1-18	0722	(高更) 工学部附属内部改修その他工事	立会調査	97㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-12-5 12-11	0723	(高更) 工学部附属内部改修電気設備工事	立会調査	14.1㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-12-7 12-10 12-12	0724	(本荘中) 医学部附属建築(C棟取り壊し)工事	立会調査	1,000㎡	古 代 土灰・ビッド・土師器	年報14
07-12-7 12-10	0725	(京町) 教育芸術館附属小・中学校施設改修電気設備工事	立会調査	90㎡	遺構・遺物なし	年報14
07-12-10 12-17~ 12-18 1-16~ 1-17	0703⑦-1	(高更南) 工学部施設改修施設整備等事業-6、18	立会調査	148.75㎡	古 代? ビッド	年報14
07-12-14~ 12-27	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	発掘調査	112.65㎡	弥生・古代 聖穴住居址・ビッド・近代土器・弥生土器・土師器・須恵器・遺銭・近代陶磁器	本報付

07-12-19	0726	医学部基礎研究北側明視所	立会調査	1㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-1-16~ 1-17	0703②	(浜島南) 工学部施設改修修繕施設整備等事業-20	立会調査	94.5㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-1-22	0727	(浜島北) 工学部第3館図書改修機材設備工事	立会調査	12㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-1-22	0728	(浜島北) 工学部第3館内部改修機材設備工事	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-1-23	0703②-2	(浜島南) 工学部施設改修修繕施設整備事業-6、18	立会調査	89㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-1-25	0703③	(浜島南) 工学部施設改修修繕施設整備事業-10	立会調査	2.04㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-1-29~ 1-30	0703③-3	(浜島南) 工学部施設改修修繕施設整備事業-6、18	立会調査	967㎡	古代 土師器	年報14
08-2-1 2-4	0703⑤-4	(浜島南) 工学部施設改修修繕施設整備事業-6、18	立会調査	53.02㎡	古代 土師器	年報14
08-2-14	0729	(浜島南) ボイラー等撤去工事	立会調査	36.8㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-2-25	0730	(浜島東) 教育学部附属特別支援学校附大用木撤去工事	立会調査	4㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-2-27	0731	(浜島南) 印刷センター改修	立会調査	11.25㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-2-29	0732	(本荘南) 印刷センター受電線増設工事	立会調査	12㎡	土師器	年報14
08-3-11 3-26	0733	(本荘南) 印刷センター受電線増設取付工事	立会調査	84㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-3-17	0734	(浜島北) 排水管路開口部フェンス設置工事	立会調査	50.2㎡		年報14
08-3-21	0735	(浜島北) 排水管路開口部フェンス用地下掘削工事後撤去工事	立会調査	4㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-3-21	0736	(大北北) 養学部講義用木撤去工事	立会調査	73.2㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-3-25	0737	(浜島北) ボイラー撤去工事	立会調査	20㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-3-27	0738	(本荘南) 医学部保健学記念館改修工事	立会調査	1.8㎡	遺跡・遺物なし	年報14
08-3-31	0739	(浜島北) 出稼注意灯設置工事	立会調査	10.13㎡	遺跡・遺物なし	年報14
2008年度						
08-4-2	0801	(浜島南) 印刷センター補修とこわし工工事 (追加)	立会調査	20㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-5-7	0802	附属中学校改修撤去工事	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-5-20	0803	養学部高専併合ガス管改修工事	立会調査	1.8㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-5-26	0804	(本荘北) 鼠橋地敷埋土工事	立会調査	11.1㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-6-5	0805	(浜島南) ボイラー室雨漏れ水管理水処理	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-6-6 6-19 6-23 6-26 7-4 7-10 7-18 7-28 8-25 12-1 12-8	0806	(浜島北) 南地区福利施設支障撤去工事	立会調査	306.66㎡	古代 土師器	年報15
08-6-20 6-25~ 7-1 7-28~ 7-30 12-4 12-18~ 12-19	0806	(浜島北) 南地区福利施設支障撤去工事	発掘調査	125.2㎡	古代 銅・ビツト・土師器・須恵器・近 代陶磁器・石器	年報15
08-6-9~ 6-10	0807	(本荘北) 医学部附属看護学舎風防設備工事	立会調査	20.7㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-6-18	0808	(浜島北) 有機系環境処理施設改修給水管漏水処理	立会調査	0.3㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-6-23 7-1 7-3~ 7-4 7-15~ 7-16	0809	(浜島南) 福利施設雨水排水工事 (追加)	立会調査/ 発掘調査	23.55㎡	古代 銅・住居土・土師器・石器	年報15
08-7-10	0810	宇留毛団地給水管補修工事	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-7-11	0811	(浜島南) 共同浴Ⅱ4階改修電気設備工事	立会調査	3.6㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-7-14	0812	(浜島南) 浴室排水改修工事	立会調査	41.1㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-7-15	0813	(本荘中) 医学部基礎研究南地区ガス配管漏水処理	立会調査	2.42㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-8-18	0814	(浜島南) 印刷センター改修工事	立会調査	8㎡	弥生 銅貨	年報15
08-8-20~ 8-22	0814	(浜島南) 印刷センター改修工事	発掘調査	212㎡	弥生・近世 弥生土師・石器・近世陶磁器	年報15
08-8-21	0815	(本荘南) こぼとけ印刷センター改修等撤去工事	立会調査	1㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-8-21	0816	(本荘中) 医学部基礎研究南地区水道配管漏水処理	立会調査	17.7㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-8-29	0817	宇留毛団地給水タンク管補修工事	立会調査	0.96㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-9-1	0818	(浜島北) ポンプ室雨漏れ水管理水処理	立会調査	2.1㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-9-9~ 9-10	0820	(浜島北) 文学部本部改修南地区排水設備撤去工事	立会調査	80.2㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-9-9	0821	本荘団地(北地区) 消火器保管庫改修ガス管修理	立会調査	7.4㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-10-6	0822	本荘南地区保健学舎排水設備改修	立会調査	3.0㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-10-9 10-10~ 11-28	0819	(浜島南) 体育館改修工事の撤去工事	一次発掘/ 発掘調査	691.95㎡	縄文・古代 縄文土師・石器・古墳時代土・土 師器・石器・人骨	年報15
08-10-10	0823	教育学部附属特別支援学校附属水田整備工事	立会調査	4.8㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-10-15	0824	(本荘南) 医学部附属学舎科学館改修工事	立会調査	0.8㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-10-28	0825	(浜島南) 電力工事負担金	立会調査	120.5㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-10-29	0826	(浜島南) 共同浴Ⅱ浴室3箇所水取替・修繕工事	立会調査	41.55㎡	遺跡・遺物なし	年報15
08-11-4	0827	五高南校120周年記念植樹	立会調査	0.25㎡	遺跡・遺物なし	年報15

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

08-11-6	0828	(本庄) こばと保存館改修電気設備工事	立会調査	107㎡		年報15
08-11-10	0829	(黒髮北) 学術館プレハブ倉庫改修機械設備工事	立会調査	25㎡		年報15
08-11-18 11-19~ 11-21 11-25	0830	(本庄) こばと保存館保管倉庫設備工事(変更①)	一次掘削/ 発掘調査/ 立会調査	20㎡	近 代	遺構・遺物なし 古代土師器・須恵器・石器 本報告書
08-11-18 11-20 12-24	0831	(渡良) 体育館改修改修機械設備工事	発掘調査	1133㎡		遺構・遺物なし 年報15
08-12-1	0832	文芸学館講義室北側給水栓水調査	立会調査	104㎡		遺構・遺物なし 年報15
08-12-3	0833	(黒髮北) 教育学部本館第4階床修繕工事	立会調査	1.4㎡		遺構・遺物なし 年報15
08-12-10	0834	(本庄中) 異用実業館新築工事(変更)	立会調査	14.13㎡		遺構・遺物なし 年報15
08-12-11 12-15~ 12-19	0835	(原前) 駅前新築機械設備(衛生)工事(変更)	一次掘削/ 発掘調査	860㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-1-13~ 2-19						遺構・遺物なし 年報15
08-12-22 12-24~ 12-25	0836	(黒髮北) 教育学部本館・文芸学館本館改修機械設備工事(変更その1、その2)	一次掘削/ 発掘調査	456.54㎡	古 代	遺・住居址・ピット・土師器・須 恵器・石器 年報15
09-1-5~ 2-27 3-10						
08-12-24	0837	五高岡校120周年記念植樹(追加)	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし 年報15
08-12-26	0838	(黒髮北) 教育学部本館改修増設機械設備工事	立会調査	60㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-1-20	0839	(黒髮南) 警署倉庫取壊工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-1-22	0840	(黒髮南) 南地区ボイラー室改修工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-2	0841	(黒髮南) ものづくり実習室Ⅱ新築に伴う支障撤去伐採・移	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-4	0842	(本庄) 医学部附属実用増設機械設備工事	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-5	0843	(黒髮北) ボイラー室改修工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし 年報15
08-2-12	0844	(黒髮北) 教育学部本館・文芸学館本館改修電気設備工事(変更)	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-12	0845	(黒髮南) 福祉施設改修工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-13	0846	(黒髮南) 福祉施設改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-13 0847-1 2-19 -2	0847	(黒髮北) 教育学部本館改修(変更)	立会調査	130.8㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-23~ 24 2-27 3-4~ 3-9 3-13	0848-1 -5	(黒髮北) 文芸学館本館改修(変更、変更その2)	立会調査	138.17㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-16	0849	黒髪植樹(北地区) 外灯増設その他工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-16	0850	(渡良) 体育館改修改修機械設備工事(追加)	発掘調査 (立会調査)	13.32㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-17	0851	(原前) 水漏れ改修工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-18	0852	(黒髮南) 排水ポンプ電気工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-18	0853	(黒髮南) ものづくり実習室Ⅱ新築電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-23	0847-3	(黒髮北) 教育学部本館改修(変更その2)	立会調査	244.6㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-24	0854	(黒髮北) 北地区ボイラー室改修工事	立会調査	12㎡		土師器・須恵器 年報15
09-2-26~ 3-12	0854	(黒髮北) 北地区ボイラー室改修工事	発掘調査	106㎡	古 代	ピット・型状住居址・遊水溝・ 土師器・土師器・須恵器・石製物 年報15
09-2-26	0855	(黒髮南) 印刷機センター改修電気設備工事	立会調査	23.85㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-2-27	0856	(黒髮南) ものづくり実習室Ⅱ新築工事	立会調査	60.99㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-3-3	0857	(黒髮南) 印刷機センタースロープ取設工事	立会調査	33.14㎡ 094.12㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-3-4~ 3-6 3-11	0858	(黒髮北) 教育学部本館改修作業機械工事	立会調査	117㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-3-6	0859	(黒髮南) 共用棟第3層改修機械設備工事	立会調査	3.6㎡ (0.32㎡)		遺構・遺物なし 年報15
09-3-6 3-13	0860	(黒髮北) ものづくり実習室Ⅱ新築機械設備工事	立会調査	115.54㎡ (17.74㎡)		遺構・遺物なし 年報15
09-3-9~ 3-11 3-17	0861	(黒髮北) 文芸学館本館改修作業機械工事	立会調査	326㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-3-9	0862	(黒髮南) 共用棟第3層改修電気設備工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-3-10~ 3-11	0863	(黒髮北) ボイラー室改修電気設備工事	立会調査	96.5㎡ (4.86㎡)		遺構・遺物なし 年報15
09-3-16 3-23	0864	(黒髮北) 環境整備(排水等)工事	立会調査	119.99㎡		住居址・ピット・土師器 年報15
09-3-17	0865	(黒髮南) 南地区ボイラー室増設外構工事	立会調査	203.76㎡ (1.12㎡)		遺構・遺物なし 年報15
09-3-23	0866	(黒髮北) 学舎館北側排水工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし 年報15
09-3-27	0867	(黒髮北) 北地区ボイラー室増設外構工事	立会調査	37.24㎡ (16.1㎡)		遺構・遺物なし 年報15
09-3-31	0868	(原前) コープリナー取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし 年報15

2009年度							
09-4-15 4-17	0901	(鳥取南) 西門改修舗装移設工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-4-20 4-22 4-24 4-27 4-30 5-1	0902	(鳥取南) 西門改修工事	立会調査	422㎡		内扉・扉組は撤去し黒色の漆を塗り足らざる遺構は撤去しそれ以外遺構・遺物なし	年報16
09-4-23	0903	(本荘中) 中地区構内カーブ工区取設工事	立会調査	1,19㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-5-8	0904	(宇智毛) 宇智毛留舎瓦葺屋根修繕工事	立会調査	16㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-5-8	0905	(鳥取南) 延岡水門改修工事	立会調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-5-27	0906	(大江) 漢字部作業フロントピアセンター新設その他工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-5-28	0907	(取南) 基幹整備(電話交換設備更新)工事 その1(変更)	立会調査	11.86㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-6-5	0908	(取南) 基幹整備(電話交換設備更新)工事 その2	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-6-4	0909	(大江) 漢字部副本伐採・移設工事	立会調査	10.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-6-11	0910	(鳥取北) ガス配管修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-7-3 7-22	0911	(大江) 漢字部作業フロントピアセンター新設その他電気設備工事	立会調査	3.24㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-7-6	0912	熊本大学留舎(東地区) インフラ整備	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-7-8	0913	(鳥取北) 非常用電源設備取付外給水設備水修理	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-7-8	0913	(鳥取北) 非常用電源設備取付外給水設備水修理	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-7-13	0914	(鳥取北) 竹野文庫学校校庭外給水設備水修理	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-7-28	0915	(宇智毛) 宇智毛留舎新舎電気設備工事(追加その5)	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-8-7	0916	(本荘中) 動物資源開発研究施設山陽留舎外配管水修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-8-10	0917	(本荘中) 動物資源開発研究施設山陽留舎外配管水修理	立会調査	0.44㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-9-4	0918	(鳥取北) 教育本部本館・文芸学部本館1期改修電気設備工事	立会調査	50.37㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-9-4	0919	(鳥取北) 文芸学部本館1期改修外構工事(変更)	立会調査	464.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-9-4 10-2-24	0920	(鳥取北) 文芸学部本館1期改修車庫外構工事	立会調査	3.36㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-9-28	0921	(鳥取北) 教育本部本館・文芸学部本館1期改修電気設備工事	立会調査	8.26㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-10-6	0922	(鳥取南) 工学部研究実験棟南窓A棟改修工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-10-13 10-27~ 10-30 11-12 11-13	0923	(取南) 京商棟新営機械設備(衛生)工事(変更)	立会調査/工区立会調査/免掘調査	①15.0㎡ ②15.0㎡ ③④一部 50㎡ ⑤3.5㎡	古 代	ビット・住居土師器・須恵器	年報16
09-10-19 10-23 10-27~30	0924	(取南) 京商棟新営機械設備(衛生)工事 追加その2	立会調査/免掘調査	工区 ①3.0㎡ ②54㎡ ③25.5㎡ ④15.0㎡ ⑤25.0㎡ ⑥25.0㎡	古 代	ビット	年報16
09-10-27~ 10-30 11-12 11-13 11-19 11-24~ 11-26 12-1 12-3	0925	(取南) 京商棟新営機械設備(衛生)工事 追加その1	立会調査/免掘調査	工区 ①15.0㎡ ②23.0㎡ ③27.2㎡ ④23.7㎡	古 代	ビット・住居土師器・高杯土師器・須恵器	年報16
09-10-13 10-28	0926	(取南) 基幹整備(自家発電設備更新)工事	立会調査	61㎡		土師器	年報16
09-10-20	0927	(鳥取南) プリ奥留舎取設工事	立会調査	9.19㎡		土師器	年報16
09-10-21	0928	(鳥取北) 教育学部本館・文芸学部本館1期改修機械設備工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-10-29	0929	(取南) 第6留舎スロープ取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-11-4	0930	(本荘中) 基礎研究棟北館プレハブ小規模改修工事	立会調査	0.0㎡		磁器	年報16
09-11-10 11-18	0931	(取南) 京商棟北館留舎水門等取設工事	立会調査	14㎡		A・C遺構・遺物なし 住居土師器・陶文陶土師器・古代土師器・須恵器	年報16
09-11-10 11-30~ 12-3 12-14	0932	(鳥取南) 動物資源開発研究施設南窓A棟改修工事	立会調査/免掘調査	免掘調査 0.08㎡ 外観工事 230.7㎡	古 代	住居土師器・須恵器 古代土師器	本報特掲
09-12-9	0933	(取南) 留舎小学校プール施設改修電気設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09-12-9	0934	(鳥取南) 動物資源開発研究施設南窓A棟改修電気設備工事	立会調査	14.64㎡		遺構・遺物なし	年報16
10-1-7 1-12 1-19 1-28 2-2	0935	(鳥取北) 存留改修電気設備工事	立会調査/免掘調査	423.21㎡	古 代・近代	ビット 土師器・須恵器・磁器	本報特掲
10-1-12	0936	(取南) 前こばと停留所駐車場整備	立会調査	12㎡		須恵器	年報16

3. これまでの調査と本書収録の道筋

10-1-13 2-23	0937	(国見山) 旧国見川工部分室改修機械設備工事	立会調査	56㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-1-14 2-17~ 2-19	0938	(国見山) エコロジーシステム実験室築造工事	立会調査/ 発掘調査	10㎡	縄文 溝・土器 縄文土器・舟形土器	本報付録
10-1-15	0939	(国見北) 教育学部本館2期改修両側外壁工事	立会調査	12㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-1-26	0940	(国見南) 生物生態環境学管理研究室改修工事	立会調査	1㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-1-29	0941	(国見北) 体育館外階段改修工事	立会調査	1㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-1-29	0942	(国見北) 体育館外配水改修工事	立会調査	1㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-2-2	0943	(国見南) 旧国見川工部分室外壁工事	立会調査	7㎡	V字溝遺跡(溝?)	年報16
10-2-6	0944	(国見北) 教育学部本館2期改修両側外壁工事	立会調査	1㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-2-8	0945	(国見北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事(前期)	立会調査	3㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-2-8	0946	(国見北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事(後期)	立会調査	7.2㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-2-12	0947	(大正) 理学部農産学外灯工事	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-2-15	0948	(国見北) 教育学部家庭科実践設備機具・新設機工事	立会調査	45㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-2-15	0949	(国見北) 教育学部家庭科外壁工事	立会調査	0.5㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-2-15	0950	(国見北) 教育学部家庭科改修機械設備工事	立会調査	4㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-2-15	0951	(国見北) 教育学部家庭科改修電気設備工事	立会調査	0.5㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-2-22	0952	(国見南) 生物生態環境学管理研究室両側機械設備工事	立会調査	1.5㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-2-22	0953	(国見南) 生物生態環境学管理研究室両側電気設備工事	立会調査	1㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-1	0954	(国見南) 環境費庫(自転車庫)工事	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-1	0955	(国見南) 環境費庫取捨等外灯改修工事	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-2	0956	(平成中) ガイラー電気室改修工事の撤去工事	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-3	0957	(大正北) 奉天館外階段取捨工事	立会調査	3㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-4	0958	(国見東) 教育学部附属特別支援学校小学校部器具設置工事	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-4	0959	(国見北) 教育学部本館1号配水工・通給水配管工事	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-5	0960	(平成北) 医学部部給湯機取捨工事	立会調査	17㎡	遺跡・土器なし。計画変更により掘 り・遺物なし	年報16
10-3-6	0961	(国見南) 講義倉庫2取捨工事	立会調査	0.83㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-6	0962	(国見南) 大正館自然科學研究実験棟機械排水工実驗室 改修電気設備工事	立会調査	0.7㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-10	0963	(京研) 附属中学校校舎南側排水改修工事	立会調査	0.63㎡	弥生 ビット・団い窪み 弥生時代(遺物)・土器	年報16
10-3-11	0964	(国見北) 体育館改修電気設備工事(電柱撤去)	立会調査	1.2㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-11	0965	(国見北) 文法学部本館給湯機撤去工事	立会調査	0.6㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-12	0966	(国見北) 保健センター前国外排水取捨工事	立会調査	0.48㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-15	0967	(国見南) 事務局旧客用エレベーター改修工事	立会調査	23.1㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-16	0968	(国見北) 共用棟引込ガス管合流部土留設改修工事	立会調査	37.6㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-19	0969	(国見南) ソフトニュースト土木工事	立会調査	0.21㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-23	0970	(京研) 附属中学校校舎南側客用エレベーター内部修繕工事	立会調査	0.12㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-23	0971	(国見北) 文法学部古美術室改修工事	立会調査	1.8㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-26	0972	(平成南) 保健学館1号給湯機取捨工事	立会調査	8.7㎡	遺跡・遺物なし	年報16
10-3-26	0973	(大江北) 理学部部給湯機取捨工事	立会調査	0.34㎡	遺跡・遺物なし	年報16
2019年度						
10-4-6	1001	(平成中) ガスマーク目録ガス配管調査調査	立会調査	29㎡	遺跡・遺物なし	年報17
10-6-25 9-1	1002	(国見北) 文法学部本館南側プレス設置機工事	立会調査	22㎡ 0.18㎡	遺跡・遺物なし	年報17
10-6-30	1003	(国見南) 生物生態環境学管理研究室改修工事	立会調査	0.18㎡	遺跡・遺物なし	年報17
10-8-4	1004	(国見北) 守衛室シャワー室改修工事	立会調査	11.04㎡	遺跡・遺物なし	年報17
10-8-9	1005	(京研) 附属小学校給排水改修工事	立会調査	17㎡	遺跡・遺物なし	年報17
10-8-10 9-3 9-6~10 11-3~4	1006	(国見北) 文法学部本館前期改修外壁工事	立会調査/ 発掘調査	121.68㎡	古代 ビット・住居址・竪穴土 土器・須石	年報17
10-8-10 9-3	1007	(国見北) 教育学部本館・文法学部本館前期改修機械設備工事	立会調査	48.2㎡	遺跡・遺物なし	年報17
10-8-11	1008	(国見北) 高圧配電等改修工事	立会調査	13㎡	遺跡・遺物なし	年報17
10-9-1	1009	(国見北) 教育学部本館・文法学部本館前期改修電気設備工事	立会調査/ 発掘調査	1.6㎡	古代 ビット・遺物なし	年報17
10-9-15	1010	(城東) 附属幼稚園運動場ガス漏れ修理	立会調査	2㎡	遺跡・遺物なし	年報17
10-9-24	1011	(国見南) 理学部1・2号館中庭植栽	立会調査	2.3㎡	遺跡・遺物なし	年報17
10-10-4 10-5 10-7	1012	(国見北) 教育学部本館・文法学部本館前期改修機械設備工事	立会調査	67.7㎡	遺跡なし 土器跡	年報17
10-10-4 10-5 10-7	1013	(国見北) 教育学部本館前期改修等工事	立会調査	85㎡	遺跡・遺物なし	年報17
10-11-10 11-11	1014	(国見北) 教育学部本館前期改修電気設備工事	立会調査	91.83㎡	遺跡・遺物なし	年報17

10・10・25 11・2・1 2・10 2・15 2・22 2・25 11・3・2 3・3	1015	(国見北) 教育学部本館日窓改修外構工事	立会調査	2101.01㎡	遺構・遺物なし	年報17
10・10・7	1016	(国見北) 教育学部浄化槽等撤去工事	立会調査	96.46㎡	遺構・遺物なし	年報17
10・12・6	1017	(本荘南) テニスコート敷設工事	立会調査	0.25㎡	遺構・遺物なし	年報17
10・12・20	1018	(国見北) 五高記念館南水栓工工事	立会調査	4㎡	遺構なし 瓦葺き・土師器片	年報17
10・12・20	1019	(国見北) 五高記念館南新着舎工事	立会調査	5㎡	遺構・遺物なし	年報17
10・12・27	1020	(本荘南) テニスコート敷設工事(追加)	立会調査	0.51㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1021	(国見北) 五高記念館南新着舎電気設備工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1022	(国見北) 五高記念館南新着舎機械設備工事	立会調査	202㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1023	(国見南) 西陣改修工事	立会調査	6.95㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・2・4	1024	(本荘北) コープミラー取設工事	立会調査	0.25㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・2・24 2・25	1025	(本荘中) 医学部基礎研究棟とこわし支障配管林工事	立会調査	17.55㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・3・2	1026	(国見北) 教育学部本館北加藤水栓撤去工事	立会調査	10.3㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・3・9	1027	(国見北) 北地区門前所太陽光発電設備設置工事	立会調査	9.6㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・3・10	1028	(国見北) 教育学部本館正屋入口前の大管理棟	立会調査	2.7㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・3・16 11・3・22	1029	(本荘北) 学生寮並とこわし工事	立会調査	3㎡ 0.75㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・3・17	1030	(国見南) 環境整備(給排水等)工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし	年報17
11・3・23	1031	(国見北) 教育学部本館西側・文学部本館北加藤水栓撤去 工事	立会調査	305.7㎡	遺構・遺物なし	年報17
2011年度						
11・4・18 4・19	1101	(国見南) 卒業給水引込管改修工事	立会調査	12㎡	遺構・遺物なし	年報18
11・5・30	1102	(本荘中) 医学部基礎研究棟A棟とこわし支障配管林工事	立会調査	42㎡ 0.24㎡	遺構・遺物なし	年報18
11・6・17	1103	(国見南) 創本館敷設工事	立会調査	4.6㎡	遺構・遺物なし	年報18
11・4・6 6・21~ 9・22	1104	(本荘北) 臨海医学教育研究センター(仮称)整備事業	立会調査/ 発掘調査	6.6㎡ 31.2㎡ 免掘 503.9㎡	古代・近代 住居址・墓塚・ピット 土師器・須恵器・人骨・鏡銭・瓦 瓦子・瓦葺	年報18 本書
11・6・22	1105	(国見南) 環境文化財調査史跡水栓改修工事	立会調査	35㎡	遺構・遺物なし	年報18
11・6・24 10・17~ 10・19 11・1 11・4 11・10 11・21 11・24~ 11・25 11・28 12・9 12・12~ 12・14	1106	(本荘中) 医学部基礎研究棟(A棟)とこわし工事	立会調査/ 発掘調査	1056.01㎡	古墳・古代 土師・ピット 土師器片・須恵器	年報18 本書
11・7・5	1107	(医病) 中庭掘削工事	立会調査	8.9㎡	遺構・遺物なし	年報18
11・7・11	1108	(国見北) 障害者雇用施設改修工事	立会調査	71.3㎡ 0.4㎡	遺構・遺物なし	年報18
11・7・11 8・1 8・5	1109	(国見北) 障害者雇用施設改修機械設備工事	立会調査	30.7㎡	遺構・遺物なし	年報18
11・7・26	1110	(国見北) 五高記念館南跡ホシアワリ被害支住緊急取替工事	立会調査	3.53㎡	遺構・遺物なし	年報18
11・8・18	1111	(国見南館) 自然科学研究科研究棟・理学部研究棟自治体施設 改修補修工事	立会調査	0.46㎡ 15.2㎡	遺構・遺物なし	年報18
11・9・21 9・22 9・29 10・4 10・11 10・29~ 10・28 10・31	1112	(医病) 高特・環境整備(第6病棟等支障配管・配管替人) 機械設備工事	立会調査/ 発掘調査	500㎡	古墳・古代 墓穴住居址・溝・ピット 土師器・須恵器	年報18 本書
11・9・21	1113	(医病) 高特・環境整備(第6病棟等支障配管・配管替人) 工事	立会調査/ 発掘調査	264.83㎡	1112調査地点と同様	年報18 本書
11・10・11~ 10・13 10・17 10・18 11・1 11・11	1114	(医病) 高特・環境整備(第6病棟等支障配管・配管替人) 機械設備工事その2	立会調査/ 発掘調査	184.81㎡	古代・近代 住居址?・溝・ピット 遺物なし	年報18 本書
11・9・20	1115	(国見北) ラグビー場機械水栓補修工事	立会調査	2.3㎡	遺構・遺物なし	年報18
11・10・24~ 10・27	1116	(国見北) 文学部基礎研究棟増築等改修工事	立会調査/ 発掘調査	20㎡	古代 墓穴住居址?・ピット 古代土師器・須恵器	年報18 本書

3. これまでの調査と本宮収蔵の遺跡

11-10-24~ 10-25 12-12 12-1-27	1117 (本荘中) 医学部基礎研究室とこわしに伴う中庭整備	立会調査	491.7㎡	遺跡なし 土師器片	年報18
11-11-15	1118 (大江) 電柱支線撤去及び支柱新設	立会調査	0.42㎡	遺跡・遺物なし	年報18
11-11-22 12-14 12-1-17~ 1-18	1119 (医病) 基幹・環境整備 (旧中央診療棟等とこわしに伴う支障箇本修繕等) 工事	立会調査	407㎡	遺跡・遺物なし	年報18
11-11-24~ 11-25	1120 (医病) 基幹・環境整備 (第6病棟北側平場部とこわし) 工事	立会調査	728㎡	遺跡・遺物なし	年報18
11-11-26~ 12-6-4	1121 (別院南) 基幹・環境整備 (用外排水設備等) 工事	立会調査/ 発掘調査	7748.6㎡	縄文・弥生中期・古代・中世前期 古瓦代簡 住居地?・土境・溝・遺跡遺構・ビッド・土坑状遺構・地坑(竈) 甕棺・縄文土器片・土師器片・須恵器片・四角・丸罎石チップ・須恵石片・地味石器(磨石?)	年報18 本音
11-12-5 12-2-3	1122 (医病) 基幹・環境整備 (血液透析管理室とこわし) 工事	立会調査	165.5㎡	遺跡・遺物なし	年報18
11-12-5 12-2-3	1123 (医病) 基幹・環境整備 (中庭支障箇本修繕) 工事	立会調査	21.6㎡	遺跡・遺物なし	年報18
11-12-9 11-12-19 12-20	1124 (別院北) 北地区長安域外給水配管工事	立会調査	1.51㎡	遺跡・遺物なし	年報18
11-12-19 12-20	1125 (大江北) 北門周辺埋地整備 (舗装・外灯) 工事	立会調査/ 発掘調査	8.37㎡	古代 遺	年報18 本音
11-12-19 12-1-12	1126 (大江北) 北門周辺埋地整備 (道路等) 工事	立会調査	4.77㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-1-12	1127 (医病) 設備管理棟ボイラー室ドレン配管地改修工事	立会調査	8.1㎡	遺跡なし 土師器片	年報18
12-1-16	1128 (別院北) 北地区食堂・探検センター西側ガス配管修理	立会調査	5.22㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-1-17~ 1-18 1-20 2-3 2-6~7 2-18~ 2-17 2-20~ 2-21 2-27	1129 (医病) 基幹・環境整備 (旧中央診療棟とこわし) 工事	立会調査/ 発掘調査	716.0㎡	古墳・古代 遺・土坑・ビッド 古代土師器・須恵器・石製品	年報18 本音
11-12-9 12-12~ 12-14 12-1-24 1-26~ 1-27 2-8, 13	1130 (本荘中) 医学部基礎研究室 (旧F棟) とこわし工事	立会調査/ 発掘調査	1109.6㎡	中世以降 遺・土境・ビッド 土師器片・甕物骨	年報18 本音
12-1-25 12-1-31 2-1 2-6	1131 (別院南) 環境整備 (法面保護) 工事	立会調査	4.3㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-1-31 2-1 2-6	1132 (医病) 基幹・環境整備 (渡り廊下とこわし) 工事	立会調査	11.6㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-2-8 12-2-16~2-17 2-21	1133 (本荘中) 医学部副都庁ライオン改修機設備工事	立会調査	46.5㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-2-16	1134 (別院南) 理学部副都庁整備その他工事 (その1)	立会調査	747㎡	住居地もしくは溝と思われる遺構 プラン 遺物なし	年報18
12-2-16	1135 (別院南) 理学部副都庁整備その他工事 (その2)	立会調査	1㎡ (1285㎡)	遺跡・遺物なし	年報18
12-2-16 2-20~2-21	1136 (別院南) 理学部副都庁整備その他工事 (その3)	立会調査	60.8㎡	住居地水溝? 土師器片・須恵器片	年報18
12-2-20 12-2-27	1137 (別院南) 理学部副都庁スロープ取設工事	立会調査	115.0㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-2-27	1138 (中野毛) 建物名表示看板設置	立会調査	0.49㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-2-27	1139 (別院北) 施設名称サイン設置工事	立会調査	0.63㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-2-28	1140 (別院) 環境整備 (法面整備等) 工事	立会調査	1.8㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-2-28	1141 (別院) 環境整備 (法面整備等) 工事	立会調査	2.0㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-3-7	1142 (大江) 基幹用植物園材持帰架設工事	立会調査	1.6㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-3-12	1143 (本荘中) ガス供給施設改修	立会調査	24.8㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-3-14	1144 (本荘中) エイズ学習センター、生命救急研究・支援センター、動物資源開発研究施設新築 実験排水配管設置り付工事	立会調査	7.5㎡	遺跡・遺物なし	年報18
12-3-36~3-27 4-2 4-4 8-21~8-23	1145 (医病) 基幹・環境整備 (第6病棟とこわし) 工事	立会調査/ 発掘調査	427.20㎡	古代・中世 以降 遺・土境・ビッド 土師器片・甕の破片・須恵器片	年報18

II 黒髪北地区の調査

1. 資料館改修工事に伴う発掘調査（電気工事）（0603調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本地点は黒髪北地区の中央部に位置する。本工事は、国指定重要文化財に指定されている五高資料館（現五高記念館）の改修工事に伴い、資料館の北に位置する法文学部棟から電気配線を行い、また空調機の室外機設置、室外機周囲の植栽を行うものである。黒髪北地区は、1994年に福利厚生施設建設に伴う発掘調査（9407調査地点）以後、校舎等の建物建築や本格的なライフラインの整備などの実施がなく、埋蔵文化財の発掘調査事例も多くない。五高資料館南側（正面玄関側）の外灯設置工事の際に立会調査（0218調査地点）を行った結果、遺存状態が良好な古代の遺物包含層および住居址（一部）を確認しており、五高資料館集周辺は、開発等の影響も少なく遺跡の遺存状態は良好であると予想された。このため本事業では発掘調査に切替わる事を想定し、調査準備を整えて立会調査を実施した。この結果、法文学部棟と五高資料館との間の道路横断部分において、遺物包含層・遺構面を検出し、遺構を確認した。法文学部棟から道路までの緑地帯では地表下0.6mまでの掘削であったが、盛り土が施されており埋土内に取まった。包含層・遺構・遺物の検出はない。また、五高資料館周辺においては、地表下0.4mで包含層が確認された。これらの部分では、地表下0.8mまで掘削する予定であったが工事設計を変更し、0.6mまでの掘削となった。このため、包含層上面を精査したのち地表下0.6mまで包含層を掘削した。遺構面には達せず、包含層内で掘削は収まり、現状保存としてこのまま施工とした。

b. 調査の経過

2006年4月11日 立会調査実施、発掘調査に切り替え。

遺構検出・掘削、測量・写真等記録作業を実施、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：小畑弘己・大坪志子

事務担当：中川木綿子

発掘作業員：森川征子・森川歳

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・西水直子・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・長谷智子・増井弘子・山岸早苗

（2）調査区の基本層序

道路横断部分においては、地表下0.6mで包含層を検出し、地表下0.7mで遺構面を検出した。

（3）検出遺構

<溝>

1号溝状遺構（図3）

幅0.9mで南北に掘削した調査区北側を横断する。幅は0.3～0.5m、深さは最も深いところで約0.4mである。ピットの集合のような形状をしており、幅や深さは一定しておらず不整形である。土壌による相異は確認できなかったが、時期が異なる溝とピットが重複（切り合う）している可能性もある。

1. 資料館改修工事に伴う発掘調査（電気工事）(0603調査地点)

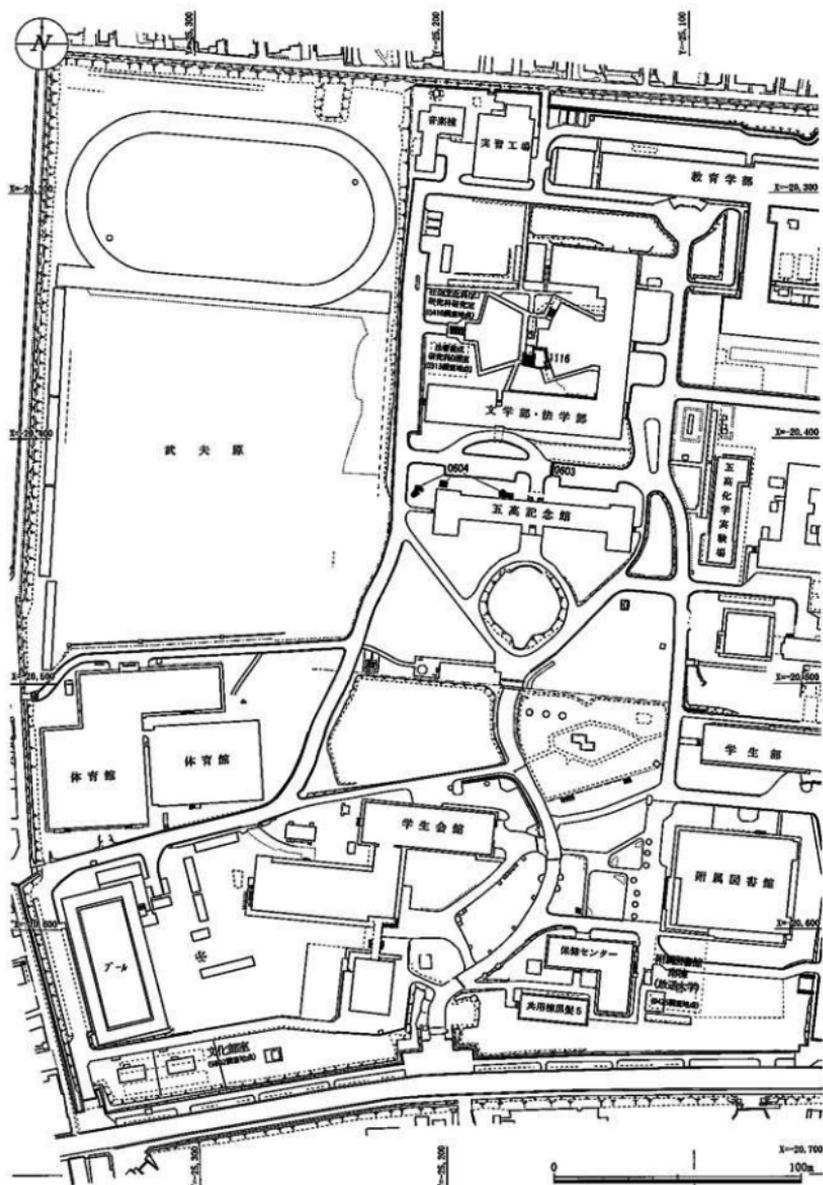


図2 黒髪北地区西半における調査地点配置図（1/2000）

<ピット>

2～4号ピット

調査区に中央で3個のピットを検出した。直径はそれぞれ0.4m、0.26m、0.56m、深さはそれぞれ約3cm、7cm、30cmである。掘立柱建物の柱穴となるような配置はみられない。

(4) 出土遺物 (図4)

出土遺物としては古代の土師器・須恵器が数点出土した。1・4～6・8は道路部分の包含層から、2・3・7は資料館側緑地帯部分からの出土である。1・2は土師器坏の底部と口縁部である。2は内外面ともに丹塗りで、また外面には沈線が3条廻る。3は須恵器蓋か、直径が27cm程度と大きい。4～6は須恵器坏、7は須恵器の長頸壺の口頸部であろう。8は須恵器の甕胴部片である。坏等は8世紀後葉～9世紀前葉の時期と考えられる。

(5) まとめ

本地点での発掘調査は、調査区が非常に狭長であり、遺構や遺物について得られた情報も断片的なものであった。しかしながら、五高資料館周辺の遺跡の遺存状態が良好であることを再度確認出来たことは、今後の事業計画には有用な情報である。遺構群と膨大な遺物の出土から、黒髪北地区における遺跡の中心の一つは9704調査地点周辺と考えられ、また0425調査地点でも古墳時代から古代にかけての集落が確認されている。これらの地点から200mほど西に離れた0603地点でも遺構が確認され、また0218調査地点の住居址確認の事例もあわせると、遺跡の範囲は広範に及ぶと想定される。黒髪南地区や本荘中地区における調査成果では、古代を中心とする集落の場合は、遺構の分布は限定的である。遺構分布が集中する範囲と疎となる範囲とがある。黒髪北地区における遺構の疎密や分布状況、特に西側については、今後調査を重ね情報を得ながら検討していかねばならない課題である。

遺物包含層及び遺構検出面については、五高記念館南側ではそれぞれ地表下0.6mで包含層、地表下1.2mで遺構面を検出している。今回の0603調査地点では、包含層は地表下0.4から0.6m、遺構面は0.7mでの検出であった。本調査地点では遺構面は0.5m程度高くなっている。包含層の厚さも考慮すれば、五高記念館北側周辺は包含層を削平して整地されたと考えられる。黒髪北地区は南から北へ向かって構内の地表は徐々に高くなっており、南地区がほぼ水平に整地されている状況とは対比的である。北地区には白川から立田山に向かっていくつかの段丘が存在すると考えられる。資料館の南60m付近にある段差は段丘崖のひとつであろう。現在の構内の状態に整地する以前は、かなりの勾配があった斜面地と推察され、切り土及び盛り土による地形改変も大きいと思われる。このようなことから、黒髪北地区での調査においては、南地区以上に文化層に達する深さが、多様に変化することに留意する必要がある。

1. 資料館改修工事に伴う発掘調査（電気工事）(0603調査地点)

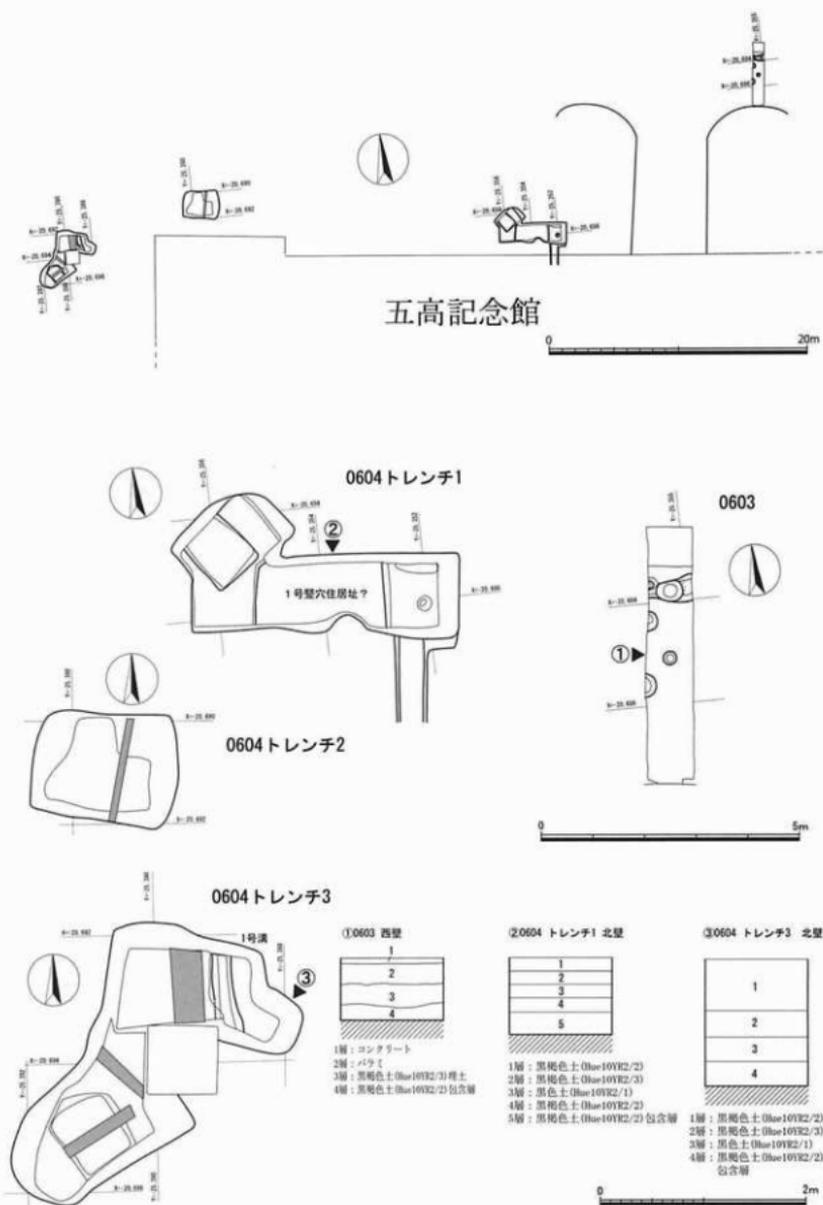


図3 0603・0604調査地点位置図・遺構配置図・基本土層柱状模式図 (1/400・1/100・1/50)

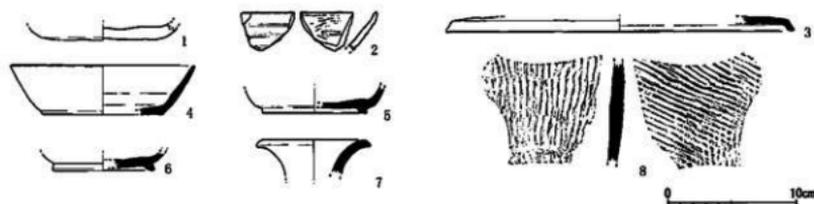


図4 0603調査地点出土遺物実測図(1/4)

表3 0603調査地点出土遺物一覽表

品	番号	遺物	種類(器種)	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	特徴	色 調	出土状態	備 考
4	1	土師器	坏	口径 底径 7.8 器高	底径1/3		内：同軸ナデ 外：同軸ナデ	内：Hue 10YR7/3 外：Hue 7.5YR7/3	道徳部包み箱	
	2	土師器	坏	口径 底径 器高	口径部ナ		内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 2.5YR6/4 10YR7/3 外：Hue 2.5YR6/4 10YR7/3	電気資料館蔵	北城3条あり 赤彩
	3	土師器	皿	口径 27.0 底径 器高	口径1/10		内：同軸ナデ 外：同軸ナデ	内：Hue N7/0 外：Hue N6.0-7/0	電気資料館蔵	
	4	土師器	坏	口径 14.2 底径 9.2 器高 3.9	口径1/12 底1/9		内：同軸ナデ 外：同軸ナデ	内：Hue N7/0 外：Hue N7/0	道徳部包み箱	
	5	土師器	碗	口径 底径 8.2 器高	1/4弱		内：同軸ナデ 外：同軸ナデ、割り	内：Hue N5.0 外：Hue N6.0	道徳部包み箱	
	6	土師器	碗	口径 底径 7.8 器高	底径1/4弱		内：同軸ナデ、ナデ 外：ナデ、割り	内：Hue 10YR5/2 外：Hue 2.5Y6/2	道徳部包み箱	
	7	土師器	豆	口径 10.8 底径 器高	口径1/8		内：同軸ナデ 外：同軸ナデ	内：Hue N5.0-6.0 外：Hue N5.0-6.0	電気資料館蔵	
	8	土師器	壺	口径 底径 器高	胴部ナ		内：ツツキ 外：ツツキ	内：Hue 7.5YR6/1 外：Hue 2.5YR5/1- 2.5YR5/4	道徳部包み箱	内面平行の片貝痕、外面平行のツツキ 一部交差し矢羽状

2. 資料館改修工事に伴う発掘調査（屋外工事）（0604調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

0603調査地点と同様、五高資料館（現五高記念館）の改修工事に伴い、資料館の北側に排水柵を設置する工事である。0603調査地点の調査と併せて実施した。本書では、一連の工事のうち包含層または遺構面を検出した箇所について報告する。

資料館北側に広がる緑地帯の西半部分において、排水柵を設置するために掘削したところ3箇所では包含層を確認、2箇所では遺構面を検出した。住居址と思われるプランとピットを確認し、遺物が数点出土した。

b. 調査の経過

2006年4月11日 立会調査実施、発掘調査に切り替え。遺構検出・掘削。

2006年4月12日 測量・写真等記録を実施、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：小畑弘己・大坪志子

事務担当：中川木綿子

発掘作業員：小細工洋子・溜淵俊子・早田咲百合・森川征子・森川護

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・酒水直子・首藤優子・末吉美紀・溜淵俊子・長谷智子・増井弘子・山崎早苗

（2）調査区の基本層序

トレンチ1では地表下約0.5mで包含層を検出した。0603調査地点とはほぼ同様である。トレンチ2では地表下1.0～1.2mで包含層を検出した。トレンチ2は、工事による掘削が1.2mまでであったためこれ以上の掘削を行わず、遺構面には達していない。現状保存としている。トレンチ3では、地表下1.0mで包含層を検出し、1.2m程度で遺構面を検出した。

（3）検出遺構

検出した遺構は、住居址と思われる浅い掘り込み一つ、溝状遺構1条、ピット1個である。

<住居址状遺構>

1号竪穴住居址（図3）

トレンチ1の東端に位置する。トレンチ中央やや東で南北に住居址と思われるプランを検出したため、掘削を行った。深さは約0.2mである。大半は調査区外であるため、全容は不明である。

<ピット>

トレンチ1の東側、1号竪穴住居址内で直径0.3mのピットを一つ検出した。1号竪穴住居址に伴う柱穴であるかは、不明である。

<溝状遺構>

トレンチ3では、既設柵から伸びるヒューム管の下に南北に伸びる細い溝状遺構を検出した。西側

の肩は、配管工事の際に削平を受けている。現況では幅0.4m、深さ0.3～0.4mである。

(4) 出土遺物 (図5)

出土遺物は古代土師器・須恵器が数点出土している。1～3は土師器坏である。1は丹がかけられている。7世紀中葉～後半の時期か。3は底部外面に墨書があるが、字は判読不明である。4は須恵器皿、5は土師器甕、6は須恵器甕の口頸部である。8は須恵器の甕胴部片である。これらは8世紀末・9世紀初頭～前葉の時期と思われる。7・8はトレンチ2の包含層出土である。7は須恵器碗で8世紀後半か、8は須恵器甕（横瓶か）で9世紀前葉の頃の所産と思われる。9は土師器の小皿である。攪乱からの出土である。

(5) まとめ

本地点での発掘調査の成果は、0603調査地点とほぼ同様であるが、トレンチ間での包含層・遺構面の検出レベルの違いは注目される。トレンチ1における包含層の検出レベルは地表下0.5mで、0603調査地点では0.4m、道路部分では0.6mと大きな違いはなく、若干包含層が削平されたものと理解される。遺構面の検出レベルも地表下約0.7m前後で0603調査地点と同様である。ところが、トレンチ2は地表下1.2mまではまだ包含層であり、遺構内でなければ遺構面が低くなっていると思われる。トレンチ3では、やはり地表下1.0mで包含層、地表下1.24m前後で遺構面である。以上から、包含層及び遺構面は西側に向かって傾斜している可能性がある。黒髪北地区を東西に横切るかたちで段丘がいくつか存在し、キャンパスは階段状と言える。0604調査地点の結果は、同じ段丘面上と考えやすい東西方向での文化層検出レベルの変化に対し、注意を促す成果である。段丘の形状、範囲、立地する道路の同異などの解明が、今後の調査に期待される。

2. 資料館改修工事に伴う発掘調査（国外工事）（0604調査地点）

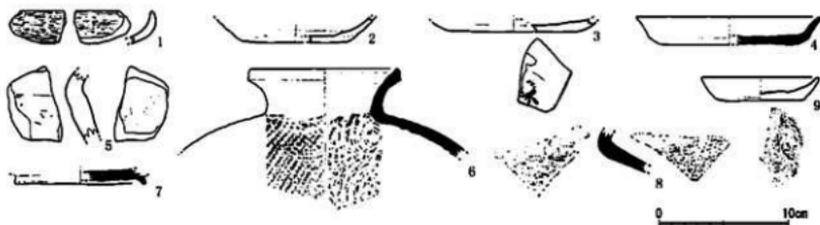


図5 0604調査地点出土遺物実測図（1/4）

表4 0604調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法線 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺積	備 考
5	1	土師器	杯	11径 底径 器高	11径～ 胴部片	内：滑き 外：滑り、滑き	内：Iha-25YR5-6 外：Iha-25YR5-6	トレンチ1 包含層	水野
	2	土師器	杯	11径 底径 8.2 器高	底部 1-6	内：同軸十字、滑き 外：同軸十字、滑り	内：Iha-25YR7-6 外：Iha-7.5YR6-4	トレンチ1 包含層	
	3	土師器	杯	11径 底径 9.6 器高	底部 約1/4	内：同軸十字、滑き 外：滑り、滑き	内：Iha-5YR6-4 外：Iha-10YR7-3	トレンチ1 包含層	器身「尾」か?
	4	黒塗器	皿	11径 14.4 底径 10.8 器高 2.2	約1/6	内：同軸十字 外：同軸十字	内：Iha-10YR7-1 外：Iha-10YR7-1	トレンチ1 包含層	
	5	土師器	甕	11径 底径 器高	胴部片	内：同軸十字、滑り 外：同軸十字、ハケ目	内：Iha-10YR6-2 外：Iha-10YR6-2	トレンチ1 包含層	
	6	黒塗器	甕	11径 11.9 底径 器高	11径～ 胴部片	内：同軸十字、ツツキ 外：同軸十字、滑り、 ツツキ	内：Iha-7.5YR6-3 外：Iha-7.5YR6-3	トレンチ1 包含層	外面に自然物あり
	7	黒塗器	碗	11径 底径 10.0 器高	底部 約1/8	内：同軸十字 外：同軸十字	内：Iha-5Y7-2 外：Iha-5Y7-2	トレンチ2 包含層	
	8	黒塗器	甕	11径 底径 器高	胴部片	内：同軸十字、ツツキ 外：同軸十字、ツツキ	内：Iha-25Y6-1 外：Iha-10YR5-1	トレンチ2 包含層	
	9	土師器	小皿	11径 底径 6.8 器高	約1/3	内：同軸十字 外：同軸十字	内：Iha-7.5YR7-6 外：Iha-5YR6-6	トレンチ1 埋込・埋土	底面剥離あり

3. 文学部講義棟便所増築等改修工事に伴う発掘調査 (1116)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査区は、西側が開いたコの字状の文学部・法学部棟の中庭にある、文学部・法学部講義棟の南側に位置する。文学部・法学部講義棟の既存の便所を増築する工事のため、拡張部の立会調査を実施した。近辺では渡り廊下の屋根設置、雨水枿設置工事などの工事を行っているが、いずれも既存の建物沿いで掘り方内に収まるものや、掘削深度が浅く埋土内で収まり、包含層や遺構面に達した事例はほとんどない。北西に位置する社会文化科学研究科研修室建設の際の試掘では、地表下1mに厚さ80cmの包含層、地表下2.2～2.4mで地山（遺構面）を確認しており、同様の深さで文化層を検出することが予想された。立会調査の結果、地表下0.9～1.0mで包含層を検出したため、発掘調査に切り替えることとした。一部で包含層の厚さ・遺構面までの深さを確認したところ、包含層が70cm近くあった。このため、一端包含層上面を精査し、遺構が無いことを確認のうえ、遺物に注意しながら重機により包含層をある程度除去し、人力に切り替えた。

調査区の西側、壁から1.5m程度の範囲に包含層の広がりが出されたため、1号住居址として慎重に掘り下げたが、明確な住居址とはならなかったがその中で、西壁下で堅穴住居址が検出された。北側の既存便所に隣接する部分では、幅1.0m幅で包含層が東西に溝状に入っていた。当初は溝かと思われたが、隣接建物の基礎との関係を精査した結果、全面が基礎の埋め戻し土であることが判明した。調査区北東部の北へ細長く伸びる部分は、掘削が深くなかったため調査は実施せず保存とした。恐らく、この範囲は既存建物の掘り方内であろうと思われる。

b. 調査の経過

- 2011年10月24日 立会調査実施。西側から掘削開始、途中で包含層検出。本調査切替を決定。
試掘を行い、重機による包含層除去を行う（一次掘削）。
2011年10月25日 発掘調査開始。遺構検出・掘削作業を行う。
2011年10月27日 全景写真撮影、土層図面・測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：高松紀子・松永一代・白都節子・古川昌代

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・菅藤優子・末吉美紀・増井弘子・山岸早苗・奥嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

本調査区の基本層序は次のとおりである（南壁）。1：現代埋土である。ゴミやガラなどが含まれる。地表下0.8m前後で包含層に達する。2～5層が古代の包含層に相当する。本地点で初めて古代の包含層がこのように色調で分層されたが遺物が伴わず、時期差を捉えることはできなかった。地表下約1.5mで地山（遺構面）である。本地点の地山の土質は、黒髪南地区や本荘地区の地山とは異なり、粘性があり、パミスや砂岩質のブロックが入り、移植で掻くところごとく崩れてしまう。

(3) 検出遺構

検出した遺構は、古代の竪穴住居址1基、ピットである。

<住居址>

2号竪穴住居址 (図6)

調査区の西側に位置する。西壁下で検出した。現状で約1.9×0.6mである。住居址としては一辺が短い、北東隅に相当する部分から竈の粘土が検出されたため、竪穴住居址とする。粘土を除去したが、竈を構成する礎石や支柱、掘り込み等は検出されなかった。

<その他>

上記の遺構以外にピットが検出された。浅く、柱穴とは言いがたい。遺物を取り上げた6号ピットは上面を円形で検出し、ピットとして掘削したが掘り込みにならなかったため、測量は行っていない。

(4) 出土遺物 (図7)

本調査区は、包含層の堆積が厚く遺存状態も良好であったが、遺物の出土量は少なかった。土師器・須恵器の破片が出土した。縄文時代・古墳時代の土器の出土はなかった。

2号竪穴住居址出土土器 (図7:1~13)

1~3は土師器杯の口縁部・底部である。いずれも赤採がある。1は内湾気味の特徴がある。2は底部に墨書がある。文字は判読できない。4は須恵器の蓋である。5~8は須恵器杯である。5は大きく直線的に開く口縁部である。6も立ちあがりの様子から大きく開くようである。7は低い高台が底部端につく。8は高さのある高台で、坏底部の端に付き坏はこのまま立ち上がる様子を見せる。9・10は土師器甕の口縁部である。薄手のタイプで口縁はやや上を向く。11も土師器の甕か。12は須恵器の高杯の脚部である。13は須恵器甕の胴部片である。粘土紐の雜目が明瞭に観察できる。内面は、上半は叩きの当て具の同心円文があるが下半は叩きの当て具の文様がない。2の土師器杯は8世紀末~9世紀初頭、8の須恵器杯は9世紀前半~中頃、他は概ね9世紀前半の所産と考えられる。

6号ピット (窪み) (図7:14)

1点土師器杯が出土した。やや開き気味に直線的に開く。赤採がある。8世紀後半か。

その他 (図7:15~21)

15~18は包含層や地山清掃時の出土、19~21は攪乱からの出土である。15~17は土師器杯で15・17は赤採がある。17は底部が丸い。9世紀後半か。18・19は須恵器杯である。18は底径が小さく大きく開く。9世紀中葉~後葉か。19は小さく開く高台が付く。20は壺の口縁部である。21は黒色土器である。口縁部下に沈線が廻る。内面の口縁部は横方向に、以下は無作為に細かなヘラミガキが施されている。

(5) まとめ

黒髪北地区の中では珍しく、一定の面積をもった発掘調査であった。包含層の遺存状態も良好であり、包含層・遺構面の検出レベルが確認できた。付近一帯において、これまで包含層や遺構面が検出されなかったのは、破壊を受けているのではなく検出レベルが深いためであると判明したことは、今後の事業には有用な情報を得ることができた。しかしながら、遺構面で検出した遺構はわずかであった。付近での遺構密度については未だ不明といえ、今後の事業や調査計画には十分注意を払う必要がある。

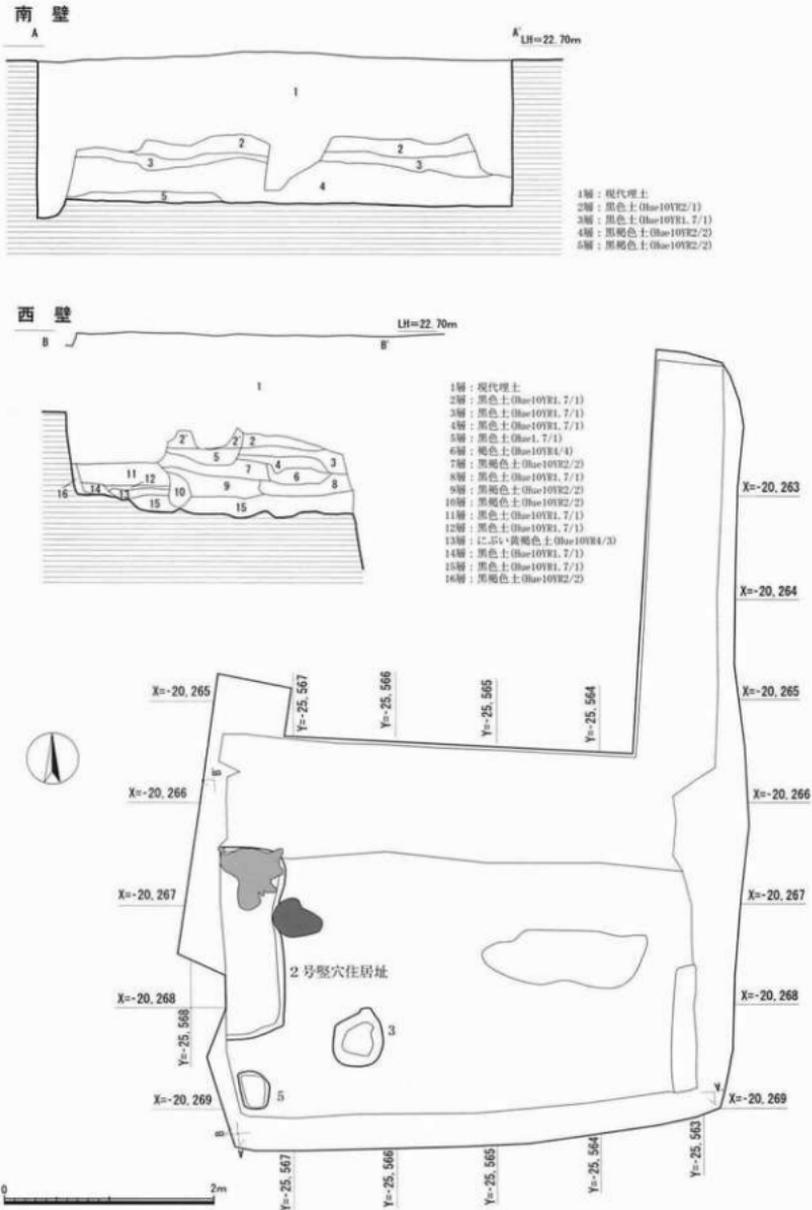


図6 1116調査地点遺構配置図・西壁土層断面図・南壁土層断面図 (1/50)

また、文学部・法学部棟を挟んだ東側の道路では、包含層が地表下約0.4m、遺構面が0.7～0.8mで検出されており(1015調査地点)、包含層・遺構面の検出レベルの高低差が非常にいることが判明した。立田山へ向う段丘上に立地するキャンパスであるが、東西方向の旧地形の変化にも注意が必要であると、改めて認識する結果である。

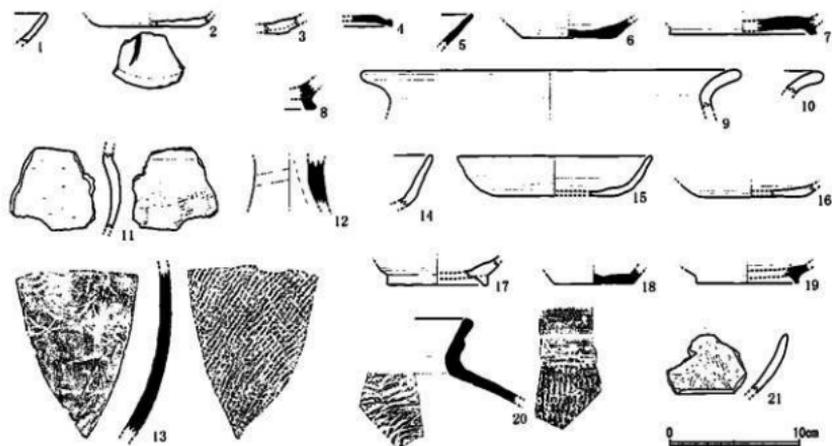


図7 1116調査地点出土遺物実測図(1/4)

表5 1116調査地点出土遺物一覧表

順	番号	遺物	種類(品様)	法位 (cm)	残存品	特徴	色	調査	出土遺物	備考	
7	1	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁一 部破片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	2号型穴住居址	赤色化粧土		
	2	土師器	坏	口径 底径 器高	底部1/4	内：黒粘テラ、テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	2号型穴住居址	黒色あり 赤色化粧土		
	3	土師器	坏	口径 底径 器高	底部1/8	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	2号型穴住居址			
	4	灰志器	甕	口径 底径 器高	口縁一 部破片	内：黒粘テラ、黒リ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y6/1	2号型穴住居址	内面一部に自然釉あり		
	5	灰志器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ	内：Hue 25Y6/1 外：Hue 25Y6/1	2号型穴住居址			
	6	灰志器	坏	口径 底径 器高	7.2	底部1/6	内：黒粘テラ、黒リ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 2.5Y5/1 外：Hue 2.5Y5/1	2号型穴住居址		
	7	灰志器	碗	口径 底径 器高	11.4	底部1/4	内：黒粘テラ、テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 2.5Y5/1 外：Hue 2.5Y5/1	2号型穴住居址		
	8	灰志器	碗?	口径 底径 器高		底部片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 5Y3/1 外：Hue 5Y3/1	2号型穴住居址		
	9	土師器	甕	口径 底径 器高	29.6	口縁部片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	2号型穴住居址		
	10	土師器	甕	口径 底径 器高		口縁部片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	2号型穴住居址	角筒石、石瓦や多く含む	
	11	土師器	甕	口径 底径 器高		胴部片	内：テラ、黒リ 外：テラ、ハケ目	内：Hue 7.5YR7/3 外：Hue 7.5YR6/4	2号型穴住居址	内外面スチラー	
	12	灰志器	高 坏	口径 底径 器高		胴部片	内：テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y6/1	2号型穴住居址・積層	外面一部に自然釉あり	
	13	灰志器	甕	口径 底径 器高		胴部片	内：テラ、タタキ、田 オウエ 外：タタキ	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y5/1	2号型穴住居址		
	14	土師器	坏?	口径 底径 器高		口縁一 部破片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 5YR5/3 外：Hue 5YR5/6	6号ビット	赤色化粧土	
	15	土師器	坏	口径 底径 器高	15.1 3.6 3.1	約1/8	内：黒粘テラ、テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	包含物	赤色化粧土、内面一部にスチラー	
	16	土師器	坏	口径 底径 器高	8.2	底部1/8	内：黒粘テラ、テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 10YR2/6 外：Hue 10YR6/6	包含物	赤色化粧土	
	17	土師器	碗	口径 底径 器高	7.9	底部1/5	内：黒粘テラ、テラ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	崩壊	赤色化粧土	
	18	灰志器	坏	口径 底径 器高	6.2	底部1/5	内：黒粘テラ、黒リ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 7.5Y5/1 外：Hue 7.5Y5/2	崩壊		
	19	灰志器	碗	口径 底径 器高	8.0	底部片1/8	内：黒粘テラ、黒リ 外：黒粘テラ、黒リ	内：Hue 5Y6/2 外：Hue 5Y6/2	破片		
	20	灰志器	甕	口径 底径 器高		口縁一 部破片	内：黒粘テラ、タタキ 外：黒粘テラ、タタキ	内：Hue 5Y4/1 外：Hue 5Y4/1	破片	外面に自然釉あり	
	21	黒色土師	碗?	口径 底径 器高		口縁一 部破片	内：テラ、磨き 外：テラ	内：Hue 10YR1.7/1 外：Hue 10YR2/4	破片	赤色化粧土	

Ⅲ 黒髪南地区の調査

1. 基幹・環境整備(屋外排水設備等)工事に伴う立会・発掘調査 (1121)

本事業は、黒髪南地区のおおよそ西半分の範囲において、汚水管・排水管・雨水管、雨水枿、ガスを整備するものである。工事実施予定地のほぼ全箇所、包含層及び遺構面が検出され立会調査は必須であり、場合によっては本調査代替の必要があると予想された。事業開始が2011年11月からであったが、多地点同時の掘削・施工を実施しなくては工期が厳しい状況であった。調査員2名体制であったが、一名は本荘地区の事業に継続的に専従しており、一名での多地点同時調査および本事業以外の事業への対応は困難であった。そのため、本学調査室(同年10より調査センター)調査員の確認・指示の元に埋蔵文化財サポートシステムの調査員が立会調査・発掘調査にあたることとした。

調査区は大きく8地区に分け、立会の調査範囲ごとに地点名として枝番号を付した。調査地点は全部で112地点にのぼる。このうち、遺構を検出し、本調査に切り替えた調査地点について報告する。

1. 調査地点と成果

Ⅱ区①調査地点(図11)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

調査区Ⅱ区の中央部、工学基礎教育センター東側入口付近に雨水枿を新設するため、地表下約3.5mまで掘削する工事である。Ⅱ区の最初の掘削箇所、4.4×4.4mの範囲を掘削した。調査区の北西隅の地表下1.1mで土坑を確認したため、発掘調査をおこなった。

b. 調査の経過

2011年11月29日 立会調査実施。遺構面検出、本調査に切り替え。遺構の掘削。写真撮影。遺構測量。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・與嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

調査区の基本土層は、コンクリートやバラスの下に現代埋土が堆積し、地表下2.3~2.5mまですべて現代埋土であった。その下には旧道路面と思われるアスファルトの埋設も確認した。1層は現代埋土で、地表下1.1~1.8mで遺構面を確認した。鋼管や土管、U字溝などの埋設により大きく削平を受けている地点であった。

1. 基幹・環境整備（屋外排水設備等）工事に伴う立会・発掘調査（1121）

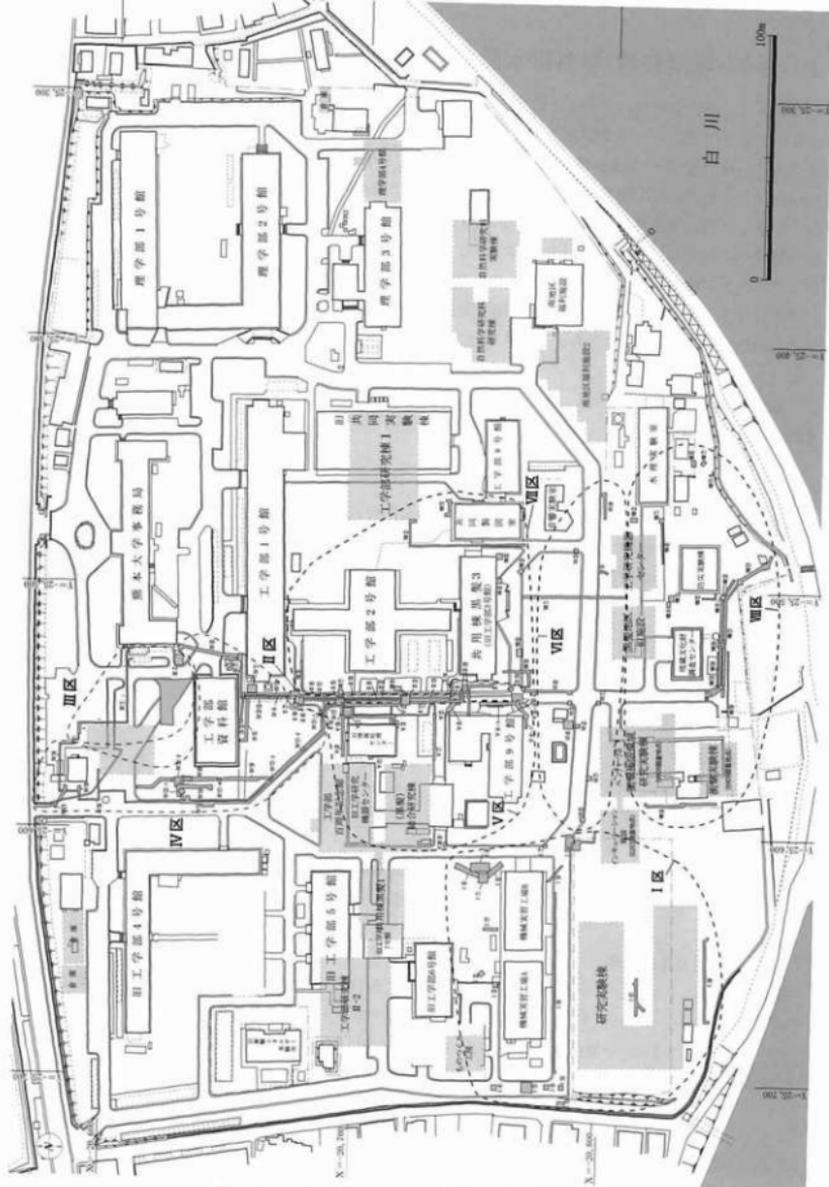


図8 黒髪南地区における調査地点配置図（1/2000）

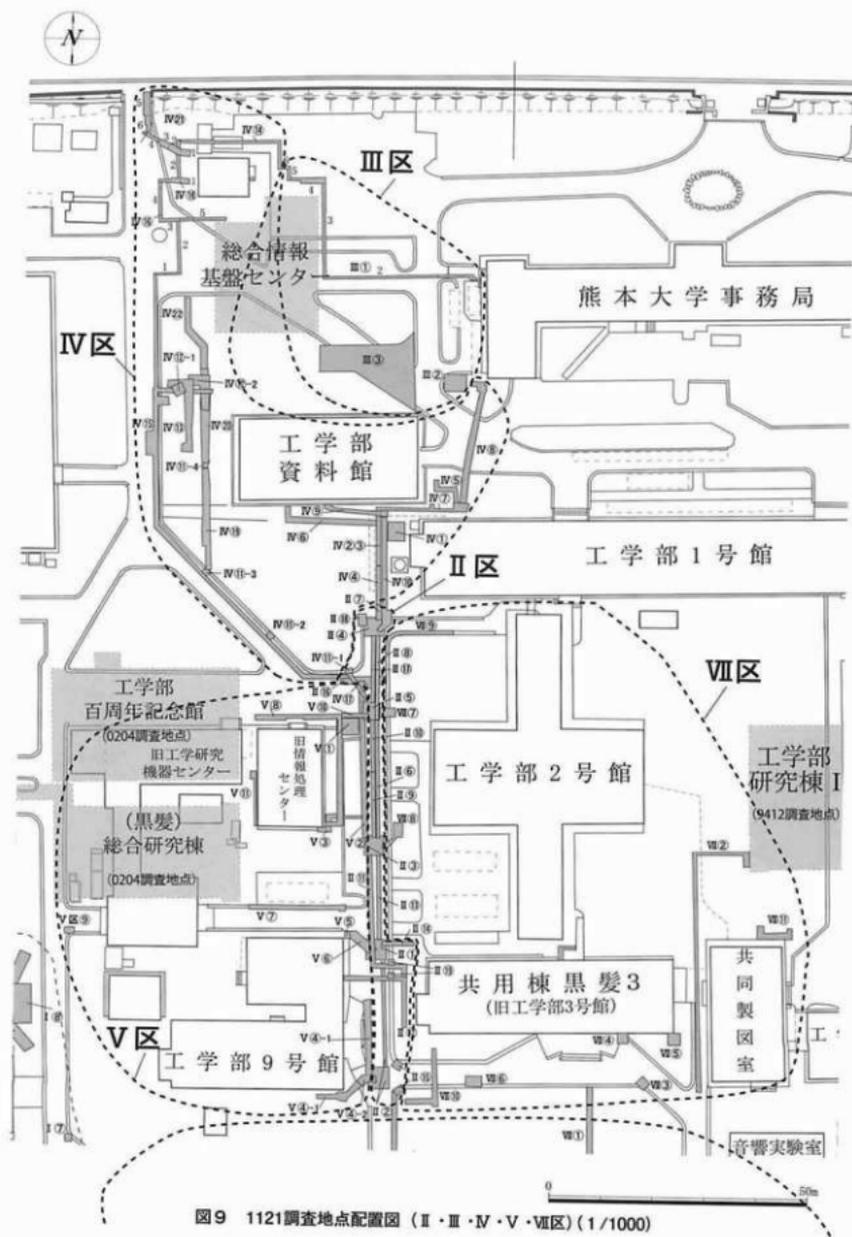


図9 1121調査地点配置図 (II・III・IV・V・VII区) (1/1000)

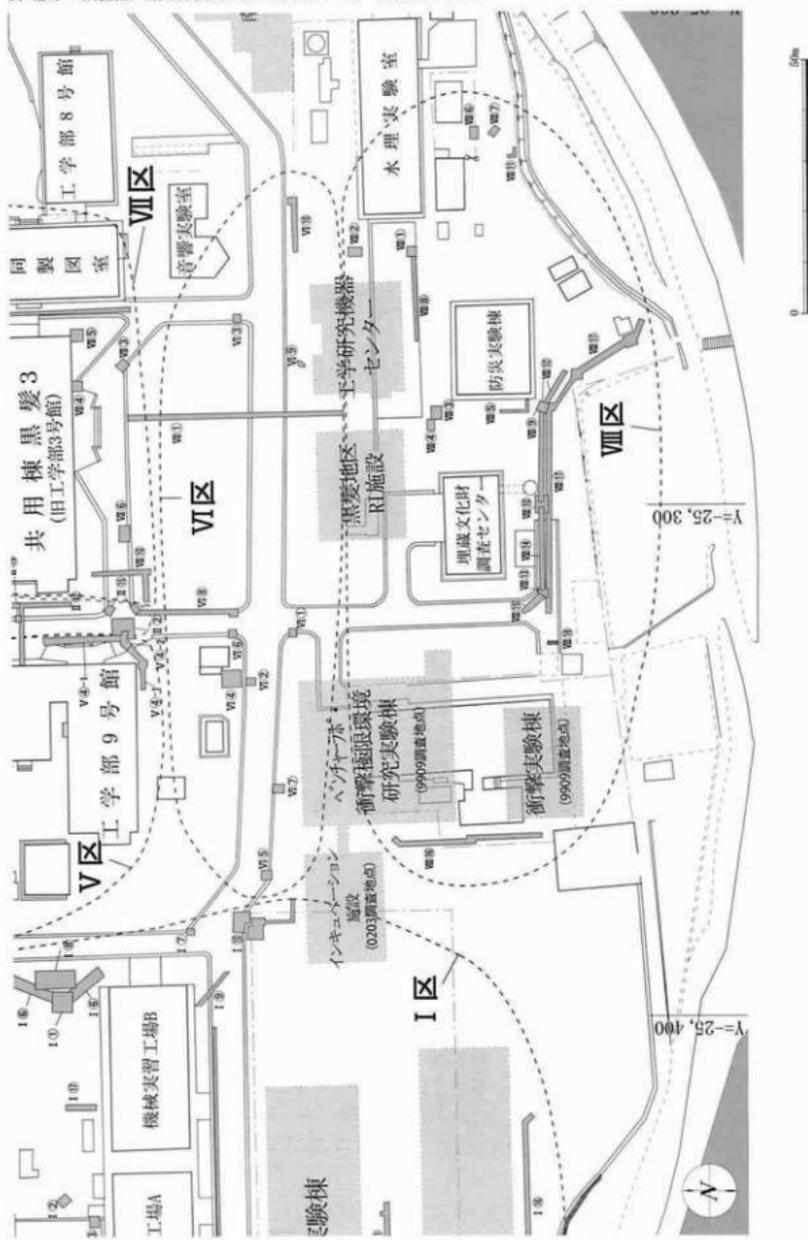


図10 1121調査地点配置図（Ⅴ・Ⅵ区）（1/1000）

(3) 検出遺構

<土坑>

調査区の北西端で土坑状の落ち込みを確認した（1号土坑）。南側はU字溝で削平され、北側は調査区外に広がると考えられ、遺構の性格は不明である。遺構検出面からの深さは約0.25mである。遺物は出土していない。

(4) 出土遺物

包含層および地山直上で土師器片が数点出土したのみである。

II区②調査地点（図11）

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

II区①からのびる雨水管とつながる雨水枡を設置するための掘削である。II区①同様に4.4×4.4mの範囲を3.5mまで掘り下げる工事である。雨水枡新設箇所は、地表下2.0mまではすべて建物基礎やコンクリート塊などを含む攪乱層であったが、西側隅に土坑が検出されたため、発掘調査を実施した。

b. 調査の経過

2011年11月30日 立会調査実施。枡新設箇所の掘削。包含層、遺構面の検出、本調査に切り替え。遺構の掘削。写真撮影、測量。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・興嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

調査区の基本土層は、地表からアスファルトやバラスが0.25～0.4mの厚さで覆われ、約2.0mまですべて現代の攪乱層であり、建物基礎やコンクリート塊などの埋設が著しい。西壁では地表下2.3mまでは現代埋土で、2.5mで地山に達した。

(3) 検出遺構

<土坑>

調査区の西端で、地表下2.3mから掘り込まれた土坑を確認した。調査区外にも延びており全体の大きさは不明であるが、0.3×0.4m程度と推測される。深さは約0.35mを測り、土坑の底から敲き石が1点出土している。

1. 轟炸・環境整備（遺外排水設備等）工事に伴う立会・発掘調査（1121）

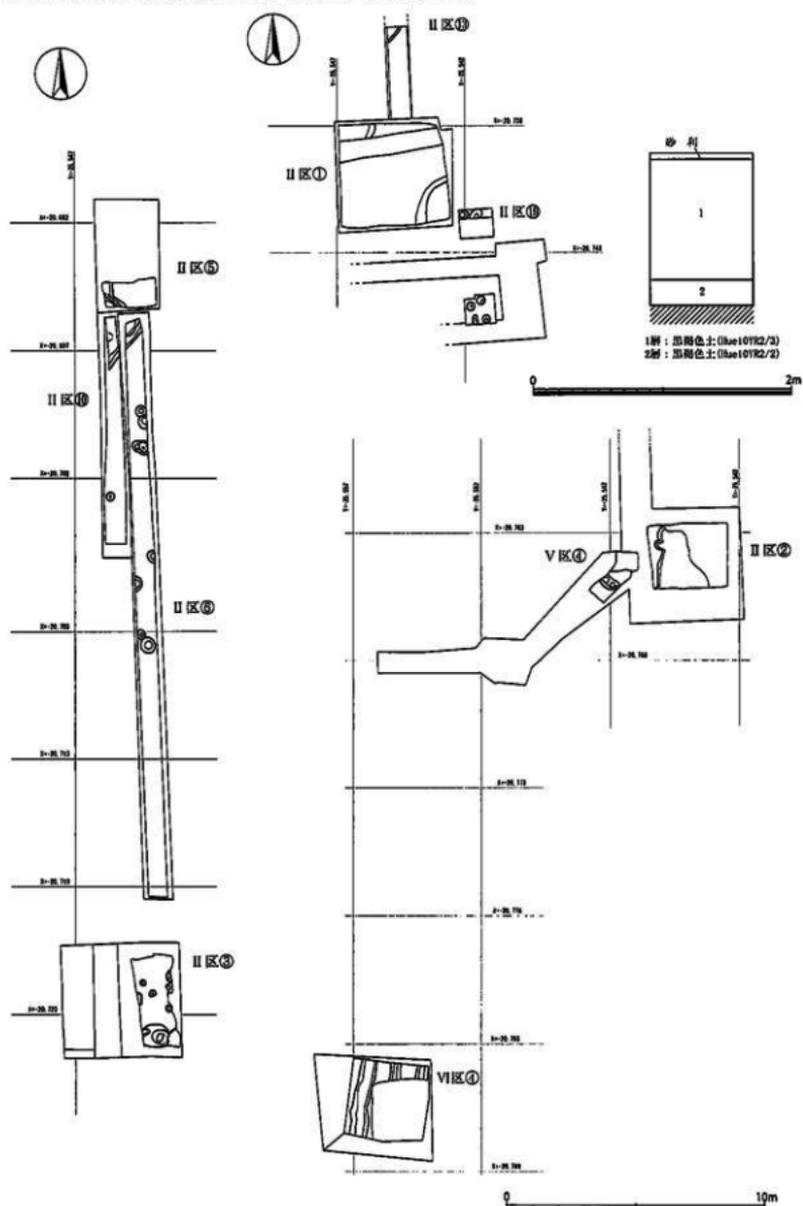


図11 II区①・②・③・⑤・⑥・⑬・⑯・V区④・VI区④遺構配置図・IV区④基本土層柱状模式図（1/200・1/40）

(4) 出土遺物 (図17:25)

図17:25は側面に敲打痕が認められる敲き石である。

Ⅱ区③調査地点 (図11)**(1) 調査の目的と経過****a. 調査地と調査経緯**

Ⅱ区①や②同様に、Ⅱ区③の北側からつながる雨水枡新設のための掘削である。4.4×4.4mの範囲を掘削予定であったが、調査区の西側から約2.0mまで共同溝が埋設しており、新設枡は東側半分を設置することとなった。2.5×4.5mの範囲を掘削した結果、地表下1.2~1.6mで遺構面を確認したため発掘調査をおこなった。

b. 調査の経過

2011年12月 1日 掘削開始。遺構面検出。発掘調査開始。
 2011年12月 2日 遺構検出、順次掘り下げ。甕棺墓、ピット検出。
 2011年12月 5日 作業員投入により遺構検出、順次掘り下げ。遺構測量。写真撮影。
 2011年12月 6日 甕棺取り上げ。墓壇完掘後、遺構測量。写真撮影。発掘調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子
 事務担当：村田知聖
 発掘作業員：岡元美子、古川昌代
 整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・與嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序 (図12)

調査区の基本土層は、地表から0.3mがコンクリート、バラス、砂層(1~3層)で、以下1m(4~6層)が現代埋土もしくは攪乱層である。それ以下で包含層に達し、地表下1.2~1.6mで遺構面が検出された。

(3) 検出遺構**<甕棺墓>****1号甕棺墓 (図12)**

調査区の南端で甕棺墓が検出された。墓壇の西側は共同溝の設置により削平され、南側はわずかに調査区外に広がる状況が確認できた。東西1.1m×南北0.9mの楕円形を呈する墓壇で、検出面からの深さは0.7mを測る。甕棺は北西から南東方向を軸にして配置されている。蓋は確認できなかった。甕棺の中には土が詰まっていたため、土壌を水洗選別したが、遺物を確認することはできなかった。

1. 基幹・環境整備（屋外排水設備等）工事に伴う立会・発掘調査（1121）

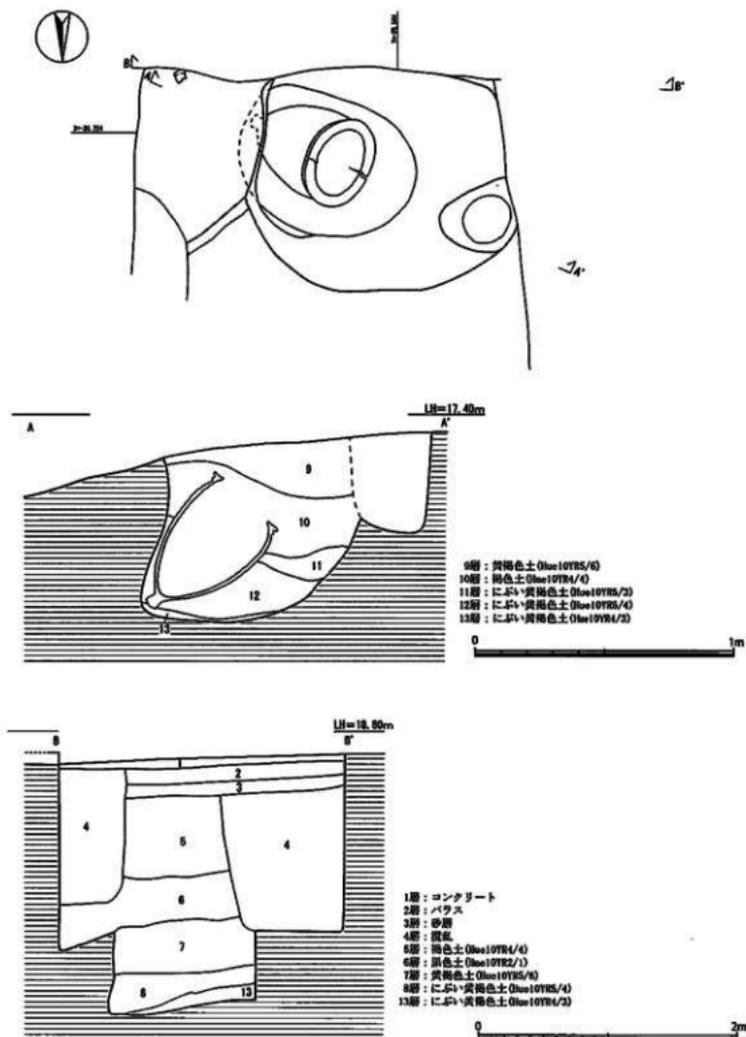


図12 II区③1号壙墓実測図 (1/20・1/40)

(4) 出土遺物**1号甕棺墓出土遺物 (図16:1)**

図16:1は小型の甕棺で、弥生時代中期末頃の形態を呈する。ほぼ完形品であるが、底部近くには内側から人為的に打ち割ったと考えられる菱形の穿孔箇所が確認できる。その部分を下にして埋設されていた。底部外面は丁寧なハケ目が観察でき、内側の底周辺には煤が付着していた。外面にも一部煤の付着が認められる。

その他の出土遺物 (図16:2~5・13)

図16:2~4は土師器の坏で古代に相当するものと考えられる。図16:2は内外面に丹塗りが施され、高坏の可能性もある。図16:3と4には表面に赤色化粧土が確認できる。図16:5は赤焼きの須恵器の坏であるが、近世以降のものと考えられる。図16:13は外面がやや剥離しているが、深鉢の口縁部で、縄文時代後期の鐘崎式の形態を有するものである。

II区④調査地点 (図13)**(1) 調査の目的と経過****a. 調査地と調査経緯**

II区の最北端に設置する雨水樹設置のための掘削である。共同溝がII区③地点から伸びていると予想されたため、東側部分の4.4×2.2mのみ掘削を行った。

b. 調査の経過

2011年12月5日 立会調査実施。途中で包含層検出、本調査切替えを決定。

2011年12月6日 全景写真撮影、測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子・大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山岸早苗・奥嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

本調査区の基本層序は次のとおりである。1：現代埋土である。ゴミやガラなどが含まれる。地表下0.8m前後で包含層に達する。地表下約1.5mで地山（遺構面）である。

(3) 検出遺構

遺構面では、北西方向に長方形に並ぶ14基のピットを検出した。全体は長方形の配列をとるが、掘立柱建物のような等間隔の柱穴の配列とは異なる。

(4) 出土遺物 (図16:6・14)

6は包含層から出土した、土師器の壺である。14は、ピット1・2から出土した縄文土器片が接合

した資料である。縄文時代後期後葉の太郎迫式である。このほかピット3からも縄文土器片と土師器片が出土している。

Ⅱ区⑤調査地点（図11）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

Ⅱ区④と同様に雨水枮設置のための掘削である。Ⅱ区④の南約15mに位置する。2.4×4.3mの範囲を掘削した。掘削を進めると、調査範囲の北側2/3が削平され、南側1/3は遺構面が遺存していた。包含層を精査したのち遺構面（地山）を検出し、住居の一部と思われる落ち込みと、溝状の遺構を確認した。

b. 調査の経過

2011年12月6日 立会調査実施。包含層検出、遺構面・遺構を検出、本調査切替え。遺構の掘削、写真撮影。

2011年12月7日 測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子・大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・與嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

基本層序はⅡ区④と同様である。

（3）検出遺構

< 竪穴住居址 >

調査区の南西隅で、竪穴住居址と思われる落ち込みを検出した。深さは約20cmである。住居址の大半が調査区外であったため、全容は不明であった。方向は北東―南西をとると思われる。

< 溝状遺構 >

竪穴住居址から北へ、西壁沿いに伸びる。溝の西側の肩は調査区外で、北も攪乱により途切れる。現状で幅約40cm、深さ約15cmである。

（4）出土遺物

図化していないが、溝状遺構から土師器甕の細片が1点出土している。

Ⅱ区⑥調査地点（図11）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

⑤の掘り方南東部に小型枿を新設し、南へ汚水管を繋げる工事である。枿部分は地表下1.25mで地山を検出したが、既設管で半分が破壊されており、残された部分でも遺構は確認されなかった。管路は幅0.8mで、約3～5mずつ南から掘削を行った。包含層が確認され多段階で上面を精査し、遺構の有無を確認したのちに所定の深さまでを掘削した。北に行くほど遺構面が浅くなり、北2/3の範囲では掘削が遺構面まで達した。管路の遺構面では7個のビット、⑤との接続部では北東方向を向く遺構が確認された。

b. 調査の経過

2011年12月13日 6スパンに分け立会調査実施。第4スパンで遺構を検出し、本調査に切替え、遺構の掘削、写真撮影、測量を行い、調査終了。

2011年12月14日 第5・6スパンで遺構を検出し、本調査に切替え、遺構の掘削、写真撮影、測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

基本層序は、地表下0.75～0.9mで包含層を、0.9～1.0m前後で遺構面（地山）を確認した。

（3）検出遺構

< 竪穴住居址 >

調査区の南西隅で、竪穴住居址と思われる落ち込みを検出した。深さは約20cmである。住居址の大半が調査区外であったため、全容は不明であった。方向は北東―南西をとり、⑥の遺構繋がると思われる。

（4）出土遺物（図16：7～9・15～19）

8・9は、枿設置部分で、既設管による破壊を受けなかった包含層（地山直上）から出土した。土師器の破片である。ここからは15と16の縄文土器も出土している。7は第6スパンの1号住居址出土である。6世紀後半と思われる。17～19は撚乱から出土した縄文土器である。このほか、第5スパンのビットから、土師器夾の細片が出土している。ほか、撚乱からは須恵器片も出土している。

Ⅱ区④調査地点（図13）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

Ⅱ区④とⅡ区⑤の雨水桝をつなぐ雨水管新設のための工事である。0.8×11.7mの範囲で地表下1.2～1.3mまで掘削した結果、Ⅱ区⑤側から北に4.1mの地点で、包含層から掘り込まれたピットを1基確認したため、調査を実施した。

b. 調査の経過

2011年12月15日 北半分の掘削開始。

2011年12月16日 南半分の掘削開始。ピット検出、順次掘り下げ。写真撮影。遺構測量。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

調査区の基本土層は、地表から1.2mまではすべて現代埋土。それ以下で遺構面が検出された。

（3）検出遺構

<土坑>

調査区のはほぼ中央で、東側は調査区外に広がるが、径0.4mのピットが検出された。台石と考えられる石器がピット中央付近に建てられた状態で出土した。

（4）出土遺物（図17：27・31）

図17：27は台石で、ピット内より出土したものである。図17：31は煙管の吸口で、内部に竹ひごが残存しており、羅字を差し込んだ際の隙間を埋めるために挿入されたものの残存と考えられる。

Ⅱ区⑩調査地点（図11）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

Ⅱ区③とⅡ区⑤の枒間をつなぐ汚水管新設のための工事である。全長28mの北側11m分をⅡ区⑩として調査した。幅1.0mで、地表下1.2mまでを掘削した結果、西側0.3～0.4mは共同溝の埋土であったが、東側で遺構面を確認したため調査をおこなった。

b. 調査の経過

2011年12月21日 掘削開始。ピット、住居址の掘り方を検出。順次掘り下げ。写真撮影。遺構測量。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山岸早苗・奥嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

調査区の基本土層は、東壁セクションで、地表下0.8mまでは現代埋土で、それ以下で包含層に達し、1.2～1.25mで地山が確認された。

(3) 検出遺構

調査区の南側から1.6mの地点で径0.3m、深さ0.5mのピットを検出した。ピット内より縄文土器が出土している。また、調査区の北端で、住居址の南東側の立ち上がりが見出された。掘り込みの深さは0.23mを測る。掘りかたからやや北側に0.3m四方の硬化面が確認できた。床面直上より土師器、縄文土器などが出土している。

(4) 出土遺物 (図16：10・20・21、図17：28)

図16：10は土師器の壺の胴部破片である。外面には5～7条単位の明瞭なハケ目調整を観察することができる。図16：20と21は縄文時代の深鉢で、20は口縁部破片で住居址内より出土し、21はピット内より出土した胴部破片である。いずれも縄文時代後晩期のものである。図16：28は扁平な円礫にやえぐりが入った状態のもので石錘とした。図16：10と図17：28は、住居址床面直上で2点接した状態で出土したものである。

II区⑬調査地点 (図11)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

⑬は、II区③とII区①の間の雨水管工事である。掘削で前範囲の半分ほどは削平されていたが、残りでは包含層や遺構面を検出した。北側から4スパンに分けて立会調査を実施した。第4スパンで、竪穴住居址と思われる遺構を検出した。

b. 調査の経過

2012年1月10日 立会調査実施。第4スパンで遺構を検出し、本調査に切替え。遺構の掘削、写真撮影、測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘

子・山岸早苗・與嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

地表下0.8～0.9mで包含層、1.2mで遺構面（地山）を検出した。

（3）検出遺構

< 1号竪穴住居址 >

Ⅱ区①の北側、約2mの地点で竪穴住居址と思われる遺構を検出した。住居の主軸は北東を向く。検出したのは住居址の南東壁であろう。大半が攪乱によって削平されており、全容や詳細は不明である。遺物はない。

Ⅱ区⑬調査地点（図13）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

⑬は、ガス管の配管に伴う掘削工事である。Ⅱ区⑤の北側4m付近を東西に掘削した。東の道路縁石から掘削し、西へ2m程で共同溝が検出された。共同溝の西側を5m程掘削したところ、北側半分強はガス管の掘り方ですでに攪乱を受けており、南側には包含層が残存していた。精査の結果、ピット一つを検出した。

b. 調査の経過

2012年1月26日 立会調査実施、包含層・遺構面を確認し、遺構を検出。本調査に切替え、遺構の掘削、写真撮影、測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・嘉村哲也・中田裕樹

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山岸早苗・與嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

地表下0.9～1.0mで包含層検出、1.4mで遺構面を検出した。

（3）検出遺構

調査区南側に、幅0.4mで細長く残された遺構面で、ピットを一つ検出した。直径は約30cm、深さは約45cm程である。

（4）出土遺物

ピットからの遺物の出土は無い。調査区の包含層からは、土師器坏の破片が出土している。

Ⅰ区⑩調査地点 (図11)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

⑩は、共用棟黒髪3の西側、⑭の南側に雨水枿を南北2箇所に設置する工事である。掘削の結果、北側では包含層を一部検出し、遺構面ではピット2つを検出した。南側でも遺構面を確認し、ピット3つを検出した。

b. 調査の経過

2012年1月26日 立会調査実施。包含層および遺構面を検出し、ピットを確認。本調査に代替え、遺構の掘削、写真撮影、測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・奥嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

北の地点では地表下1.1mで遺構面を検出した。包含層は削平のため、一部のみ認められたのみである。

(3) 検出遺構

北の樹1調査区では、1.1×1.3mの範囲の北側0.37mの範囲が、削片を受けずに遺存していた。直径35cmと46cmのピットが二つ、検出された。

南の樹2調査区では1.15×1.15mの範囲で3つのピットと、溝状の窪み一つ検出された。直径はいずれも35cm程度で、深さは21cm～31cmである。溝状の窪みは幅0.2m、長さ0.35mで南北を向いている。深さは10cm程度である。

(4) 出土遺物

ピットからの遺物の出土は無い。調査区の包含層からは、須恵器の破片が出土している。

Ⅱ区⑫調査地点 (図13)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

Ⅱ区⑫は、事務局南西の緑地帯に雨水枿を埋設する工事である。緑地帯西部を全面的に掘削したが、南側で共同溝が検出されたため、共同溝より北側の約23×5.5mの範囲を調査した。最終的に施工に必要な掘削深度が深く、重機の掘削範囲を超える可能性があったため、西側3mほどを先に調査し、後に東側に拡張して調査を行った。

b. 調査の経過

2012年4月27日 立会調査実施。包含層を検出し、遺構面・遺構を検出し、本調査に切替え。遺構の掘削、写真撮影、測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：奥嶺友紀也

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・奥嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

地表下0.9mで包含層を検出し約1.2mで遺構面を確認した。

(3) 検出遺構

<溝>

調査区西側、西壁の下で検出した。溝の西の肩は調査区外である。北西-南東方向をとる。現況では幅1.46m、深さ0.54mである。東側の肩は、一端緩やかに落ちたあと、急に深くなる。土層がこの変化点で分かれており、掘り直しが行われた可能性もある。遺物は出土しなかった。

<ピット>

溝の東側の台地上で一つ検出した。直径約40cm、深さは40cmである。東側拡張部でも、ピット一つを検出したが、樹根の可能性はある。遺物は出土しなかった。

Ⅳ区②③調査地点（図13）

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

Ⅳ区①の西側を工学部1号館西側の中央付近から資料館の南に掘削した汚水管工事である。数mずつ掘削をすすめたところ、包含層を確認した。精査したので遺構面を検出し、遺構が確認されたため、調査を実施した。

b. 調査の経過

2011年12月20日 立会調査実施。包含層を検出した後、遺構面まで掘削、遺構を検出。本調査に切替え、遺構の掘削、写真撮影、測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘

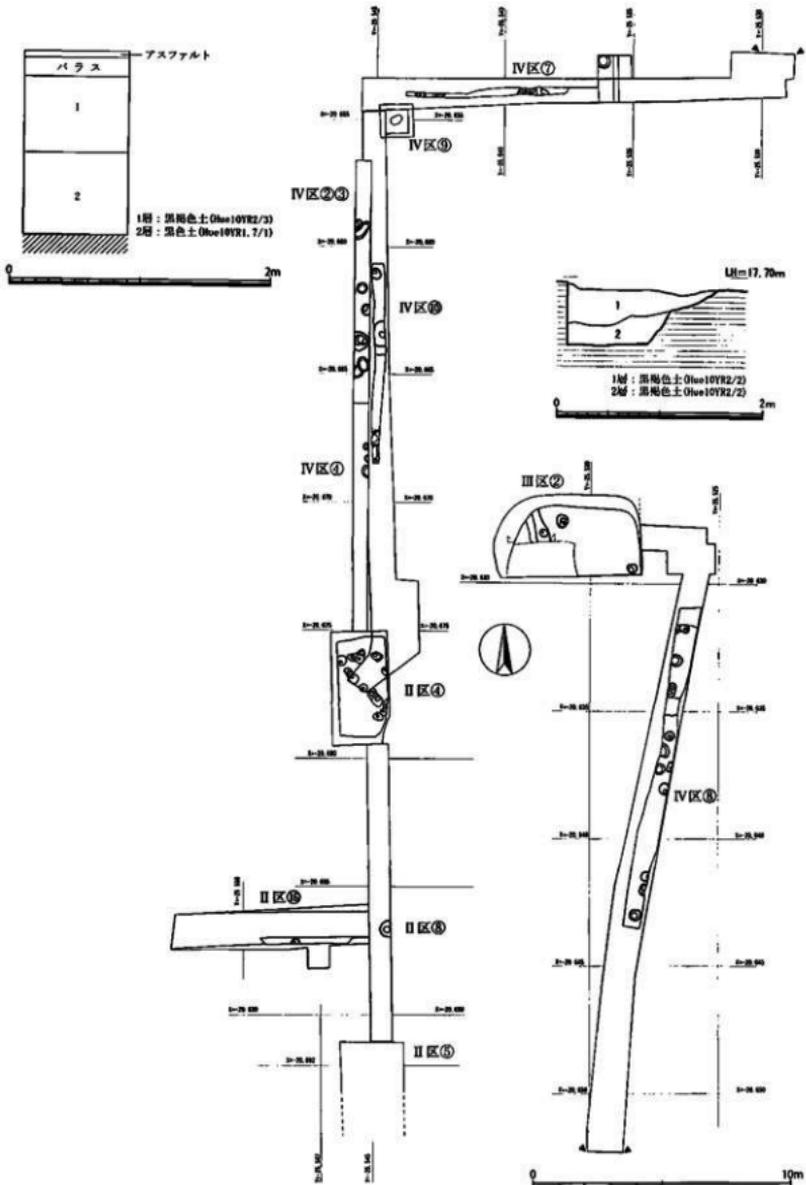


図13 I区④・⑤・⑧・⑬・III区②・IV区②・③・④・⑦・⑧・⑨・⑩遺構配置図・土層断面図・I区④基本土層柱状模式図 (1/200・1/50・1/40)

子・山崎早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

地表下約0.8mで包含層、1.0前後で遺構面である。

（3）検出遺構

ピットを多数検出した。不整形なものが多く、それらは隣接するⅣ区①調査区から撤去した桜の樹根の可能性が高い。

（4）出土遺物（図16：11・22～23・29～30）

11は土師器甕の口縁である。22と23は縄文土器である。包含層から出土した。22は浅鉢形土器の胴部であろう。29は叩き石である。30は黒曜石の剝片である。

Ⅳ区④調査地点（図13）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

Ⅳ区②③の南側のつづきで、幅0.7m×5.0mの污水管新設のための工事箇所である。鉄管や塩化ビニール管などの埋設物が多く確認されたが、地表下1.0mで包含層に達した。遺構・遺物は検出されなかった。さらに、地表下1.3m～1.35mで遺構面を確認し、精査の結果、ピット状の遺構を3基検出した。

b. 調査の経過

2011年12月21日 掘削開始。ピット検出、順次掘り下げ、測量、写真撮影。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江山真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

調査区の基本土層は、表土から約1mまでは現代埋土で、1.3mで地山に達した。

（3）検出遺構

ピットを3基検出したが、2基は木の根の入り込みと判断されるものであった。残りの1基は0.2×0.35m、深さ0.25mのもので、ピット内より須恵器が出土している。

（4）出土遺物（図16：12・24）

図16：12は須恵器の高坏の脚部破片で、ピットより出土したものである。図16：24は浅鉢の胴部破

片で、縄文時代後期後葉の粗製土器である。

Ⅳ区⑥調査地点 (図14)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

Ⅳ区⑥は、工学部研究資料館南を東西にはしり、Ⅳ区③へ続く污水管である。Ⅳ区③の西には溝状のコンクリート構造物があるため一旦ここまで掘削し、Ⅳ区③と構造物との間70cmは、工法を確認後に掘削した。ほぼ全城において地表下1.0mで包含層を確認したため、上面を精査したのち遺構面を検出した。

b. 調査の経過

2011年12月20日 立会調査実施。包含層を検出した後、遺構面まで掘削、遺構を検出。本調査に切替、遺構の掘削、写真撮影、測量を行い、調査終了。

2011年12月26日 ③との間の区間について立会調査実施。遺構検出、遺構の掘削、写真撮影、測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子・大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山岸早苗・奥嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

本地点では、地表下1.0mで包含層に達し、1.2mで遺構面に達する。周辺より、包含層が深い感じを受けるが、これは盛り土のため周辺の地表面が高いためである。

(3) 検出遺構

遺構としてはピットを数個確認したが、形態がやや不正形で、樹根の可能が高いと思われる。遺物の出土はない。

Ⅳ区⑦調査地点 (図13)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

⑦は、工学部1号館と工学部研究資料館の間に、污水管をとおす工事である。共同溝状のコンクリート構造物の北側に沿って施工したため、半分近くがこの構造物の掘り方であった。工学部1号館に並行して東西方向に攪乱を受けているが、調査区の約30～40%程度残存していた。そのため、確認した包含層・遺構面は非常に狭長であった。また調査区を横断する配管が多いため、それらによる削平も著しかった。包含層を検出し、掘削後遺構面において遺構が確認されたため、本調査を実施した。

b. 調査の経過

- 2011年12月27日 調査区の東側から掘削を開始し、東端の樹設置部分のみ立会調査実施。包含層を検出した後、遺構面まで掘削、遺構（溝）を検出。現状保存とし、写真撮影を行い、調査終了。
- 2012年1月6日 続きを東側から掘削、包含層を検出、精査後掘り下げて遺構面検出。遺構を確認、本調査に切替え、遺構の掘削、写真撮影、測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・嘉村哲也・中田裕樹

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江山真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山寄早苗・興嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

地皮下0.8～0.9mで包含層を確認し地皮下1.0～1.2mで遺構面（地山面）を確認した。

(3) 検出遺構

ピット7つを検出した。直径約30cm、深さ約30cm程度である。出土遺物は無い。

(4) 出土遺物

遺構からの遺物の出土は無い。包含層から土師器片が1点出土している。

IV区⑧調査地点（図13）

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

IV区⑧は、IV区⑦の東端から事務局本部南西部にある緑地帯に向かって、北へ污水管を通す工事である。調査区南側から0.97mの地点までは、検出した包含層上面に遺構がないことを確認し予定掘削深度まで下げたが、包含層内で取まった。遺物も出土していない。管路がずれたため、1/3程度南から西側に拡張した。包含層上面の確認後に掘り下げたところ、遺構面に達し遺構が確認されたため、本調査を実施した。

b. 調査の経過

- 2012年1月10日～12日 南側から掘削開始。2～3mずつ包含層を検出、精査後遺構面検出、遺構検出。本調査に切替え、遺構掘削、写真撮影、測量、調査終了。
- 2012年1月24日 12日までの調査区北端から、西へ約3m掘削。包含層を検出後、遺構面を検出するが遺構は検出されず。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・嘉村哲也・中田裕樹

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山寄早苗・奥嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

調査区の南側では、地表下0.9mで包含層を確認し、1.1前後で遺構面に達した。包含層の検出深度は、北ほど浅くなり、道路横断部では、地表下0.6mで包含層を検出し、0.8～0.9mで遺構面（地山）を検出した。緑地帯では地表下1.2mで遺構面を検出している。緑地帯のため、盛土で地表が高いため、数値が大きい。

(3) 検出遺構

ピットを数個検出した。直径は約30～40cm、深さは約30～50cmである。不整形のものは、周囲の樹木の樹根であろうと思われる。

(4) 出土遺物

遺物は土師器片・須恵器片が数点出土している。

IV区⑨調査地点（図13）

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

IV区⑨は、IV区③・⑦の交点となる角の東側（内側）に新しい雨水枡を設置し、工学部研究資料館南から雨水管を通す工事である。枡はコンクリート構造物を一部破壊・撤去した箇所だった。この枡設置部で遺構が確認されたため、本調査を実施した。地表下1.3mで包含層が確認され、包含層を掘削したところ遺構面でピット1つを確認した。

b. 調査の経過

2012年1月20日 既存の構造物を撤去後、包含層を確認、精査を行い掘削。遺構面及びピットを検出。掘削、写真撮影、記録を行い調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山寄早苗・奥嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

地表下1.3mで包含層を検出したが、構造物の撤去後であり削平されている可能性が高い。周囲が攪乱のため、確認はできなかった。5cmほど下で遺構面を検出した。

（3）検出遺構

ピット一つと、調査区中央で検出した。0.44×0.34のやや長楕円形、深さ40cmである。出土遺物はない。

IV区⑩調査地点（図13）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

⑩は、IV区⑨の柵からII区⑦付近までの雨水管及び雨水柵設置工事である。包含層・遺構面確認のため、3～4m前後の距離で北から9スパンに分割して調査を行った。幅0.8m、掘削深度1.5mの掘削である。

第3スパンでは、地表下1.1m程度まで掘り下げたところで包含層を確認した。遺構がないことを確認して包含層を掘削した。遺構面の検出作業を行い、ピットを確認した。

第4スパンは、包含層の上面で、ピット1つと住居址と思われる遺構を検出した。これらの掘削・記録後に包含層掘削を行い、遺構面で遺構検出を行ったが、掘削深度が既定の深さに達していたため現状保存とすることとし、第4スパンの調査は終了した。

第5スパンは、調査区の半分弱は隣接する配管の工事の際にすでに調査済みである。地表下0.9m程度下げたところで包含層を確認した。包含層より土器片が1点出土している。包含層を掘り下げて遺構検出作業を行ったところ、ピットと不明落込み、土坑を検出した。土坑は第6スパンの方へ延びるため第6スパン掘削時に完掘した。それぞれ埋土は包含層の土に近似している。

第6スパンは、調査区の3割程度は隣接する配管の工事の際にすでに調査済みである。地表下1.0m程度で包含層を検出し、地表下1.4m程度で遺構面を確認した。第5スパンで検出していた土坑の続きを検出し、掘削を行うと、下に2つのピットを検出した。これらの埋土はすべて包含層の土に近似していた。

b. 調査の経過

2012年1月24～26日 第1スパンから第7スパンまでを、立会調査実施。包含層を検出し上面を精査後、掘り下げ。遺構面と遺構の検出、本調査に切替え。遺構の掘削、写真撮影、測量を随時実施し、終了。

2012年1月30日 第8・9スパン立会調査。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・嘉村哲也・中田裕樹

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山岸早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

地表下1.0m前後で包含層を検出し、1.4mほどで遺構面を検出した。

(3) 検出遺構

検出された遺構はピットと土坑である。第3スパン北端でピットを検出した。第3・4スパンの境界付近では南北1mの大きな土坑と、その南に硬化した土層が検出された。第5スパン中央では、不正形のピットが、第5・6スパンの境界付近では、土坑が検出され、掘削すると二つのピットが検出された。

(4) 出土遺物

調査区の最も北、第3スパンのピットからは土師器が出土した。第3・4スパンで土師器片・須恵器片が出土している。また、第5・6スパンの境界付近の土坑より黒曜石片1点、礫塊石器（たつき石と思われるもの）1点、縄文土器片が出土し、下のピットのの一つから土師器片1点が出土した。

Ⅳ区⑭調査地点（図14）**(1) 調査の目的と経過****a. 調査地と調査経緯**

Ⅳ区⑭は、ガス管理設に伴う掘削工事である。共用棟黒髪4に沿うように北東側に位置する逆L字状をなす調査区である。工事の既定掘削深度は地表下0.8mであった。南北方向の調査区では包含層は検出されなかったが、0.6m掘り下げたところで遺構面を確認した。東西方向は地表下0.4m程まで掘り下げたところで包含層を検出した。包含層掘削を行い、地表下0.6mまで掘り下げたところで遺構面を確認した。工事の掘削深度が地表下0.8mで削平を受けるため、調査を行なった。

b. 調査の経過

2012年2月16日 全範囲の立会調査を実施し、包含層上面を検出。写真撮影。

17日 南北トレンチは遺構検出、掘削完了。写真撮影。

20日 南北トレンチの遺構検出、掘削完了。写真撮影。

21日 測量。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・中田裕樹・嘉村哲也

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・與嶺友紀也

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・中田裕樹・嘉村哲也

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・與嶺友紀也

1. 基幹・環境整備（屋外排水設備等）工事に伴う立会・発掘調査（1121）

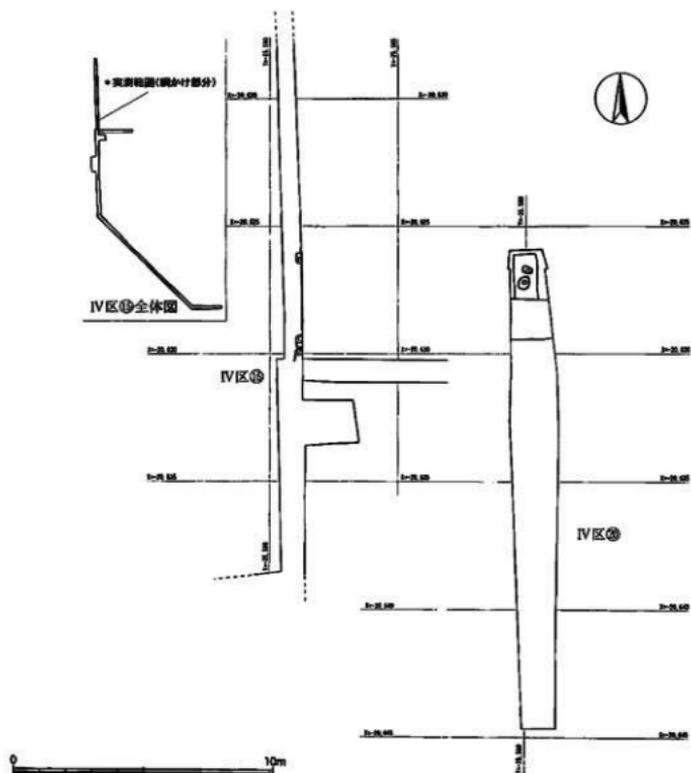
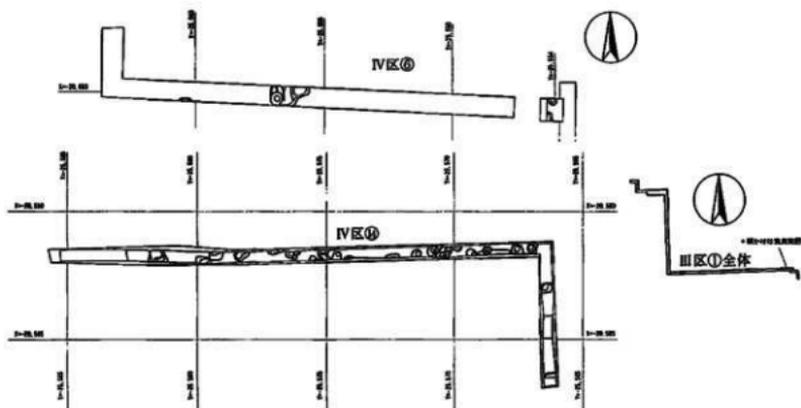


図14 IV区⑬・⑭・⑮・⑯遺構配置図（1/200）

(2) 調査区の基本層序

0.4mで包含層、0.6mで遺構面を検出した。

(3) 検出遺構

遺構面では10基以上の柱穴、根穴と思われるものを検出し、遺構掘削の結果、これらのうち4つはピット、これら以外は樹根であると思われる。

(4) 出土遺物

包含層より須恵器片・土師器片が数点出土した。ピットからの出土は無い。

IV区⑮調査地点 (図14)**(1) 調査の目的と経過****a. 調査地と調査経緯**

IV区⑮は、ガス管の埋設に伴う掘削工事で、IV区⑩-1～3に沿うようにのびる調査区である。調査区が狭長なため、13スパンに分割して調査を行った。このうち、工学部資料館西側の第10スパンで遺構を検出した。

b. 調査の経過

2012年2月20日 第1スパンより、立会調査開始。第1・2スパンまで確認終了。

21日 第3・4スパンまで確認終了。

22日 第5～7スパンまで確認終了。

23日 第8スパンまで確認終了。

24日 第8拡張部・9スパンまで確認終了。

27日 第10スパン（半分）まで確認終了。

28日 第10～13スパンまで確認終了。

29日 第12スパン確認終了。

2012年3月13日 拡張部、掘削立会、確認終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・中田裕樹・嘉村哲也

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・與嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

0.8～0.9m程掘削したところで包含層を検出し、1.0mのところで遺構面を確認した。

(3) 検出遺構

検出された遺構はピット3つである。出土遺物は無い。

Ⅳ区⑭調査地点（図15）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

Ⅳ区⑭は、Ⅳ区⑬の北端より西側にのびる調査区で、ガス管の埋設に伴う掘削工事である。2スパンに分割して調査を行った。このうち第1スパンは、調査区西側から中央部分にあるU字溝の下までで包含層を確認、遺構面では精査の結果、遺構が確認されたため掘削を行った。遺物は出土しなかった。U字溝より東側は攪乱を受けており包含層・遺構面の検出は無く、第2スパンは現状保存とした。

b. 調査の経過

- 2012年3月6日 第1スパン立会調査開始。包含層検出、包含層掘削。
7日 遺構面検出、本調査に切替え。遺構掘削、測量、写真撮影、第1スパン調査終了。
8日 第2スパン掘削、包含層確認、写真撮影、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・中田裕樹・嘉村哲也

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

第1スパンは地表下0.45～0.55mで包含層を検出し、0.7m前後で遺構面を検出した。北へ延びる第2スパンでは地表下0.8mで包含層を確認した。

（3）検出遺構

ピットが2つ検出された。一つは直径40cm、深さ80cm、一つは直径30cm、深さ40cmである。出土遺物は無い。

Ⅳ区⑯調査地点（図14）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

⑯は、工学研究資料館の西側に位置し、Ⅳ区⑭-4の柵より北側にのびる雨水管の埋設に伴う掘削工事である。掘削の都合上、4スパンに分けて調査を行った。

第1スパンは、調査区北隅の柵設置部分で、0.8×0.8mの範囲である。包含層を確認し、遺構面では精査の結果、遺構が確認されたため掘削を行った。第2スパンは現状保存とし、第3・4スパンは攪乱のため包含層・遺構面の検出はなかった。

b. 調査の経過

2012年3月16日 立会調査実施。第1スパンで包含層・遺構面及び遺構を検出、本調査に切替え。

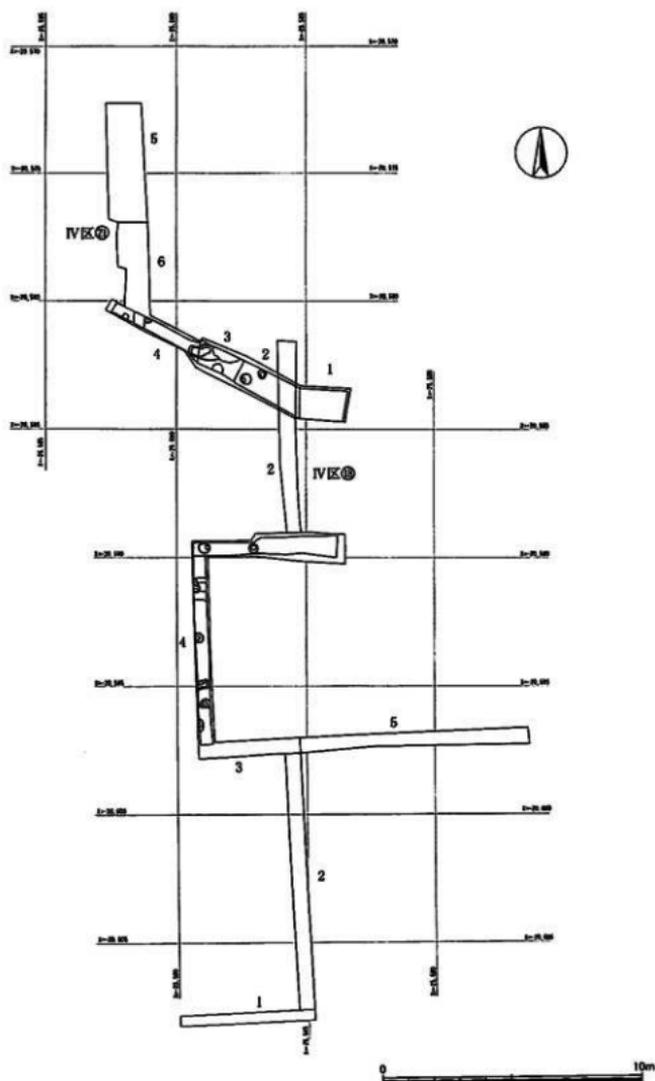


図15 IV区⑬・⑭遺構配置図 (1/200)

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・中田裕樹・嘉村哲也

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・與嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

第1スパンでは、地表下1.0mで包含層、地表下1.3m程で遺構面を検出した。

(3) 検出遺構

ピット2つを検出した。一つは直径50cm、深さ40cm、一つは直径40×30cm、深さ30cmである。出土遺物は無い。

IV区21調査地点（図15）

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

⑭は、共用棟黒髪4の西側に位置する倉庫より伸びるガス管の埋設に伴う掘削工事である。IV区⑬とも接している。調査区が狭く長いため、6スパンに分割して調査を行った。このうち、第2～4スパンで、包含層を検出し、さらに遺構面において遺構を検出した。

b. 調査の経過

2012年3月21日 第1スパンより立会開始。第2・3スパンで包含層、遺構面及び遺構を確認。本調査に切替え、遺構掘削、写真撮影。

22日 第4スパンの立会調査実施。構面及び遺構を確認。本調査に切替え、遺構掘削、写真撮影。

26日 第5・6スパンの立会調査実施。全体の測量。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・中田裕樹・嘉村哲也

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・與嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

地表下0.8mで遺構面を検出した。遺構面までは攪乱が著しく、包含層は検出されなかった。

(3) 検出遺構

第2スパンでは、遺構面を精査した結果、ピット2つを検出した。一つは直径30cm、深さ20cm、

一つは直径40cm、深さ40cmである。出土遺物は無い。

第3スパンは、土坑を検出した。長さ1.0m、0.6m、深さ30cmである。出土遺物は無い。

第4スパンは、ビット1つを検出した。直径30cm、深さ40cmである。出土遺物は無い。

V区④調査地点 (図11)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

④は、Ⅱ区②側に並行して、9号館東側をL字に囲むように雨水管と柵（大小各1基）を設置する工事である。小柵設置個所で、地表下2.0mまで掘削を行った。予定の掘削深度まで達したところ、近世の耕作土層を確認し、不定形の遺構と思われる掘り込みを検出した。

b. 調査の経過

2012年1月18日 立会調査実施。遺構面検出、掘削。写真撮影、測量実施、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・中田裕樹・嘉村哲也

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・興嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

地表下2.0mまでは、近現代埋土である。その下で近世耕作土と考えられる土層を検出している。

(3) 検出遺構

現況で0.7×0.5m、深さ36cmの土坑のような落ち込みである。大半が攪乱によって破壊されており、遺構の性格は不明である。埋土は、包含層の土と地山ブロック（径5～40mm程度）を多く含んでいた。掘削した壁面に黒色土層がきれいに廻ることから近世の耕作土直下の包含層の可能性も考えられる。遺物は出土しなかった。

Ⅵ区④調査地点 (図11)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

Ⅵ区④は、Ⅵ区②の北側に雨水柵を設置する工事である。3.5×3.5mの範囲を掘削した。調査区の南東角には既設の柵があったため、1/3程が攪乱を受けていた。地表下2.2mで遺構面を検出し、精査した結果、攪乱を免れた部分において畑址を確認した。

b. 調査の経過

2011年12月12日 立会調査実施。畑址を確認したため本調査に切り替え。掘削、写真撮影、測量を実施、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子・大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・與嶺友紀也

(2) 調査区の基本層序

地表下22mで遺構面を検出した。この付近一帯は白川に向かって、旧地形が落ち込んでおり明確な古代の包含層は検出されない。遺構面は近世耕作土で砂質の強い土層である。周囲が攪乱のため土層の観察はできなかったが、畑址が検出された9911調査地点の土層が参考にできる。それによれば、近世耕作土までは、現代埋土と、近世の耕作土・洪水砂の互層が堆積していたと考えられる。

(3) 検出遺構

④は、Ⅵ区②の北側に雨水枡を設置する工事である。3.5×3.5mの範囲を掘削した。調査区の南東角には既設の枡があったため、1/3程が攪乱を受けていた。精査した結果、攪乱を免れた部分において畑址を確認した。4条の畝を確認した。出土遺物はない。畝は南北を向き、少し東に傾く。東壁下にわずかに西側が見える畝が1条、西壁下に東半分が見え畝が1条、その間に2条の畝が検出された。出土遺物はない。

(5) まとめ

本調査は、調査区が狭長なため遺構の全体や性格を把握することが困難であった。遺物の検出も少なかった。しかし、黒髪南地区西半において、密なトレンチ調査となったことは大きな成果と言える。以下、主要調査区の調査成果についてまとめる。

Ⅱ区①地は、表下1.1～1.8mで地山の残存を確認することができたが、遺構については北側隅で土坑状の掘り込みを1基確認したのみであった。土坑から遺物は出土していない。

Ⅱ区②は、調査区の西端、地表下2.3mの地点から掘り込まれた土坑を1基検出し、底部より鯨き石が出土している。建物基礎のコンクリート塊やアスファルト片など多くの埋設物が存在していた部分であるが、Ⅱ区①と比較して、包含層や遺構の検出面が深いことが確認できる。

Ⅱ区③は、狭小な調査区であったにもかかわらず、地表下約1.2mから掘り込まれた墓墳を検出し、ほぼ完形の小型の甕棺が出土した。弥生中期末頃のものと考えられる。これまでの黒髪南地区の調査においては、9704調査地点（熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集）で弥生時代中期中葉～後葉の甕棺墓が多数検出されており、本調査区はそこから東側に100m以上離れた場所に位置する。また、1957年にも9704調査地点よりもさらに北西50mの地点で1基の合口式甕棺が発見されていることなど、黒髪町遺跡群における甕棺墓の広がりを考えるうえで、本調査区から出土した甕棺は貴重な資料となった。

Ⅱ区④調査区のピットは配列や方向からすると、古代掘立柱建物の柱穴とは考え難い。埋土は古代の包含層の土であり、時期は少なくとも古代以前と思われる。遺物は縄文土器片が出土したが、周辺では縄文時代の遺構が確認されておらず、時期の特定には慎重を期したい。9810調査地点で検出した住居址は、軸が北より振れており、それらと同時期の住居址かと思われる。本荘地区の古代の住居址

は概ね北を向くのととは、大きく異なる。溝状遺構は南北を向いており、古代の遺構である可能性がある。

Ⅱ区⑧は、地表下1.2mの地点で土坑を1基検出し、土坑埋土より縦に立てられて状態で台石が1点出土している。

Ⅱ区⑬北端で検出した遺構は、Ⅱ区⑤・Ⅱ区⑥・Ⅱ区⑩で検出した住居址と同様である可能性が高い。Ⅲ区②では南北を向く溝が検出された。幅、深さともに、周辺で検出された溝としては大きい。これを、このまま南へ延長させると、Ⅳ区⑧で検出したはずであるが、検出されなかったことから、途中で方向を変えている可能性が高い。9704調査地点では、南北・東西を向く区画のための溝が検出されているが、この溝は同様なものであるのか、どのような性格か、時期も含めて今後の調査成果による検討が必要である。

Ⅱ区⑤・Ⅱ区⑥・Ⅱ区⑩で検出した竪穴住居址は、北東―南西の方向をとるようである。地表下1.2mで検出した。Ⅱ区⑩では、住居址の中央寄りになる部分で床面と考えられる硬化面も確認することができた。

Ⅳ区④は、ピットが1基検出されたのみであるが、地表下1mで包含層に達し、1.3mで地山が検出されることが確認できた。

Ⅵ区④では、9909調査地点（熊本大学埋蔵文化財調査室年報6）に続き畑の址が検出されが畝立の方位が、東西ではなく南北である点は異なる。時期差と思われる。

Ⅴ区④では畑址は検出されないものの、遺構面の検出は非常に深く落ち込んでいる。以前より、このあたりで、旧地形は白川に向かって落ち込んでいると予想されているが、この一段低く落ちた土地のどこまでが畑として利用されていたのか、古代以前の遺構面の広がりを確認することは、今後の南地区での事業実施に有用な情報となるだろう。

このほか、掘削した各地点において、遺構面およびピットを検出した。古代の住居址や溝等は少なかったが、いずれの地点においても、遺跡が残存していることを確認することができた。また、工学部資料館付近では黒曜石のチップが数点出土したが、これは0210調査地点（熊本大学埋蔵文化財調査室年報9）・0302調査地点（熊本大学埋蔵文化財調査報告書第8集）の調査成果と併せて、少なくとも0302調査地点から東側50mの範囲では縄文時代の遺物が分布していることを示している。

今回、広範囲にわたる調査において得られた遺構面に達するまでの深さ、検出される遺構、遺物、時代的特徴などの情報を活かし、再開発事業と遺跡保存に取り組みたい。

出土遺物については、網田龍生氏、檀佳克氏、原田範昭氏、増田直人氏（以上、熊本市教育委員会文化振興課）に御教示をいただいた。記して厚く感謝申し上げます。

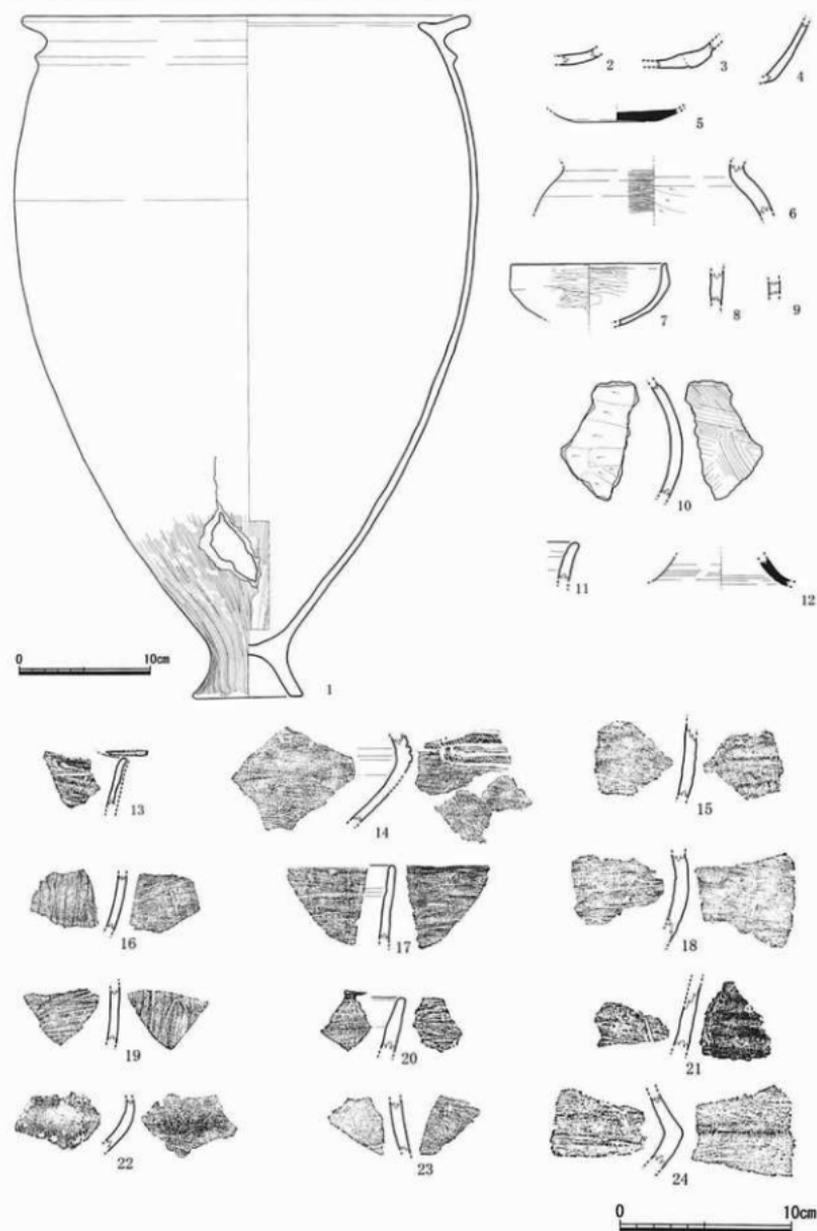


図16 1121調査地点出土遺物実測図1 (1/4・1/3)

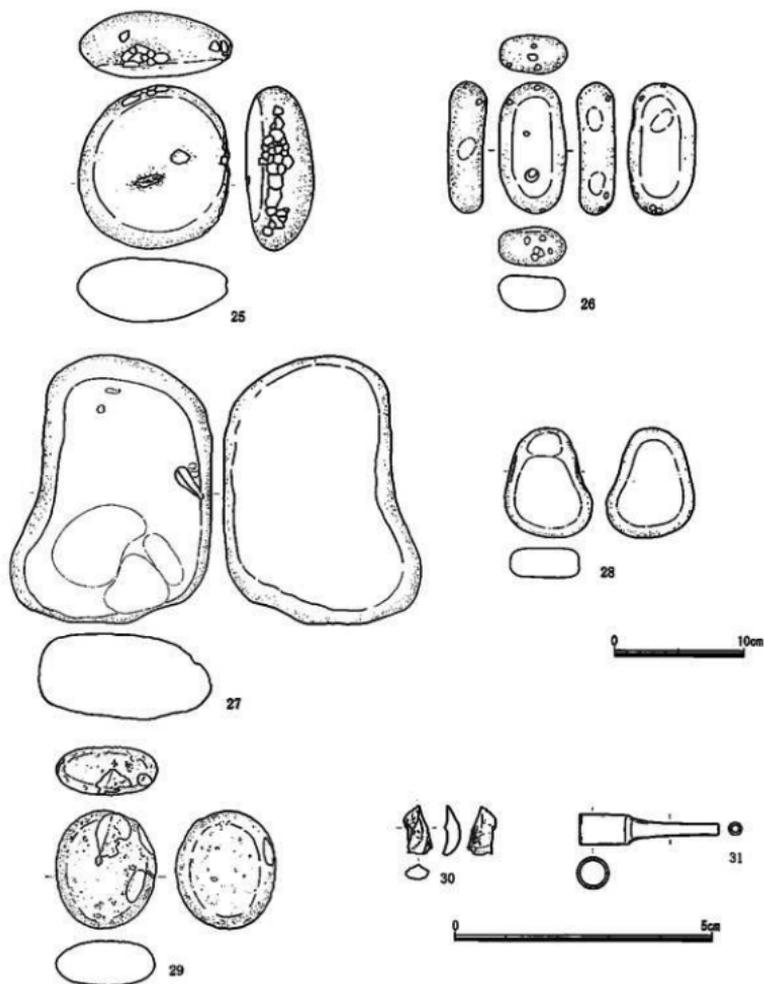


図17 1121調査地点出土遺物実測図2 (1/4・1/1)

1. 基幹・環境整備（屋外排水設備等）工事に伴う立会・発掘調査（1121）

表6 1121調査地点出土遺物一覧表

区	番号	遺物	種類(編目)	埋没 (cm)	積層 号	特 徴	色 相	出土段階	備 考
16	1	土師器	甕 口	34.5 口径 8.4 底径 5.4		ほぼ完形 内：ナゲ 外：ナゲ、ハケ目	内：Hue 10YR7/3 外：Hue 10YR7/3	II-④ 1号竈	外面スス付着 内面産物スス?コゲ?付着
	2	土師器	坏			底断片 内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5YR6/8 外：Hue 2.5YR6/8	II-④ 1号ビット	内外面付着
	3	土師器	坏			底断片 内：磨転ナゲ 外：磨転ナゲ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	II-④ 地山直上	赤色化粧土
	4	土師器	坏			断片 内：ナゲ、ハケ目 外：ナゲ	内：Hue 2.5YR6/8 外：Hue 10YR6/3	II-④ 包含層埋土	外面赤色化粧土 付着
	5	灰土器	坏	4.6	1/3	内：磨転ナゲ 外：磨り	内：Hue 2.5YR2/6 外：Hue 5YR6/6	II-④ 地山直上	赤焼き
	6	土師器	壺			断片 内：ナゲ、磨り 外：磨り	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR6/6	II-④ 包含層埋土	外面付着り磨き 内面磨り少し残る
	7	土師器	坏	120		内：磨き 外：磨き	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	II-④ 6スパン・1 号壁穴住居址	内外面口唇部にスス付着
	8	土師器	甕?			断片 内：ナゲ、磨り 外：磨り	内：Hue 2.5YR5/4 外：Hue 2.5YR7/8	II-④ 配管1・包含 層	
	9	土師器	甕			断片 内：ナゲ 外：ハケ目	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 10YR6/3	II-④ 配管1・地山	
	10	土師器	壺			断片 内：磨り 外：ナゲ、ハケ目	内：Hue 10YR4/2 外：Hue 10YR5/3	II-④ 壁穴住居址	
	11	土師器	甕			口縁断片 内：磨転ナゲ 外：磨転ナゲ	内：Hue 2.5YR6/4 外：Hue 2.5YR6/4	II-④	
	12	灰土器	高 坏			断片 内：磨転ナゲ 外：磨転ナゲ	内：Hue N2/0 外：Hue 5D2/1	II-④ 3号ビット	
	13	縄文土器	器形不明土器			口縁断片 内：ナゲ、磨き 外：	内：Hue 10YR7/4 外：	II-④ 包含層埋土	外面産物
	14	黒色磨研土器	鉢形土器			断片 内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR1.1/1 外：Hue 10YR1.1/1	II-④ 1号ビット	磨り面縄文
	15	縄文土器	器形不明土器			断片 内：ナゲ 外：磨き	内：Hue 2.5YR6/4 外：Hue 2.5YR6/4	II-④ 配管2	
	16	縄文土器	器形不明土器			断片 内：ナゲ 外：ナゲ、磨き	内：Hue 2.5Y3/2 外：Hue 2.5YR4/3	II-④ 配管1・地山	
	17	縄文土器	器形不明土器			口縁断片 内：ナゲ 外：ナゲ	内：Hue 10YR7/3 外：Hue 10YR7/3	II-④ 6スパン・横 乱	外面に灰付?
	18	縄文土器	器形不明土器			断片 内：ナゲ 外：磨き	内：Hue 5YR4/3 外：Hue 5YR6/6	II-④ 横乱	
	19	縄文土器	器形不明土器			断片 内：ナゲ 外：ナゲ	内：Hue 10YR6/2 外：Hue 10YR6/3	II-④ 横乱	
	20	縄文土器	器形不明土器			口縁断片 内：ナゲ、磨き 外：ナゲ	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 10YR5/4	II-④ 壁穴住居址	
	21	縄文土器	器形不明土器			断片 内：ナゲ 外：ナゲ、磨き	内：Hue 2.5Y4/2 外：Hue 10YR5/4	II-④ 1号ビット	
	22	縄文土器	器形不明土器			断片 内：ナゲ 外：ナゲ、磨き	内：Hue 2.5YR6/4 外：Hue 10YR5/4	II-④	外面産物あり
	23	縄文土器	器形不明土器			断片 内：ナゲ 外：磨き	内：Hue 10YR7/2 外：Hue 5YR4/1	II-④	外面スス?
	24	縄文土器	洗鉢形土器			断片 内：ナゲ 外：ナゲ、磨き	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR5/3	II-④ 包含層埋土	
17	25	石器	敲石	長さ 128 幅 11.5 厚さ 4.0		完形 内： 外：	内：Hue 外：Hue	II-④ 1号ビット	重量1045g
	26	石器	敲石	長さ 10.3 幅 5.2 厚さ 3.0		完形 内： 外：	内：Hue 外：Hue	II-④ 包含層埋土	重量266g 使用痕あり
	27	石器	凸石	長さ 20.9 幅 15.3 厚さ 6.6		完形 内： 外：	内：Hue 外：Hue	II-④ 1号ビット	重量2280g
	28	石器	石 錘	長さ 8.55 幅 6.8 厚さ 2.3		完形 内： 外：	内：Hue 外：Hue	II-④ 壁穴住居址	重量211g
	29	石器	敲石	長さ 8.15 幅 7.6 厚さ 3.7		完形 内： 外：	内：Hue 外：Hue	II-④ 1号ビット	重量294g
	30	石器	削片	長さ 1.85 幅 1.1 厚さ 0.6		内： 外：	内：Hue 外：Hue	II-④ 地山直上	重量0.9g 片礫石
	31	陶製品	磁管破口	長さ 5.4 幅 1.2 厚さ 1.2		破口のみ 内： 外：	内：Hue 外：Hue	II-④ 包含層埋土	重量6.6g 割・折

IV 本莊北地区の調査

1. 本荘団地北地区基幹・環境整備工事に伴う発掘調査(0304調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査地点は、本荘北地区に所在する本庄遺跡内にある。本荘地区は、白川の蛇行が見られなくなり下流域に差し掛かる地点にあり、白川左岸の自然堤防上（標高14m）に立地する。本地点は本荘北地区の北辺中央部に位置する。

本工事は、平成14年度末に計画された基幹・環境整備事業である。本荘北地区大学附属病院の設備管理棟北側に発電機室を建設し、発電機室から共同溝を敷設して既設の共同溝（0104調査地点：熊本大学埋蔵文化財調査報告書第6集）に繋げる工事である。

本荘北地区では校舎や病棟の新営に伴い、比較的規模の大きな調査が行われてきた。その既往の調査で古墳時代前期から古代にかけての集落が確認され、0104調査地点では弥生時代の遺構としては初めて弥生時代前期初の溝も検出された。本荘北地区の遺構の分布は、白川に近いほど濃密であることが分かっており、また古墳時代の遺構は敷地の西側に偏る傾向にある。

本地点では既設の建物を解体・撤去したのち、発掘調査を実施した。調査区の形状が不定形であるため、説明の便宜上、東側広い部分を東側調査区、東西に伸びる部分を調査区東西部、西側の南北に伸び若干幅広い部分を西側調査区とする。掘削は東側から開始した。東側調査区は、攪乱が顕著で大半が破壊されていた。堅穴住居址が部分的に残されており、ほかピット群が検出された。これらの中には、掘立柱建物になると思われるものがある。調査区東西部も攪乱による破壊が著しいが、西側は遺跡の遺存状態は良好であった。西側調査区は攪乱をほとんど受けておらず、敷石をもつ溝状の遺構や弥生時代・古墳時代の溝が検出され、古式土師器の一括資料に恵まれた。

b. 調査の経過

- 2003年6月2日 発掘調査開始。一次掘削を進めつつ、作業員を投入。
東側調査区の遺構検出・掘削。西へ順次掘削拡大。
- 2003年6月6日 15号溝完掘、写真。掘立柱建物柱穴実測。
- 2003年6月9日 東側調査区測量。調査区東西部、遺構掘削。51号溝掘削開始。
- 2003年6月10日 調査区東西部、遺構掘削開始。
- 2003年6月13日 調査の重点を西側へ移す。52号溝（15号溝の下）掘削。
- 2003年6月26日 51号溝完掘、写真。92号溝完掘、写真。遺構測量等。
- 2003年7月2日 調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：坂元紀乃

発掘作業員：伊藤千代子・岡田イツ代・押方富江・河野義勝・黒木重信・黒木タケ子・白石美智子・溜淵俊子・西 信二・林田恵子・早田咲百合・福田久美子・堀川貞子・前田和子・前田宏一郎・前田日出男・松井昭子・松本和徳・水上順子・桃井哲夫・森川征子・森川護・森田登・森みどり

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・溜淵俊子・林田恵

1. 本荘団地北地区基幹・環境整備工事に伴う発掘調査（0304調査地点）

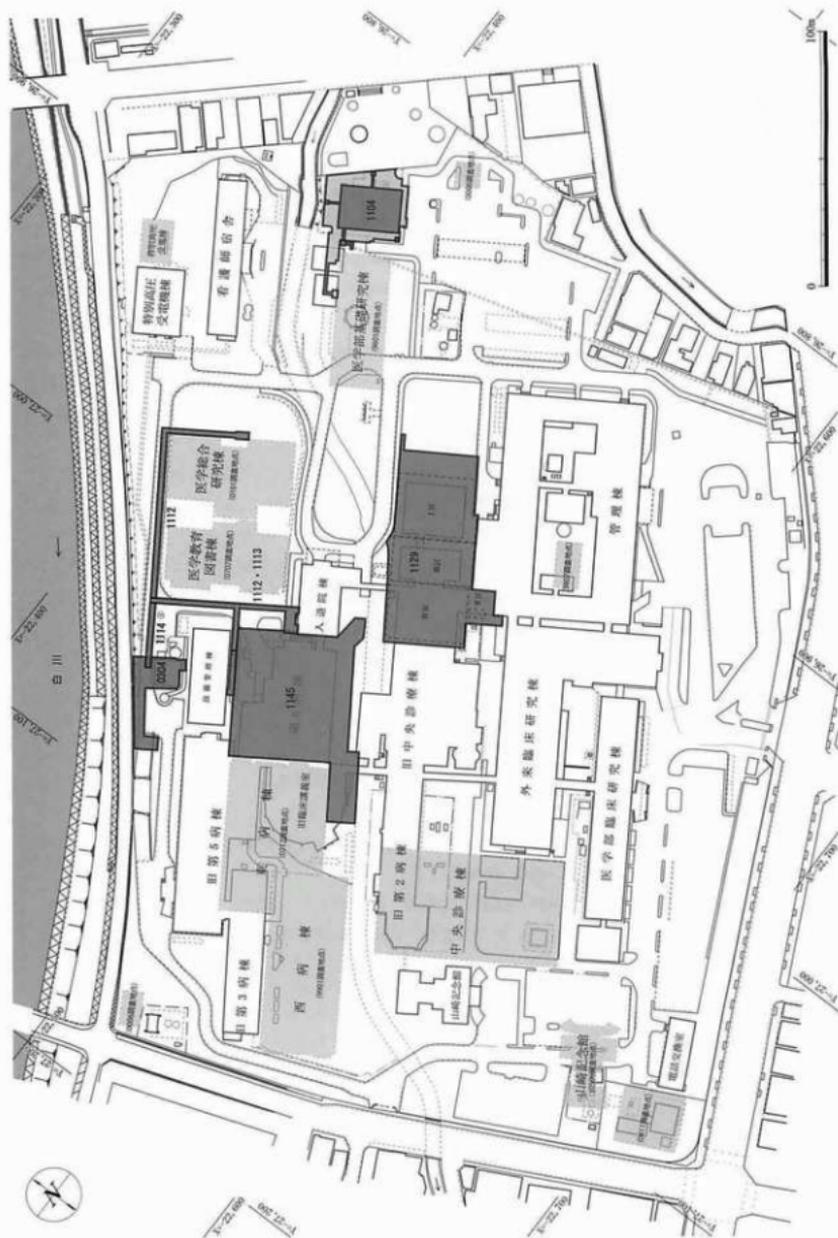


図18 本荘北地区における調査地点配置図（1/2000）

子・早田小百合・増井弘子・山壽早苗

(2) 調査区の基本層序

本調査区は、全体的に遺構面である地山直上まで近・現代の削平が及んでおり、また、配管工事が周辺で行われ遺物包含層もほとんど残っていない。調査区東側では削平が顕著で包含層の遺存はなく、西側部分では残存していた。調査区の北縁で観察すると、東端では道路舗装のためのバラス(54cm)下がすぐ地山である。東から1/3ほどの地点では舗装面・バラス(35cm)・埋土(30cm)の下が地山である。西側M92付近では舗装面・バラス(40cm)・埋土(70cm)(部分的に遺物包含層)で地山となる。51号溝および調査区西壁土層断面図(図19)では、2層が古代の遺物包含層である。地山は西側に向かって傾斜しており、東側に比べると削平の程度は軽い。

(3) 検出遺構

< 竪穴住居址 >

1号竪穴住居址(図20)

東側調査区の中央、南西部で検出した。攪乱のため、住居址の北側隅の一部が遺存しているのみである。現況では1.2×1.2mである。住居址の軸は南北から若干西へ振れており、白川に対して正面を向く。北西辺には焼土塊があり、竈の芯となる砂岩も出土した。砂岩は原位置を保ってはいないが、北西辺に竈があった可能性がある。この焼土を中心として折り返すならば、1辺2.5m程度の住居址と考えられる。既往の調査事例比較とすると、1号住居址は竈を持ちながら、住居址は北の方位をとらず、古墳時代と古代の住居址の要素が見られる。遺物は土師器の細片が数点出土したのみである。

3号竪穴住居址(図20)

東側調査区の東壁中央付近で検出された。全体の西側1/3程度を残すのみである。削平され、数cmの深さしか残っていない。南北は4.8mで、おおよそ5m四方の竪穴住居址だったと思われる。住居址は北を向くが、西へ少し振れている。9901調査地点で検出された集落の状況では、古墳時代の住居址は一辺が4～7mと概して大きく、軸の方向はばらばらである。古代になると小型化し、また大型のものも含めて住居址の軸はおおよそ南北に揃う。9901調査地点の成果からすると、3号住居址は古代を前後2期に分けた場合の、全半(7世紀代8世紀初頭)の時期の住居址の可能性考えられる。

56号竪穴住居址(図20)

調査区東西部の中央やや西よりに位置する。主要部を攪乱によって破壊されているため、不明な点も多いが、住居址として報告しておく。現状から一辺3.5m程度の住居址であったと考えられる。3号竪穴住居址と同様に概ね北を向き、やや西に軸が振れる。56号竪穴住居址より以西は、攪乱による破壊や削平が少なく遺構の遺存状態は良好で、56号竪穴住居址も約0.6mの深さが残されていた。古式土師器の竈と器台が出土している。

< 溝 >

92号溝(図21)

15号溝の東側1mの地点に、15号溝に並行するように走る。51号溝を検出したレベルでは確認できなかったが、51号溝の壁が一切り取られたように確認できない部分があり、その上部を15cmほど下げたところで、確認できた。現状で幅約1.7m、深さ約1mで、断面は逆台形である。51号溝との交差点において、51号溝の遺物に乱れないことから91号溝が先行する。溝の上部と底から30cmほ

1. 本荘跡地北地区基幹・環境整備工事に伴う発掘調査 (0304調査地点)

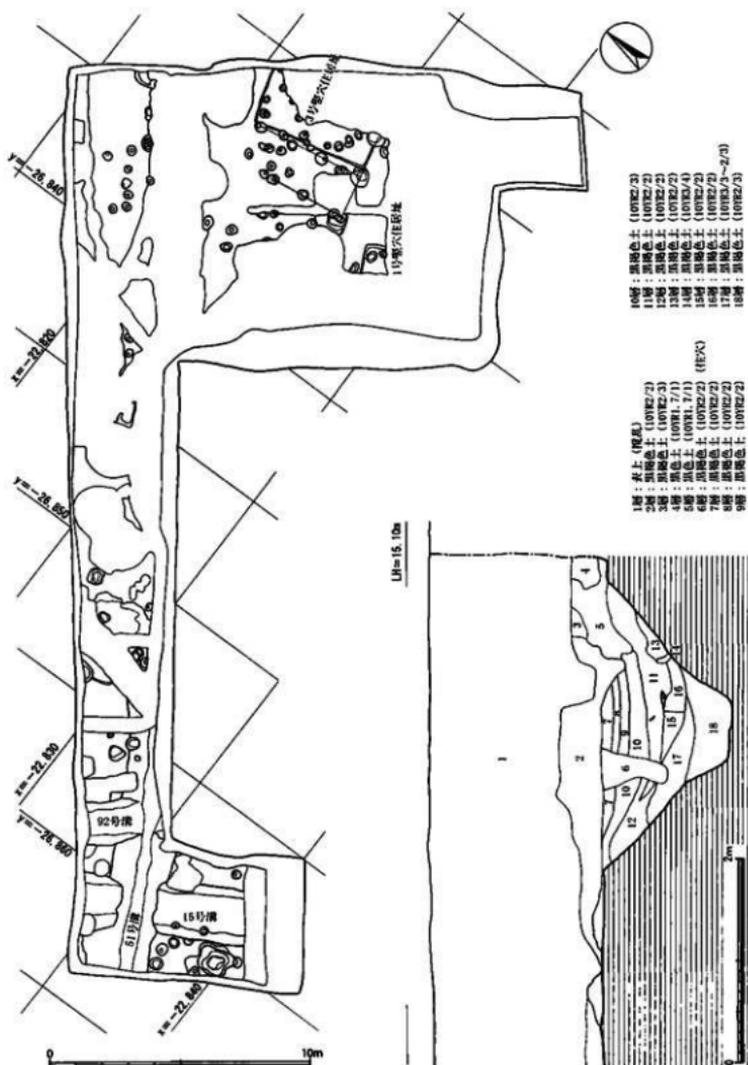
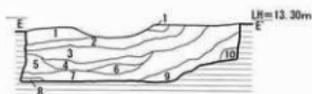
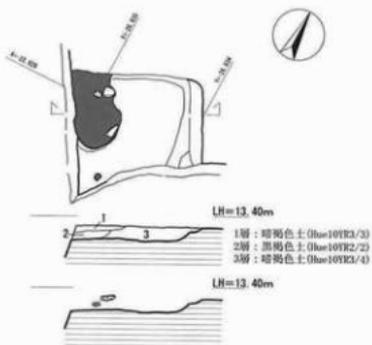


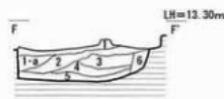
図19 0304調査地点遺構配置図・西壁土層断面実測図 (1/200・1/50)

※この図は日本測地系で表記

1号竖穴住居址

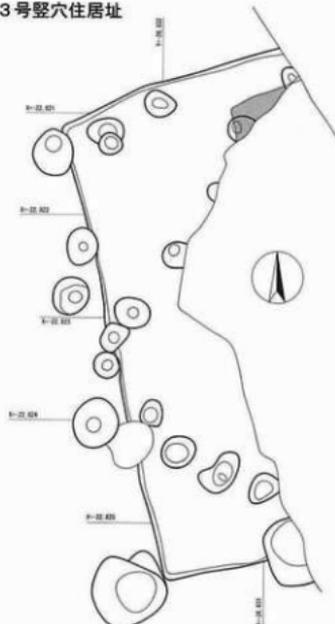


- 1層：黒褐色土 (Ohae10YR2/2)
2層：黒褐色土 (Ohae10YR2/3)
3層：暗褐色土 (Ohae10YR2/3)
4層：暗褐色土 (Ohae10YR2/4)
5層：暗褐色土 (Ohae10YR2/3)
6層：暗褐色土 (Ohae10YR2/3)
7層：暗褐色土 (Ohae10YR2/3)
8層：暗褐色土 (Ohae10YR2/4)
9層：暗褐色土 (Ohae10YR2/2)
10層：暗褐色土 (Ohae10YR2/2) 地山

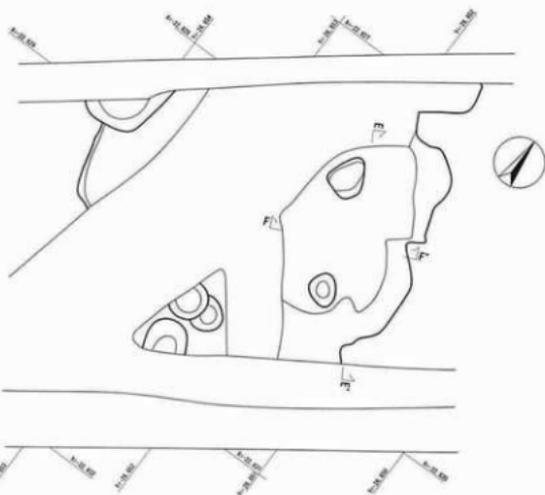


- 1層：黒褐色土 (Ohae10YR2/3)
2層：黒褐色土 (Ohae10YR2/3)
3層：暗褐色土 (Ohae10YR2/4)
4層：暗褐色土 (Ohae10YR2/3)
5層：暗褐色土 (Ohae10YR2/2)
6層：暗褐色土 (Ohae10YR2/3)

3号竖穴住居址



56号竖穴住居址



- 1層：黒褐色土 (Ohae10YR2/3)
2層：黒褐色土 (Ohae10YR2/3)
3層：暗褐色土 (Ohae10YR2/4)
4層：暗褐色土 (Ohae10YR2/3)
5層：暗褐色土 (Ohae10YR2/2)
6層：暗褐色土 (Ohae10YR2/3)



図20 1・3・56号竖穴住居址実測図 (1/50)

どのところで、弥生時代の土器が3点出土した。板付I式の壺形土器と思われる頸部～肩部の破片と底部片である。位置的に0104調査地点で検出された弥生時代の125号溝と繋がるようである。なお、調査概報では遺構番号を「91」としたが、「92」と改める。

51号溝 (図21)

西側調査区の西北隅付近から、調査区西南部にかけて南西―北東に走る溝である。15号溝と交差する。現状で幅約2.3m、深さは約1mである。底の幅が狭く、断面は逆台形かV字を呈する。溝の東側の延長部は、本来東側調査区に達するはずであるが、東側調査区では検出されなかった。このため、調査区外となる調査区東西部南側で南へ屈曲していると推察される。0104調査地点でも、S字或いはL字クランクのように屈曲した古墳時代の溝を検出しており、周辺の当該時期の溝は、複雑に方位を変えているようである。周辺のこれまでの調査と同じく、51号溝からは古墳時代前期の古式土師器がまとまって出土した。器種には甕・高坏・小形丸底埴・手捏土器・大型甕などがある。遺物のなかで甕の多さが目立つ。

15号溝 (図19・22)

西側調査区の中央を貫く、北西―東南に走る溝である。現状で幅約2.2m、深さは0.3mである。埋土を除去し遺物包含層の上面レベルで検出した。溝の南端部を深さ0.25mほど掘った所で、3～5cmの玉砂利が敷き詰められているのが確認された。北に2mほど広がり、それより北は部分的に残っている状態である。石は大きさや形状を揃え、丁寧に隙間なく敷いている。この敷石の下には、水的作用によると思われる鉱物を含む硬い層が厚さ20cmにわたり堆積している。敷石の間からは近代陶磁の破片がかなり出土し、素焼きの人形なども出土した。掘削後、溝として一定期間使用した後に敷石を敷設したようだが、敷石が何のためかは不明である。

52号溝 (図19・22)

15号溝と重複する。15号溝を完掘したのち、さらに掘り方が周囲および下方へ広がる様子が観察されたため、遺構番号を別に付し遺物を分けて掘削した。溝の肩の幅は15号溝とはほぼ変わらないが、側面の幅が広がり、20cm程度深くなった。遺物は近世・近代の陶磁器類と、本来は51号溝の遺物である古式土師器が出土している。

<土坑>

2号土坑 (図22)

東側調査区の南西部、1号竪穴住居址の北西部に位置する。遺構面が規乱により破壊され、陸橋状に残された部分に位置する。このため、東西両端が削片されて失われている。現状では0.9×1.5mである。浅い皿状の土坑に、1号掘立柱建物の柱穴が掘り込まれている。性格は不明である。

60号土坑 (図19)

西側調査区15号溝の西側に位置する。不整形の穴で、数度掘り直しを行ったようである。性格は不明である。

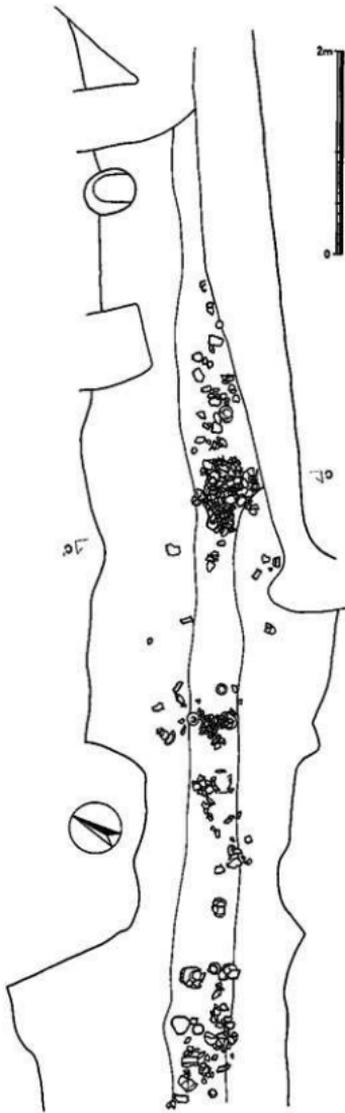
<掘立柱建物址>

東側調査区の中央付近で、柱穴列を3列検出した。

1号掘立柱建物址 (図22)

3号竪穴住居址の南壁に沿うように、柱穴3つが検出された。おおよそ南北に並ぶが、わずかに西に触れる。この3つは、他の柱穴やピットより一回り大きく、直径は70cm程度である。西端の柱穴

51号溝



92号溝

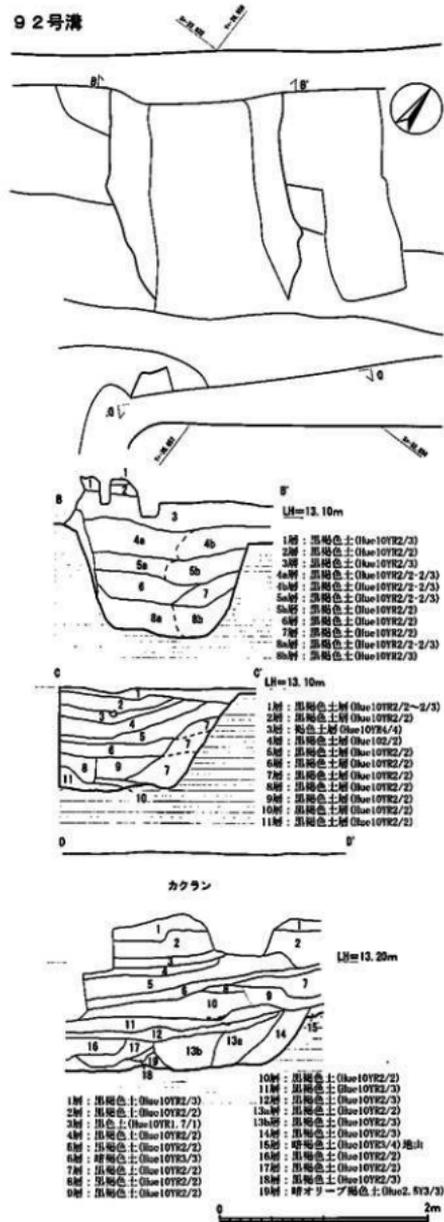


図21 51号溝遺物出土状況・92号溝土層断面実測図 (1/50)

は他の遺構と重複しており、本来の大きさは不明であるが、深さなどから一連のものと思われる。北側では、同規模の柱穴が検出されなかったため、建物は南側へ展開すると思われる。調査概報（熊本大学埋蔵文化財調査室年報6）では、古墳時代の建物と報告したが、遺物を精査した結果から古代の掘立柱建物と訂正する。

2号掘立柱建物址 (図22)

3号竪穴住居址の西壁沿いに並ぶ柱穴列を2号掘立柱建物とする。概ね北を向くが、やや西に振れる。柱穴は直径40cmである。北2個の柱穴と南2個の柱穴の深さが極端に異なる点は、同一の柱列と考える際にやや気になる。1号掘立柱建物址の中央及び東端の柱穴は、掘り返しを行ったと思われる痕跡があり、2号掘立柱建物が再利用した可能性が考えられる。そうすると、2号掘立柱建物は東側へ展開すると思われる。

3号掘立柱建物址 (図22)

2号掘立柱建物址の西側に、同じ間隔で柱穴が並ぶものを3号掘立柱建物址とした。柱穴は2号掘立柱建物址と同じく、直径が40cm程度で、北の1つと南2つの柱穴の深さが極端に異なる。周辺での調査事例では、同規模の建物が並設してようであり、3号も2号と同規模で同時存在していた可能性がある。規模は恐らく同じで、本来なら北側にあと一つの柱穴があったと考えられるが、検出できなかった。3号掘立柱建物は、西側に展開したと思われる。

(4) 出土遺物 (図23~26)

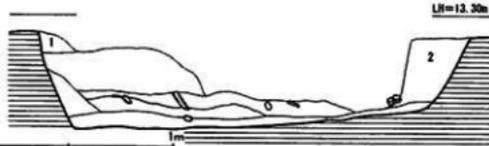
92号溝 (図23: 1~3)

図23: 1は縄文土器の深鉢である。口縁端部と屈曲部に刻目突帯を廻らせる。図23: 2及び3は、弥生土器の甕形土器である。2は表面を丁寧に磨いている。3は大型製品である。いずれも肩部に一条の沈線が施されている。3はやや大きめの長石の粒の混入が目立つ。

51号溝 (図23: 4~28、図24: 29~48、図25: 49~59)

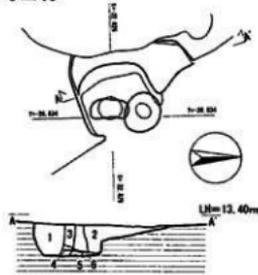
図23: 4及び5は弥生土器の甕形土器の口縁部である。4・5は如意形口縁の端部に細かい刻み目を施している。図23: 6は甕形土器の屈曲部突帯部分である。細かい刻目が施される。図23: 7は弥生土器の甕形土器底部である。これら4~7の土器は、51号溝が古墳時代の遺物でほぼ占められることからすると、本来は92号溝の遺物である可能性が高い。図23: 8・9は手捏ね土器である。図23: 10は器台である。脚部は大きくやや膨らんで広がる。口縁部は直立せずに緩やかに広がる。図23: 11~13は高坏である。11の坏部は下方の段を痕跡程度に残す。口縁部は外半せず、内湾気味に立ち上がり、大きくは開かない。12は段を残すようであるが、詳細は分からない。口縁は直線的に立ち上がり、大きくは開かない。13は脚部が瓮状に膨らみ気味で短く、布留系の特徴をよく示している。坏部の口縁は直線的に立ち上がり開く。下方に段が沈線状につく。14は脚部が屋影らみ気味で裾が広がり、安定感のある高坏である。坏部は下方に明瞭な陵がつき、口縁は外半気味に開く。15の脚部は太くやや直線的にのびる。坏部は口縁部が直線的に開き、下方には9と同様に小さな段がつく。16は唯一、脚部が細く真っ直ぐな筒状であり、坏部も段がなく内湾した器となっている。17は坏部を欠く。瓮状に膨らみ、短めの脚部である。裾はあまり大きく開かず、立ち上がり気味である。18も坏部を欠く。やや膨らみ気味で、少し長めの脚部である。19の脚部は真っ直ぐな筒状で、半分は中実である。裾の部分が立ち上がらない。これらの高坏は布留系のもので、時期は布留Ⅱ式を中心とする。16の脚の特徴は九州在地系の特徴であるが、坏部の特徴は異なる。19も異例である。図23: 20~23・図24: 24は小型丸底壺・鉢である。20~25は、いずれも口縁部が長く内湾しながら立ち上がる。胴部は口縁に比して

15号溝



- 1層：黒褐色土 (Ohae10YR2/3)
 2層：黒褐色土 (Ohae10YR2/3)
 3層：暗褐色～黒褐色土 (Ohae10YR2/3～3/4)
 4層：暗褐色砂質土 (Ohae10YR2/2)
 5層：暗褐色砂質土 (Ohae10YR2/2)
 6層：黒褐色土 (Ohae10YR2/2)

2号土坑



- 1層：黒褐色土 (Ohae10YR2/3)
 2層：黒褐色土 (Ohae10YR2/3)
 3層：暗褐色土 (Ohae10YR2/3)
 4層：黒褐色土 (Ohae10YR2/3)
 5層：黒褐色土 (Ohae10YR2/2)
 6層：黒褐色土 (Ohae10YR2/2) 地山

1・2・3号掘立柱建物

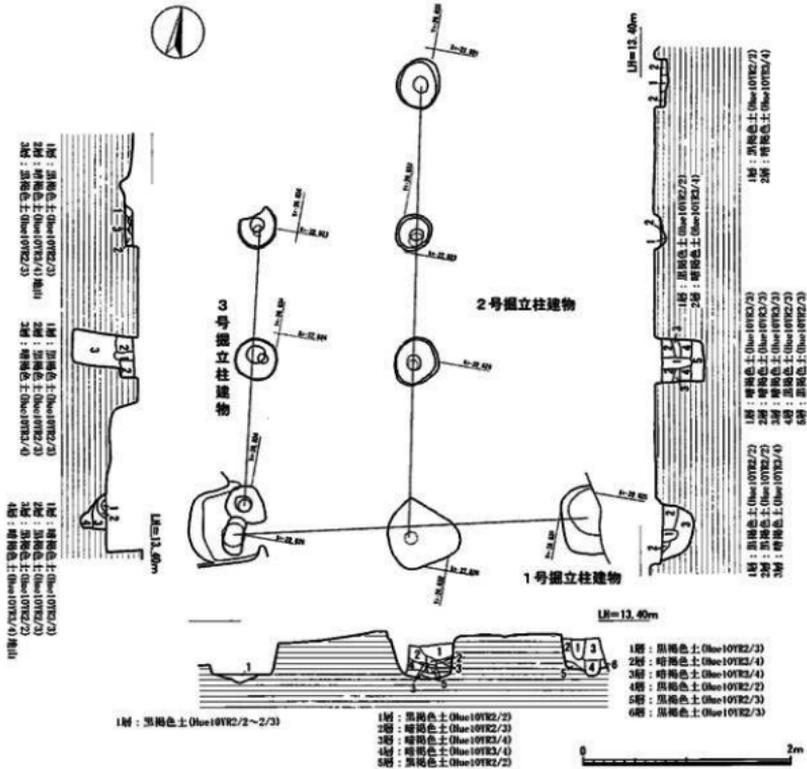


図22 15号溝整石断面図・15号溝土層断面実測図・2号土坑実測図・1・2・3号掘立柱建物実測図
 (1/25・1/50)

小さめで、布留Ⅰ式の新しい段階から布留Ⅱ式のものであろう。27～29も同様の時期である。図24：30～31・40は広口の直口甕である。他図24：32から図25：50までは土師器甕である。図25：51・52は二重口縁甕の口縁・頸部である。いずれも口縁は直立気味で開かない。図25：53は古代の土師器坏である。刻書がある。図25：54は甕台坏部の口縁と思われるが、碎片で詳細は不明である。図25：55は古代土師器の坏である。図25：56は古代の甕の口縁部である。図25：53、55～56は、本51号溝と近世以降と考えられる15号溝との交差地点での混入と考えられる。

52号溝(図25：57～58)

図25：57～58は古代の土師器坏である。8世紀後半の時期か。52号溝からは、このほかにも古代の土師器や須恵器が出土しているほか、近世・近代のものと思われる陶磁器、泥メンコ類も出土している。

15号溝(図25：59～62)

図25：59は古代の甕の口縁部である。図25：60～62は近代の磁器で、ぐい呑みや蓋である。

1号竪穴住居址(図25：63～64)

図25：63は土師器坏の口縁部、64は須恵器椀、或いは高坏か。7世紀代の可能性がある。

3号竪穴住居址(図25：65～68)

図25：65は古代の土師器坏の口縁部である。66は土師器椀の口縁部である。67は須恵器坏の底部、68は須恵質の甎の把手である。断面は円形ではなく板状である。

56号竪穴住居址(図25：69～70)

図25：69は古式土師器の甕で、やや長めで内湾する口縁を持つ。70は甕台の坏部である。いずれも布留Ⅱ式と思われる。

41号溝状遺構(図25：71～72)

41号溝状遺構は、51号溝の上面にあった溝状の部分である。図25：71～72は短頸直口甕で、布留Ⅱ式の頃か。

60号土坑(図25：73)

図25：73は土師器坏である。8世紀後半か。

83号ピット(図25：74)

図25：74土師器碗である。底の端部に高台が付く。8世紀末～9世紀初頭かであろう。

その他(図25：75～88)

図25：74～81は包含層中の遺物、82～88は掘乱からの出土である。75～77・82～83は土師器坏、78は直口甕の口縁部である。79は鉢である。80～81・84～88は須恵器甕である。84は丸味のある器形で宝珠形つまみを持つ。85も厚みと丸味がある器形で小さいが返りが付いており、やや古相を示す。7世紀中葉～後半か。86は返りがなくなるが、厚さがある。8世紀前半かであろう。87は扁平化が進んでいる。8世紀後半かであろう。88は9世紀前葉か。

図25：89～102は縄文土器・弥生土器である。89は、外面は粗い条痕を一面に施し、内面は丁寧にナデで調整されている。後晩期の所産か。90は8条の沈線が雑に施されている。古閉式の口縁部か。91は外面は粗い条痕が施され、内面は丁寧にナデにより調整されている。92は細かな条痕と沈線が施されている。磨削縄文土器の破片である。93は外面に撚糸のような非常に細かな縄文が一面に施されている。94は、途中で途切れる雑な沈線が2条施されている。古閉式の深鉢の口縁部であろう。95は、断面円形の粘土紐が口縁となっている。朝鮮系無文土器(円形粘土帯土器)と思われる。51号溝からの出土であるが、弥生時代の92号溝との交差がある。92号溝の遺物とほぼ同時期である。96は刻目突

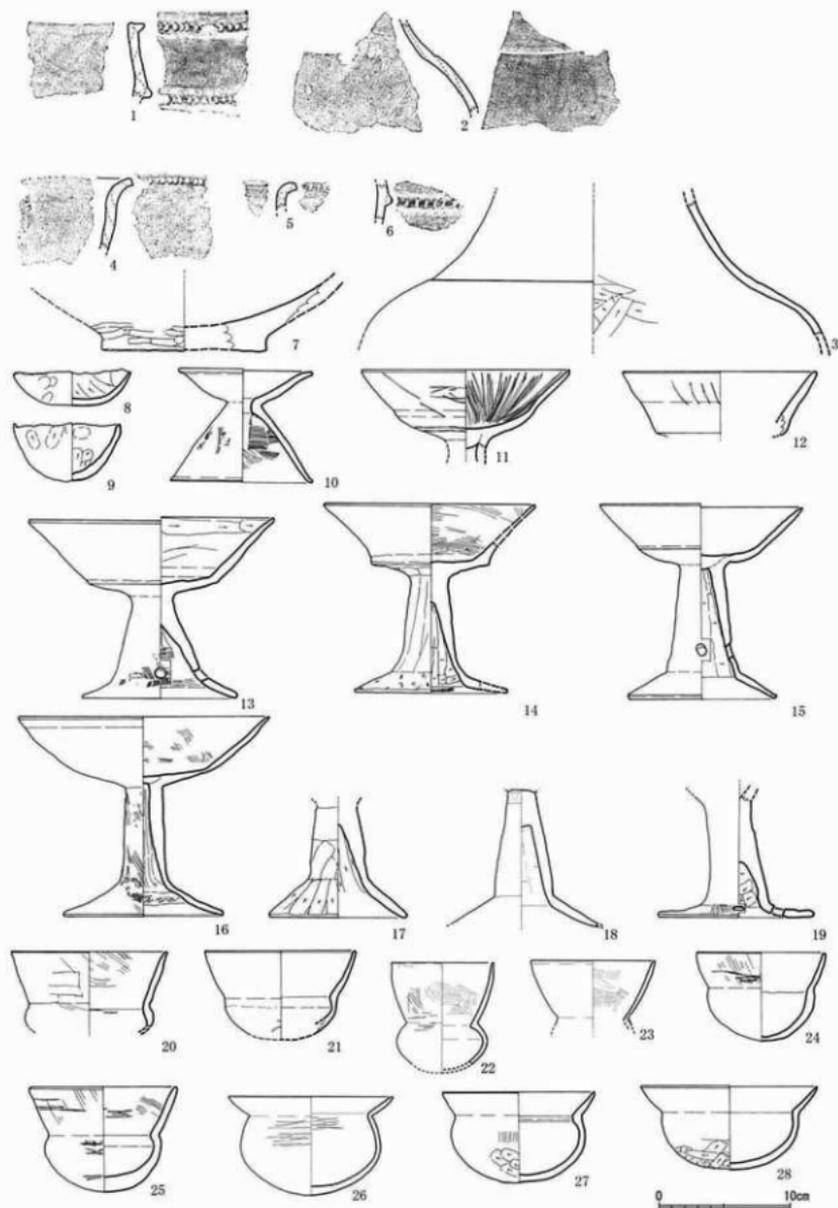


图23 0304調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

1. 本荘団地北地区基幹・環境整備工事に伴う発掘調査 (0304調査地点)

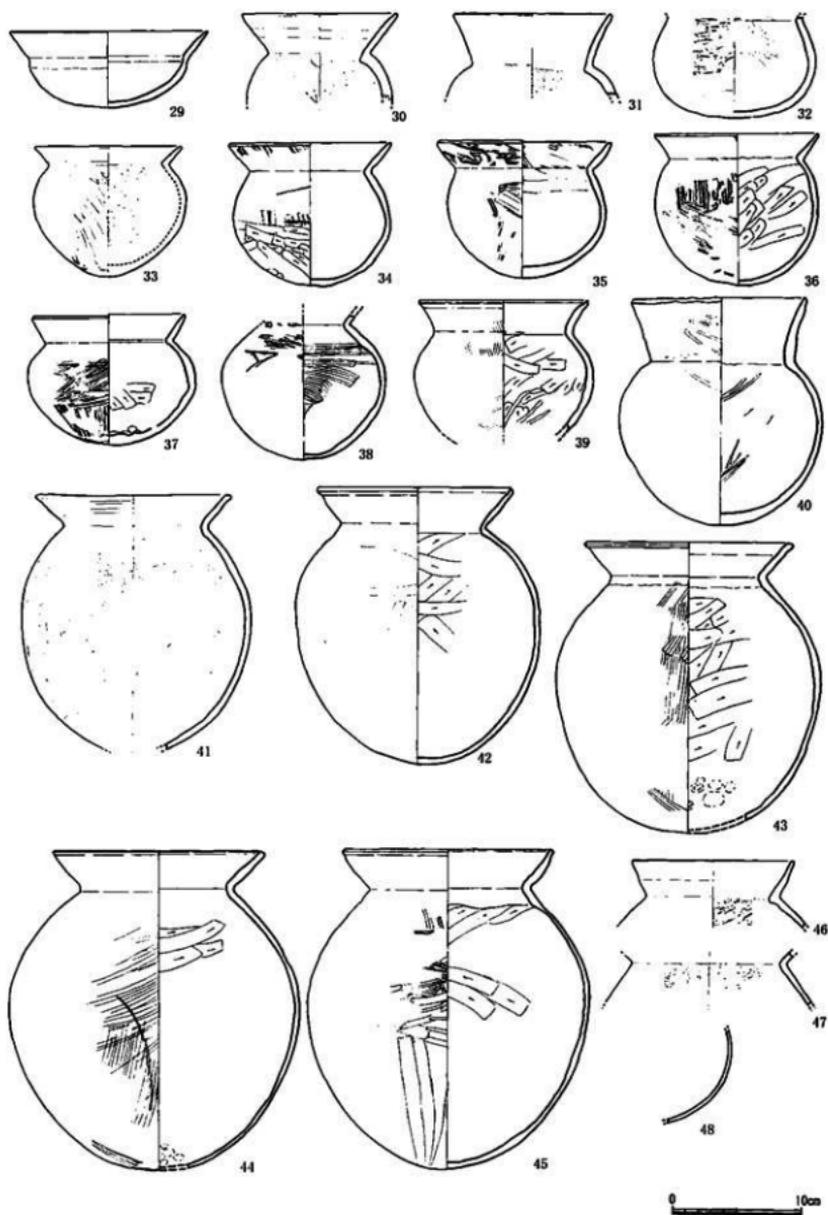


图24 0304調査地点出土遺物実測図2 (1/4)

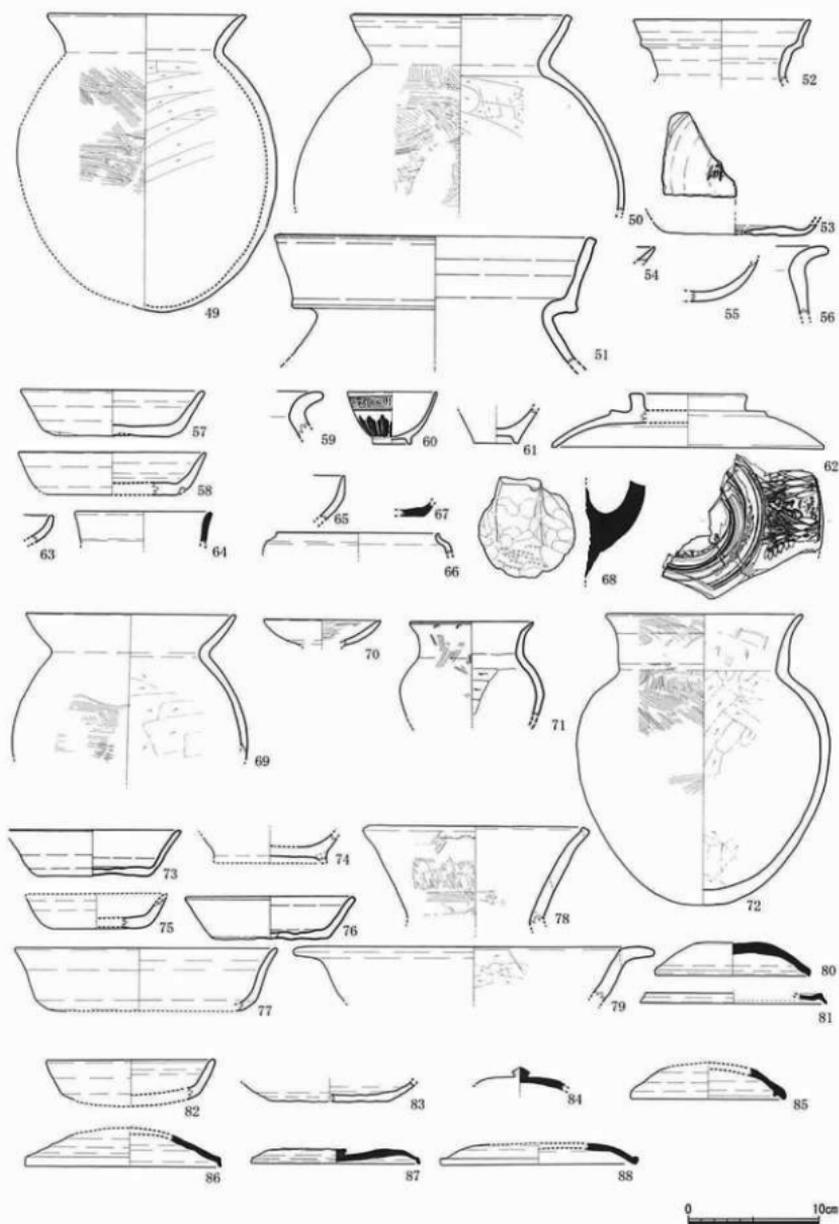


図25 0304調査地点出土遺物実測図3 (1/4)

1. 本荘田地北地区基幹・環境整備工事に伴う発掘調査 (0304調査地点)

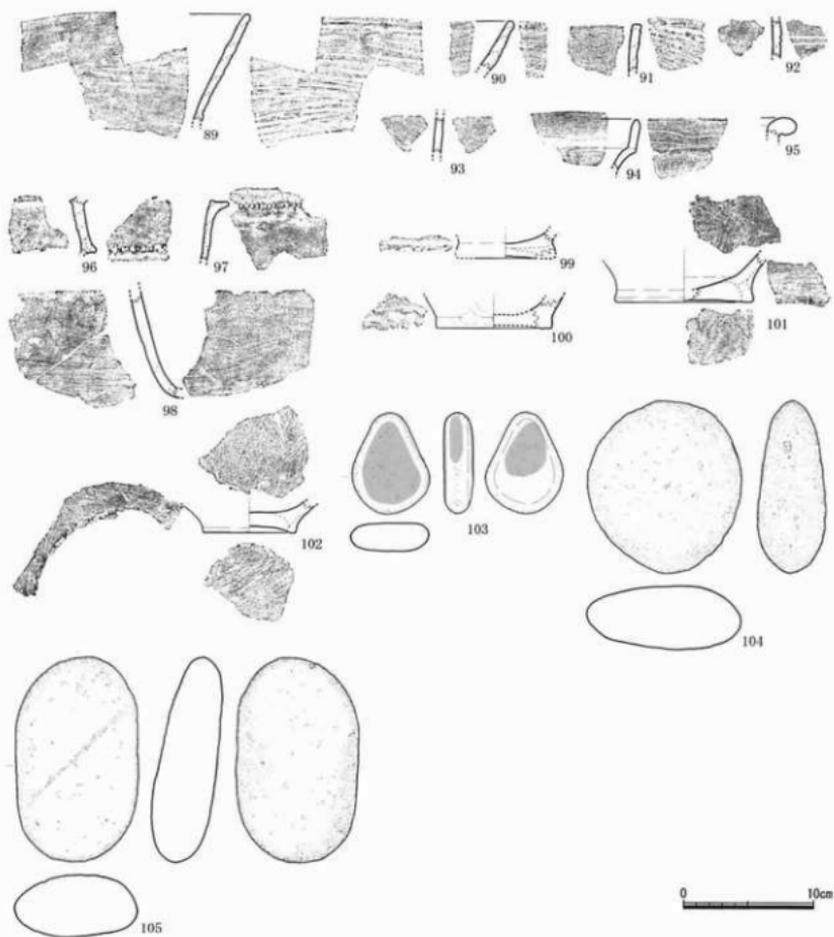


図26 0304調査地点出土遺物実測図4 (1/4)

帯文土器である。口縁部内側端部には摘まみだしたような凸部がある。突帯には細い刻目が施されている。口縁部にも突帯があったと思われるが、欠失している。97は甕の口縁部である。平坦面を持ち、端部に細かい刻目を施す。城ノ越式の鋤型口縁に近い形態となっている。98は弥生時代前期壺の頸部である。99～102は縄文土器の底部である。図26：103～105は磨り石である。石材は安山岩と思われる。104はやや多孔質である。

(5) まとめ

本調査区は、変則的な範囲であり、近現代の工事による攪乱も顕著であった。調査区東側は、旧地形の標高が高いため、遺構面の削平もあり、住居址の遺存状態は決して良いとは言えない状況であった。しかしながら、白川を目前に控えたこの地点においても、竪穴式住居を初めとして掘立柱建物址が検出・確認されたことは一つの大きな成果である。

1999年の9901調査地点において、古墳時代前期の集落を確認して以後、病院敷地西側おける古墳時代の遺構及び遺物資料は充実してきた。本調査区においても51号溝の検出があり、布留Ⅱ式を中心とする時期の古式土師器資料が得られた。遺構説明において既にもふれたが、51号溝の全容は不明である。西側は、このまま延長すれば現在の堤防を越えてしまい、曲がるとすれば、0104調査地点で確認されている数本の溝のうち、どれに繋がるのかつながらないのか、東側はどこかで南に屈曲していると考えられ、どのように続いているのかは不明である。0104調査地点における溝も、屈曲を繰り返すのように通じているのが分からないものがあり、ほか2本とも白川に向かっていて、そのまま白川に通じていたのか、不明である。この時期の溝は、9901調査地点では確認されておらず、検出範囲は極めて限定的であり、南側にはいずれも延びないということでもある。水路としての役割があったのか、何か別の構造物に付随するような別の機能を有した溝であったのか、今後の検討課題である。

今回、弥生時代の溝を検出した。0104調査地点で検出した溝に繋がるものである。この溝は本荘地区での弥生時代の唯一の遺構である。両地点での出土遺物は縄文晩期（弥生早期）夜臼式から弥生時代前期の板付Ⅱ式までのものが多いが、今回はやや時代が下る形態の刻目突帯を持つ土器が出土した。また、丁度時期が重なる朝鮮系無文土器が初めて出土した。本荘地区において、弥生時代の生活の様相は全く不明である。古墳時代・古代だけでなく、弥生時代の遺構や遺物にも注意を払い、今後の調査に期待したい。

1. 本荘町地北地区基幹・環境整備工作に伴う発掘調査 (0304調査地点)

表7 0304調査地点出土遺物一覧表

区	番号	遺物	種類(部類)	直径 (cm)	厚さ	形状	特徴	調査	出土位置	備考	
23	1	縄文土器	酒罎土器 口径 底径 高さ	200		1脚部	内:ナテ 外:ナテ	内:Flue 10YR6/6 外:Flue 25Y5/2	92号溝	朝日堂発文	
	2	弥生土器	鉢形土器 口径 底径 高さ			1脚部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Flue 10YR5/4 外:Flue 10YR5/4	92号溝		
	3	弥生土器	空型土器 口径 底径 高さ			胴部- 頸部片	内:ナテ, 磨り 外:ナテ, 磨き	内:Flue 10YR5/3 外:Flue 7.5YR5/4	92号溝上		
	4	弥生土器	甕形土器 口径 底径 高さ			1脚- 胴部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Flue 2.5YR4/4 外:ナテ	51号溝	1層部に朝日 堂高取溝	
	5	弥生土器	甕形土器 口径 底径 高さ			1脚部片	内:ヨコナテ, ナテ 外:ヨコナテ, ナテ	内:Flue 10YR6/6 外:Flue 10YR6/4	51号溝	朝日堂発文	
	6	弥生土器	甕形土器 口径 底径 高さ			胴部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Flue 7.5YR5-6 外:Flue 5YR6-6	5号溝 1西側段	朝日堂発文	
	7	弥生土器	空型土器 口径 底径 高さ	12.6		底部片	内:ナテ 外:磨き	内:Flue 10YR6-4 外:Flue 10YR5-4	51号溝東・No134	内面コゲ付	
	8	千石土器	鉢	口径 底径 高さ	9.0 2.5 2.8		ほぼ定形	内:ナテ 外:ナテ, 磨ナテ	内:Flue 10YR6-4 外:Flue 10YR6-4	51号溝No174	内外面1脚部スス付
	9	千石土器	鉢	口径 底径 高さ	8.1 2.1 4.5	2.3		内:ナテ, 磨ナテ 外:ナテ, 磨ナテ	内:Flue 5YR4-4 外:Flue 5YR5-6	51号溝・東	内外面1脚部スス付
	10	土師器	器台	口径 底径 高さ	10.2 10.9 8.8		ほぼ定形	内:回転ナテ, ナテ, ハツ目	内:Flue 5YR6-6 外:回転ナテ, 磨き, ハツ目	51号溝・西側2層・A F・AのF・No100・ No110・No119	内外面1脚部スス付
	11	土師器	高坏	口径 底径 高さ	16.2		坏部のみ	内:回転ナテ, 磨き 外:回転ナテ, 磨き	内:Flue 5YR6-6 外:Flue 5YR6-6	51号溝西側2層(表 F)・西側部・A F・ No11・No10・No110	内外面面
	12	土師器	高坏	口径 底径 高さ	15.0		1脚部のみ(4)	内:回転ナテ 外:回転ナテ	内:Flue 7.5YR6-4 外:Flue 7.5YR5/4	51号溝No25・No30・No 30	
	13	土師器	高坏	口径 底径 高さ	18.7 11.8 14.1	2.3		内:回転ナテ, ハツ 目, 磨き 外:回転ナテ, ハツ 目, 磨き	内:Flue 10YR7-4 外:Flue 10YR7-4	51号溝・A F・No87・ No12	胴部に穿孔(3ヶ所) 磨きムラあり
	14	土師器	高坏	口径 底径 高さ	16.5 12.0 14.7	2.3		内:磨り, ハツ目 外:回転ナテ, ナテ, ハツ目	内:Flue 7.5YR5-4 外:Flue 7.5YR5-4	51号溝A F・No53・No 112・No118・No122	
	15	土師器	高坏	口径 底径 高さ	15.7 11.5 15.2		ほぼ定形	内:回転ナテ, 磨り 外:回転ナテ, 磨き	内:Flue 7.5YR6-6 外:Flue 7.5YR6-6	51号溝A F・No115	胴部に穿孔(3ヶ所) 坏部内面磨き多い
	16	土師器	高坏	口径 底径 高さ	19.1 12.2 15.5	1.2		内:回転ナテ, ナテ, 磨き 外:回転ナテ, ハツ目	内:Flue 5YR6-4 外:Flue 10YR6-4	51号溝No132・No152・ No153	内外面1脚部スス付
	17	土師器	高坏	口径 底径 高さ	10.7		胴部のみ	内:回転ナテ, 磨り 外:回転ナテ, 磨り, ハツ目	内:Flue 5YR5-6 外:Flue 2.5YR5-6	51号溝No144	
	18	土師器	高坏	口径 底径 高さ			胴部 2	内:回転ナテ, 磨り 外:ナテ	内:Flue 7.5YR7-6 外:Flue 5YR7-6	51号溝東・No15	
	19	土師器	高坏	口径 底径 高さ	12.0		胴部のみ	内:ナテ, 磨り 外:ナテ, ハツ目, 磨 き	内:Flue 7.5YR5-6 外:Flue 7.5YR5-6	51号溝 底, 51号溝No 133	胴部に穿孔(3ヶ所) 坏部内面磨きムラあり
	20	土師器	小型 丸底鉢?	口径 底径 高さ	11.9		1/8	内:ナテ, ハツ目 外:ナテ	内:Flue 7.5YR5/4 外:Flue 10YR5/3	51号溝底	磨きムラあり
	21	土師器	小型丸底鉢	口径 底径 高さ	11.6		1/3	内:回転ナテ 外:磨き	内:Flue 5YR5-6 外:Flue 5YR5-6	51号溝・交叉溝, 92号 溝	
	22	土師器	小型丸底鉢	口径 底径 高さ	8.0		約 1/4	内:ナテ, ハツ目 外:磨き, ハツ目	内:Flue 7.5YR6-6 外:Flue 7.5YR6-4	51号溝	
	23	土師器	小型丸底鉢	口径 底径 高さ	9.7		1脚部のみ 1/2	内:ハツ目 外:回転ナテ, 磨き	内:Flue 5YR6-6 外:Flue 5YR5-4	51号溝	外面1脚部スス付
	24	土師器	小型丸底鉢	口径 底径 高さ	10.0 6.9		定形	内:磨き 外:ハツ目, 磨き	内:Flue 5YR6-6 外:Flue 2.5YR6-8	51号溝No136	磨きムラあり
	25	土師器	小型丸底鉢	口径 底径 高さ	11.7 8.3		ほぼ定形	内:回転ナテ, 磨き 外:ハツ目, 磨き	内:Flue 2.5Y1/2 外:Flue 10YR6-2	51号溝No23	内外面スス付
	26	土師器	小型丸底鉢	口径 底径 高さ	12.7 7.7		1/2	内:回転ナテ, ナテ, 磨き 外:回転ナテ, ハツ 目, 磨き	内:Flue 10YR6-4 外:Flue 7.5YR6-4	51号溝西側 2層・東・北 No129, 西10cm F1/F	内外面スス付
	27	土師器	小型丸底鉢	口径 底径 高さ	11.9 7.0		ほぼ定形	内:回転ナテ, ナテ 外:回転ナテ, ナテ, ハツ目	内:Flue 2.5Y6-2 外:Flue 10YR7/3	51号溝A F・No58・ No62	磨きムラあり
	28	土師器	小型丸底鉢	口径 底径 高さ	13.6 6.5		3/4	内:回転ナテ, ナテ 外:回転ナテ, 磨り	内:Flue 5YR6-6 外:Flue 7.5YR6-4	51号溝溝底・No141・No 142	内面1脚部スス付
	29	1土師器	鉢	口径 底径 高さ	15.2 6.0	4/5		内:ナテ, 磨き 外:回転ナテ, 磨き	内:Flue 5YR6-6 外:Flue 5YR6-6	51号溝・東, 西下下・ No147・No154	
		2土師器	小型丸底鉢	口径 底径 高さ	12.0		1脚- 胴部片	内:回転ナテ, 磨り, 磨ナテ 外:回転ナテ, 磨き	内:Flue 5YR6-6 外:Flue 5YR6-6	51号溝	内面磨きムラあり
		3土師器	小型丸底鉢	口径 底径 高さ	12.3		1脚- 胴部片	内:回転ナテ, 磨り, 磨ナテ 外:ナテ, ハツ目	内:Flue 5YR6-4 外:Flue 5YR6-6	51号溝	

種	番号	品名	場所(座標)	径長 (cm)	現存状況	特徴	色	調査年度	備考	
34	32	土師器	小形丸底甕	最大径 12.8 底径 11.3 高さ 10.3	約1/4	内：ナテ、ハケ目 外：ハケ目、磨き	内：Hue 10YR6/2 外：Hue 10YR7/4	51号溝	内面コゲ・外面スス付着	
	33	土師器	小形丸底甕	口径 11.3 底径 10.3 高さ 11.2	ほぼ完全形	内：ナテ、磨り 外：ナテ、ハケ目	内：Hue 10YR7/6 外：Hue 10YR7/4	51号溝№105	胴部・底部にスス付着	
	34	土師器	小形丸底甕	口径 12.7 底径 11.2	2/3	内：磨粒ナテ、ナテ、 ハケ目、磨き 外：磨粒ナテ、磨り、 ハケ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	51号溝東・上層褐色土・ベルト・土層中	内外面スス付着	
	35	土師器	小形丸底甕	口径 13.6 底径 10.8 高さ 12.0	約1/2	内：磨粒ナテ、ナテ、 ハケ目 外：ナテ、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 5YR6/5	51号溝 西 壁 脚・A下・№17・№177	外面スス・吹きこぼれ痕あり	
	36	土師器	小形丸底甕	口径 12.7 底径 12.0 高さ 12.9	4/5	内：磨粒ナテ、磨り 外：磨粒ナテ、ハケ目	内：Hue 2.5Y6/1 外：Hue 10YR6/6	51号溝№62	内外面スス付着	
	37	土師器	小形丸底甕	口径 11.8 最大径 12.8 高さ 10.3	ほぼ完全形	内：磨粒ナテ、ナテ、 磨り、磨き 外：磨粒ナテ、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	51号溝西側面・A下・A 07・ベルト・№56・ №105	外面スス 吹きこぼれ痕あり	
	38	土師器	小形丸底甕	最大径 12.7 底径 12.0	2/3	内：ナテ、ハケ目 外：ハケ目、磨き	内：Hue 10YR2/1 外：Hue 5YR6/5	51号溝・№96・№82	胴部あり	
	39	土師器	壺	口径 13.2 最大径 14.0 高さ 14.0	1/4	内：磨粒ナテ、ナテ、 磨り、磨き 外：磨粒ナテ、磨り、 ハケ目	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 10YR7/3	51号溝東 1・№149・ №171	外面スス付着	
	40	土師器	壺	口径 13.6 最大径 15.8 高さ 17.8	3/4	内：ナテ、磨き 外：ナテ、5YR6/5	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 5YR6/5	51号溝・西側2部・A 下・底・ベルト・№ 54・№89・№105・№ 121・№125・№134・ №126・№129	外面スス 吹きこぼれ痕あり	
	41	土師器	壺	口径 15.2 最大径 17.7 高さ 17.7	2/3	内：磨り、磨き 外：ナテ、ハケ目	内：Hue 2.5Y6/1 外：Hue 2.5Y6/1	51号溝	外面スス付着・胴部あり 吹きこぼれ痕あり	
	42	土師器	壺	口径 15.4 底径 19.2 高さ 21.6	ほぼ完全形	内：磨粒ナテ、ナテ、 磨り 外：磨粒ナテ、ナテ	内：Hue 10YR7/3 外：Hue 10YR7/2	51号溝№147	内面底部コゲ 外面スス付着	
	43	土師器	壺	口径 16.2 最大径 20.7	2/3	内：磨粒ナテ、磨り、 磨き 外：磨粒ナテ、ハケ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	51号溝東 A下・西側2 部・交差部、底・№ 81・№107・№117	内外面スス付着	
	44	土師器	壺	口径 16.3 最大径 22.4 高さ 25.2	4/5	内：磨粒ナテ、磨り、 磨き 外：磨粒ナテ、ハケ目	内：Hue 5YR6/4 外：Hue 5YR6/4	51号溝東 A下・西側2 部・交差部、底・№ 81・№107・№117	内外面スス付着	
	45	土師器	壺	口径 16.6 最大径 22.1 高さ 25.1	3/4	内：磨粒ナテ、磨り 外：磨粒ナテ、ハケ目	内：Hue 10YR7/3 外：Hue 10YR7/2	51号溝・A下・西側2 部・ベルト・A下・ D・№13・№13・№13 07・№8202号溝・交 差部	内面コゲ 外面スス付着	
	46	土師器	壺	口径 12.6 底径 12.6	胴部一 部破片	内：磨粒ナテ、ハケ目 外：磨粒ナテ、ナテ	内：Hue 5YR6/4 外：Hue 10YR6/3	51号溝・№7	内外面スス付着	
	47	土師器	壺	口径 底径 高さ	胴部一 部破片	内：磨粒ナテ、磨り 外：磨粒ナテ、ハケ目	内：Hue 2.5Y3/2 外：Hue 2.5Y3/2	51号溝		
	48	土師器	坏	口径 底径 高さ	胴部片	内：ナテ、ハケ目 外：磨り	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR6/6	51号溝	極めて薄い	
	35	49	土師器	壺	口径 14.8 底径 17.2 高さ 23.4	2/3	内：ナテ、磨り 外：ナテ、ハケ目	内：Hue 10YR2/3 外：Hue 10YR7/4	51号溝№127	外側にスス付着
		50	土師器	壺?更?	口径 底径 高さ	胴部一 部破片	内：磨粒ナテ、磨り 外：磨粒ナテ、ハケ目	内：Hue 2.5Y5/2 外：Hue 2.5Y5/2	51号溝	吹きこぼれ痕あり
		51	衛生土器	二重口椀	口径 25.0 底径 25.0	胴部一 部破片	内：磨粒ナテ 外：磨粒ナテ	内：Hue 5YR6/5 外：Hue 5YR6/5	51号溝№166	外面スス・吹きこぼれ痕あり
		52	土師器	二重口椀	口径 13.6 底径 13.6	胴部片	内：磨粒ナテ 外：磨粒ナテ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	51号溝	
		53	土師器	坏	口径 底径 高さ 9.0	1/8	内：磨粒ナテ 外：ナテ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/4	51号溝西側面脚 (15号 溝西側面)	割着
		54	土師器	部 台	口径 底径 高さ	胴部片	内：ハケ目 外：磨粒ナテ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	51号溝	
		55	土師器	坏	口径 底径 高さ	胴部片	内：ナテ、磨り、磨き 外：磨り、磨き	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR6/6	51号溝	
56		土師器	壺	口径 底径 高さ	胴部一 部破片	内：磨粒ナテ、磨り 外：磨粒ナテ、ナテ	内：Hue 7.5YR7/3 外：Hue 7.5YR6/4	51号溝	内面コゲ・吹きこぼれ痕あり	
57		土師器	坏	口径 底径 高さ 14.0 8.6 3.6	1/4	内：磨粒ナテ 外：磨粒ナテ、磨り	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/3	52号溝西側土	外面スス付着	
58		土師器	坏	口径 底径 高さ	1/3	内：磨粒ナテ、ナテ 外：磨粒ナテ、磨り	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	52号溝	吹きこぼれ痕あり	
59		土師器	壺	口径 底径 高さ 10.0 10.0	胴部一 部破片	内：磨粒ナテ、磨り 外：磨粒ナテ	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 10R6/6	15号溝	内面口縁部・外面丹塗り	
60		磁器	こい呑み	口径 9.0 底径 10.0 高さ 4.1	約1/2	内：ナテ 外：ナテ、磨り	内：Hue 白色 外：Hue 白色	15号溝	染付け (丹紅)	
61		磁器	こい呑み	口径 底径 高さ 3.5	約1/2	内：ナテ 外：ナテ、磨り	内：Hue 白色 外：Hue 白色	15号溝		
62		磁器	壺	口径 底径 高さ 21.0 4.2	約1/3	内：ナテ 外：ナテ、磨り	内：Hue 青白色 外：Hue 青白色	15号溝	染付け	

1. 本荘団地北地区品特・環境整備工事に伴う発掘調査（0304調査地点）

図	番号	遺物	種類(層別)	埋込 (cm)	埋 入 口	特 徴	色 調	出土箇所	備 考	
25	63	土師器	坏	口徑 底径 器高	口縁部片	内: 刷毛ナデ 外: 刷毛ナデ、刷り	内: Hae 5YR5/8 外: Hae 5YR5/8	1号型穴住居址		
	64	灰土器	甕?	104	口縁部片	内: 刷毛ナデ 外: 刷毛ナデ	内: Hae 25Y6/2 外: Hae 10YR6/3	1号型穴住居址		
	65	土師器	坏	口徑 底径 器高	口縁～ 胴部片	内: 刷毛ナデ 外: 刷毛ナデ、刷り	内: Hae 75YR5/8 外: Hae 75YR5/8	3号型穴住居址	赤色化粧土	
	66	土師器	碗	14.7	口縁～ 胴部片	内: 刷毛ナデ 外: 刷毛ナデ	内: Hae 75Y7/4 外: Hae 75Y7/4	3号型穴住居址		
	67	灰土器	坏	口徑 底径 器高	底部片	内: 刷毛ナデ、ナデ 外: 刷毛ナデ、ナデ	内: Hae 25Y7/2 外: Hae 25Y7/2	3号型穴住居址		
	68	灰土器	甕	口徑 底径 器高	把手のみ	内: 外: ナデ、刷り、ナデ キ、磨きナデ	内: Hae 75Y7/6 外: Hae 5Y5/1	3号型穴住居址		
	69	土師器	甕?	160	1/8	内: ナデ、刷り 外: ナデ、ハケ目	内: Hae 5YR6/6 外: Hae 5YR6/6 25YR6/2	60号型穴住居址	胴部に沈澱あり	
	70	土師器	甕 台	口徑 底径 器高	口縁部 約1/6	内: ナデ、ハケ目、磨き 外: 刷毛ナデ	内: Hae 5YR6/6 外: Hae 75YR6/6	50号型穴住居址		
	71	土師器	甕	口徑 底径 器高	1/4	内: ナデ、刷り 外: ナデ、ハケ目	内: Hae 5YR5/6 外: Hae 5YR5/6	41号溝状遺構		
	72	土師器	甕	口徑 底径 器高	1/2	内: ナデ、刷り、ハケ目 外: ナデ、ハケ目	内: Hae 75YR5/6 外: Hae 75YR6/6	41号溝状遺構		
	73	土師器	坏	口徑 底径 器高	1/2	内: 刷毛ナデ 外: 刷毛ナデ	内: Hae 5YR6/8 外: Hae 5YR6/8	60号土坑	磨きムラあり、磨明部? 内外口縁部スス付着	
	74	土師器	碗	口徑 底径 器高	底部片 約2/3	内: 刷毛ナデ、磨き 外: 刷毛ナデ、刷り	内: Hae 75Y2/1 外: Hae 25Y5/4	80号ビット	内外面スス付着	
	75	土師器	坏	口徑 底径 器高	約1/4	内: 刷毛ナデ、刷り 外: 刷毛ナデ、刷り	内: Hae 10YR6/4 外: Hae 10YR6/4	溝区		
	76	土師器	坏	口徑 底径 器高	約1/2	内: 刷毛ナデ、刷り 外: 刷毛ナデ、刷り	内: Hae 10YR6/4 外: Hae 5YR5/6	西区南西隅	磨きムラあり	
	77	土師器	坏	口徑 底径 器高	1/4	内: 刷毛ナデ、ナデ 外: 刷毛ナデ、ナデ、 刷り	内: Hae 75YR6/6 外: Hae 75YR6/6 10YR6/4	西区南西隅	外面スス付着	
	78	土師器	甕	口徑 底径 器高	17.6	内: ナデ、ハケ目 外: ナデ、ハケ目	内: Hae 75YR5/6 外: Hae 75YR5/6	水道管付近		
	79	土師器	甕	口徑 底径 器高	28.0	内: ナデ、刷り 外: ナデ	内: Hae 5YR6/6 外: Hae 5YR7/6 10YR7/4	包含層		
	80	灰土器	甕	口徑 底径 器高	12.0	1/4	内: ナデ 外: 刷毛ナデ、ナデ、 刷り	内: Hae 5Y7/1 外: Hae 75YR7/1	埋藏中	
	81	灰土器	高 坏	口徑 底径 器高	14.4	胴部1/8	内: 刷毛ナデ 外: 刷毛ナデ、刷り	内: Hae 10YR6/8 外: Hae 10YR4/1	西区包含層 2	
	82	土師器	坏	口徑 底径 器高	12.8	1/4	内: 刷毛ナデ 外: 刷毛ナデ、刷り	内: Hae 10YR6/8 外: Hae 75YR5/4	埋没	外面スス付着
	83	土師器	坏	口徑 底径 器高	9.0	1/8	内: 刷り、磨きナデ 外: 刷り	内: Hae 75YR5/6 外: Hae 75YR5/6	埋没	
	84	灰土器	甕	口徑 底径 器高	約1/8	内: ナデ 外: ナデ	内: Hae 5Y6/1 外: Hae 25Y7/4	埋没遺構	外周自然蝕あり	
	85	灰土器	甕	口徑 底径 器高	13.8	1/8	内: ナデ 外: ナデ、刷り	内: Hae 10B2/1 外: Hae 10B2/1	埋没	
	86	灰土器	甕	口徑 底径 器高	16.0	1/8	内: ナデ 外: ナデ、刷り	内: Hae 10YR5/2 外: Hae 10Y4/1	埋没	
	87	灰土器	甕	口徑 底径 器高	13.8	3/8	内: 刷毛ナデ、ナデ 外: 刷毛ナデ、ナデ	内: Hae 25Y5/2 外: Hae 5Y4/1 5Y6/2	埋没	
88	灰土器	甕	口徑 底径 器高	14.6	1/8	内: 刷毛ナデ、ナデ 外: 刷毛ナデ、刷り	内: Hae 10YR6/1 外: Hae 10Y7/1	埋没		
26	89	縄文土器	埴形土器	口徑 底径 器高	口縁部片	内: ナデ、磨き 外: ナデ	内: Hae 10YR6/4 外: Hae 10YR6/4	21号溝掘区・FG 付近	内外縁一部スス付着 奥底文	
	90	縄文土器	埴形土器	口徑 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hae 10YR6/3 外: Hae 10YR6/3	2号土坑	沈澱文	
	91	縄文土器	深鉢形土器	口徑 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hae 10YR6/4 外: Hae 10YR6/3	埋没		
	92	縄文土器	深鉢形土器	口徑 底径 器高	胴部片	内: ナデ、磨き 外: ナデ、縄文	内: Hae 75YR4/2 外: Hae 5Y4/2	51号溝	沈澱文 2条あり	
	93	縄文土器?	鉢?	口徑 底径 器高	胴部片	内: ナデ、磨き 外: 縄文	内: Hae 25Y3/1 外: Hae 25Y4/6	51号溝	外面に赤色痕	
	94	縄文土器	深鉢形土器	口徑 底径 器高	口縁部片	内: ナデ、磨き 外: ナデ、磨き	内: Hae 75YR6/6 外: Hae 10YR6/4	埋没	縦横心沈澱文 2条	

図	番号	遺物	種類(部材)	寸法 (cm)	現 存 地	特 徴	色 相	出土状況	備 考
26	95	朝鮮系鉄文土器	甕	口徑 底径 器高	口縁部片	内：磨凸 外：磨粒ナテ	内：Hue 5YR5/4 外：Hue 5YR6/4	51号溝	
	96	縄文土器	筒鉢形土器	口徑 底径 器高	口縁部片	内：ナテ、磨凸ナエ 外：ナテ	内：Hue 10YR7/6 外：Hue 10YR6/4	52号溝	割目状帯文
	97	弥生土器	筒鉢形土器	口徑 底径 器高	口縁～ 胴部片	内：ナテ	内：Hue 10YR6/6 外：Hue 10YR7/6	掘込	割目状帯文
	98	弥生土器	筒鉢形土器	口徑 底径 器高	胴部片	内：ナテ、磨凸 外：ナテ、磨凸	内：Hue 10YR5/6 外：Hue 10YR5/6	地山	
	99	縄文土器	筒鉢形土器	口徑 底径 器高	底部1/8	内：ナテ 外：ナテ	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 10YR5/1	地山	
	100	縄文土器	筒鉢形土器	口徑 底径 器高 9.0	底部片	内：ナテ 外：ナテ、磨凸ナエ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 8YR7/6	60号土坑	
	101	縄文土器	筒鉢形土器	口徑 底径 器高 10.4	底部片	内：ナテ、磨凸 外：ナテ、磨凸	内：Hue 2.5Y6/3 外：Hue 7.5YR7/6	包含層	
	102	縄文土器	筒鉢形土器	口徑 底径 器高 7.0	底部3/4	内：ナテ 外：ナテ、磨凸	内：Hue 2.5Y7/4 外：Hue 7.5YR6/6	3号縄文住居址	
	103	石 器	磨り石	長さ 幅 厚さ 7.8 6.0 2.2	完 形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	51号溝No.128	重量167g
	104	石 器	磨り石	長さ 幅 厚さ 13.4 11.8 5.9	完 形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	51号溝	重量109g
	105	石 器	磨り石	長さ 幅 厚さ 16.0 9.4 4.9	完 形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	92号溝	重量101g

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査地点は、本荘北地区の附属病院内北西隅に位置し、白川左岸の標高約13mの沖積微高地（自然堤防）上に位置する。近世以前の白川の本流は、より北西側を流れており、安定した高まりであったと考えられている。白川左岸の上流2km以内に、奈良～平安時代の大集落址である大江遺跡群や新屋敷遺跡群などが位置している。本荘北地区の附属病院内は、本庄遺跡（熊本大学病院敷地遺跡）の一部として熊本市遺跡地図（No. 8-95）に登録されており、校舎・病棟の新営などに伴ってこれまで多くの地点で発掘調査が行われている。

本調査地点は、本荘北地区の附属病院内にある旧こぼと幼稚園敷地の駐車場に、臨床医学教育研究センターを新設のための工事である。昭和48年に大学敷地として整備される以前は、浄土真宗仙崇寺の墓所であった場所に相当する。平成18年に本調査区と西側で隣接する医学部基礎研究棟建設工事に伴う発掘調査（9601調査地点）の際、8～9世紀の古代の集落址や60基あまりの墓からなる近代の墓地跡が地表下1mに残されていることが確認されていることや、旧こぼと保育園駐車場整備のための立会調査（0936調査地点）において埋没が確認されていることから、本調査地点においても同時期の遺構や遺物が出土することが想定された。平成22年年11月に試掘の申請を行い、当初は慎重工事で回答があったが、学生部室とこわし工事に伴う立会に合わせて平成23年1月に熊本市文化財課による確認調査が行われた際に遺構面が確認された。さらに、平成23年4月6日に熊本市文化振興課によって試掘調査がおこなわれた結果、近現代の墓壙、古代の遺物包含層が検出された。そのため、これらに影響を与える当該地の工事を行う場合は、本調査が必要であることが示された。以上のことから、建物新設工事に先立って発掘調査を実施した。調査区を北から4つに区分しⅠ～Ⅳ区に分けて順次調査をおこなった。発掘調査の面積は503.9㎡である。

b. 調査の経過

- 2011年4月6日 熊本市文化財課による試掘調査。
- 2011年6月21日 墨出し指示。発掘調査開始。
- 2011年6月22日 計画建物範囲周辺基幹整備箇所の掘削開始。計画建物敷地部分の1次掘削開始。
- 2011年6月28日 作業員の投入により、北側Ⅰ区から本格的な発掘調査開始。プレハブ等設置。
- 2011年7月11日 Ⅱ区遺構検出作業開始。墓壙の写真撮影。遺構測量。
- 2011年8月5日 Ⅲ区遺構検出作業開始。墓壙の写真撮影。遺構測量。
- 2011年8月23日 Ⅳ区遺構検出作業開始。墓壙の写真撮影。遺構測量。
- 2011年9月12日 近世墓掘り上げ後の遺跡全体写真の撮影。古代包含層本格調査開始。
- 2011年9月22日 古代住居址掘り上げ後、写真撮影。遺構測量。発掘調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子・大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：関元美子・菊池フミヨ・建寄豊美・高松紀子・白都節子・古川昌代・中林正明・山本

浩美・柴田道子・松永一代・関 律子・松本和徳

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・奥嶺友紀也

調査協力者：松下孝幸・松下玲子・松下真美・佐坂貴之（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム）

椎葉博昭・岡本泰寛（株式会社埋蔵文化財サポートシステム）

（2）調査区の基本層序（図27）

墓塚の掘りかたは調査区外にも広がるため、北壁で層序を確認すると、4・19・27・34・37層が古代層で、地表下約1mで検出され、0.3m～0.4mの厚さで堆積している。さらに地表下1.2m以下で地山に達する。西壁においても同様で、地表から0.8m～0.9mで古代層に達し、1.2m以下で地山となる。

（3）検出遺構

<近代墓塚>（図28）

近代墓は調査区全面に分布していることが確認できた。すでに墓塚があった同じ場所を掘り起こしているものなど、墓塚はいくつものが切合っているため、同一墓塚に複数個体の人骨が含まれているものも存在した。近代墓は、人骨は残存しないが墓塚と判断した掘りかたの数を含めると431基におよぶ。墓塚の平面プランは方形のものが多くを占めるが長方形のものも認められ、埋土から釘が出土したものは木棺と判断した。木棺が主体であるが、甕棺も多く確認することができた。また桶棺の可能性のあるものも1基検出されている。出土した人骨の所見については、松下原稿を参照されたい。本稿では、副葬品などの出土遺物を中心に報告する。

<住居址>

1号竪穴住居址（図29）

調査区のはほぼ中央で検出された長さ5.0m、幅3.5mの長方形の竪穴住居址である。近代の墓塚によって破壊を受けているが、深さは検出面から0.15m～0.2mである。床面南側の西寄り部分に焼土面が検出され、土師器と須恵器が出土している。

2号竪穴住居址（図29）

調査区の北東隅で検出された1辺の長さが2.5mの竪穴住居址である。もう一边は調査区外東側に延びるため全体の大きさは不明である。床面に2枚の硬化面が検出され、上面の深さは掘り込みの検出面から0.13m、下面の深さは0.15mであった。土師器と移動式甕の脚部が出土している。墨書のある土師器の坏も出土している。

3号竪穴住居址（図29）

調査区の中央やや東寄りで検出された南北3.6m、東西3.8mの竪穴住居址である。墓塚によって大きく破壊されているが、2号住居址同様に硬化面が2面検出された。深さは上面が0.1m、下面が0.25m前後を測る。上面床面の東隅に焼土と粘土塊が検出されており、甕が構築されていた可能性がある。

4号竪穴住居址（図29）

調査区の中央やや北寄りで検出された住居址である。墓塚によって大きく破壊されているため、西

- 49層：黄褐色土 (Obe-10767/4)
- 50層：黄褐色土 (Obe-10767/4)
- 51層：黄褐色土 (Obe-10767/4)
- 52層：黄褐色土 (Obe-10761/4)
- 53層：黄褐色土 (Obe-10761/4)
- 54層：黄褐色土 (Obe-10762/4)
- 55層：黄褐色土 (Obe-10762/4)
- 56層：アラス土
- 57層：面灰

- 40層：灰褐色土 (Obe-10784/2)
- 41層：灰褐色土 (Obe-10782/2)
- 42層：黄褐色土 (Obe-10784/2)
- 43層：黄褐色土 (Obe-10784/2)
- 44層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 45層：面灰
- 46層：黄褐色土 (Obe-10784/4)
- 47層：黄褐色土 (Obe-10784/4)
- 48層：黄褐色土 (Obe-10784/4)
- 49層：黄褐色土 (Obe-10782/2)

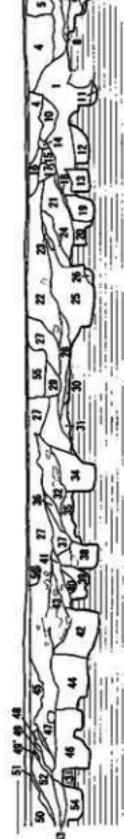
- 29層：褐色土 (Obe-10781/4)
- 30層：褐色土 (Obe-10781/4)
- 31層：褐色土 (Obe-10781/4)
- 32層：黄褐色土 (Obe-10782/1)
- 33層：黄褐色土 (Obe-10782/1)
- 34層：黄褐色土 (Obe-10784/2)
- 35層：灰褐色土 (Obe-10784/2)
- 36層：黄褐色土 (Obe-10784/2)
- 37層：黄褐色土 (Obe-10782/1)
- 38層：黄褐色土 (Obe-10782/2)

- 20層：暗褐色土 (Obe-10783/4)より
中心部埋込土砂層を多く含む
黄褐色土 (Obe-10781/4)
- 21層：黄褐色土 (Obe-10781/4)
- 22層：黄褐色土 (Obe-10781/4)
- 23層：黄褐色土 (Obe-2. 518/4)
- 24層：黄褐色土 (Obe-7. 518/4)
- 25層：黄褐色土 (Obe-7. 518/4)
- 26層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 27層：黄褐色土 (Obe-10781/4)
- 28層：褐色土 (Obe-10782/4)

- 10層：黄褐色土 (Obe-10785/4)
- 11層：明褐色土 (Obe-10786/4)
- 12層：黄褐色土 (Obe-10782/4)
- 13層：黄褐色土 (Obe-10782/4)
- 14層：明褐色土 (Obe-10782/4)
- 15層：明褐色土 (Obe-10786/4)
- 16層：黄褐色土 (Obe-7. 518/4)
- 17層：黄褐色土 (Obe-7. 518/4)
- 18層：黄褐色土 (Obe-10782/4)
- 19層：黄褐色土 (Obe-10782/4)

- 14層：江ノ川黄褐色土 (Obe-10787/2)
- 15層：黄褐色土 (Obe-7. 518/4)より
中心部埋込土砂層を多く含む
黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 16層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 17層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 18層：明褐色土 (Obe-7. 518/4)
- 19層：黄褐色土 (Obe-10784/4)
- 20層：黄褐色土 (Obe-10784/4)
- 21層：黄褐色土 (Obe-10785/4)

Li=14. 00m

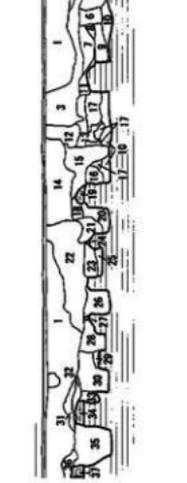


- 25層：暗褐色土 (Obe-10783/4)
- 27層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 28層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 29層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 30層：江ノ川黄褐色土 (Obe-10787/2)
- 31層：黄褐色土 (Obe-10787/2)
- 32層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 33層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 34層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 35層：江ノ川黄褐色土 (Obe-10787/2)
- 36層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 37層：黄褐色土 (Obe-10782/2)

- 13層：褐色土 (Obe-10781/4)
- 14層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 15層：黄褐色土 (Obe-10785/4)
- 16層：黄褐色土 (Obe-2. 518/4)
- 17層：黄褐色土 (Obe-2. 518/4)
- 18層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 19層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 20層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 21層：明褐色土 (Obe-10784/4)
- 22層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 23層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 24層：黄褐色土 (Obe-10782/2)

- 1層：江ノ川黄褐色土 (Obe-10787/2)
- 2層：黄褐色土 (Obe-10787/2)
- 3層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 4層：面灰
- 5層：面灰
- 6層：江ノ川黄褐色土 (Obe-10787/4)
- 7層：黄褐色土 (Obe-10786/1)
- 8層：黄褐色土 (Obe-10786/1)
- 9層：面灰
- 10層：江ノ川黄褐色土 (Obe-10787/2)
- 11層：黄褐色土 (Obe-10785/4)
- 12層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 明褐色土 (Obe-10786/4)

Li=14. 00m



- 23層：暗褐色土 (Obe-10783/4)
- 24層：暗褐色土 (Obe-10783/4)
- 25層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 26層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 27層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 28層：黄褐色土 (Obe-10784/4)
- 29層：褐色土 (Obe-10784/4)

- 17層：褐色土 (Obe-10782/1)
- 18層：暗褐色土 (Obe-7. 518/2)
- 19層：暗褐色土 (Obe-10782/2)
- 20層：江ノ川黄褐色土 (Obe-10787/2)
- 21層：暗褐色土 (Obe-10782/4)
- 22層：暗褐色土 (Obe-10782/4)
- 23層：暗褐色土 (Obe-10782/4)
- 24層：暗褐色土 (Obe-10782/4)
- 25層：黄褐色土 (Obe-10784/4)
- 26層：明褐色土 (Obe-10786/4)
- 27層：明褐色土 (Obe-10786/4)
- 28層：暗褐色土 (Obe-10783/4)
- 29層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 30層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 31層：黄褐色土 (Obe-10782/2)
- 32層：面灰

- 1層：暗褐色土 (Obe-10782/2)
- 2層：暗褐色土 (Obe-10784/4)
- 3層：江ノ川黄褐色土 (Obe-10787/4)
- 4層：暗褐色土 (Obe-10782/4)
- 5層：江ノ川黄褐色土 (Obe-10787/2)
- 6層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 7層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 8層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 9層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 10層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 11層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 12層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 13層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 14層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 15層：黄褐色土 (Obe-10786/4)
- 16層：黄褐色土 (Obe-10786/4)

Li=14. 00m

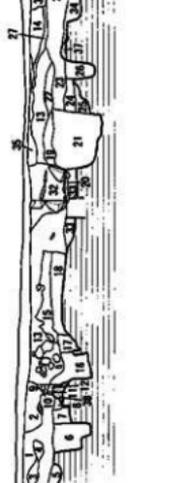


図27 1104調査地点調査区壁土層断面実測図 (1/150)

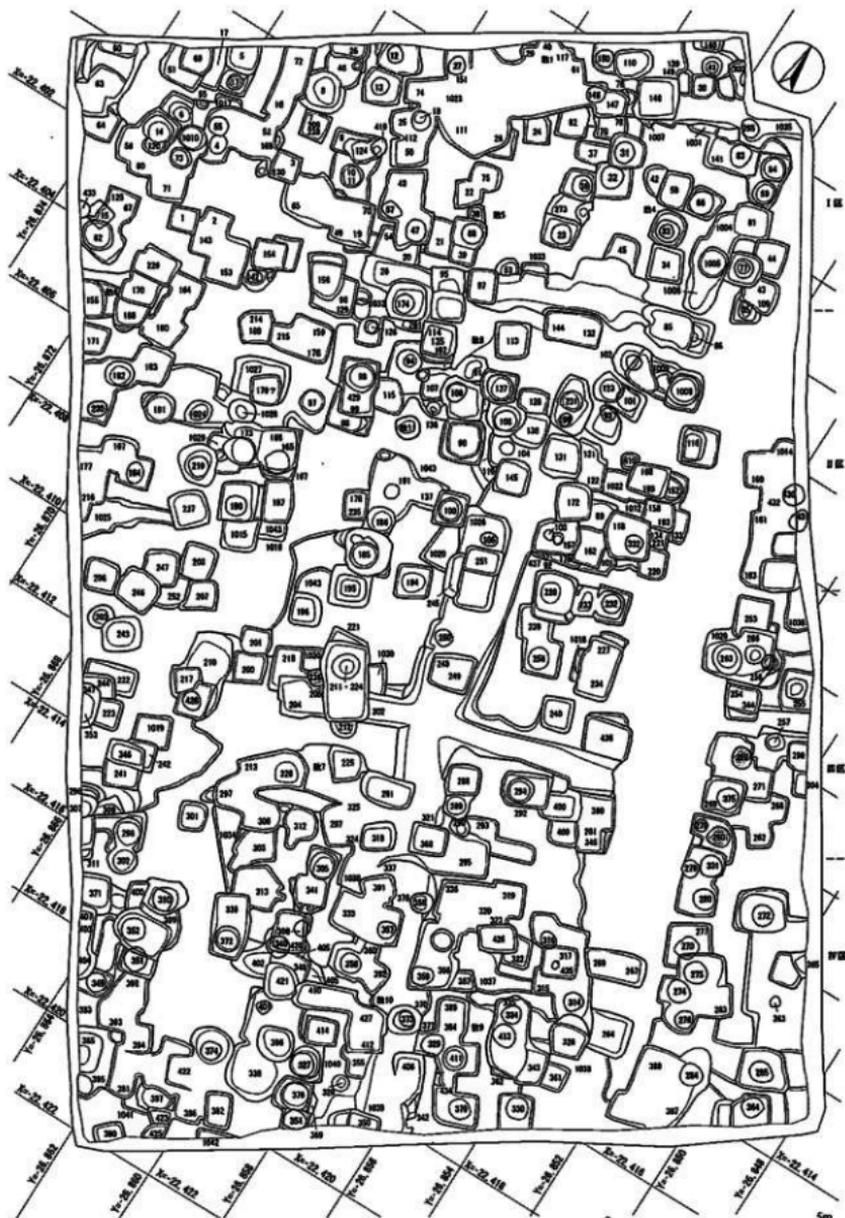


図28 1104調査地点基積実測図 (1/120)

○は建物上層のライン

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

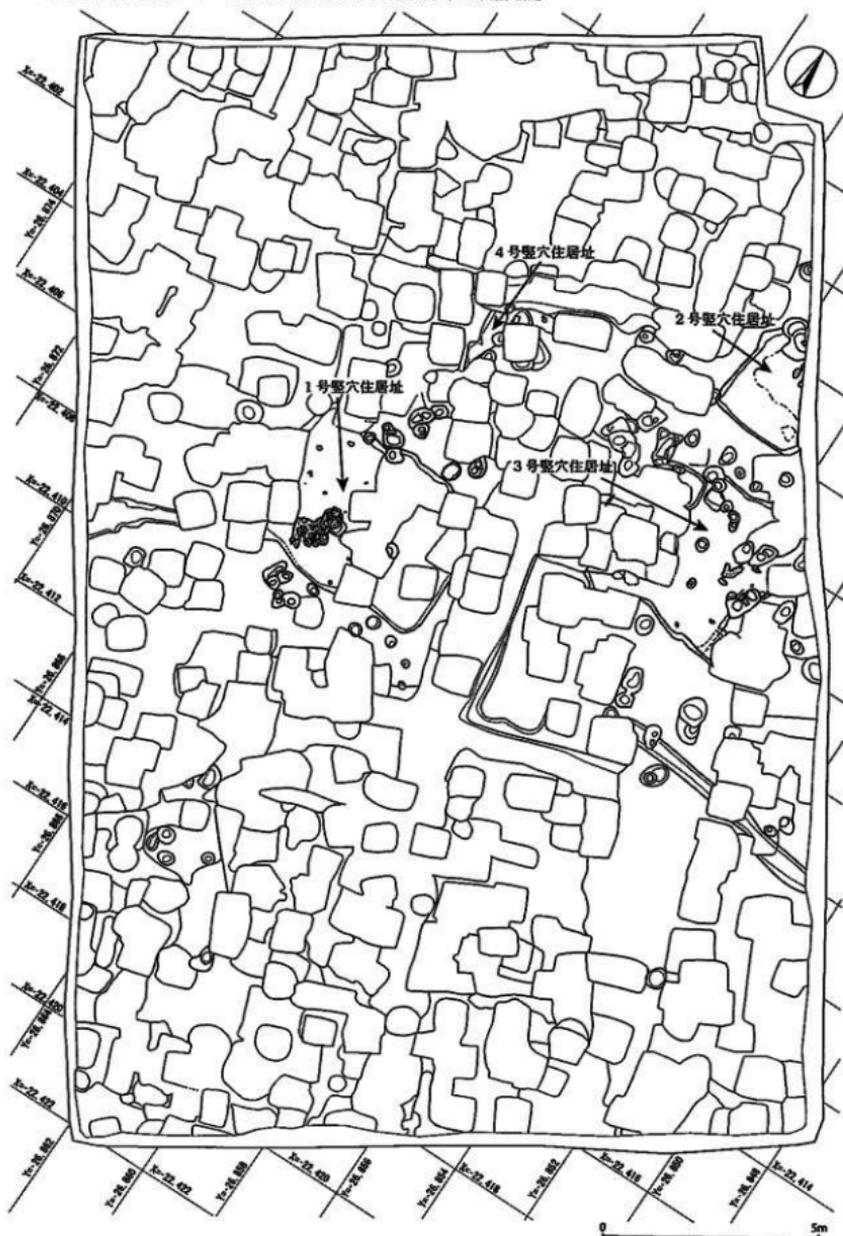
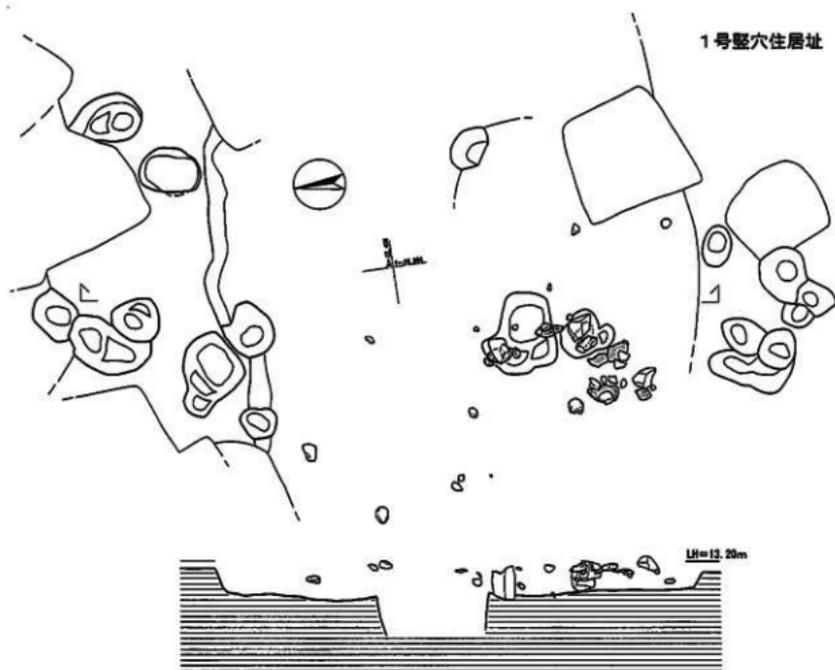


図29 1104調査地点1・2・3・4号壑穴住居址配置図（1/120）

1号竪穴住居址



4号竪穴住居址

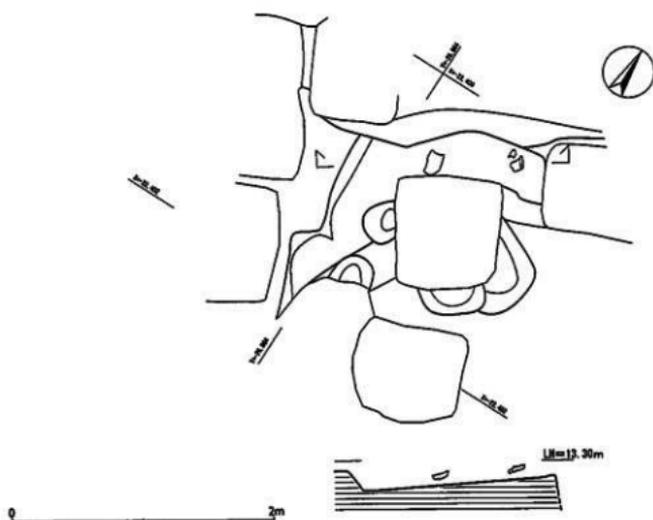
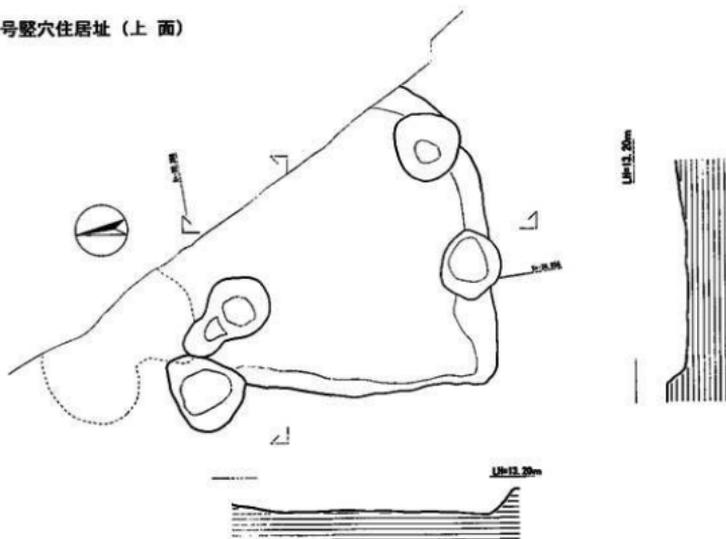


图30 1104調査地点1・4号竪穴住居址実測図 (1/40)

2号竪穴住居址（上面）



2号竪穴住居址（下面）

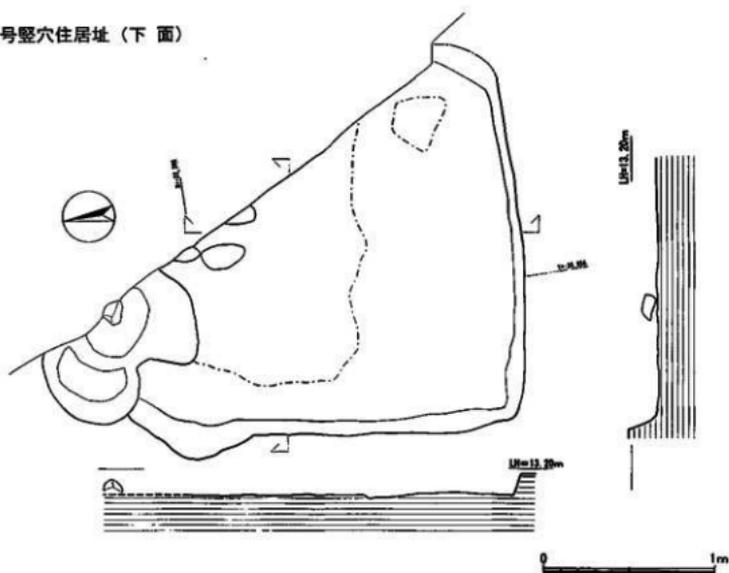


図31 1104調査地点2号竪穴住居址実測図（1/30）

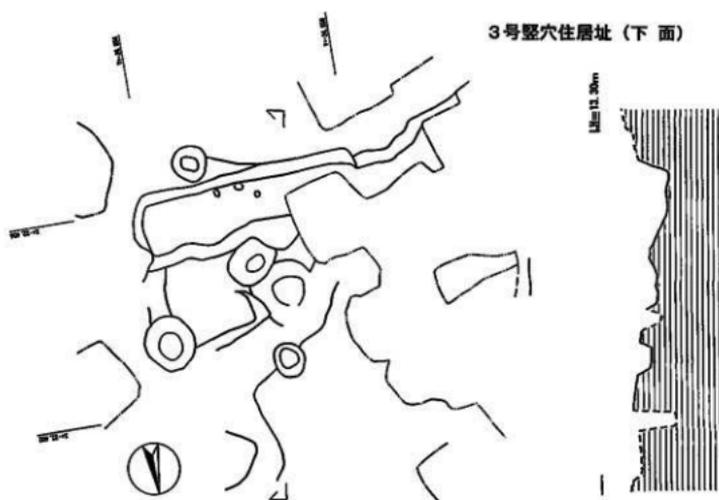
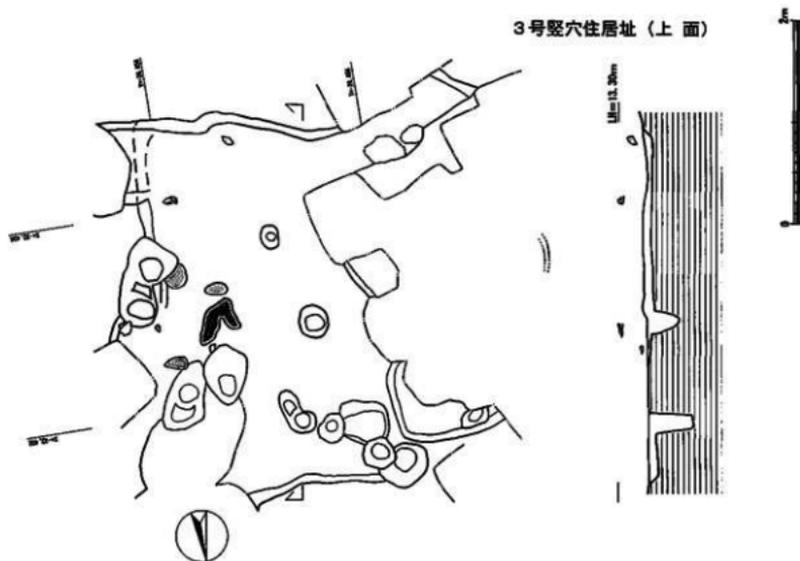


图32 1104調査地点3号竖穴住居址実測図 (1/50)

方の立ち上がりを確認したのみである。大きさは不明であるが、深さは0.1mを測る。住居址の北側隅と考えられる場所に、竈の礎石が確認された。

（4）出土遺物

<住居址>

1号竪穴住居址出土遺物（図33：1～8）

図33：1～5は焼土面周辺から出土したものである。図33：1～3は土師器の鉢で、図33：1と2は内外面に、また図33：3は外面に煤の付着が認められる。図33：4は須恵器の坏蓋で9世紀初頭の特徴を有するものである。図33：5は須恵器の碗である。図33：6は土師器の甕で外面に煤が付着している。図33：7は須恵器の皿で9世紀初頭の特徴を持つ。図33：8は須恵器の碗である。8世紀～9世紀頃のものが含まれている。

2号竪穴住居址出土遺物（図33：9～11）

図33：9・10は土師器の坏で、図33：9には赤色化粧土が施され、底に墨書により文字が記されている。「廣世」と読めるであろうか。いずれも9世紀頃のものである。図33：11は移動式甕の底部破片で、内面に煤の付着が認められる。

3号竪穴住居址出土遺物（図33：12～14）

図33：12は土師器の坏で、内外面に赤色化粧土が施されている。図33：13は土師器の碗で内外面に赤色化粧土が施されている。図33：14は土師器の甕で外面に煤が付着している。いずれも古代に相当するものである。

4号竪穴住居址出土遺物（図33：15）

図33：15は須恵器の坏蓋である。8世紀後半頃のものである。

<墓竈および包含層出土遺物>

土師器類（図33：16～30、図34：31～40）

図33：16は大型の蓋で古代の範疇に入るものである。図33：17～25・28は土師器の坏で、図33：17と21は内外面に赤色化粧土が施され、図33：28は外面のみに赤色化粧土が施されている。図33：19は底面に墨書が確認できるが、小破片のため判読することはできない。図33：20は内側底に刻書により文字が刻まれている。「枚本」であろうか。内面に煤の付着が確認でき、燈明皿として利用されたものと考えられる。7世紀代のものである。図33：29と30も坏と考えられる小破片で、底部に圧痕が観察できる。図33：30は内外面に赤色化粧土が施されている。図33：26・27は碗である。全体的に8世紀後半から9世紀代のもものが多く、一部7世紀までさかのぼるものが含まれている。

図34：31～35・37は甕で、35は弥生末から古墳時代初頭の特徴を持つものであるが、33・34・37は9世紀前半頃、31・32は古代の範疇に入るものである。図33：36は鉢で古代のものである。図33：38・39は飯の取っ手で、図33：40は移動式甕の口縁である。古代のものであろう。

須恵器類（図34：41～57）

図34：41は高坏で6世紀から7世紀の特徴を有する。図34：42～44は坏蓋で、8世紀後半のもの

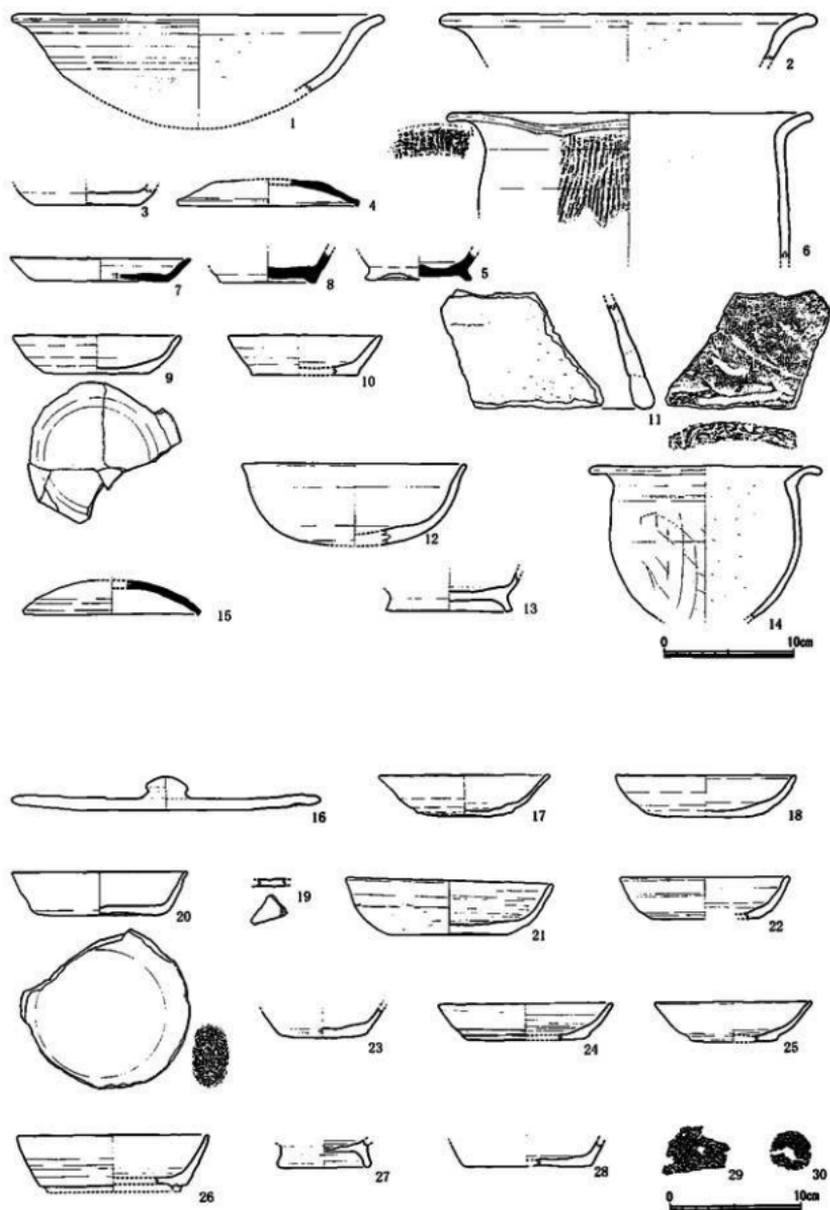


図33 1104調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

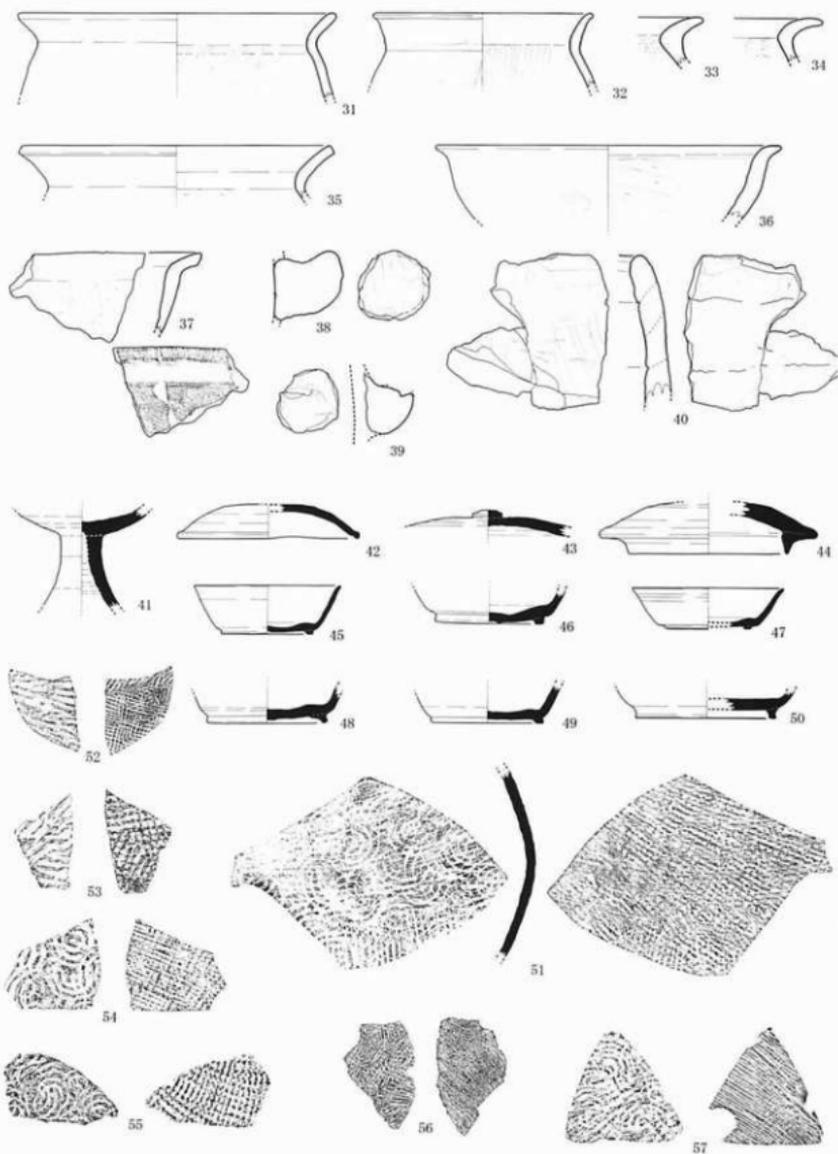


図34 1104調査地点出土遺物実測図2（1/4）

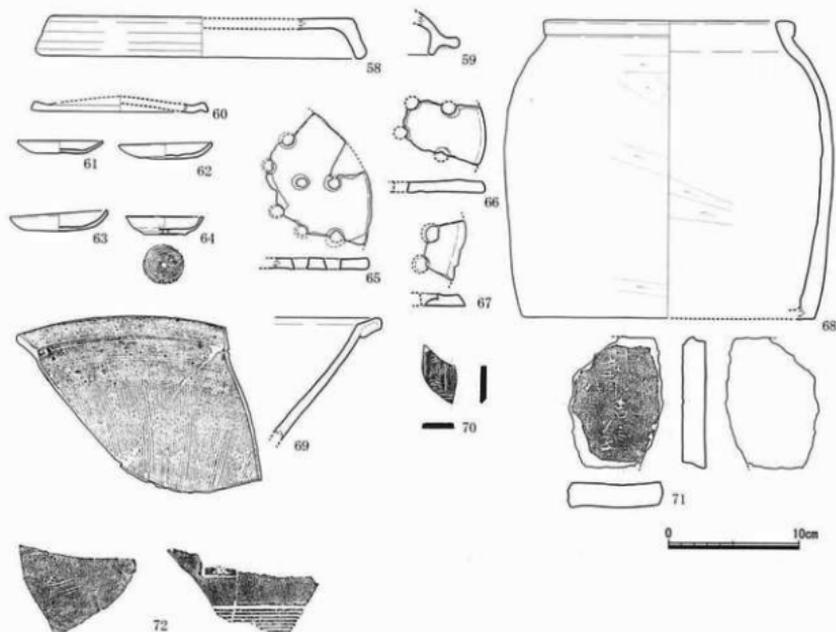


図35 1104調査地点出土遺物実測図3 (1/4)

考えられる。図34:44は赤焼きの須恵器で7世紀前半の特徴を有するものである。図34:45~50は碗で50の外面には自然釉が施されている。図34:51は壺の胴部で、内面の敲きが同心円と平行の二つのたたき調整が観察できる資料である。古代に多くみられる特徴をしている。8世紀後半~9世紀初頭のもの为主体を占めている。図34:52~57は須恵器の胴部破片である。

其他土器類 (図35:58~72)

図35:58は土師質の蓋で骨壺の蓋と考えられる。図35:59は坏蓋の形態を呈するが胎土の特徴から近代以降のものと考えられる。図35:60は蓋としたものであるが全体の形は不明である。図35:61~64は土師質の小皿で、64には底部に穿孔が施され、底面に糸切りの痕跡が認められる。図35:65~67は涼炉の台となった部分の破片と思われるものである。図35:68は骨壺である。図35:69は播鉢で外面には釉が施されている。図35:70~72は器種不明であるが、文字が刻まれているものである。71は瓦を利用したものである。いずれも近代以降のものと考えられる。

縄文土器 (図36:73~86)

図36:73~75・77~84は深鉢である。図36:74は頸部破片でしっかりしたL字状沈線が2条施され、縄文時代後期末の御領式の範疇に入るものである。図36:76・85・86は浅鉢である。いずれの資料も内外面ともに磨き調整が丁寧に施され、内面においても底部や湾曲部まで磨きの調整が確認でき、中

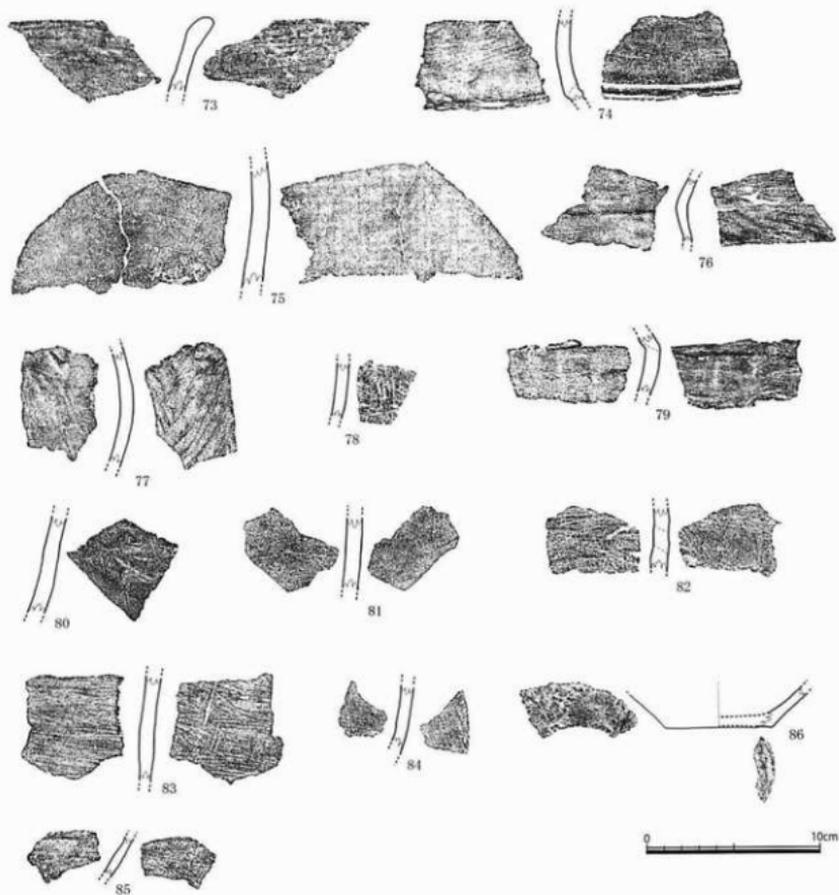


図36 1104調査地点出土遺物実測図4（1/3）

九州地域における土器調整を特徴づける資料である。縄文時代後期後葉から晩期古開式までにかけての土器群である。

<近代墓副葬品>

泥面子（図37：87～92・102～115、図38：116～141、図39：142～152・222～226、図40：237・238・243）

図37：87～92は20号墓から出土したもので、人面と釣鐘や亀を模したものなどが確認できる。長さ2cm程度の小さなものがまとめて副葬されていた。写真で報告したものと合わせて11点出土している。図37：102～106は54号墓から出土した、長さ2～3cmの大きさのものである。人面やキツネ



图37 1104調査地点出土遺物実測図5 (3/4)

面であるが、裏面に炭で文字や×字などが描かれているものである。図37：107～115、図38：116～141、図39：142～152も54号墓に副葬されていたもので、お多福や恵比寿、福禄寿などの人面を主体にサル面、鬼面などが認められ、20号墓のものと同様なやや小型のものとしてはウマや虚無僧、羽子板、蠟燭などの形をしたものが含まれている。54号墓には合計120点副葬されていた。

図39：222～226は139号墓から出土したもので、222は鏡餅、223は不明、224は土瓶、225は翁面、226は虚無僧である。図40：237は188号墓から出土したもので、急須であろうか。図40：238は211号墓から出土したもので、茄子ではないかと思われるものである。図40：243は268号墓から出土した翁面である。

破片面子（図37：99、図39：100・101・235、図40：236・239～242・245～246）

図37：99は25号墓に副葬されていたもので、表裏面に軸葉が掛けられた陶器の破片を加工したものである。図39：100・101も表裏面に軸葉が塗られた陶器の破片を加工したもので、59号墓と114号墓から出土した。図39：235は116号墓から出土したもので、播鉢の破片を加工したものである。図40：236は156号墓から出土した表裏面に軸葉がかけられた陶器の破片を加工したものである。図40：239・240は223号墓から出土したもので、それぞれ磁器と播鉢の破片を加工したものである。図40：241・242・244・245は、それぞれ243号墓、247号墓、338号墓、I区包含層から出土した陶器破片を加工したもので、図40：246は磁器破片を加工したものである。

石器・石製品（図40：247～250、図41：251～257）

図40：247は長軸方向の両端部にえぐりが入った石錘で、Ⅲ区東側の包含層から出土したものである。図40：248は敲石としたもので、平面部には擦り面も確認できる。47号墓から出土した。図40：249も敲石としたものである。291号墓から出土した。図40：250はすり石である。Ⅳ区包含層から出土したものである。

図41：251～255は滑石製の石筆で、251～253は9号墓からまともって出土した。254は30号墓、255は63号墓から出土した。図40：256は滑石製のサイコロで1008号土坑から出土した。図40：257は石板で9号墓から出土しており、石筆とセットで副葬されたものである。

ガラス製品（図41：258～261、図42：271～294）

図41：258は数珠玉で3方向から穿孔が施されたものである。193号墓から出土した。図41：259はトンボ玉で表面は青色の縞模様を呈する。図41：260・261は用途不明であるが9号墓から出土しており、石筆と石板同様に子どもが使用したのものであると考えられる。

図42：271～294は数珠玉で11つの墓塚から出土しており、130号墓と335号墓で各6点とまともって出土している。黒色、淡い青色、白色、赤みを帯びたオレンジなどの色調を呈する。

青銅製品（図42：262～270）

図42：262～264は煙管の雁首で、木質であった羅字も残存しているものである。264では雁首と羅字を固定したと考えられる織維が一部残存して付着している。図42：265は、264と同一個体の吸口である。197号墓から出土した。図42：266～268は替で、266と267は二股替、268は一本替である。いずれにも耳かきが付いている。図42：269と270は裁縫用の指ぬきである。



図38 1104調査地点出土遺物実測図6 (3/4)

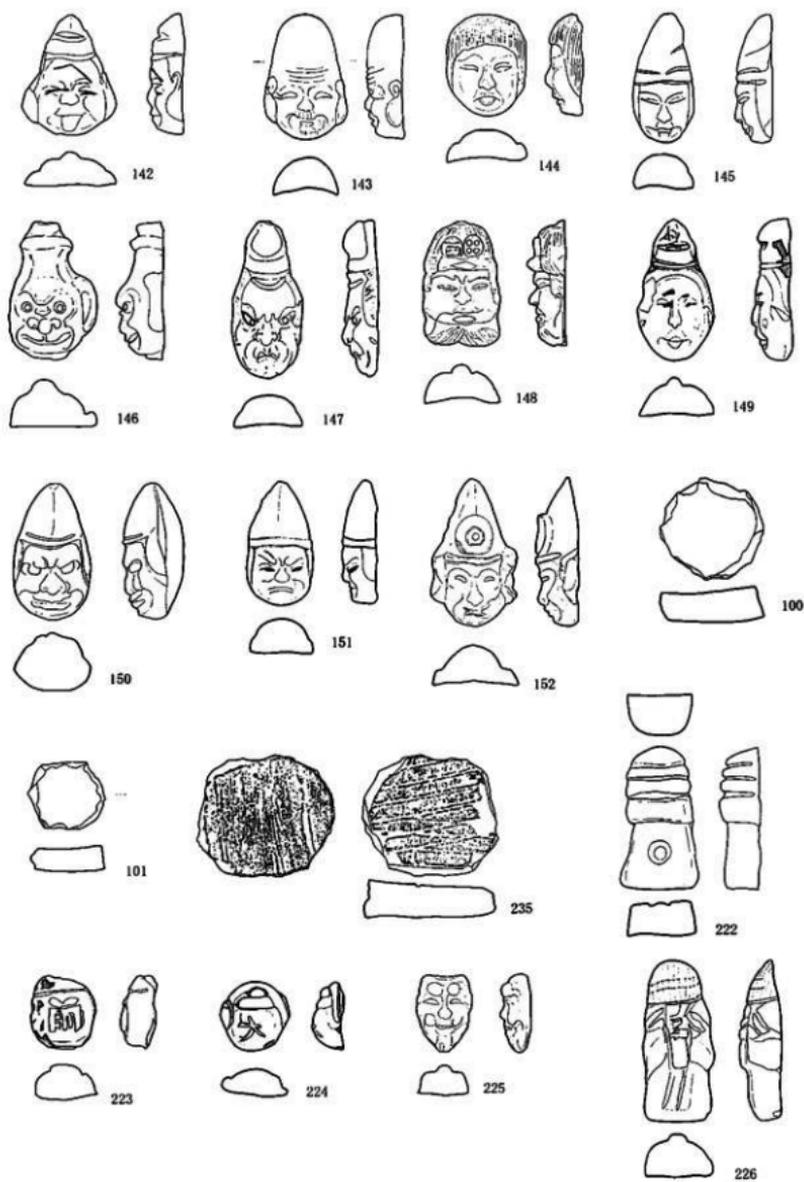


図39 1104調査地点出土遺物実測図7（3/4）

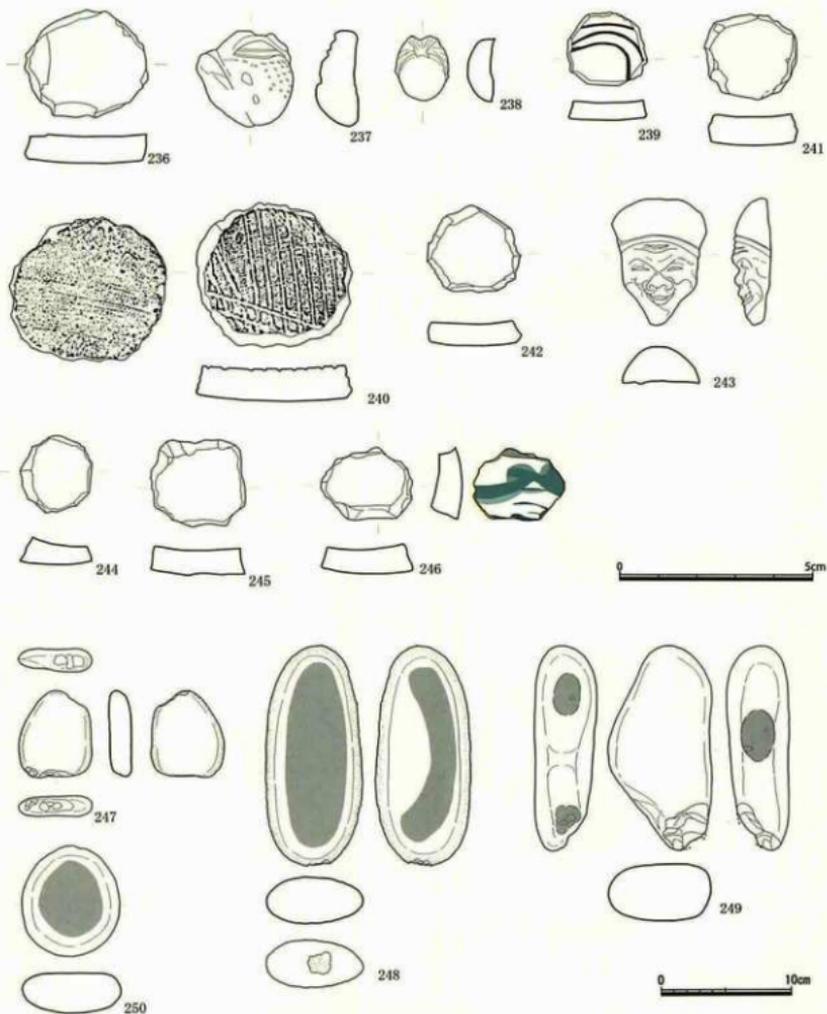


図40 1104調査地点出土遺物実測図8 (3/4・1/4)

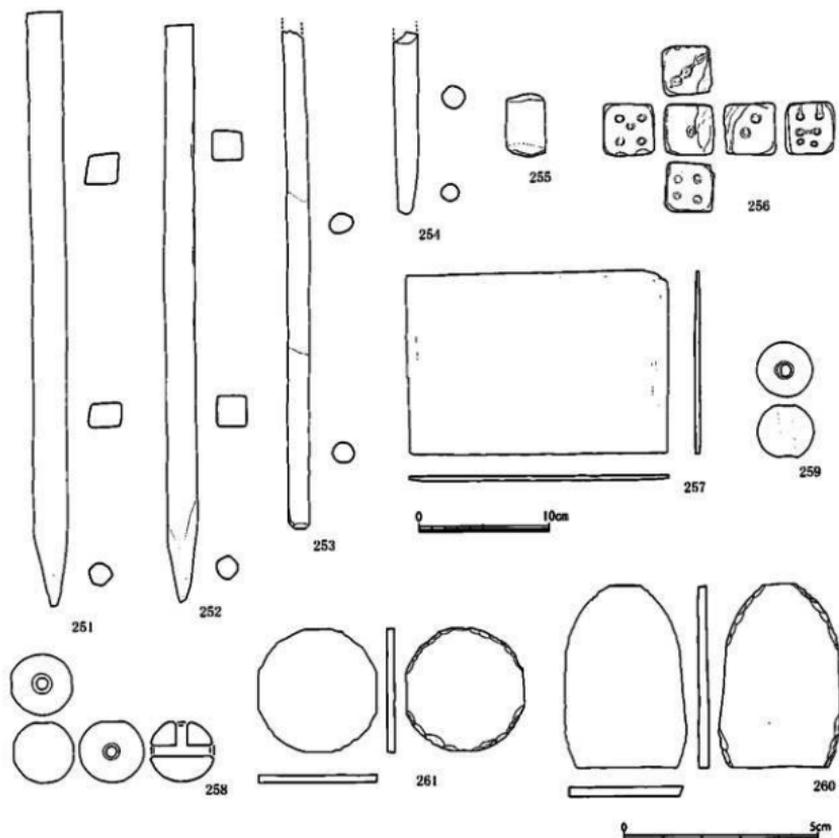


図41 1104調査地点出土遺物実測図9（1/4・3/4）

六道銭（図43：295～311、図44：312～329、図45：330～343、図46：344～355・357～368、図47：369～393、図48：394～405・410・411）

図43：295～301と302～306は25号墓から出土したもので、いずれも頭陀袋に包まれていたもので繊維の付着が確認できる。前者は6枚中4枚が寛永通寶であり、残りの2枚は不明である。後者は寛永通寶1枚と文久永寶3枚（1枚は宝）の計4枚である。寛永通寶の裏面に頭陀袋が付着していないので、本来は6枚あったものと推測される。文久永寶は1863年（文久3年）から鑄造が始まった日本の銅貨である。同一墓からの出土であるが、複数個体の埋葬であるか、両方が一度に副葬されたかは不明である。436号墓からも文久永寶が1枚出土している（図48：396）。図43：307～311は52号墓から出土した。五十銭1枚と残り3枚は五銭と思われることから大正もしくは昭和までの副葬品と考えられる。図44：312～318は63号墓から出土した寛永通寶6枚である。一部に頭陀袋の一部が付着している。図44：319～325は64号墓から出土したもので、5枚は寛永通寶で1枚は不明瞭であり確認でき

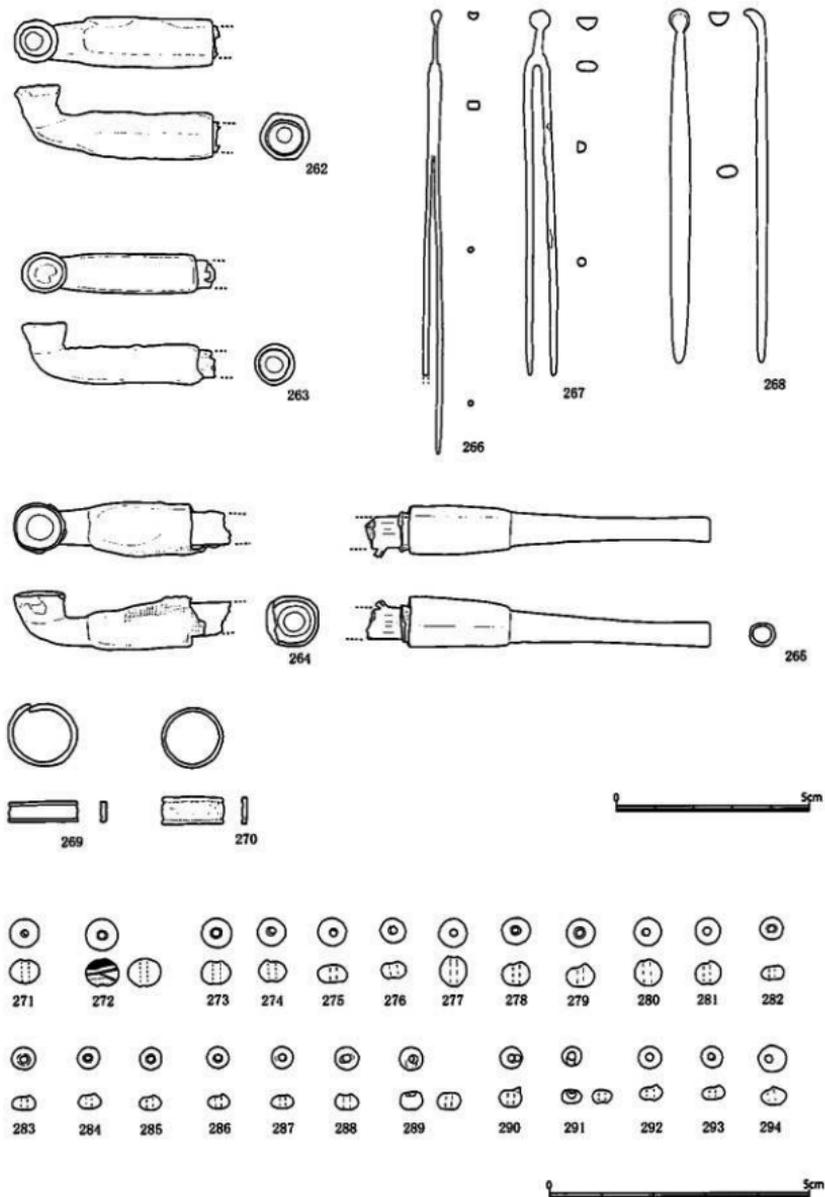


図42 1104調査地点出土遺物実測図10 (3/4・1/1)

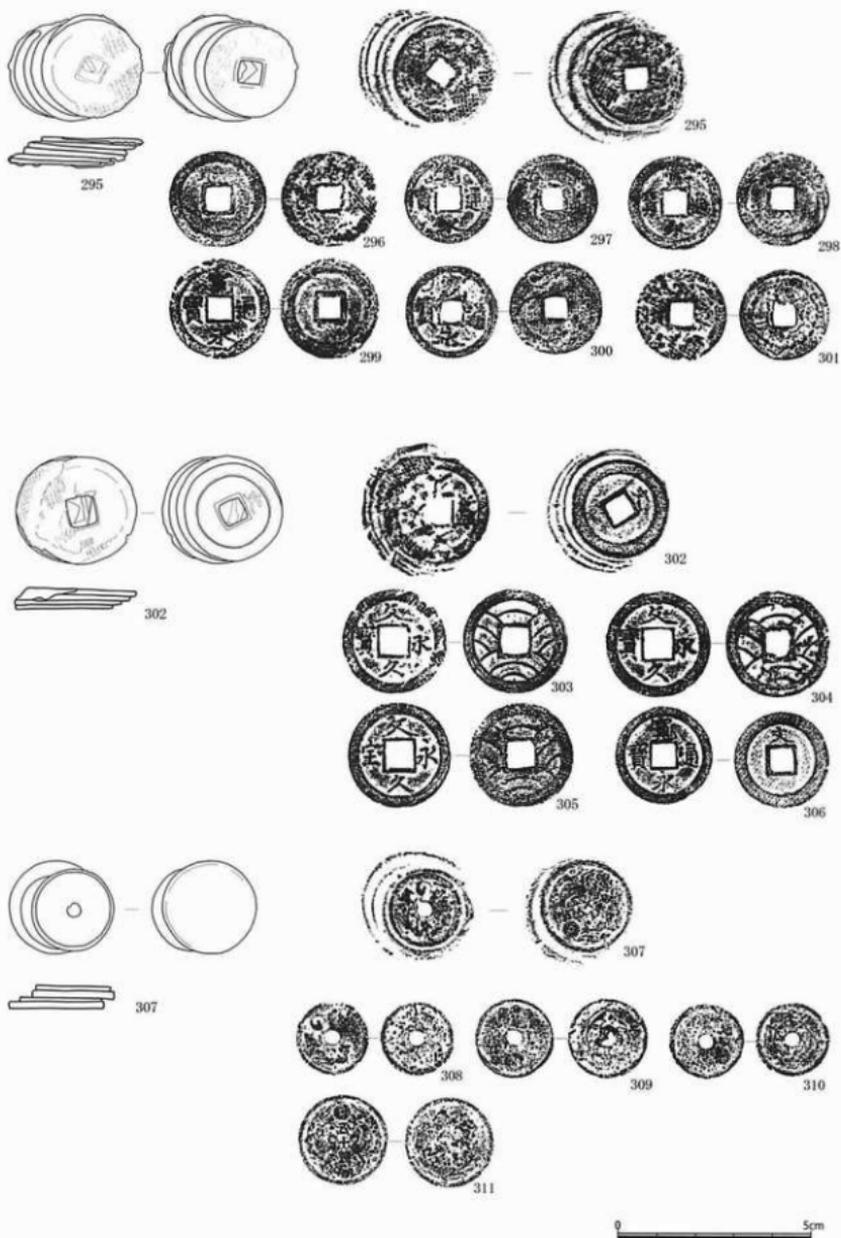


図43 1104調査地点出土遺物実測図11（3/4）

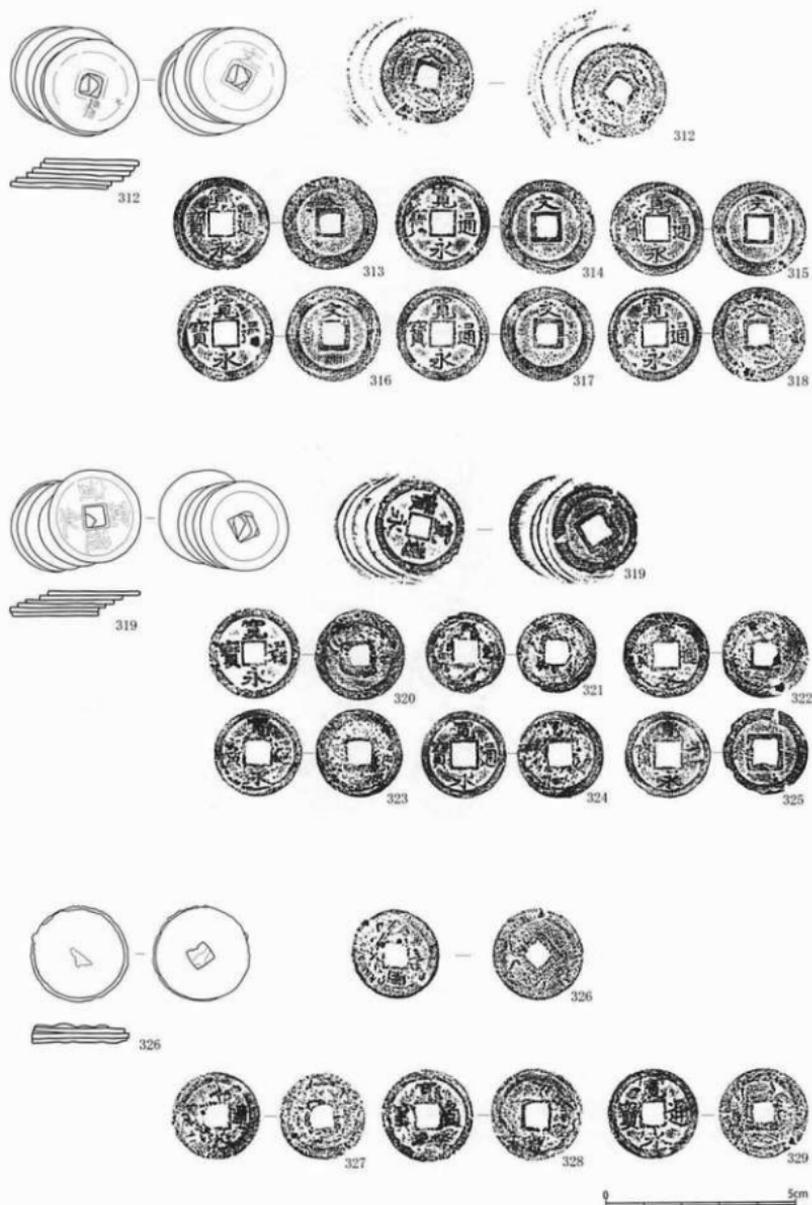


図44 1104調査地点出土遺物実測図12 (3 / 4)

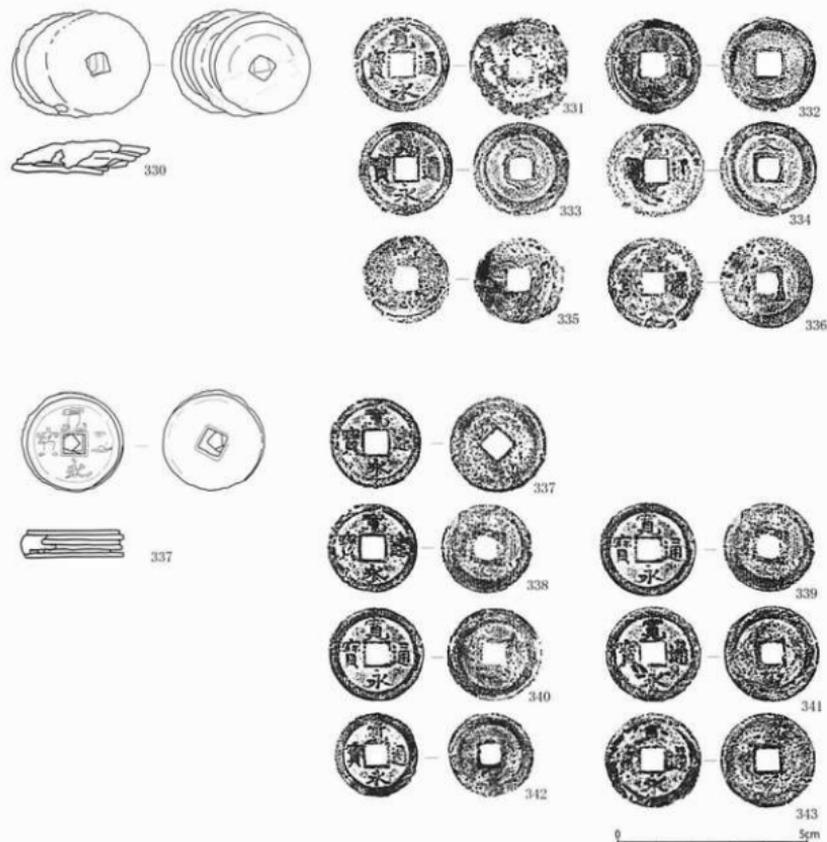


図45 1104調査地点出土遺物実測図13（3 / 4）

なかった。図44：326～328は166号墓から出土した3枚ですべて寛永通寶である。図45：330～336は160号墓から出土したもので、6枚すべてが寛永通寶だと思われる。頭陀袋が付着している。図45：337は現代埋土から出土し6枚すべてが寛永通寶のものである。

多くが寛永通寶であるが、その他の銭貨としては、図46：348と図47：393は天保通寶で、それぞれ19号墓、399号墓で出土している。天保通寶は、江戸時代末期から明治にかけて流通した銅貨で、明治24年まで通用していた銭貨である。また中国の銭貨も出土しており、図46：366は元祐通寶で、1086年から铸造された宋銭である。261号墓から出土している。図48：410は明朝初代皇帝洪武帝の時代（14世紀中頃）に铸造された洪武通寶で、Ⅳ区中央の包含層から出土している。また、図46：358は明朝第3代皇帝の永楽帝のとき（15世紀初頭）に铸造された永楽通寶で171号墓から出土した。さらに、図47：374は清朝時代（17世紀中頃～18世紀初頭）に铸造された康熙通寶で301号墓から出土し、

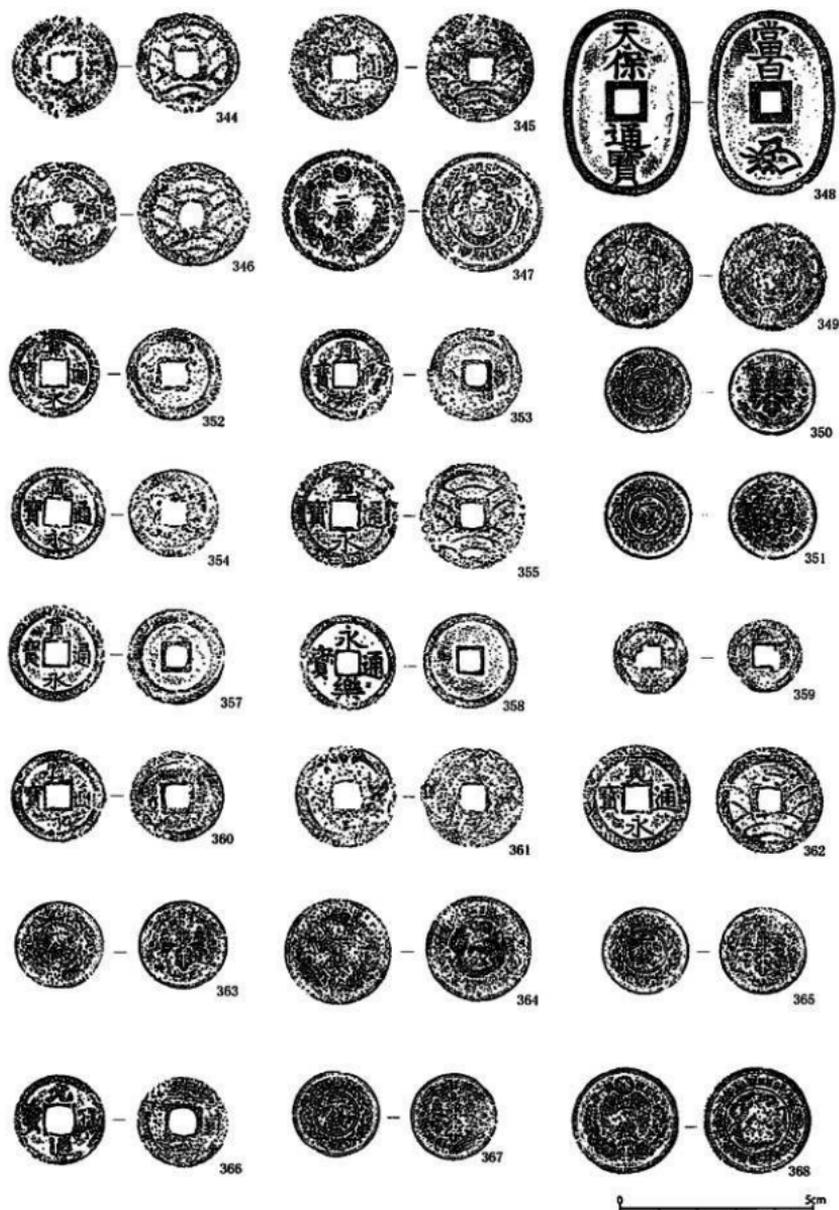


図46 1104調査地点出土遺物実測図14 (3/4)

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

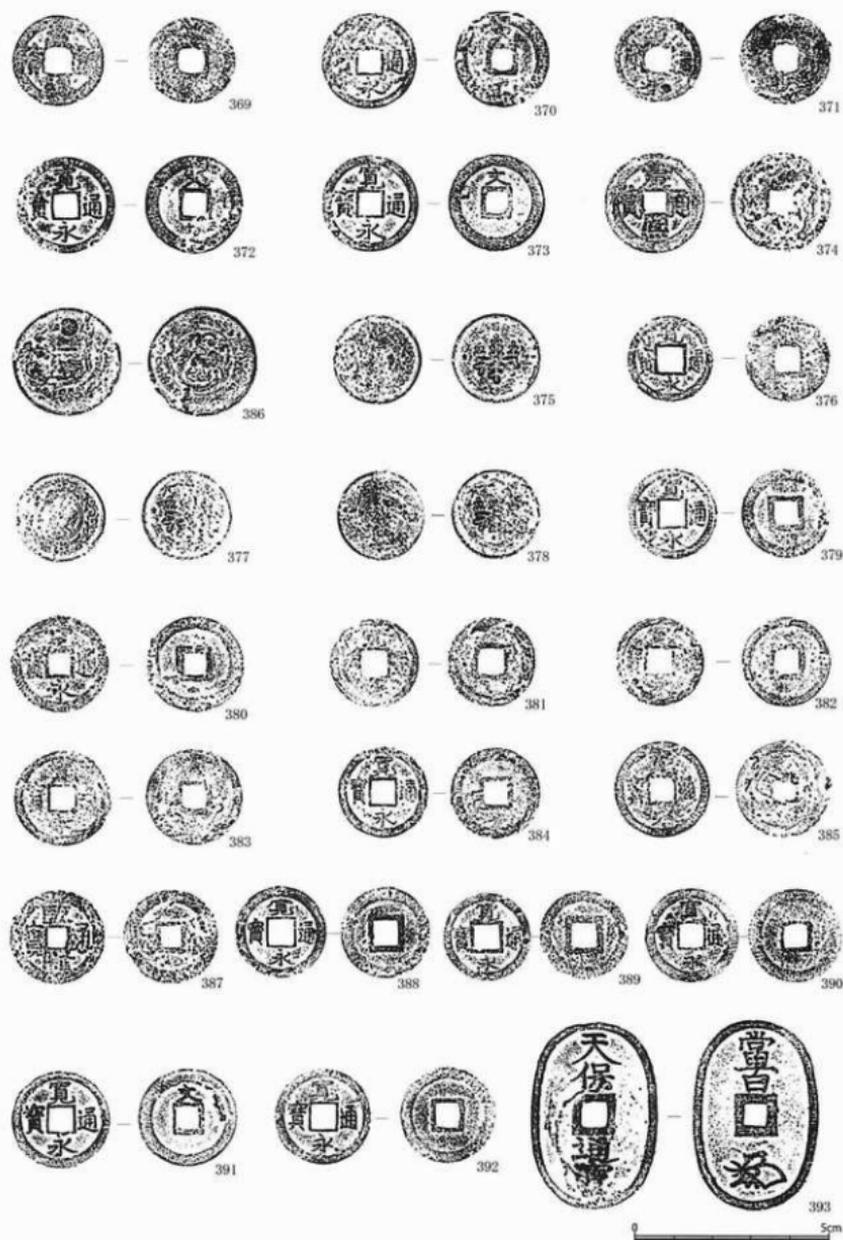


図47 1104調査地点出土遺物実測図15 (3/4)

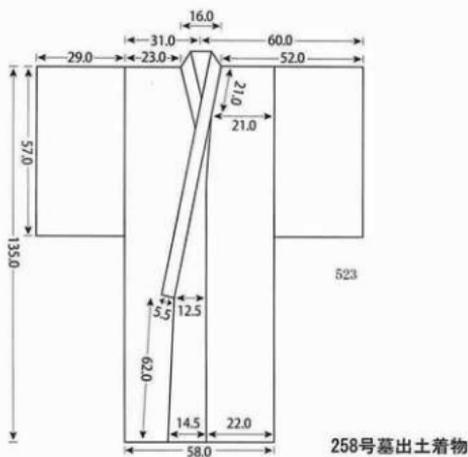
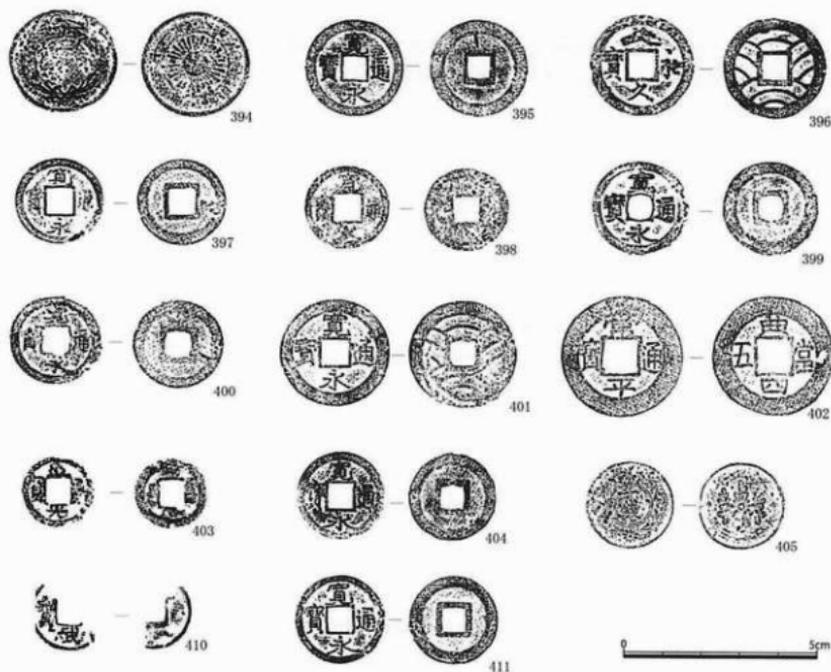


図48 1104調査地点出土遺物実測図16 (3/4)

図47：387は同じく清朝時代の18世紀初頭に鑄造され乾隆通寶で399号墓から出土した。また、朝鮮の銭貨としては、図48：402は李朝時代に流通した銅貨である常平通寶が421号墓から出土している。當五（五文銭）で裏面には「當五典四」と記されているものである。そのほかに日本の銭貨としては、一銭、二銭を確認することができた。

その他の副葬品（図48：523）

図48：523は258号墓に副葬されていた絹製の着物である。258号墓には編み物や編み針、扇子、小皿、水差しなど多くの副葬品が納められていた。そのほかに特徴的な副葬品として、52号墓ではレコード盤とレコードプレーヤーの部品が、また泥面子が多量に出土した54号墓にはミニチュアの急須や七輪、土製人形なども含まれており、子どもの墓であることがわかる。310号墓ではビー玉が17個ままとって出土し、114号墓や338号墓では樹脂製のヘアピンが複数出土している。その他の副葬品については写真で報告した（表11：93～98、153～221、227～234、356、406～409、412～522、524～555）。

（5）まとめ

本調査区では全面に近代墓が検出され、9601調査地点からつづく墓域を確認することができた。さらに東方と南北方向に墓域が広がっている可能性が示された。また、墓域からの多くの副葬品によって、近代・現代の埋葬習俗の様相をうかがうことができた。多量に出土した泥面子については、玉東町の木業猿齋元に江戸時代の泥面子の抜き型が残っており、それらとの比較を行った。その結果、本調査区出土資料と齋元に残る型の種類や形態には類似したものが多く、泥面子を使った遊び方に何らかのルールがあったことが示唆される。本調査区出土泥面子の大きさは、2cm程度のもので2～3cmのものに分かれ、抜き型は2タイプあったのではないかと推測される。熊本市内においては神水遺跡で泥面子の報告があり（中村2011）、そのほかにも複数の遺跡で少量ながら出土していることが知られている。また、長崎市の万才町遺跡においても類似したものが多く出土しており（大橋ほか1996）、九州における泥面子の製作や流通を考えるうえで、本調査区において非常に有益な資料が多量に得られたといえる。また、六道銭の中には、日本の通貨だけでなく中国や朝鮮半島の銭貨が含まれており、発掘成果の特徴の一つとなった。20号墓は泥面子が副葬されていることから子どもの墓と判断されるが、ハマグリ1点とキサゴ8点も含まれており、9601調査地点の幼児にハマグリを副葬する同様の事例であろうか。

また、墓域によって多くが破壊されていたが、本調査区においても古代の住居址を4基検出することができた。また、住居址の方向は9601調査地点の竪穴住居群とほぼ同様であることが確認できるが、本調査区の住居址出土遺物には7世紀後半～9世紀までの遺物を含んでおり、9601調査地点との同時性については明確にできていない。さらに、古くは縄文後期後葉～晩期にかけての縄文土器も複数出土しており、白川左岸に広がる本庄遺跡の東方への縄文時代の包含層の広がりを確認することができた。

出土遺物については、網田龍生氏、楳佳克氏、原田範昭氏、増田直人氏（以上、熊本市教育委員会文化振興課）、永田英津子（木業猿齋元）、宮本千恵子（玉東町教育委員会）に御教示をいただいた。記して厚く感謝申し上げます。

参考文献

大橋康二・櫻木晋一・那浦正義・高田美由紀1996年『万才町遺跡－朝日生命建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』長崎市埋蔵文化財調査協議会

中村幸弘2011年『神水遺跡3－熊本県立熊本商業高等学校校舎改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』熊本県文化財調査報告第258集、熊本県教育委員会

熊本市本庄遺跡1104調査地点出土の近代人骨

松下孝幸*・松下真実**

【キーワード】：熊本県、近代人骨、甕棺墓、木棺墓、坐葬

熊本市本庄1丁目1番1号に所在する本庄遺跡1104調査地点の発掘調査が建物建設工事に伴って、2012年(平成24年)におこなわれた。本遺跡は熊本大学医学部構内に存在する遺跡であり、1104調査地点に隣接する9601地点は1996年度に発掘調査がおこなわれ、その際に約60基の近代墓が検出されている(熊本大学埋蔵文化財調査室、2008)。本調査地点はこの近代墓と連続する墓地である。本調査地点付近は、昭和48年に附属病院敷地となる前までは浄土真宗仙崇寺の墓所であったが、記録によれば昭和44年までに改葬されている。今回実施された1104調査地点の発掘調査の結果をみれば、改葬時の取り残しと思われる部分骨や改葬時に散乱したと思われる骨も見受けられたが、大部分は改葬されていないもので、これらは当時無縁墓となっていたために、改葬されなかったものと思われる。埋葬遺構は大部分は木棺(桶棺、箱棺)であったと思われるが、甕棺も47基存在した。甕棺は近世に武家層の埋葬容器として使用されており、被葬者の所属階層と埋葬施設との関連も気になることである。

熊本県では大江遺跡群第68次調査区(松下、2002)と出水国府跡(松下真実・他、2008)から出土した近代人骨の報告があるが、近代の遺構そのものの調査例がかなり少ないので、近代人骨の研究は進んでいない。九州・山口ではこの2例ぐらしか近代人骨の報告例は知られていない。

前者からは92体の近代人骨が出土している。男性の頭型は長頭型であるが、女性は短頭型である。男性の顔面は高・狭顔であるが、女性は低・広顔で、齒槽性突顎は男女ともに認められない。四肢骨は細く、男性は低身長で、女性は高身長であった。

後者は甕棺1基から出土した1体の男性骨である。頭型は過長頭型で、広顔傾向を示し、鼻根部は扁平ではない。四肢骨は長く、太く、高身長であった。

上記2遺跡の近代人骨は甕棺から出土した人骨であることから、被葬者は旧土族ではないかと筆者らは推測している。男性の頭型はいずれも長頭型であることが共通しており、熊本市域の近代人男性は長頭型と考えてもよさそうであるが、顔面や四肢骨の特徴と推定身長値などが両者で異なっており、さらに検討が必要で、このような意味からも本調査地点出土人骨の特徴が目される。

本調査地点での埋葬姿勢は大部分が坐位であるが、そのほかに仰臥もみられた。検出された人骨は表8に示すとおり380体である(明らかな散乱骨373,374を除く)。成人骨は352体で、そのうち男性骨は124体、女性骨は142体、性別不明86体である。未成人骨(幼小児骨)は28体で、全体の7.4%で、その割合は少ない。各人骨の性別・年齢などは表10に示した。また、年齢区分は表9のとおりである。現在、人骨の整理、復元、保存処理をおこなっており、一連の作業が終了した時点では体数などに若干の修正が生じる可能性がある。また、形質人類学的検討にも復元が完了後直ちに着手する計画ある。

近代墓や近代人骨の研究調査に恵まれることはきわめて稀なことである。日本が近代国家へと大きく変化した幕末から近代にかけて、当時を生き抜いた人々の顔かたちがどのようなものであったのか、生活様式の激変が骨格にどのような変化を及ぼしたのか、本人骨はこのような疑問と課題を解き明かす貴重な資料となるものである。

*Takayuki MATSUSHITA, **Masami MATSUSHITA

The Doigahama Site Anthropological Museum (上井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)

表8 資料数 (Number of materials)

成人			幼小児	合計
男性	女性	不明		
124	142	86	28	380

表9 年齢区分 (Division of age)

	年齢区分	年齢
未成人	乳児	1歳未満
	幼児	1歳～5歳 (第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6歳～15歳 (第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで)
	成年	16歳～20歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳～39歳 (40歳未満)
	熟年	40歳～59歳 (60歳未満)
	老年	60歳以上

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(1996)を参照されたい。

<参考文献>

1. 熊本大学埋蔵文化財調査室、2008：熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ（熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集）
2. 松下孝幸、2002：熊本市大江遺跡群第68次調査区出土の近代人骨。大江遺跡群Ⅳ－大江遺跡群第68次調査区発掘調査報告書－：62-97.
3. 松下孝幸、2006：長崎県近・現代人頭蓋計測値。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第1号：21-24.
4. 松下真実・松下孝幸、2008：熊本県熊本市出水国府跡出土の近代人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究 紀要第3号：1-17.

表10 本荘遺跡1104調査地点出土人骨一覧（List of skeletons）

人骨番号	遺構	性別	年齢	平面プラン	埋葬姿勢	方位	顔の向き	備考
ST-001		女	不明	方形	坐位		西	
ST-002		女	不明	方形	坐位		南西	
ST-003		女	熟年	方形	坐位		西	
ST-004		不明	不明					
ST-005		男	不明					
ST-006		-	幼児					頭蓋のみ
ST-007		女	不明	方形	坐位（立膝）		西	
ST-008	妻棺	男	不明					四肢骨のみ
ST-009		-	小児	長方形	仰臥	北東		ビー玉
ST-011	妻棺	女	不明					
ST-012		女	幼小児					
ST-013		男	不明	妻棺	坐位		南西	
ST-014		男女	熟年	方形	坐位（脚座）		南西	
ST-015		男	不明	不明	不明		不明	一部残存
ST-016		女	不明	方形	坐位		南西	
ST-016の上層		不明	不明					
ST-019		女	不明	長方形	仰臥	北東		
ST-020		-	幼小児					
ST-022		女	壮年					
ST-023	妻棺	男	熟年		坐位		南西	
ST-024		不明	不明					
ST-025		不明	不明					
ST-026		不明	不明					
ST-028		男	熟年					
ST-029		不明	不明					
ST-029上層		女	不明					
ST-030		不明	不明					
ST-031	妻棺	男	熟年					
ST-032		不明	不明					
ST-033		不明	不明					
ST-034		男	不明					
ST-035	妻棺	男	壮年		坐位		北西	
ST-036		不明	不明					
ST-037		-	幼小児					
ST-038	妻棺	-	幼小児					
ST-039		男	熟年					
ST-040		男	不明					
ST-040の下		女	不明					
ST-041	妻棺	男	不明					
ST-042		-	幼小児					
ST-043		女	壮年					
ST-044		男	熟年					
ST-046		不明	不明					
ST-047	妻棺	男	熟年		坐位		北	覆瓦
ST-048		男	不明	方形	坐位		南	
ST-050		女	不明	方形	坐位			
ST-051		男	不明	方形	坐位		不明	覆瓦、レコード
ST-052		男	不明	方形	坐位			
ST-053		男	熟年					
ST-055		不明	不明					
ST-056		男	不明	方形	坐位（立膝）		南西	
ST-057		-	幼小児					
ST-058		女	不明	方形	坐位（立膝）		北	
ST-059		不明	不明					
ST-060-1		男	熟年		坐位		不明	
ST-060-2		男	不明		坐位		不明	
ST-061		不明	熟年	方形	坐位		不明	
ST-062		男	不明	方形	坐位		西	
ST-063		女	不明	方形			南西	
ST-064		女	不明					
ST-065		不明	不明					
ST-066		男	不明					
ST-067		男	熟年	方形	坐位		西	
ST-067の上層		不明	不明					頭蓋のみ
ST-068	妻棺	男	熟年		坐位		西	
ST-069		不明	不明					
ST-070		女	不明	方形	坐位		北	
ST-071		女	不明	方形	坐位（立膝）		南西	
ST-072		女	壮年	方形	坐位		不明	
ST-074		男	壮年	方形	坐位		不明	
ST-075		不明	不明					
ST-076-1		-	幼小児	不明	坐位		不明	左大腿骨のみ
ST-076-2		不明	不明					膝蓋骨など少量
ST-077		不明	不明					
ST-078		男	不明	方形	坐位		東	

人骨番号	遺構	性別	年齢	平面プラン	埋葬姿勢	方位	墓の向き	備考
ST-079		女	不明	方形	坐位		不明	
ST-080		女	不明	方形	坐位		南西	
ST-081		不明	不明	方形	坐位		不明	
ST-082		不明	不明					
ST-084	薬櫃	男	不明					
ST-085		女	不明					
ST-086		女	不明					
ST-087		不明	不明					
ST-088		男	熟年	不明	不明	南東		仰臥の可能性大
ST-089		男	熟年	方形	坐位		南西	
ST-090		不明	不明					
ST-091		女	不明	方形	坐位		南西	
ST-092		男	不明	方形	坐位		不明	
ST-093		男	不明	方形	坐位(立膝)		西	
ST-094		不明	不明					
ST-096		女	不明					
ST-097		女	不明					
097の上層		女	不明					
ST-098	薬櫃	女	熟年		坐位(立膝)		西	
ST-099		女	不明					
ST-100	薬櫃	男	熟年		坐位(立膝)		西	
ST-101	薬櫃	男	不明		坐位		西	
ST-102		不明	不明					
ST-104		女	幼小児					
ST-106		女	不明					
ST-107		女	不明	方形	坐位		北	
ST-108		女	不明					
ST-109		女	不明	方形	坐位		北	
ST-110		不明	不明	方形	坐位		不明	
ST-111		男	熟年	方形	坐位(立膝)		南西	
ST-112		女	不明	不明	不明		不明	
ST-113		女	不明	方形	坐位		南西	
ST-114		女	不明	方形	坐位		北西	135を壊して114を造る
ST-115		女	不明	方形	不明		不明	かんざし
ST-117		女	不明	方形	坐位		南西	
ST-118		女	不明	方形	坐位		西	
ST-119		女	不明	方形	坐位		北東	
ST-120		女	不明	薬櫃				014の下層
ST-121		女	不明	方形	不明		不明	一部のみ残
ST-122		女	壮年	方形	不明		不明	
ST-123		不明	不明					
ST-124		男	熟年	方形	坐位		西	
ST-125		男	不明	不明	不明		不明	大股骨のみ
ST-126		不明	不明					大股骨
ST-127	薬櫃	女	熟年		坐位		西	
ST-128		男	壮年	方形	坐位(胡座)		西	
ST-129		女	不明	方形	坐位		不明	
ST-130		男	不明	不明	不明		不明	003で切られる
ST-131		男	老年	方形	坐位(胡座)		西	
ST-132		女	不明	方形	坐位		西	
ST-134		男	熟年	方形	坐位(胡座)		西	
ST-135		男	不明	不明	不明		不明	
ST-136		不明	不明	不明	不明		不明	
ST-137		女	不明	方形	坐位		西	
ST-138		女	熟年	方形	坐位(胡座)		西	
ST-139		男	不明	方形	坐位		北西	
ST-140		男	熟年	方形	坐位		北西	
ST-141		男	不明	方形	坐位		西	
ST-142		不明	不明					
ST-143		女	壮年	方形	坐位(胡座)		西	
ST-144		男	熟年	方形	坐位		西	
ST-145		女	不明	方形	不明		不明	
ST-146		不明	不明					
ST-147		男	不明	不明	坐位		不明	
ST-148		男	不明	方形	坐位		西	
ST-149		男	不明	不明	坐位		西	
ST-150		不明	不明					
ST-151		男	壮年	不明	仰臥(石を下)	北西		上半身のみ
ST-152		不明	不明					
ST-153		女	不明	方形	仰臥(石を下)	北西	-	
ST-154		女	壮年	方形	坐位(立膝)		西	
ST-155		女	不明					
ST-156		男	不明	方形	坐位		不明	
ST-157		不明	不明					
ST-158		不明	不明					
ST-159		女	熟年	方形	坐位(立膝)		西	
ST-159の溝			不明	不明	不明		不明	四股骨のみ

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

人骨番号	遺構	性別	年齢	平面プラン	埋葬姿勢	頭位	顔の向き	備考
ST-160	の上層	女	不明					
ST-161		男	不明	方形	坐位(胡座)		西	
ST-162		女	不明	方形	不明		不明	
ST-163		女	不明	不明	不明		不明	
ST-164		男	熟年	方形	坐位(胡座)		西	
ST-165		不明	不明	不明	不明		不明	寛骨、肋骨のみ
ST-166		男	熟年	方形	坐位		西	
ST-167	栗棺	女	不明		不明		不明	
ST-167	の西	女	不明					
ST-168		女	壮年	方形	坐位(胡座)		西	
ST-169		男	熟年	方形	坐位		西	
ST-170		女	熟年	方形	坐位(豆藪)		西	
ST-171		男	熟年	方形	坐位(胡座)		北	
ST-172		不明	不明	方形	坐位		北東	
ST-173		不明	不明					
ST-174	栗棺	女	不明		不明		不明	
ST-175		女	老年	方形	坐位		南西	
ST-176		男	不明	方形	坐位		南	
ST-176A		一	幼小児	不明	不明		不明	
ST-177		男	不明	不明	不明		不明	骨片
ST-178		不明	不明	方形	不明		不明	歯骨など、改葬残
ST-179		女	不明	方形	坐位(豆藪)		西	
ST-180		男	不明	方形	坐位		不明	脛骨、肋骨のみ
ST-181		女	不明					
ST-182		女	不明					
ST-183		女	熟年	方形	坐位		西	
ST-184	栗棺	女	熟年	方形	坐位(豆藪)		西	
ST-185		不明	不明					
ST-187		一	幼小児	方形	不明		不明	上腕骨、尺骨のみ、改葬残
ST-188		男	壮年	方形	坐位(豆藪)		西	
ST-189		不明	不明	方形	坐位		西	
ST-190	栗棺	女	熟年		坐位		不明	
ST-191		女	熟年	不明	不明		不明	
ST-192		不明	不明	方形	坐位(胡座)		西	頭蓋石灰化
ST-193		女	熟年	方形	坐位		西	
ST-194	栗棺	女	壮年		坐位(豆藪)		北	
ST-195		女	不明					
ST-196	栗棺	男	壮年		坐位		南	
ST-197		女	熟年	方形	坐位(豆藪)		西	
ST-198		不明	不明	不明	不明		不明	168が破壊、大腸骨のみ
ST-199	栗棺	一	幼小児		坐位		西	
ST-200		不明	不明					
ST-201		不明	不明					
ST-202								
ST-203	栗棺	女	不明		坐位		北西	イヌ骨 改葬残
ST-204		不明	不明					
ST-205		不明	不明					
ST-206		男	不明	方形	坐位(胡座)		西	
ST-207		男	不明	方形	坐位		西	
ST-208		女	不明					
ST-209		女	不明	不明	坐位		不明	89頭蓋、95四肢骨取り上げ
ST-210		女	不明					
ST-211		女	熟年	方形	坐位(豆藪)		西	
ST-212		不明	不明					
ST-213		不明	不明					
ST-214		一	幼小児	不明	不明		不明	頭蓋のみ
ST-215		不明	不明	方形	不明		不明	
ST-216		不明	不明					
ST-217		不明	不明	方形	不明		不明	右肋骨のみ、上半身仰臥か？
ST-218		男	不明	方形	仰臥	南東		
ST-219		男	不明					
ST-220		女	老年	方形	坐位(胡座)		西	
ST-221		不明	不明					
ST-222		一	幼小児	長方形	仰臥	東		
ST-223		男	不明	方形	坐位(胡座)		南西	
ST-224		男	不明	方形	不明		不明	
ST-225		不明	不明					
ST-226		不明	不明					
ST-227		不明	不明					
ST-228		不明	不明					
ST-230	栗棺	女	熟年		坐位		西	
ST-231	栗棺	女	壮年		坐位(豆藪)		西	
ST-232	栗棺	男	不明		坐位		南	
ST-233		不明	不明					
ST-234		不明	不明					
ST-235		男	不明	方形	坐位(胡座)		南西	頭蓋なし
ST-237		一	幼小児					

人身番号	遺構	性別	年齢	平面プラン	埋葬姿勢	方位	開口の向き	備考
ST-238		不明	不明	不明	不明		不明	209の下層
ST-239			幼小児	方形	側臥(右を下)	西		
ST-240		不明	不明	方形	不明		不明	骨片
ST-241		男	不明	方形	不明		不明	頭蓋、腰骨のみ
ST-242		男	不明	方形	不明		不明	241で切られている
ST-243		不明	不明					
ST-245		女	不明					
ST-247		女	壮年	方形	坐位(立膝)		南西	
ST-248		女	不明	方形	坐位(立膝)		西	
ST-249		女	不明	方形	坐位		不明	
ST-250		不明	不明					
ST-252		不明	不明					
ST-253		女	不明	方形	仰臥			上半身のみ
ST-254		男	壮年	方形	坐位		不明	
ST-255		男	不明	方形	坐位		南西	
ST-257		不明	不明					
ST-258	果箱	女	壮年		坐位		北	衣服残
ST-259	果箱	男	熟年		坐位(立膝)		南西	
ST-260		女	不明					
ST-261		女	不明	不明	不明		不明	
ST-262		男	不明	不明	不明		不明	
ST-263		男	不明	方形	坐位(立膝)		南西	
ST-264		女	不明					
ST-266		不明	不明					
ST-267		不明	不明					
ST-268		女	壮年	方形	坐位(立膝)		南西	
ST-268の南		-	幼小児					
ST-269		女	不明					
ST-270		女	不明					
ST-271		男	熟年	方形	坐位(立膝)		南西	
ST-272	果箱	男	不明		不明		不明	
ST-272の南		不明	不明					
ST-273		不明	不明					
ST-274		不明	不明					
ST-275		不明	不明					
ST-276	果箱	男	熟年		坐位(立膝)		西	
ST-277		不明	不明					
ST-278	果箱	-	幼小児		不明		不明	
ST-279	果箱	女	幼小児		不明		不明	
ST-280	果箱	男	熟年		坐位(立膝)		西	
ST-282		女	不明					
ST-283		男	不明	方形	坐位(側臥)		南西	
ST-284		男	不明					
ST-285		女	不明					
ST-286-1		男	不明					
ST-286-2		女	不明					
ST-287		男	熟年	長方形	仰臥		南	
ST-288		女	壮年	方形	坐位(側座)		南西	
ST-289		不明	不明					
ST-290		女	不明					
ST-291		-	幼小児	長方形	仰臥		東	
ST-292		不明	不明					
ST-293		不明	不明	方形	不明		不明	
ST-294		女	不明	方形	不明		不明	大骨片のみ
ST-295		-	幼小児	方形	坐位(立膝)		南西	
ST-296		不明	不明					
ST-297		女	熟年	方形	坐位(立膝)		南西	
ST-298		女	不明					
ST-299		不明	不明					
ST-301		男	不明	方形	坐位(立膝)		南西	
ST-302		男	不明					
ST-303		不明	不明	方形	不明		不明	
ST-304		女	不明					
ST-305		男	不明					
ST-306		女	不明	方形	坐位		不明	
ST-307		不明	不明					
ST-308		-	幼小児					
ST-309		不明	不明					
ST-310		男	不明					
ST-311		男	老年	方形	坐位		不明	
ST-313		女	不明	方形	坐位(立膝)		南西	
ST-315		女	壮年	方形	坐位(立膝)		東	292で破壊さる
ST-318		男	熟年	不明	坐位		南西	
ST-319		男	不明	方形	不明		不明	320,323で切られる
ST-320		男	不明	方形	不明		不明	323で切られる
ST-322		男	老年					頭蓋のみ
ST-323		女	壮年	方形	坐位		南西	腰骨、仰臥

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

人骨番号	遺骨	性別	年齢	平面プラン	埋葬姿勢	頭位	顔の向き	備考
ST-324		女	不明	方形	不明		不明	
ST-325		男	壮年	方形	坐位（立膝）		南西	
ST-330	裏棺	男	壮年		坐位（立膝）		西	
ST-331	裏棺	男	壮年		坐位（立膝）		西	
ST-332	裏棺	女	壮年		坐位		南西	
ST-334	裏棺	-	幼小児		坐位（立膝）		西	
ST-336		男	熟年	方形	坐位（胡座）		南西	
ST-337		女	不明	不明	不明		南	
ST-338		女	壮年	方形	坐位（立膝）		南	
ST-339		女	不明	方形	坐位		南西	
ST-340		女	不明	方形	不明		不明	
ST-342		男	熟年	方形	坐位（立膝）		西	
ST-343		男	不明	方形	坐位（立膝）		北東	
ST-344		男	不明	方形	坐位		不明	
ST-345		男	熟年		坐位（胡座）		東	
ST-346-1		-	幼小児	方形	不明		不明	
ST-346-2		女	不明					
ST-347		男	熟年	方形	坐位		南西	
ST-351		女	不明					
ST-353		-	幼小児	不明	不明		不明	子どもの頭蓋のみ、347で破壊
ST-355		女	不明	長方形	坐位		西	
ST-359	裏棺	男	壮年		坐位（立膝）		南西	
ST-360		男	熟年	方形	坐位（立膝）		南西	
ST-361		男	不明	方形	坐位（立膝）		南西	
ST-366		男	不明	方形	仰臥の可能性大	東	頭蓋、上腕骨のみ、359で切られる	
ST-367		男	不明	長方形	仰臥	東	359で切られる	
ST-370	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	頭蓋のみ
ST-371		女	不明	方形	坐位（立膝）		南東	
ST-375	裏棺	女	壮年		坐位（胡座）		南西	
ST-376	裏棺	女	不明		坐位（立膝）		南西	
ST-378		不明	不明	不明	不明		不明	
ST-379	裏棺	男	熟年		不明		不明	
ST-381		女	老若	方形	坐位（立膝）		南西	
ST-382		男	熟年	方形	坐位（立膝）		南東	
ST-383		女	熟年	方形	不明		不明	
ST-384		女	不明	方形	坐位		不明	
ST-385		女	不明					
ST-387		女	壮年	方形	坐位（立膝）		南西	
ST-388		男	壮年	方形	おそらく仰臥	北	上半身のみ残	
ST-389-1		男	不明	方形	坐位（立膝）		南西	
ST-389-2		女	不明					
ST-391		女	壮年	方形	坐位		南西	
ST-393		男	不明					
ST-394		男	熟年	方形	不明		不明	頭蓋のみ
ST-395		男	不明	方形	不明		不明	上腕骨のみ
ST-402		男	不明					
ST-403		男	壮年	不明	不明		不明	頭蓋のみ
ST-405		不明	不明					
ST-406		女	不明	長方形	仰臥	北		
ST-407		男	老若	方形	坐位		南東	
ST-408		女	壮年	方形	坐位（胡座）		南西	
ST-409		女	壮年		坐位		西	
ST-410		男	老若	長方形	仰臥	南西		
ST-411	裏棺	男	熟年		坐位（立膝）	北		
ST-412		不明	不明					
ST-414		男	不明	方形	坐位（立膝）		南西	
ST-416		男	不明					
ST-420		男	不明	方形	坐位		不明	
ST-422		女	不明					
ST-423		女	不明					
ST-426		男	熟年					
ST-427		不明	不明	方形	坐位		南西	
ST-428	裏棺	男	熟年		坐位（立膝）		北東	
ST-429		幼小児						
ST-430	裏棺	女	壮年		坐位（立膝）		西	
ST-431	裏棺	男	不明		不明		不明	改葬残
ST-431の南西散乱1		不明	不明					
ST-431の南西散乱2		不明	不明					
ST-432		女	壮年	方形	坐位		不明	
ST-433	裏棺	女	壮年		坐位		南西	
ST-434		女	不明					
ST-435		男	熟年					
ST-436		女	不明					
ST-437		-	幼小児					
ST-A	裏棺	男	不明					
ST-B	裏棺	女	壮年					

表11 1104調査地点出土遺物一覽表

区	番号	遺物	種類(部材)	高さ (cm)	残存量	特徴	色	出土遺物	備考
33	1	土師器	鉢	口徑 28.5 底径 20.5 高さ 4.0	1/10 1/10	内: ナテ, ヘラ形 外: ナテ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR6/4	1号壺穴住居地出土	内外面一部ス付者
	2	土師器	鉢	口徑 25.4 底径 19.5 高さ 3.0	1/10	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/3	1号壺穴住居地出土	内外面にス付者
	3	土師器	鉢	口徑 26.0 底径 20.0 高さ 3.0	約1/3	内: 同輪ナテ 外: 同輪ナテ	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/4	1号壺穴住居地出土	外面ス付者
	4	灰土器	蓋	口徑 14.0 底径 10.0 高さ 2.0	約1/4	内: 同輪ナテ, ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 5GY 5 外: Hue 5GY 5	1号壺穴住居地出土	
	5	灰土器	碗	口徑 8.3 底径 6.0 高さ 1.0	底部片	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 2.5GY5/1 外: Hue 2.5GY5/1	1号壺穴住居地出土	
	6	土師器	甕	口徑 28.4 底径 20.0 高さ 4.0	1/8	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 7.5YR7/3 外: Hue 7.5YR7/3	1号壺穴住居地	外面ス付者
	7	灰土器	皿	口徑 13.8 底径 10.0 高さ 1.8	1/5	内: 同輪ナテ 外: 同輪ナテ	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y5/1	1号壺穴住居地	
	8	灰土器	碗	口徑 7.4 底径 5.0 高さ 1.0	底部のみ	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 7.5Y6/1	1号壺穴住居地	
	9	土師器	坏	口徑 12.8 底径 8.0 高さ 3.0	2/3	内: 同輪ナテ, ナテ 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	2号壺穴住居地	赤色化粧土。表面に黒帯「黒帯?」
	10	土師器	坏	口徑 11.8 底径 8.2 高さ 3.1	1/8	内: 同輪ナテ 外: 同輪ナテ, ナテ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	2号壺穴住居地	
	11	土師器	甕	口徑 17.4 底径 12.0 高さ 2.7	底部片	内: 削り 外: 削り, ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR7/6	2号壺穴住居地	内面一部ス付者
	12	土師器	坏	口徑 17.4 底径 12.0 高さ 2.7	2/3	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 2.5YR6/8	3号壺穴住居地	内外面赤色化粧土
	13	土師器	碗	口徑 9.9 底径 7.0 高さ 1.5	1/3	内: 同輪ナテ, ナテ 外: 同輪ナテ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	3号壺穴住居地	内外面赤色化粧土
	14	土師器	甕	口徑 18.0 底径 13.0 高さ 2.5	約1/2	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/3	3号壺穴住居地	外面ス付者
	15	灰土器	蓋	口徑 13.6 底径 10.0 高さ 1.8	約1/4	内: 同輪ナテ, ナテ 外: 同輪ナテ, ナテ, 削り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 7.5Y5/1	4号壺穴住居地	
	16	土師器	蓋	口徑 23.6 底径 18.0 高さ 2.6	1/2	内: 同輪ナテ, ナテ 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	正区	赤色化粧土。口縁部に黒帯?あり
	17	土師器	坏	口徑 13.4 底径 7.5 高さ 3.2	約2/3	内: 同輪ナテ 外: 同輪ナテ	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 2.5YR6/8	56号壺	内外面赤色化粧土
	18	土師器	坏	口徑 13.9 底径 8.0 高さ 3.3	1/3	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6 底面: Hue 10YR6/4	102号壺上層	外面にス付者
	19	土師器	坏	口徑 16.2 底径 10.0 高さ 3.1	底部片	内: 同輪ナテ 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 7.5YR6/6	279号・331号壺	底面に黒帯あり
	20	土師器	坏	口徑 13.4 底径 9.0 高さ 3.4	2/3	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	74号壺	削り?平土 内面口縁部ス付者。全体に削削。底面に赤色化粧土
	21	土師器	坏	口徑 16.2 底径 9.0 高さ 4.5	2/3	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 5YR5/4 外: Hue 5YR5/4	竈造り土 (I~III区黄平層)	内外面赤色化粧土
	22	土師器	坏	口徑 13.1 底径 8.3 高さ 3.3	1/6	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6 5YR6/6	竈造り土	洗滌あり。赤色化粧土
	23	土師器	坏	口徑 13.6 底径 9.1 高さ 2.9	約1/4	内: 同輪ナテ, ナテ 外: 同輪ナテ, ナテ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/4	不明	
	24	土師器	坏	口徑 12.2 底径 6.8 高さ 3.2	約1/4	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/4	竈造り土	外面口縁部に洗滌・ヘラ削り。内面へラ削りによる洗滌痕。底面に赤色化粧土
	25	土師器	坏	口徑 14.6 底径 10.0 高さ 2.3	1/8	内: 同輪ナテ, ナテ 外: 同輪ナテ, ナテ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	竈造り土	
	26	土師器	碗	口徑 14.6 底径 10.0 高さ 2.3	1/8	内: 同輪ナテ 外: 同輪ナテ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	竈造り土	
	27	土師器	碗	口徑 7.2 底径 5.0 高さ 1.0	底部のみ	内: 同輪ナテ, ナテ 外: 同輪ナテ	内: Hue N1.5-0 外: Hue 10YR6/4	提 孔	内外面ス付者
	28	土師器	坏	口徑 10.0 底径 7.0 高さ 1.5	1/8	内: 同輪ナテ 外: 同輪ナテ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/8	竈造り土	外面赤色化粧土
	29	土師器	坏?	口徑 10.0 底径 7.0 高さ 1.5	底部片	内: 同輪ナテ 外: ナテ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	267号壺	底面あり
	30	土師器	坏?	口徑 10.0 底径 7.0 高さ 1.5	底部片	内: ナテ 外: ナテ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4 (2.5YR5-6)	369号壺	底面あり。内外面赤色化粧土
34	31	土師器	甕	口徑 24.2 底径 18.0 高さ 3.0	口縁～ 底部片	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ	内: Hue 7.5YR3-2 1/10層: Hue 2.5Y6/3 外: Hue 10YR6-1 1/10層: Hue 2.5Y5-3 2.5Y6/4	竈造り土	内外面にス付者
	32	土師器	甕	口徑 17.0 底径 12.0 高さ 2.5	口縁～ 底部片	内: 同輪ナテ, 削り 外: 同輪ナテ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	底面	内外面ス・コゲ痕あり

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

区	番号	遺物	種類(形状)	法長 (cm)	発着点	特徴	色	出土位置	備考	
34	33	土師器	甕		口縁部片	内：陶製ナデ、刷り 外：陶製ナデ	内：Hue 25Y7/4-6 5YR5-6 外：Hue 25Y7/4-6 5YR5-6	Ⅱ区東中部	単色化粧土	
	34	土師器	甕		口縁部片	内：陶製ナデ、ナデ、 刷り 外：陶製ナデ	内：Hue 5YR5-6 外：Hue 5YR6/4	210号墓		
	35	土師器	甕	口径 34.0 底径 26.6 高さ 14.0	口縁1/4	内：陶製ナデ、刷り 外：陶製ナデ	内：Hue 10YR2/4 外：Hue 10YR2/4	381号墓	外面にスチ付着	
	36	土師器	鉢	口径 36.6 底径 26.6 高さ 14.0	口縁1/4	内：陶製ナデ、刷り 外：陶製ナデ、ハナ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	墓道	内外面にスチ付着	
	37	土師器	甕		口縁～ 胴部片	内：陶製ナデ、刷り 外：陶製ナデ、ハナ目	内：Hue 7.5YR2/3 外：Hue 7.5YR6/3	墓道		
	38	土師器	甕		把手のみ	内：ナデ 外：ナデ、刷り、肌白 まよ	内：Hue 25Y7/4 外：Hue 10YR2/4	149号墓		
	39	土師器	甕		把手のみ	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 7.5YR5/4	Ⅱ区	一部破きあり	
	40	土師器	甕		口縁部片	内：ナデ、刷り 外：ナデ、刷り	内：Hue 5YR5-6 外：Hue 7.5YR2/4	Ⅱ区東中部	内外面にスチ付着	
	41	須恵器	高坏		1/3	内：陶製ナデ、刷り 外：陶製ナデ、刷り	内：Hue 7.5Y5-2 外：Hue 7.5Y3-1	Ⅱ区		
	42	須恵器	甕	口径 14.0 底径 9.6 高さ 2.6	1/4	内：陶製ナデ 外：陶製ナデ	内：Hue 7.5Y1/6 外：Hue 7.5Y1/6	34号墓		
	43	須恵器	甕		胴部片	内：陶製ナデ、ナデ 外：陶製ナデ、刷り	内：Hue 5Y7/1 外：Hue 5Y7/1	71号墓		
	44	須恵器	甕	口径 12.2 底径 16.8 高さ 3.8	約1/3	内：陶製ナデ 外：陶製ナデ、刷り	内：Hue 7.5YR2/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅱ区	赤焼き	
	45	須恵器	甕	口径 11.2 底径 7.0 高さ 3.8	1/4	内：陶製ナデ、ナデ 外：陶製ナデ、刷り	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue 7.5Y3-1	307号墓		
	46	須恵器	甕	口径 11.6 底径 6.6 高さ 3.2	1/3	内：陶製ナデ 外：陶製ナデ、刷り	内：Hue 5Y7/2 外：Hue 5Y7/2	275号墓		
	47	須恵器	甕	口径 11.6 底径 6.6 高さ 3.2	約1/4	内：陶製ナデ 外：陶製ナデ、刷り	内：Hue 2.5Y5-2 外：Hue 2.5Y4/1	墓道出土		
	48	須恵器	甕	口径 9.2 底径 5.2 高さ 2.2	底面1/3	内：陶製ナデ、刷り 外：陶製ナデ、ナデ	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue 7.5Y3-1	Ⅱ区		
	49	須恵器	甕	口径 8.6 底径 5.6 高さ 2.2	底面片	内：陶製ナデ、刷り 外：陶製ナデ、刷り	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅱ区		
	50	須恵器	甕	口径 10.9 底径 5.6 高さ 2.2	1/8	内：陶製ナデ、ナデ 外：陶製ナデ、刷り	内：Hue 7.5Y3-1 外：Hue 7.5Y3-1	Ⅱ区	外面自然焼あり	
	51	須恵器	甕	口径 11.6 底径 6.6 高さ 3.2	底面片	内：ナデ、タタキ 外：ナデ、タタキ	内：Hue 7.5YR5/4 外：Hue 2.5Y6-1	Ⅱ区東中部	焼きムラあり	
	52	須恵器	甕		胴部片	内：陶製ナデ、ナデ 外：赤子タタキ	内：Hue 10Y5/1 外：Hue 5Y4/1	墓道出土		
	53	須恵器	甕		胴部片	内：タタキ 外：赤子タタキ	内：Hue 7.5Y3-1 外：Hue 7.5Y3-1	墓道出土1 崩部		
	54	須恵器	甕		胴部片	内：陶製ナデ、ナデ 外：赤子タタキ	内：Hue 10B5-1 外：Hue 10B5-1	160号墓		
	55	須恵器	甕		胴部片	内：陶製ナデ、ナデ 外：赤子タタキ	内：Hue 7.5Y4/1 外：Hue 2.5Y3-2 N1.0	164号墓		
	56	須恵器	甕		胴部片	内：ナデ、タタキ 外：ナデ	内：Hue 10/0 外：Hue 5Y5-1	墓道2 崩部上層	外面工具によるナデ	
	57	須恵器	甕		胴部片	内：陶製ナデ、ナデ 外：ナデ	内：Hue 10G6-1 外：Hue 5B5-1	128号墓の墓道入り下層		
	35	58	土師器	甕	口径 25.2 底径 16.8 高さ 3.2	1/4	内：陶製ナデ、ナデ 外：陶製ナデ、刷り	内：Hue 7.5YR5-6 外：Hue 7.5YR5-6	243号墓	
		59	陶器	甕		口縁部片	内：陶製ナデ 外：陶製ナデ	内：Hue 10YR3-2 外：Hue 5YR5-6	29号墓出土	外面赤色化粧土？、内面スチ付着
		60	土師器	甕？	口径 13.4 底径 9.6 高さ 1.7	口縁部片	内：陶製ナデ 外：陶製ナデ	内：Hue 5YR5-6 外：Hue 5YR5-6	Ⅱ区東中部	
		61	土師器	小皿	口径 6.5 底径 3.8 高さ 1.0	完整	内：陶製ナデ 外：刷り、赤目	内：Hue 10YR2-2 外：Hue 10YR2-2	193号墓	外面に布目痕あり、割れ多く含む
		62	土師器	小皿	口径 7.1 底径 4.5 高さ 1.3	2/3	内：陶製ナデ 外：陶製ナデ	内：Hue 10YR3-3 外：Hue 10YR3-3	193号墓	
		63	土師器	小皿	口径 7.4 底径 5.4 高さ 1.7	完整	内：陶製ナデ 外：陶製ナデ	内：Hue 10YR3-3 外：Hue 10YR3-3	193号墓	
		64	土師器	小皿	口径 5.9 底径 3.2 高さ 1.4	2/3	内：陶製ナデ 外：陶製ナデ	内：Hue 7.5YR3-3 外：Hue 7.5YR3-3	1区	底面赤切り、穿孔あり
		65	土師器	鉢		底面片	内： 外：陶製ナデ、ナデ	内：Hue 外：Hue 7.5YR2/4	333号墓	穿孔あり
66		土師器	鉢		底面片	内： 外：陶製ナデ、ナデ	内：Hue 外：Hue 5YR2/6	465・462号墓層出土	穿孔あり	
67		土師器	鉢		底面片	内： 外：陶製ナデ	内：Hue 外：Hue 7.5YR2/4	Ⅱ区	穿孔あり	
68		土師器	甕	口径 19.4 底径 22.4 高さ 23.3	1/5	内：ナデ、刷り 外：ナデ、刷り	内：Hue 10YR2/4 外：Hue 10YR6/4	309号墓	胴縁～底面厚く黄色	
69		陶器	甕		口縁～ 胴部片	内：陶製ナデ 外：陶製ナデ	内：Hue 5YR2-2 外：Hue 5YR2-2	1区	外面輪飾土	

区	区号	遺物	埋没(深層)	埋込 (cm)	埋 入 型	材 質	色 相	出土位置	備 考	
35	70	須磨器	不明	長さ 4.5 幅 2.7 厚さ 0.5	破 片	表: ナテ 裏: ナテ	表: Hae 10YR8/4 裏: Hae 5YR6/6	第1区	埋込5cm、ヘラ跡あり・赤錆あり	
	71	瓦	不明	長さ 10.3 幅 7.3 厚さ 1.9	破 片	内: ナテ 外: ナテ	内: Hae 10B/0 外: Hae 10B/0	431号墓	埋込18cm、割符あり、瓦葺利用	
	72	瓦質土器?	火 灰?		割 破 片	内: ナテ 外: ナテ	内: Hae 7.5Y7/1 外: Hae 10B/0 5Y2/1	第IV区西半部	割印あり、割線跡あり、内外両面磨石付あり	
36	73	純文土器	浅鉢形土器		口縁破片	内: ナテ 外: ナテ	内: Hae 10YR8/2 外: Hae 10YR8/2	第1区	外国スズ付巻	
	74	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ、磨り 外: ナテ、磨り	内: Hae 2.5Y6/4 外: Hae 2.5Y6/4	54号墓	胴部に泥層2層を施す	
	75	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ 外: ナテ	内: Hae 2.5Y7/2 外: Hae 2.5Y6/4	Ⅱ・Ⅳ区西半部		
	76	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ 外: ナテ	内: Hae 10YR4/1 外: Hae 10YR2/1	第IV区西半部		
	77	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ 外: ナテ	内: Hae 10YR4/1 外: Hae 10YR6/2	第IV区西半部	外国スズ付巻	
	78	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ、磨り 外: ナテ、磨り	内: Hae 10YK7/2 外: Hae 2.5Y5/2	51号墓		
	79	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ、磨り 外: ナテ、磨り	内: Hae 10YR6/3 外: Hae 10YR6/3	261号墓		
	80	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ、磨り 外: ナテ、磨り	内: Hae 10YR7/2 外: Hae 10YR7/3	424号竪穴住居基壇土器	外国スズ付巻	
	81	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ、磨り 外: ナテ	内: Hae 10YR6/3 外: Hae 10YR6/3	405・402号墓周遊土器		
	82	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ、磨り 外: ナテ	内: Hae 2.5Y4/2 外: Hae 2.5Y4/2	1区		
	83	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: 磨り 外: 磨り	内: Hae 2.5YR6/3 外: Hae 10YR2/4	Ⅱ区		
	84	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ、磨り 外: ナテ、磨り	内: Hae 10YR5/2 外: Hae 10YR5/2	沼澤		
	85	純文土器	浅鉢形土器		胴破片	内: ナテ 外: ナテ	内: Hae 10YR2/2 外: Hae 10YR6/1	沼澤		
	86	純文土器	浅鉢形土器	口縁 埋込 埋込	6.3	胴部一 部破片	内: ナテ 外: ナテ	内: Hae 10YR6/2 外: Hae 2.5YR6/4	1区	
	37	87	土製品	泥団子	長さ 1.80 幅 1.39 厚さ 0.74	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR5/4 裏: Hae 10YR4/3	20号墓	重量1.7g、約跡
88		土製品	泥団子	長さ 2.12 幅 1.28 厚さ 0.66	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR5/4 裏: Hae 10YR5/4	20号墓	重量1.5g、色?、表面磨粒、表面に止まり孔1つあり	
89		土製品	泥団子	長さ 1.48 幅 1.49 厚さ 0.57	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR6/3 裏: Hae 10YR5/3 2.5Y7/3	20号墓	重量1.2g、人面(童子)、表面磨粒	
90		土製品	泥団子	長さ 2.27 幅 1.37 厚さ 0.85	完 形	表: 裏:	表: Hae 2.5Y7/4 裏: Hae 2.5Y7/4	20号墓	重量2.0g、人面(男)、表面磨粒	
91		土製品	泥団子	長さ 1.66 幅 1.34 厚さ 0.72	完 形	表: 裏:	表: Hae 7.5Y5/4 裏: Hae 2.5Y5/4	20号墓	重量1.5g、赤表、表面磨粒	
92		土製品	泥団子	長さ 1.86 幅 1.44 厚さ 0.9	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR5/4 裏: Hae 10YR5/4	20号墓	重量2.0g、人面(男)、表面磨粒	
93		土製品	泥団子	長さ 1.86 幅 1.55 厚さ 0.84	完 形	表: 裏:	表: Hae 5YR6/6 裏: Hae 10YR4/3 裏: Hae 7.5YR5/4	20号墓	重量1.6g、不明、表面磨粒、表面全体的に磨かれていた	
94		土製品	泥団子	長さ 2.33 幅 1.32 厚さ 0.82	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR7/3 裏: Hae 10YR6/3	20号墓	重量2.1g、人面(男)、表面磨粒、磨り・鼻・口・口平方にシズリ痕跡あり	
95		土製品	泥団子	長さ 1.72 幅 1.24 厚さ 0.7	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR2/4 裏: Hae 10YR5/3	20号墓	重量1.8g、不明	
96		土製品	泥団子	長さ 1.23 幅 0.94 厚さ 0.66	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR8/3 裏: Hae 10YR7/4	20号墓	重量1.7g、不明、表面磨粒	
97		土製品	泥団子	長さ 1.35 幅 1.66 厚さ 0.58	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR5/3 裏: Hae 7.5YR8/4 裏: Hae 10YR6/4	20号墓	重量1.6g、不明、表面磨粒	
98		土製品	泥団子	長さ 2.58 幅 2.47 厚さ 1.01	完 形	表: 裏:	表: Hae 7.5YR2/6 裏: Hae 7.5YR2/6	21号墓	重量6.6g、人面(童子)、表面磨粒、磨り・鼻・口・口平方にシズリ痕跡あり	
37		99	土製品	破片面子	長さ 1.89 幅 1.84 厚さ 0.56	完 形	表: 裏:	粘土: Hae 2.5Y6/3	25号墓	重量2.7g、表面磨粒あり、陶器破片破片
		100	土製品	破片面子	長さ 2.57 幅 2.61 厚さ 0.84	完 形	表: 裏:	粘土: Hae 2.5Y5/2	29号墓	重量7.3g、表面磨粒あり、陶器破片破片
37		101	土製品	破片面子	長さ 1.95 幅 2.61 厚さ 0.63	完 形	表: 裏:	粘土: Hae 7.5Y5/3	114号墓	重量3.0g、表面磨粒あり、陶器破片破片
	102	土製品	泥団子	長さ 2.87 幅 2.49 厚さ 1.0	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR2/4 裏: Hae 10YR2/4	54号墓	重量5.3g、赤アホ面、磨り・目・耳・鼻などの痕跡あり、表面に磨粒の痕跡あり	
	103	土製品	泥団子	長さ 2.57 幅 2.52 厚さ 1.1	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR2/4 裏: Hae 10YR2/4	54号墓	重量6.2g、人面(童子)、磨り・目の痕跡あり、表面に文字×(ハ)の痕跡あり	
	104	土製品	泥団子	長さ 2.51 幅 1.84 厚さ 1.15	完 形	表: 裏:	表: Hae 7.5Y6/4 裏: Hae 10YR6/4	54号墓	重量7.2g、磨り磨り?、表面磨粒、表面に文字あり	
105	土製品	泥団子	長さ 3.14 幅 2.05 厚さ 1.05	完 形	表: 裏:	表: Hae 10YR2/4 裏: Hae 10YR6/4	54号墓	重量5.0g、人面(男)、磨り・目の痕跡あり、表面に文字あり、磨り・鼻・口・口平方にシズリ痕跡あり		

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

部	番号	遺物	種類(部類)	長さ (cm)	保存状態	特徴	色	質	出土層	備考	
37	106	土製品	泥面子	径S 3.24 径 2.16 厚S 1.63	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR5-4 裏: Hue 10YR4-6	54号墓		重量11g。人面(男)。表面顔輪で目の描写あり。表面黒文字	
	107	土製品	泥面子	径S 2.8 径 2.29 厚S 1.0	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR5-4	54号墓		重量8.7g。人面(おかも)。眉で目の描写あり	
	108	土製品	泥面子	径S 2.61 径 1.75 厚S 1.21	完形	表: 裏:	表: Hue 7.5YR6-4 裏: Hue 10YR5-4	54号墓		重量6.4g。破面	
	109	土製品	泥面子	径S 2.29 径 1.92 厚S 0.91	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR7-4 裏: Hue 10YR7-4	54号墓		重量5.4g。人面(男)。表面顔輪で眉・鬚の描写あり	
	110	土製品	泥面子	径S 2.59 径 2.09 厚S 1.95	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-6 裏: Hue 10YR7-3	54号墓		重量5.3g。人面(女)。眉で目・口の描写あり。白色系顔料で髪・鬚の描写あり	
	111	土製品	泥面子	径S 2.89 径 2.28 厚S 1.19	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR4-6 10YR6-4	54号墓		重量5.4g。人面(男)。眉で目の描写あり	
	112	土製品	泥面子	径S 2.13 径 2.1 厚S 0.86	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR5-4	54号墓		重量4.6g。人面(男)。表面顔輪で目の描写あり	
	113	土製品	泥面子	径S 2.61 径 2.18 厚S 1.03	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR7-4 裏: Hue 10YR6-6	54号墓		重量5.2g。人面(四つ首)。眉で目・口の描写あり	
	114	土製品	泥面子	径S 3.73 径 2.28 厚S 1.15	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR6-4	54号墓		重量5.9g。人面(男)。表面顔輪で目の描写あり	
	115	土製品	泥面子	径S 3.17 径 1.77 厚S 0.88	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-3 裏: Hue 10YR5-1	54号墓		重量4.7g。人面(男)。眉で目・口の描写あり。白色の顔料で鬚の描写あり	
	38	116	土製品	泥面子	径S 2.87 径 1.73 厚S 0.81	完形	表: 裏:	表: Hue 5Y3-1 裏: Hue 5Y4-1 10YR5-4	54号墓		重量4.8g。人面(男)。表面顔輪で目・口の描写あり
		117	土製品	泥面子	径S 2.03 径 1.87 厚S 0.74	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR5-4 裏: Hue 10YR7-6 裏: Hue 10YR6-4	54号墓		重量2.2g。馬(頭部)。表面黒文字あり2つあり
		118	土製品	泥面子	径S 1.8 径 1.32 厚S 0.67	完形	表: 裏:	表: Hue 2.5Y7/3 裏: Hue 5Y4-1	54号墓		重量1.5g。大瓦。表面顔輪
		119	土製品	泥面子	径S 2.91 径 0.91 厚S 0.49	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR4-3 裏: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR6-4	54号墓		重量1.3g。方筒。表面顔輪。表面黒文字に白色系顔料残る
		120	土製品	泥面子	径S 2.92 径 1.24 厚S 0.78	完形	表: 裏:	表: Hue 2.5Y3-4 裏: Hue 10YR5-4	54号墓		重量2.2g。コウタン。表面顔輪
121		土製品	泥面子	径S 2.17 径 1.1 厚S 0.59	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR5-4 裏: Hue 10YR7-4 裏: Hue 10YR5-4	54号墓		重量1.4g。羽子板。表面顔輪	
122		土製品	泥面子	径S 2.53 径 1.17 厚S 0.78	完形	表: 裏:	表: Hue 7.5YR5-4 裏: Hue 7.5YR5-4	54号墓		重量1.7g。不明	
123		土製品	泥面子	径S 2.29 径 1.28 厚S 0.61	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR4-3 裏: Hue 10YR4-3	54号墓		重量1.7g。遺物無	
124		土製品	泥面子	径S 1.18 径 1.37 厚S 0.74	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR5-3	54号墓		重量1.5g。酒罎。表面顔輪	
125		土製品	泥面子	径S 1.53 径 1.79 厚S 0.71	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR6-4	54号墓		重量1.7g。ティンポット(陶あり)。表面顔輪	
126		土製品	泥面子	径S 1.8 径 1.34 厚S 0.71	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR5-4 裏: Hue 10YR5-4	54号墓		重量1.6g。釣鐘。表面顔輪	
127		土製品	泥面子	径S 1.9 径 1.39 厚S 0.65	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR5-3 裏: Hue 10YR4-3	54号墓		重量2.0g。錠。表面顔輪。表面黒文字に白色系顔料残る	
128		土製品	泥面子	径S 1.15 径 1.79 厚S 0.69	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR7-4 裏: Hue 10YR6-4 7.5Y4/1	54号墓		重量1.3g。不明。表面顔輪	
129		土製品	泥面子	径S 1.86 径 1.47 厚S 0.69	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR6-4	54号墓		重量1.5g。茅。表面顔輪	
130		土製品	泥面子	径S 1.17 径 1.78 厚S 0.58	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-3 裏: Hue 2.5Y7-4 裏: Hue 10YR5-4	54号墓		重量1.4g。凸丸。表面顔輪。表面白色系顔料一部残る	
131		土製品	泥面子	径S 1.9 径 1.42 厚S 0.69	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR7-4 裏: Hue 10YR6-4	54号墓		重量1.8g。不明	
132		土製品	泥面子	径S 1.43 径 2.41 厚S 0.71	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-2 裏: Hue 10YR6-2	54号墓		重量2.0g。不明(コウモリ?)。表面顔輪	
133		土製品	泥面子	径S 2.96 径 1.79 厚S 0.96	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-4 裏: Hue 7.5YR4-4 裏: Hue 10YR5-4 7.5YR4-4	54号墓		重量5.9g。人面(女)。眉で目・口の描写あり	
134	土製品	泥面子	径S 2.96 径 2.16 厚S 1.23	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-3 裏: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR6-4	54号墓		重量7.5g。破石面(破)		
135	土製品	泥面子	径S 2.63 径 2.51 厚S 0.97	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR6-4	54号墓		重量5.5g。人面(男)。表面顔輪で眉の描写あり		
136	土製品	泥面子	径S 3.38 径 2.47 厚S 1.69	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR6-4 裏: Hue 10YR5-4	54号墓		重量11.2g。人面(?)。表面顔輪		
137	土製品	泥面子	径S 3.08 径 2.64 厚S 0.94	完形	表: 裏:	表: Hue 10YR5-4 裏: Hue 7.5YR5-4	54号墓		重量6.0g。人面(男?)。眉で目・口の描写あり。面に		

区	番号	品名	形状(種類)	高さ (cm)	横寸	容積	特 徴	色 調	出土位置	備 考
38	138	土製品	碗面子	高さ 3.83 幅 1.83 厚さ 0.91	丸形	容積: 表: Hue 10YR5/3 裏: Hue 10YR6/4 7.5YR4/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR5/3 裏: Hue 10YR6/4 7.5YR4/4	54号墓	重量4.9g。人面(男?)。顔で目・ 口の痕写あり
	139	土製品	碗面子	高さ 3.12 幅 1.84 厚さ 1.19	丸形	容積: 表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR6/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR6/4	54号墓	重量5.6g。人面(女?)。顔で目・ 口の痕写あり
	140	土製品	碗面子	高さ 2.67 幅 2.29 厚さ 1.14	丸形	容積: 表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 10YR5/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 10YR5/4	54号墓	重量6.6g。鳥頭。裏面附杖。顔 で目の痕写あり
39	141	土製品	碗面子	高さ 3.72 幅 1.97 厚さ 0.97	丸形	容積: 表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 10YR5/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 10YR5/4	54号墓	重量5.7g。人面(男)。裏面附杖
	142	土製品	碗面子	高さ 2.34 幅 1.67 厚さ 0.9	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/6 裏: Hue 7.5YR2/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/6 裏: Hue 7.5YR2/4	54号墓	重量5.1g。人面(男性?)。裏面 附杖。顔で目・口の痕写あり
	143	土製品	碗面子	高さ 3.2 幅 1.54 厚さ 0.98	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR7/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR7/4	54号墓	重量5.6g。人面(指輪?)。裏面 附杖。顔で目・口の痕写あり。 頸部周辺白色の顔料付あり
40	144	土製品	碗面子	高さ 2.87 幅 2.03 厚さ 0.89	丸形	容積: 表: Hue 10YR6/6 裏: Hue 10YR6/6	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR6/6 裏: Hue 10YR6/6 7.5YR4/4	54号墓	重量4.4g。人面(男)。裏面附杖 顔で目・口の痕写あり
	145	土製品	碗面子	高さ 3.33 幅 1.65 厚さ 0.92	丸形	容積: 表: Hue 10YR5/3 裏: Hue 10YR5/3	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR5/3 裏: Hue 10YR5/3	54号墓	重量4.5g。人面(男) 裏面附杖。 顔で目・口の痕写あり
	146	土製品	碗面子	高さ 3.47 幅 1.59 厚さ 1.21	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR6/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR6/4	54号墓	重量6.7g。人面(ピン?)。裏面 附杖。顔で目の痕写あり
41	147	土製品	碗面子	高さ 4.0 幅 1.11 厚さ 0.97	丸形	容積: 表: Hue 7.5YR5/4 裏: Hue 10YR6/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 7.5YR5/4 裏: Hue 10YR6/4 10YR7/4	54号墓	重量5.6g。人面(男)。裏面附杖 顔で目の痕写あり。白色の顔料 で眉・口の痕写あり
	148	土製品	碗面子	高さ 3.12 幅 1.93 厚さ 0.94	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR6/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR6/4 10YR4/4	54号墓	重量5.5g。人面(男)。裏面附杖 顔で目・眉・髪・鼻・口の痕 写あり。白色顔料一部残
	149	土製品	碗面子	高さ 3.39 幅 1.96 厚さ 0.91	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR7/6	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR7/6	54号墓	重量5.2g。人面(男)。裏面附杖 白色の顔料で眉・口の痕写あり。 顔で目・口の痕写あり
42	150	土製品	碗面子	高さ 3.51 幅 1.95 厚さ 1.53	丸形	容積: 表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 10YR6/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 10YR6/4	54号墓	重量8.8g。人面(男)
	151	土製品	碗面子	高さ 3.17 幅 1.67 厚さ 0.87	丸形	容積: 表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 10YR5/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 10YR5/4	54号墓	重量4.8g。人面(男)。顔で目・ 口の痕写あり
	152	土製品	碗面子	高さ 3.74 幅 2.15 厚さ 0.94	丸形	容積: 表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 7.5YR6/6	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 7.5YR6/6	54号墓	重量5.8g。人面(男)。顔で目・口 の痕写あり
43	153	土製品	碗面子	高さ 1.96 幅 1.18 厚さ 0.89	丸形	容積: 表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR5/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR5/4	54号墓	重量1.2g。鳥。表面全体にシメ? 肌層?付あり
	154	土製品	碗面子	高さ 2.04 幅 1.21 厚さ 0.83	丸形	容積: 表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR7/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR7/4	54号墓	重量1.2g。鳥?。裏面附杖。表 面にシメ?付あり
	155	土製品	碗面子	高さ 1.89 幅 1.18 厚さ 0.82	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR6/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR6/4	54号墓	重量1.5g。手輪。裏面附杖。一 部欠損あり
44	156	土製品	碗面子	高さ 1.84 幅 1.2 厚さ 0.71	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/3 裏: Hue 10YR7/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/3 裏: Hue 10YR7/4	54号墓	重量1.7g。釣錐。裏面附杖
	157	土製品	碗面子	高さ 2.9 幅 1.28 厚さ 0.83	丸形	容積: 表: Hue 7.5YR6/4 裏: Hue 7.5YR4/4 (-B)	表: 裏: 裏:	表: Hue 7.5YR6/4 裏: Hue 7.5YR4/4	54号墓	重量1.5g。鳥。裏面附杖。表 面くぼみ部分に白色系顔料残
	158	土製品	碗面子	高さ 2.81 幅 1.08 厚さ 0.85	丸形	容積: 表: Hue 7.5YR7/4 裏: Hue 7.5YR5/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 7.5YR7/4 裏: Hue 7.5YR5/4	54号墓	重量1.1g。ちうさく。裏面附杖。 裏面くぼみ部分に白色系顔料残
45	159	土製品	碗面子	高さ 2.24 幅 1.54 厚さ 0.88	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/3 裏: Hue 10YR6/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/3 裏: Hue 10YR6/4	54号墓	重量1.0g。ちうさく。裏面附杖。 裏面に白色系顔料一部残
	160	土製品	碗面子	高さ 1.7 幅 1.44 厚さ 0.69	丸形	容積: 表: Hue 7.5YR6/6 裏: Hue 7.5YR6/6	表: 裏: 裏:	表: Hue 7.5YR6/6 裏: Hue 7.5YR6/6	54号墓	重量1.7g。鳥頭。裏面附杖。表 面中央部分に白色系顔料付
	161	土製品	碗面子	高さ 1.95 幅 1.02 厚さ 0.87	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR5/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR5/4	54号墓	重量2.5g。人面(男)。裏面附杖
46	162	土製品	碗面子	高さ 1.75 幅 1.7 厚さ 0.88	丸形	容積: 表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR7/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR7/4	54号墓	重量2.0g。人面(男)。裏面附杖
	163	土製品	碗面子	高さ 2.02 幅 1.62 厚さ 0.79	丸形	容積: 表: Hue 10YR6/3 裏: Hue 10YR7/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR6/3 裏: Hue 10YR7/4	54号墓	重量1.9g。鳥。裏面附杖。裏 面くぼみ部分に白色系顔料残
	164	土製品	碗面子	高さ 1.86 幅 1.05 厚さ 0.85	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 7.5YR5/4 (-B)	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 7.5YR5/4	54号墓	重量2.0g。鳥。裏面附杖。 裏面くぼみ部分に白色系顔料残
47	165	土製品	碗面子	高さ 2.37 幅 1.13 厚さ 0.8	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR7/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR7/4	54号墓	重量1.8g。人面(男)。裏面附杖
	166	土製品	碗面子	高さ 1.85 幅 1.44 厚さ 0.68	丸形	容積: 表: Hue 10YR6/6 裏: Hue 10YR5/4	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR6/6 裏: Hue 10YR5/4	54号墓	重量1.0g。七福神の一人?。裏 面附杖
	167	土製品	碗面子	高さ 1.75 幅 1.53 厚さ 0.76	丸形	容積: 表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 7.5YR6/6	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 7.5YR6/6	54号墓	重量1.5g。人面(男)。裏面附杖 顔で眉・口の痕写あり
48	168	土製品	碗面子	高さ 1.71 幅 1.43 厚さ 0.74	丸形	容積: 表: Hue 5YR4/6 裏: Hue 5YR5/6	表: 裏: 裏:	表: Hue 5YR4/6 裏: Hue 5YR5/6	54号墓	重量1.8g。人面(女)。裏面附杖 顔で眉の痕写あり
	169	土製品	碗面子	高さ 1.67 幅 1.23 厚さ 0.78	丸形	容積: 表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 5YR6/6	表: 裏: 裏:	表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 5YR6/6	54号墓	重量1.5g。鳥。裏面附杖

2. 臨床医学教育研究センター (仮称) 整備事業に伴う発掘調査 (1104調査地点)

順	番号	品名	種類(図様)	法長 (cm)	形状	表	裏	出土層位	備考
170		土製品	泥面子	法長 1.05 幅 1.37 厚さ 0.88	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 裏: Hae 10YR6/4	54号墓	重量17g。不明。表面磨粒。裏面に「赤」の文字あり
171		土製品	泥面子	法長 1.07 幅 1.43 厚さ 0.96	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR7/4 裏: Hae 10YR7/4	54号墓	重量22g。焼面
172		土製品	泥面子	法長 1.08 幅 1.17 厚さ 0.82	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 裏: Hae 10YR6/4	54号墓	重量16g。人面(男)。表面磨粒。表面に赤色の一部に白色系顔料付着
173		土製品	泥面子	法長 1.89 幅 1.15 厚さ 0.98	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 7.5YR5/4 5YR5-6 裏: Hae 10YR6/4	54号墓	重量17g。そばはん?。表面磨粒。表面に赤色の一部付着
174		土製品	泥面子	法長 1.8 幅 1.02 厚さ 0.82	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 7.5YR5-6 裏: Hae 7.5YR6-6	54号墓	重量14g。そばはん?。裏面に「ま?」の付着?あり
175		土製品	泥面子	法長 1.91 幅 1.17 厚さ 0.83	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6-6 裏: Hae 10YR6-6	54号墓	重量17g。不明。表面磨粒
176		土製品	泥面子	法長 1.84 幅 1.25 厚さ 0.83	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 裏: Hae 10YR6/4	54号墓	重量15g。不明。表面磨粒
177		土製品	泥面子	法長 1.4 幅 1.36 厚さ 0.73	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 裏: Hae 10YR6/4	54号墓	重量12g。赤子?
178		土製品	泥面子	法長 1.56 幅 1.78 厚さ 0.82	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR5/4 10YR5-6 裏: Hae 10YR5/4	54号墓	重量17g。赤子?。表面磨粒。表面に赤色の顔写あり
179		土製品	泥面子	法長 1.86 幅 1.49 厚さ 0.98	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6-6 裏: Hae 10YR6-6	54号墓	重量17g。焼面。表面磨粒。表面に赤色の顔写あり
180		土製品	泥面子	法長 1.9 幅 1.17 厚さ 0.82	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6-6 7.5YR6-3 裏: Hae 10YR4/4	54号墓	重量63g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
181		土製品	泥面子	法長 3.06 幅 2.02 厚さ 1.23	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 7.5YR5-4 7.5YR6-4 裏: Hae 7.5YR6-6 7.5YR7/4	54号墓	重量76g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
182		土製品	泥面子	法長 3.56 幅 2.04 厚さ 1.18	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 裏: Hae 10YR6/4	54号墓	重量63g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
183		土製品	泥面子	法長 3.76 幅 2.13 厚さ 1.05	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 7.5YR6-4 裏: Hae 10YR6-6	54号墓	重量66g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
184		土製品	泥面子	法長 3.61 幅 1.91 厚さ 1.14	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR7/6 裏: Hae 10YR7/6	54号墓	重量66g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり。目の顔写あり
185		土製品	泥面子	法長 3.61 幅 1.96 厚さ 1.06	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR7/4 裏: Hae 10YR7/4	54号墓	重量58g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
186		土製品	泥面子	法長 3.38 幅 2.19 厚さ 1.16	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 7.5YR6/4 裏: Hae 7.5YR6-6	54号墓	重量58g。人面(男)。表面磨粒。表面に白色系顔料付着
187		土製品	泥面子	法長 3.38 幅 2.21 厚さ 1.02	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 7.5YR5-6 7.5YR6-4 裏: Hae 7.5YR6/4 7.5YR4/1	54号墓	重量84g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
188		土製品	泥面子	法長 3.43 幅 1.82 厚さ 1.0	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 7.5YR5-6 裏: Hae 7.5YR6/4 7.5YR5-6	54号墓	重量56g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり。目に白色系顔料の付着あり。面での顔写あり
189		土製品	泥面子	法長 3.46 幅 1.81 厚さ 0.89	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 7.5YR6/4 裏: Hae 7.5YR6-3 7.5YR5-6	54号墓	重量50g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
190		土製品	泥面子	法長 3.53 幅 1.8 厚さ 1.02	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 7.5YR5-6 裏: Hae 7.5YR6/4 7.5YR5-6	54号墓	重量56g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
191		土製品	泥面子	法長 3.43 幅 1.76 厚さ 0.89	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR7/4 裏: Hae 10YR7/4	54号墓	重量47g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
192		土製品	泥面子	法長 3.38 幅 1.82 厚さ 0.9	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 7.5YR6-6 裏: Hae 7.5YR6-6	54号墓	重量52g。人面(男)。表面磨粒。出土に赤色の顔料多量付着
193		土製品	泥面子	法長 3.86 幅 1.78 厚さ 0.93	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 裏: Hae 7.5YR6/4 7.5YR5-6	54号墓	重量55g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり。目の顔写あり
194		土製品	泥面子	法長 3.65 幅 1.76 厚さ 0.99	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 7.5YR7/6 裏: Hae 7.5YR6-6	54号墓	重量54g。人面(男)。表面磨粒
195		土製品	泥面子	法長 3.7 幅 1.71 厚さ 0.94	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 裏: Hae 10YR5/4	54号墓	重量51g。人面(男)。面での顔写あり
196		土製品	泥面子	法長 3.56 幅 1.92 厚さ 0.94	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR7/4 裏: Hae 10YR7/4	54号墓	重量54g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
197		土製品	泥面子	法長 3.18 幅 1.65 厚さ 0.91	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR5/4 裏: Hae 7.5YR5-6	54号墓	重量42g。人面(男)。表面磨粒。表面磨粒。面に白色系顔料付着あり。面での顔写あり
198		土製品	泥面子	法長 3.25 幅 1.72 厚さ 1.03	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR5-6 裏: Hae 7.5YR5-6	54号墓	重量50g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり。面での顔写あり
199		土製品	泥面子	法長 3.59 幅 1.87 厚さ 1.03	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 裏: Hae 10YR5/4	54号墓	重量57g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
200		土製品	泥面子	法長 3.42 幅 2.16 厚さ 1.04	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 7.5YR8/4 裏: Hae 7.5YR7/6	54号墓	重量53g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり
201		土製品	泥面子	法長 3.42 幅 2.3 厚さ 0.99	定形	表: 灰 裏: 灰	表: Hae 10YR6/4 裏: Hae 10YR6/4 7.5YR5-6	54号墓	重量53g。人面(男)。表面磨粒。面での顔写あり

目	番号	遺物	埋戻(埋積)	高さ (cm)	形状	特徴	色相	出土遺物	備考
	202	土製品	泥面子	長さ 352 幅 225 厚さ 1.13	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 7.5YR7/6	54号墓	直径6.8cm。人面(男)。表面陶紋面で唇・目の描写あり
	203	土製品	泥面子	長さ 362 幅 222 厚さ 1.06	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 7.5YR6/6	54号墓	直径6.2cm。人面(男)。表面陶紋面で唇・目の描写あり
	204	土製品	泥面子	長さ 328 幅 215 厚さ 1.08	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR7/6 裏: Hue 7.5YR6/4	54号墓	直径6.1cm。人面(男)。表面陶紋面で唇・目の描写あり
	205	土製品	泥面子	長さ 337 幅 181 厚さ 1.03	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR7/3 10YR5/6 裏: Hue 10YR6/4 10YR4/6	54号墓	直径5.0cm。人面(男)。表面陶紋面で唇・目・目の描写あり
	206	土製品	泥面子	長さ 319 幅 177 厚さ 1.03	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR7/6 裏: Hue 7.5YR5/6	54号墓	直径5.3cm。人面(男)。表面陶紋面でのくぼみ部分に白色系顔料残る。唇で目の描写あり
	207	土製品	泥面子	長さ 322 幅 186 厚さ 0.82	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR5/6 裏: Hue 7.5YR5/6	54号墓	直径4.6cm。人面(男)。表面陶紋白色系顔料で唇・目の彩色あり。唇で唇・目・頸部の描写あり
	208	土製品	泥面子	長さ 281 幅 203 厚さ 1.05	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR5/6 裏: Hue 10YR6/4 7.5YR5/6	54号墓	直径5.6cm。人面(男)。表面陶紋白色系顔料で唇の彩色あり唇で目の描写あり
	209	土製品	泥面子	長さ 293 幅 202 厚さ 0.93	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR4/6 裏: Hue 7.5YR5/6 7.5YR7/6	54号墓	直径4.7cm。人面(男)。表面陶紋白色系顔料で唇・目の彩色あり。唇で唇・目の描写あり
	210	土製品	泥面子	長さ 388 幅 234 厚さ 1.23	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR6/6 7.5YR7/4 裏: Hue 7.5YR5/4 7.5YR6/6	54号墓	直径6.4cm。人面(男)。表面陶紋白色系顔料で唇・目の彩色あり。唇で唇・目の描写あり
	211	土製品	泥面子	長さ 257 幅 203 厚さ 0.95	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR7/6 裏: Hue 10YR6/6	54号墓	直径4.7cm。人面(女)。表面陶紋面で唇の描写あり
	212	土製品	泥面子	長さ 256 幅 222 厚さ 1.03	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR5/6 裏: Hue 7.5YR5/6	54号墓	直径5.4cm。急須。表面陶紋。唇で目の描写あり
	213	土製品	泥面子	長さ 247 幅 159 厚さ 1.09	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 10YR5/4 10YR7/4	54号墓	直径4.6cm。獅子舞? 表面陶紋。唇で唇の描写あり
	214	土製品	泥面子	長さ 251 幅 203 厚さ 1.12	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR6/6 裏: Hue 7.5YR5/6 裏: Hue 7.5YR6/6	54号墓	直径5.0cm。人面(男)。表面陶紋白色系顔料の残る唇子に「家紋」あり。唇で唇・目の描写あり
	215	土製品	泥面子	長さ 269 幅 223 厚さ 1.12	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR5/6 10YR5/4 裏: Hue 7.5YR5/6 7.5YR5/6	54号墓	直径4.6cm。人面(男)。表面陶紋白色系顔料で唇子に「家紋」あり。唇で唇の描写あり
	216	土製品	泥面子	長さ 271 幅 218 厚さ 1.08	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR6/4 裏: Hue 7.5YR5/6 7.5YR6/4	54号墓	直径5.9cm。人面(男)。表面陶紋白色系顔料の残る唇子? 唇子に「家紋」あり。唇で唇・目の描写あり
	217	土製品	泥面子	長さ 281 幅 216 厚さ 1.16	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR6/4 裏: Hue 7.5YR6/4	54号墓	直径5.2cm。人面(男)。表面陶紋面で唇の描写あり
	218	土製品	泥面子	長さ 276 幅 206 厚さ 1.21	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR7/6 7.5YR6/4 裏: Hue 7.5YR6/4	54号墓	直径6.0cm。人面(男)。表面の指押しのかぼみに土を付け足してゐる。唇で唇の描写あり
	219	土製品	泥面子	長さ 253 幅 209 厚さ 1.18	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR7/6 裏: Hue 7.5YR6/6	54号墓	直径6.3cm。人面(男)。表面陶紋面で唇の描写あり
	220	土製品	泥面子	長さ 224 幅 143 厚さ 1.08	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR7/4	54号墓	直径5.7cm。人面(童子)。表面陶紋。唇で唇の描写あり
	221	土製品	泥面子	長さ 245 幅 205 厚さ 1.1	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR5/6 10YR6/6 裏: Hue 10YR4/6 10YR6/6	54号墓	直径6.5cm。人面(子)。表面陶紋白色系顔料で唇に彩色あり。唇で唇の描写あり
30	222	土製品	泥面子	長さ 364 幅 194 厚さ 1.03	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR6/3 裏: Hue 10YR6/4	139号墓	直径8.5cm。線脚? 灯籠。表面陶紋突面金輪的に白色系顔料付着
	223	土製品	泥面子	長さ 186 幅 162 厚さ 0.91	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR6/4	139号墓	直径2.0cm。不詳。表面陶紋。突面一部に白色系顔料付着
	224	土製品	泥面子	長さ 171 幅 174 厚さ 0.81	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR5/4	139号墓	直径2.2cm。急須。表面陶紋。突面白色系顔料付着
	225	土製品	泥面子	長さ 191 幅 139 厚さ 0.77	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR6/4	139号墓	直径1.9cm。急須
	226	土製品	泥面子	長さ 41 幅 1.81 厚さ 1.05	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR7/4 裏: Hue 10YR7/6	139号墓	直径2.1cm。急須。突面金輪的に白色系顔料付着
	227	土製品	泥面子	長さ 131 幅 1.31 厚さ 0.86	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR5/4 裏: Hue 10YR5/4	139号墓	直径2.2cm。人面(男)。表面陶紋突面くぼみ部分に白色系顔料付着
	228	土製品	泥面子	長さ 194 幅 206 厚さ 1.02	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR6/4 裏: Hue 7.5YR6/4	139号墓	直径3.3cm。急須。表面陶紋。突面くぼみ部分に白色系顔料残る
	229	土製品	泥面子	長さ 186 幅 183 厚さ 0.66	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR6/4	139号墓	直径1.8cm。不詳。突面一部に白色系顔料付着
	230	土製品	泥面子	長さ 181 幅 137 厚さ 0.79	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 7.5YR6/4	139号墓	直径2.4cm。急須。表面陶紋。突面一部に白色系顔料付着
	231	土製品	泥面子	長さ 176 幅 153 厚さ 0.83	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 10YR6/4 裏: Hue 10YR6/4	139号墓	直径2.2cm。人面(男)。表面陶紋突面くぼみ部分に白色系顔料残る。表面白色系顔料付着
	232	土製品	泥面子	長さ 251 幅 127 厚さ 0.79	宛形	表: 灰: 裏: 灰	表: Hue 7.5YR7/6 裏: Hue 7.5YR6/6	139号墓	直径2.2cm。人面(男)。表面陶紋突面くぼみ部分に白色系顔料付着

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

図	番号	遺物	種類(名称)	法相 (cm)	発掘口	特 徴	色 調	出土層	備 考
	223	土製品	泥団子	長さ 2.13 幅 1.74 厚さ 0.92	突 形	表： 裏：	表：Hue 10YR6/4 裏：Hue 7.5YR6/4	130号墓	重量28g。不明。表面磨光。表裏一面に白色系顔料付着
	234	土製品	泥団子	長さ 3.71 幅 2.22 厚さ 1.17	突 形	表： 裏：	表：Hue 5YR7/6 裏：Hue 5YR7/6	130号墓	重量58g。入腹（筒）。表面磨光。表裏一面に白色系顔料付着
39	235	土製品	破片面子	長さ 3.48 幅 3.13 厚さ 0.97	突 形	表： 裏：	表：Hue 5YR6/3 裏：Hue 5YR6/3	110号墓	重量124g。磨非破片転用
40	236	土製品	破片面子	長さ 3.13 幅 2.71 厚さ 0.73	突 形	表： 裏：	表：Hue 2.5Y5/4 胎土：Hue 2.5Y5/3 裏：Hue 5Y4/4	156号墓	重量86g。表面磨輪あり。陶器破片転用
	237	土製品	泥団子	長さ 2.56 幅 2.44 厚さ 1.08	突 形	表： 裏：	表：Hue 7.5YR7/6 裏：Hue 10YR6/4	189号墓	重量53g。急須？。表面磨光
	238	土製品	泥団子	長さ 1.68 幅 1.4 厚さ 0.94	突 形	表： 裏：	表：Hue 7.5YR5/4 裏：Hue 7.5YR5/4	211号墓	重量13g。不明。表面磨光
	239	土製品	破片面子	長さ 2.91 幅 1.88 厚さ 0.89	突 形	表： 裏：	胎土：Hue 2.5Y7/4	223号墓	重量28g。表面磨輪あり。破片破片転用
	240	土製品	破片面子	長さ 3.95 幅 3.73 厚さ 0.91	突 形	表： 裏：	表：Hue 7.5YR5/2 裏：Hue 7.5YR4/2	223号墓	重量194g。磨非破片転用
	241	土製品	破片面子	長さ 2.37 幅 2.15 厚さ 0.79	突 形	表： 裏：	胎土：Hue 2.5Y5/3	243号墓	重量58g。表面磨輪あり。陶器破片転用
	242	土製品	破片面子	長さ 2.41 幅 2.2 厚さ 0.56	突 形	表： 裏：	胎土：Hue 10YR5/2	247号墓	重量42g。表面磨輪あり。陶器破片転用
	243	土製品	泥団子	長さ 3.24 幅 2.39 厚さ 0.95	突 形	表： 裏：	表：Hue 10YR6/4 裏：Hue 10YR6/4	268号墓	重量43g。湯瓶。表面磨光
	244	土製品	破片面子	長さ 1.93 幅 1.8 厚さ 0.63	突 形	表： 裏：	胎土：Hue 2.5Y5/3	338号墓	重量21g。表面磨輪あり。陶器破片転用
	245	土製品	破片面子	長さ 2.41 幅 2.25 厚さ 0.65	突 形	表： 裏：	胎土：Hue 7.5YR5/3	1区	重量45g。表面磨輪あり。陶器破片転用
	246	土製品	破片面子	長さ 2.36 幅 1.84 厚さ 0.78	突 形	表： 裏：	胎土：Hue 2.5Y8/2	N区西端	重量35g。表面磨輪あり。破片破片転用
	247	石器	石 錐	長さ 6.71 幅 5.95 厚さ 1.68	突 形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	第1号基壇	重量105.3g
	248	石器	鼠 石	長さ 17.15 幅 7.4 厚さ 2.7	突 形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	47号墓	重量669g
	249	石器	鼠 石	長さ 16.0 幅 7.86 厚さ 4.92	ほぼ突形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	291号墓	重量853g
	250	石器	すり石	長さ 8.6 幅 7.5 厚さ 3.1	突 形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	N区	重量105g
41	251	石製品	石 球	長さ 15.4 幅 13.99 厚さ 0.82	突 形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	9号墓	重量234g
	252	石製品	石 球	長さ 15.1 幅 8 厚さ 0.8	突 形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	9号墓	重量224g
	253	石製品	石 球	長さ 13.0 幅 0.57 厚さ 0.55	ほぼ突形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	9号墓	重量7.5g
	254	石製品	石 球	長さ 4.73 幅 0.61 厚さ 0.61	約1/4	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	30号墓	重量3.1g
	255	石製品	石 球	長さ 1.63 幅 1.91 厚さ 1.02	破 片	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	63号墓	重量3.0g
	256	石製品	ヤイコロ	長さ 1.33 幅 1.33 厚さ 1.3	ほぼ突形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	1000号土坑	重量4.5g
	257	石製品	石 球	長さ 20.18 幅 14.33 厚さ 0.4	ほぼ突形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	9号墓	重量2899g
	258	ガラス製品	玻璃玉	長さ 1.18 幅 1.15 厚さ 1.21	突 形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	183号墓	重量22g。既玉
	259	ガラス製品	トンボ玉	長さ 1.41 幅 1.4 厚さ 1.37	突 形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	237号墓	重量40g。玉の表面に模様あり
	260	ガラス製品	不明	長さ 4.7 幅 3.1 厚さ 0.23	突 形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	9号墓	重量64g
261	ガラス製品	不明	長さ 3.21 幅 3.0 厚さ 0.19	突 形	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	9号墓	重量3.7g	
42	262	銅製品	短 管	長さ 5.2 幅 1.33 厚さ 1.23	短管のみ	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	26号墓	重量185g。全体的に緑青に覆われる。管中（竹？）の組織が層状に見える（火造り部分には（土？）組織）
	263	銅製品	短 管	長さ 4.9 幅 1.05 厚さ 1.03	短管のみ	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	北塚（東より）	重量85g。断面は緑青が覆う。木質（竹？）の文字が見える
	264	銅製品	短 管	長さ 5.5 幅 1.4 厚さ 1.27	短管のみ	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	197号墓	重量85g。全体的に緑青に覆われる
	265	銅製品	短 管	長さ 8.9 幅 1.28 厚さ 1.27	破 口	内： 外：	内：Hue 7.5Y 外：Hue 7.5Y	197号墓	重量112g。264と同一系内。同一形状

品	品名	製法(原料)	法長 (cm)	法厚 (cm)	形状	内径	外径	原土原産	備考
42	266	陶製品 (青灰)	長さ 1.74 短径 0.52 厚さ 0.25		一部欠損	内: 外:	内: Hue 外: Hue	119号窯	重量4.1g. 全体的に緑青に覆われる
	267	陶製品 (青灰)	長さ 0.62 短径 0.67 厚さ 0.2		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	288号窯	重量4.0g. 全体的に緑青に覆われる
	268	陶製品 (青灰)	長さ 0.24 短径 0.52 厚さ 0.27		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	342号窯	重量5.0g. 全体的に緑青に覆われる (足の毛付着)
	269	陶製品 (白灰)	長さ 1.77 短径 1.59 厚さ 0.16 高さ 0.54		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	212号窯	重量2.2g. 緑青に覆われるが褐色の部分が増える? 白灰か?
	270	陶製品	長さ 1.57 短径 1.54 厚さ 0.11 高さ 0.71		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	223号窯	重量1.5g. 緑青に覆われる
	271	ガラス製品	直径 0.55 厚さ 0.45		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	255号窯	重量0.2g. 緑やかみオレンジ色
	272	ガラス製品	直径 0.61 厚さ 0.65 厚さ 0.53		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	25号窯	重量0.2g. 青灰色
	273	ガラス製品	直径 0.54 厚さ 0.44		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	411号窯	重量0.2g. 薄緑色
	274	ガラス製品	直径 0.51 厚さ 0.41		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	337号窯	重量0.1g. 白色
	275	ガラス製品	直径 0.54 厚さ 0.53 厚さ 0.33		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	34号窯	重量0.1g. 褐色
	276	ガラス製品	直径 0.48 厚さ 0.45 厚さ 0.31		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	148号窯	重量0.1g. 白色
	277	ガラス製品	直径 0.51 厚さ 0.56		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	189号窯	重量0.2g. 青白色
	278	ガラス製品	直径 0.53 厚さ 0.45		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	335号窯	重量0.2g. 白色
	279	ガラス製品	直径 0.53 厚さ 0.46		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	335号窯	重量0.2g. 白色
	280	ガラス製品	直径 0.51 厚さ 0.55		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	335号窯	重量0.2g. 白色
	281	ガラス製品	直径 0.49 厚さ 0.46		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	335号窯	重量0.2g. 白色
	282	ガラス製品	直径 0.43 厚さ 0.43		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	130号窯	重量0.1g. 褐色
	283	ガラス製品	直径 0.43 厚さ 0.42 厚さ 0.28		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	130号窯	重量0.1g. 褐色
	284	ガラス製品	直径 0.42 厚さ 0.39		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	130号窯	重量0.1g. 褐色
	285	ガラス製品	直径 0.41 厚さ 0.37		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	130号窯	重量0.1g. 褐色
	286	ガラス製品	直径 0.42 厚さ 0.42 厚さ 0.29		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	130号窯	重量0.1g. 褐色
	287	ガラス製品	直径 0.41 厚さ 0.37		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	130号窯	重量0.1g. 褐色
	288	ガラス製品	直径 0.44 厚さ 0.44 厚さ 0.29		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	154号窯	重量0.1g. 緑やかみ青灰色
	289	ガラス製品	直径 0.44 厚さ 0.43 厚さ 0.36		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	154号窯	重量0.1g. 緑やかみ青灰色
	290	ガラス製品	直径 0.41 厚さ 0.41 厚さ 0.39		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	154号窯	重量0.1g. 緑やかみ青灰色
	291	ガラス製品	直径 0.37 厚さ 0.36 厚さ 0.24		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	154号窯	重量0.1g. 半珠. 緑やかみ青灰色
	292	ガラス製品	直径 0.41 厚さ 0.41 厚さ 0.27		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	154号窯	重量0.1g. 半珠. 透明感ある白色
	293	ガラス製品	直径 0.4 厚さ 0.4 厚さ 0.26		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	154号窯	重量0.1g. 半珠. 透明感ある白色
	294	ガラス製品	直径 0.53 厚さ 0.51 厚さ 0.37		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	389号窯	重量0.1g. 薄緑色
	43	295	青銅製品	長さ 2.86 厚さ 0.81		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	25号窯
296		青銅製品	長さ 2.48 厚さ 2.51 厚さ 0.19		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	25号窯	重量27.5g.
297		青銅製品	長さ 2.32 厚さ 2.31 厚さ 0.13		完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	25号窯	重量3.1g. 寛永通寶

2. 臨床医学教育研究センター (仮称) 整備事業に伴う発掘調査 (1104調査地点)

図	番号	遺物	種類(品類)	寸法 (cm)	形状	特 徴	色 調	出土状況	備 考	
43	298	青銅製品	六道鏡	長さ 2.47 幅 2.44 厚さ 0.15	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	25号墓	重量2.9g, 寛水通貫	
	299	青銅製品	六道鏡	長さ 2.5 幅 2.59 厚さ 0.17	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	25号墓	重量4.2g, 寛水通貫	
	300	青銅製品	六道鏡	長さ 2.42 幅 2.44 厚さ 0.14	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	25号墓	重量3.3g, 寛水通貫	
	301	青銅製品	六道鏡	長さ 2.34 幅 2.36 厚さ 0.17	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	25号墓	重量2.5g	
	302	青銅製品	六道鏡	長さ 3.04 幅 2.72 厚さ 0.53	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	25号墓	重量150g, 4枚, 銅陀鉢一部残存	
	303	青銅製品	六道鏡	長さ 2.7 幅 2.71 厚さ 0.16	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	25号墓	重量3.6g, 文久永寶	
	304	青銅製品	六道鏡	長さ 2.72 幅 2.72 厚さ 0.15	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	25号墓	重量4.5g, 文久永寶	
	305	青銅製品	六道鏡	長さ 2.71 幅 2.7 厚さ 0.13	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	25号墓	重量3.8g, 文久永寶	
	306	青銅製品	六道鏡	長さ 2.51 幅 2.51 厚さ 0.12	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	25号墓	重量2.9g, 寛水通貫, 文	
	307	青銅製品	六道鏡	長さ 2.63 幅 2.4 厚さ 0.051	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	32号墓	重量14.4g, 4枚	
	308	青銅製品	六道鏡	長さ 1.91 幅 1.98 厚さ 0.16	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	32号墓	重量2.5g, 五銭	
	309	青銅製品	六道鏡	長さ 2.1 幅 2.1 厚さ 0.22	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	32号墓	重量4.3g, 五銭	
	310	青銅製品	六道鏡	長さ 1.91 幅 1.91 厚さ 0.14	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	32号墓	重量2.5g, 五銭	
	311	青銅製品	六道鏡	長さ 2.37 幅 2.37 厚さ 0.17	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	32号墓	重量50g, 五十銭	
	44	312	青銅製品	六道鏡	長さ 3.04 幅 2.73 厚さ 0.8	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	63号墓	重量21.4g, 6枚, 銅陀鉢一部残存
		313	青銅製品	六道鏡	長さ 2.53 幅 2.54 厚さ 0.14	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	63号墓	重量3.3g, 寛水通貫
		314	青銅製品	六道鏡	長さ 2.58 幅 2.56 厚さ 0.165	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	63号墓	重量3.6g, 寛水通貫, 文
		315	青銅製品	六道鏡	長さ 2.63 幅 2.53 厚さ 0.15	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	63号墓	重量3.4g, 寛水通貫, 文
		316	青銅製品	六道鏡	長さ 2.56 幅 2.57 厚さ 0.15	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	63号墓	重量3.2g, 寛水通貫, 文
		317	青銅製品	六道鏡	長さ 2.53 幅 2.54 厚さ 0.16	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	63号墓	重量4.0g, 寛水通貫, 文
		318	青銅製品	六道鏡	長さ 2.51 幅 2.52 厚さ 0.17	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	63号墓	重量3.7g, 寛水通貫, 文
		319	青銅製品	六道鏡	長さ 3.41 幅 2.44 厚さ 0.065	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	64号墓	重量14.9g, 6枚, 銅陀鉢一部残存
		320	青銅製品	六道鏡	長さ 2.43 幅 2.45 厚さ 0.13	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	64号墓	重量3.1g, 寛水通貫
		321	青銅製品	六道鏡	長さ 2.16 幅 2.16 厚さ 0.14	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	64号墓	重量2.3g
		322	青銅製品	六道鏡	長さ 2.3 幅 2.31 厚さ 0.1	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	64号墓	重量1.5g, 寛水通貫
		323	青銅製品	六道鏡	長さ 2.3 幅 2.31 厚さ 0.12	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	64号墓	重量2.6g, 寛水通貫
		324	青銅製品	六道鏡	長さ 2.2 幅 2.21 厚さ 0.13	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	64号墓	重量2.4g, 寛水通貫
		325	青銅製品	六道鏡	長さ 2.32 幅 2.31 厚さ 0.11	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	64号墓	重量2.3g, 寛水通貫
		326	青銅製品	六道鏡	長さ 2.56 幅 2.49 厚さ 0.49	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	166号墓	重量6.7g, 3枚
		327	青銅製品	六道鏡	長さ 2.38 幅 2.32 厚さ 0.12	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	166号墓	重量1.6g
		328	青銅製品	六道鏡	長さ 2.47 幅 2.46 厚さ 0.12	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	166号墓	重量2.7g, 寛水通貫
329		青銅製品	六道鏡	長さ 2.42 幅 2.42 厚さ 0.12	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	166号墓	重量2.2g, 寛水通貫	
45		330	青銅製品	六道鏡	長さ 3.81 幅 2.72 厚さ 0.87	定形	内: 肉色 外: 肉色	内: Hae 外: Hae	170号墓	重量190g, 6枚, 銅陀鉢一部残存

図	番号	品名	種類(品別)	直径(cm)	股高	形状	特徴	色	出土位置	備考
45	331	青銅製品	六道鏡	長さ 2.53 幅 2.52 厚さ 0.16		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	170号墓	重量2.9g。寛永通寶
	332	青銅製品	六道鏡	長さ 2.52 幅 2.48 厚さ 0.11		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	170号墓	重量2.7g。
	333	青銅製品	六道鏡	長さ 2.5 幅 2.51 厚さ 0.13		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	170号墓	重量2.3g。寛永通寶
	334	青銅製品	六道鏡	長さ 2.52 幅 2.54 厚さ 0.2		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	170号墓	重量4.2g。寛永通寶。文
	335	青銅製品	六道鏡	長さ 2.34 幅 2.27 厚さ 0.12		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	170号墓	重量2.8g
	336	青銅製品	六道鏡	長さ 2.4 幅 2.42 厚さ 0.19		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	170号墓	重量2.6g。寛永通寶
	337	青銅製品	六道鏡	長さ 2.51 幅 2.52 厚さ 0.23		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	現代用土	重量18.2g。6枚
	338	青銅製品	六道鏡	長さ 2.5 幅 2.49 厚さ 0.13		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	現代用土	重量3.1g。寛永通寶
	339	青銅製品	六道鏡	長さ 2.49 幅 2.44 厚さ 0.13		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	現代用土	重量3.3g。寛永通寶
	340	青銅製品	六道鏡	長さ 2.48 幅 2.47 厚さ 0.14		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	現代用土	重量3.6g。寛永通寶
	341	青銅製品	六道鏡	長さ 2.48 幅 2.49 厚さ 0.14		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	現代用土	重量2.7g。寛永通寶
	342	青銅製品	六道鏡	長さ 2.2 幅 2.19 厚さ 0.13		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	現代用土	重量2.4g。寛永通寶
	343	青銅製品	六道鏡	長さ 2.35 幅 2.34 厚さ 0.12		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	現代用土	重量2.6g。寛永通寶
	46	344	青銅製品	六道鏡	長さ 2.71 幅 2.67 厚さ 0.13		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	5号墓
345		青銅製品	六道鏡	長さ 2.83 幅 2.83 厚さ 0.15		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	5号墓	重量4.1g。寛永通寶
346		青銅製品	六道鏡	長さ 2.76 幅 2.79 厚さ 0.13		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	5号墓	重量4.6g。寛永通寶
347		青銅製品	六道鏡	長さ 3.19 幅 3.23 厚さ 0.51		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	5号墓	重量13.4g。二枚
348		青銅製品	六道鏡	長さ 4.91 幅 3.27 厚さ 0.7		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	19号墓	重量21.8g。天保通寶
349		青銅製品	六道鏡	長さ 2.85 幅 2.83 厚さ 0.21		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	61号墓	重量7.0g。一枚
350		青銅製品	六道鏡	長さ 2.31 幅 2.31 厚さ 0.16		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	255号墓	重量2.7g。一枚
351		青銅製品	六道鏡	長さ 2.32 幅 2.32 厚さ 0.15		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	255号墓	重量2.7g。一枚
352		青銅製品	六道鏡	長さ 2.31 幅 2.32 厚さ 0.12		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	149号墓	重量2.3g。寛永通寶
353		青銅製品	六道鏡	長さ 2.45 幅 2.48 厚さ 0.15		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	149号墓	重量3.1g。寛永通寶
354		青銅製品	六道鏡	長さ 2.46 幅 2.42 厚さ 0.12		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	149号墓	重量2.6g。寛永通寶
355		青銅製品	六道鏡	長さ 2.79 幅 2.8 厚さ 0.24		一部欠損	内: 外:	内: Hae 外: Hae	149号墓	重量4.5g。寛永通寶
356		青銅製品	六道鏡	長さ 2.34 幅 2.37 厚さ 0.12		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	149号墓	重量2.1g
46		357	青銅製品	六道鏡	長さ 2.41 幅 2.43 厚さ 0.14		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	171号墓
	358	青銅製品	六道鏡	長さ 2.53 幅 2.52 厚さ 0.18		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	171号墓	重量3.7g。永徳通寶
	359	青銅製品	六道鏡	長さ 1.95 幅 1.97 厚さ 0.08		一部欠損	内: 外:	内: Hae 外: Hae	171号墓	重量1.1g
	360	青銅製品	六道鏡	長さ 2.53 幅 2.55 厚さ 0.15		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	171号墓	重量3.6g。寛永通寶
	361	青銅製品	六道鏡	長さ 2.69 幅 2.66 厚さ 0.12		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	171号墓	重量3.1g
	362	青銅製品	六道鏡	長さ 2.84 幅 2.82 厚さ 0.14		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	171号墓	重量4.7g。寛永通寶
	363	青銅製品	六道鏡	長さ 2.32 幅 2.34 厚さ 0.14		突形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	261号墓	重量3.5g。一枚

2. 臨床医学教育研究センター (仮称) 整備事業に伴う発掘調査 (1104調査地点)

層	発号	遺物	種類(図録)	法位 (cm)	形状	特徴	色	出土階層	備考	
46	364	青銅製品	六道鏡	長さ 2.82 幅 2.8 厚さ 0.17	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	261号墓	重量67g, 一銭	
	365	青銅製品	六道鏡	長さ 2.31 幅 2.32 厚さ 0.14	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	261号墓	重量36g, 一銭	
	366	青銅製品	六道鏡	長さ 2.38 幅 2.28 厚さ 0.13	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	261号墓	重量22g, 元祐通寶	
	367	青銅製品	六道鏡	長さ 2.31 幅 2.31 厚さ 0.15	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	261号墓	重量26g, 一銭	
47	368	青銅製品	六道鏡	長さ 2.8 幅 2.8 厚さ 0.17	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	274号墓	重量67g, 一銭	
	369	青銅製品	六道鏡	長さ 2.27 幅 2.26 厚さ 0.1	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	301号墓	重量24g	
	370	青銅製品	六道鏡	長さ 2.48 幅 2.48 厚さ 0.14	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	301号墓	重量34g, 寛永通寶, 文	
	371	青銅製品	六道鏡	長さ 2.27 幅 2.27 厚さ 0.09	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	301号墓	重量1.9g	
	372	青銅製品	六道鏡	長さ 2.5 幅 2.28 厚さ 0.16	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	301号墓	重量24g, 寛永通寶, 文	
	373	青銅製品	六道鏡	長さ 2.53 幅 2.52 厚さ 0.14	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	301号墓	重量36g, 寛永通寶, 文	
	374	青銅製品	六道鏡	長さ 2.6 幅 2.61 厚さ 0.1	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	301号墓	重量25g, 康照通寶	
	375	青銅製品	六道鏡	長さ 2.31 幅 2.33 厚さ 0.14	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	342号墓	重量27g, 一銭	
	376	青銅製品	六道鏡	長さ 2.23 幅 2.23 厚さ 0.11	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	342号墓	重量19g, 寛永通寶	
	377	青銅製品	六道鏡	長さ 2.32 幅 2.32 厚さ 0.18	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	342号墓	重量37g, 一銭	
	378	青銅製品	六道鏡	長さ 2.32 幅 2.33 厚さ 0.15	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	342号墓	重量36g, 一銭	
	379	青銅製品	六道鏡	長さ 2.32 幅 2.33 厚さ 0.13	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	342号墓	重量30g, 寛永通寶	
	380	青銅製品	六道鏡	長さ 2.51 幅 2.49 厚さ 0.12	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	383号墓	重量32g, 寛永通寶	
	381	青銅製品	六道鏡	長さ 2.32 幅 2.32 厚さ 0.12	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	383号墓	重量22g, 寛永通寶	
	382	青銅製品	六道鏡	長さ 2.3 幅 2.5 厚さ 0.11	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	383号墓	重量26g	
	383	青銅製品	六道鏡	長さ 2.29 幅 2.29 厚さ 0.12	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	383号墓	重量24g, 寛永通寶	
	384	青銅製品	六道鏡	長さ 2.33 幅 2.36 厚さ 0.12	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	383号墓	重量22g, 寛永通寶	
	385	青銅製品	六道鏡	長さ 2.51 幅 2.5 厚さ 0.14	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	383号墓	重量31g, 寛永通寶	
	386	青銅製品	六道鏡	長さ 2.84 幅 2.82 厚さ 0.21	一部欠損	内: 外:	内: Huc 外: Huc	320号墓	重量63g, 一銭	
	387	青銅製品	六道鏡	長さ 2.45 幅 2.47 厚さ 0.15	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	399号墓	重量33g, 乾隆通寶	
	388	青銅製品	六道鏡	長さ 2.36 幅 2.35 厚さ 0.11	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	399号墓	重量22g, 寛永通寶	
	389	青銅製品	六道鏡	長さ 2.28 幅 2.27 厚さ 0.11	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	399号墓	重量24g, 寛永通寶	
	390	青銅製品	六道鏡	長さ 2.47 幅 2.48 厚さ 0.11	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	399号墓	重量26g, 寛永通寶	
	391	青銅製品	六道鏡	長さ 2.53 幅 2.53 厚さ 0.16	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	399号墓	重量39g, 寛永通寶, 文	
	392	青銅製品	六道鏡	長さ 2.42 幅 2.44 厚さ 0.11	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	399号墓	重量26g, 寛永通寶	
	393	青銅製品	六道鏡	長さ 4.91 幅 3.27 厚さ 0.28	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	399号墓	重量220g, 天保通寶	
	48	394	青銅製品	六道鏡	長さ 2.8 幅 2.8 厚さ 0.19	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	382号墓	重量64g
		395	青銅製品	六道鏡	長さ 2.58 幅 2.58 厚さ 0.15	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	408号墓	重量42g, 寛永通寶
		396	青銅製品	六道鏡	長さ 2.67 幅 2.7 厚さ 0.14	定形	内: 外:	内: Huc 外: Huc	430号墓	重量37g, 文久水質

原	番号	品名	種類(銘柄)	直径 (cm)	形状	種	色	出土地	備考
48	397	青銅製品	六道鏡	長さ 229 幅 229 厚さ 0.11	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	421号墓	重量21g。寛永通寶
	398	青銅製品	六道鏡	長さ 221 幅 221 厚さ 0.12	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	421号墓	重量21g。寛永通寶
	399	青銅製品	六道鏡	長さ 249 幅 249 厚さ 0.11	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	421号墓	重量26g。寛永通寶
	400	青銅製品	六道鏡	長さ 234 幅 234 厚さ 0.13	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	421号墓	重量24g。寛永通寶
	401	青銅製品	六道鏡	長さ 284 幅 284 厚さ 0.12	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	421号墓	重量45g。寛永通寶
	402	青銅製品	六道鏡	長さ 317 幅 321 厚さ 0.14	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	421号墓	重量26g。寛永通寶
	403	青銅製品	六道鏡	長さ 191 幅 187 厚さ 0.12	一部欠損	内: 外:	内:Blue 外:Blue	374号墓	重量11g。造?光通寶
	404	青銅製品	六道鏡	長さ 231 幅 23 厚さ 0.12	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	IV区西平部	重量27g。寛永通寶
	405	青銅製品	六道鏡	長さ 233 幅 23 厚さ 0.15	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	IV区	重量27g。一銭
	406	青銅製品	六道鏡	長さ 235 幅 234 厚さ 0.16	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	IV区	重量37g
	407	青銅製品	六道鏡	長さ 231 幅 232 厚さ 0.15	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	IV区	重量37g
	408	青銅製品	六道鏡	長さ 233 幅 233 厚さ 0.16	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	IV区	重量36g
	409	青銅製品	六道鏡	長さ 23 幅 231 厚さ 0.14	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	IV区	重量34g
48	410	青銅製品	六道鏡	長さ 20 幅 105 厚さ 0.1	約1/2	内: 外:	内:Blue 外:Blue	IV区中央部	重量0.5g。開式通寶
	411	青銅製品	六道鏡	長さ 233 幅 235 厚さ 0.13	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	不明	重量19g。寛永通寶
49	412	青銅製品	六道鏡	長さ 241 幅 324 厚さ 1.3	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	5号墓	重量29.0g。6枚。銅陀袋付着
	413	青銅製品	六道鏡	長さ 276 幅 363 厚さ 0.79	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	25号墓	重量146g。6枚。銅陀袋一部残存
	414	青銅製品	六道鏡	長さ 335 幅 336 厚さ 1.46	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	57号墓	重量228g。6枚。銅陀袋付着
	415	青銅製品	六道鏡		定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	153号墓	木片付着の為計測不能
	416	青銅製品	六道鏡	長さ 241 幅 352 厚さ 0.57	一部欠損	内: 外:	内:Blue 外:Blue	273号墓	重量112g。5枚。銅陀袋一部残存
	417	青銅製品	六道鏡	長さ 281 幅 284 厚さ 0.9	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	315号墓	重量194g。6枚。銅陀袋一部残存
	418	青銅製品	六道鏡	長さ 244 幅 241 厚さ 0.22	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	351号墓	重量37g
	419	青銅製品	六道鏡	長さ 239 幅 238 厚さ 0.2	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	351号墓	重量38g
	420	青銅製品	六道鏡	長さ 25 幅 236 厚さ 0.28	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	361号墓	重量38g
	421	青銅製品	六道鏡	長さ 238 幅 233 厚さ 0.24	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	361号墓	重量39g
	422	青銅製品	六道鏡	長さ 24 幅 232 厚さ 0.18	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	361号墓	重量37g
	423	青銅製品	六道鏡	長さ 244 幅 239 厚さ 0.21	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	361号墓	重量40g
	424	青銅製品	六道鏡	長さ 254 幅 402 厚さ 0.62	一部欠損	内: 外:	内:Blue 外:Blue	380号墓	重量166g。6枚
	425	青銅製品	六道鏡	長さ 284 幅 318 厚さ 0.73	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	391号墓	重量170g。6枚。銅陀袋一部残存。うち1枚は寛永通寶
	426	青銅製品	六道鏡	長さ 263 幅 379 厚さ 0.73	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	435号墓	重量178g。6枚。銅陀袋一部残存。うち1枚は寛永通寶
	427	陶器	急須	長さ 30.4 幅 18.1 厚さ 14.8	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	34号墓	重量1014g
	428	陶器	急須	長さ 10.72 幅 9.76 厚さ 6.24	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	258号墓	重量104g。底面に磨粉あり(「フウ」)
429	磁器	碗	口径 8.41 底径 3.83 高さ 4.37	定形	内: 外:	内:Blue 外:Blue	272号墓	重量68.0g	

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

図	番号	遺物	種類(分類)	長さ (cm)	厚さ	形状	色	出土地	備考	
	430	陶器	碗	口径 底径 高さ	7.0 5.5 1.2	1/2	内: 外:	内: Hae 外: Hae	307号墓	重量30.4g
	431	磁器	蓋	口径 底径 器高	4.96 3.03 2.96	3/4	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区	重量17.4g
	432	陶器	底蓋?	口径 底径 器高	6.5 5.1 1.7	口縁～ 胴部のみ	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区中央部	重量61.0g
	433	磁器	小皿	口径 底径 器高	6.7 2.46 1.7	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	54号墓	重量27.0g
	434	磁器	蓋	口径 底径 器高	5.5 2.57 2.91	1/2	内: 外:	内: Hae 外: Hae	60号墓	重量5.2g
	435	磁器	碗	口径 底径 器高	7.96 4.94 3.06	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	134号墓	重量106g
	436	磁器	碗	口径 底径 器高	10.76 3.96 4.85	ほぼ定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	164号墓	重量146g
	437	磁器	小皿	口径 底径 器高	5.93 2.2 1.83	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	176号墓A	重量28.4g
	438	磁器	碗	口径 底径 器高	7.84 4.0 3.95	一部欠損	内: 外:	内: Hae 外: Hae	196号墓	重量95.0g
	439	磁器	匙柄	長さ 幅 厚さ	13.6 11.6 10.0	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	275号墓	重量19.4g
	440	磁器	蓋	口径 底径 器高	6.96 2.45 2.6	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	275号墓	重量28.2g
	441	磁器	盥合	口径 底径 器高	3.35 2.56 6.03	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	313号墓	重量50.5g
	442	磁器	碗	口径 底径 器高	9.29 3.35 3.89	一部欠損	内: 外:	内: Hae 外: Hae	326号墓	重量52.5g
	443	磁器	碗	口径 底径 器高	8.54 3.8 4.92	一部欠損	内: 外:	内: Hae 外: Hae	骨灰目	重量83.0g
	444	磁器	コい呑み	口径 底径 器高	6.4 3.26 3.95	1/2	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区	重量17.0g
	445	磁器	蓋	口径 底径 器高	5.11 2.95 2.96	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区西平部	重量25.0g
	446	磁器	碗	口径 底径 器高	9.24 3.17 4.81	3/4	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区	重量68.0g
	447	磁器	小皿	口径 底径 器高	6.8 3.0 2.66	1/2	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区墓週外上	重量7.2g
	448	磁器	碗	口径 底径 器高	3.01 6.48 4.17	1/4	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区東側	重量64.4g
	449	磁器	盥合	口径 底径 器高	6.48 4.17 7.14	一部欠損	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区中央部	重量127g
	450	磁器	碗	口径 底径 器高	3.1 5.97 3.75	1/2	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区中央部	重量17.4g
	451	磁器	盥合	口径 底径 器高	3.75 2.95 8.94	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区西平部	重量94.0g
	452	磁器	盥合	口径 底径 器高	6.1 3.44 6.28	3/4	内: 外:	内: Hae 外: Hae	1区西平部	重量82.0g
	453	土製品	念珠	口径 底径 器高	8.7 7.4 2.3	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	54号墓	重量41.6g 遊具
	454	土製品	蓋	長さ 幅 厚さ	6.8 4.7 4.6	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	54号墓	重量60.5g 遊具
	455	土製品	七輪	長さ 幅 厚さ	7.11 6.67 5.8	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	54号墓	重量121g 遊具
	456	土製品	念珠	長さ 幅 厚さ	7.6 5.7 6.0	定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	54号墓	重量71.0g 遊具
	457	土製品	不明	長さ 幅 厚さ	2.94 8.56 8.6	一部欠損	内: 外:	内: Hae 外: Hae	覆瓦	重量99.3g
	458	土製品	人形	長さ 幅 厚さ	6.4 2.83 2.66	一部欠損	内: 外:	内: Hae 外: Hae	54号墓	重量34.0g
	459	土製品	貨幣	長さ 幅 厚さ	3.02 2.79 2.86	ほぼ定形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	258号墓	重量120g 遊具(手水鉢)、瓦面に磨痕あり
	460	土製品	不明	長さ 幅 厚さ	2.76 4.23 2.77	1/2	内: 外:	内: Hae 外: Hae	313号墓	重量11.2g
	461	土製品	人形	長さ 幅 厚さ	9.63 4.66 5.73	胴部のみ	内: 外:	内: Hae 外: Hae	341号墓	重量131g
	462	土製品	人形	長さ 幅 厚さ	7.71 5.52 1.51	約1/2	内: 外:	内: Hae 外: Hae	429号墓	重量210.8g

図	番号	品名	種類(品名)	寸法 (cm)	形状	材	色	目	出土部	備考
	463	土製品	人形	長さ 12.27 幅 6.77 厚さ	鏡片	内: 外:	内: 外:	IV区(西中部)	重量85.0g	
	464	土製品	不明		鏡片	内: 外:	内: 外:	Ⅲ区(西中部)	重量17.4g	
	465	石器	石片	長さ 1.6 幅 1.4 厚さ 0.25		内: 外:	内: 外:	I号層	重量0.5g, 燧石	
	466	銅製品	鈴	長さ 12.5 幅 0.65 厚さ 0.4	定形	内: 外:	内: 外:	16号墓	重量3.6g	
	467	銅製品	鈴	長さ 10.0 幅 1.2 厚さ 0.22	一部欠損	内: 外:	内: 外:	16号墓	重量4.0g	
	468	銅製品	鈴	長さ 11.75 幅 0.55 厚さ 0.28	一部欠損	内: 外:	内: 外:	306号墓	重量4.5g	
	469	銅製品	儀仗の扉首	長さ 1.55 幅 1.0 厚さ 0.2	火皿のみ	内: 外:	内: 外:	66号墓	重量4.0g	
	470	金属製品	銅鈴?	長さ 2.01 幅 0.65	定形	内: 外:	内: 外:	54号墓	重量3.6g	
	471	銅製品	鈴	長さ 15.9 幅 1.05 厚さ 0.35	一部欠損	内: 外:	内: 外:	183号墓	重量8.6g	
	472	銅製品	鈴	長さ 13.75 幅 2.8 厚さ 0.25	定形	内: 外:	内: 外:	183号墓	重量7.2g	
	473	金属製品	レコード プレイヤー		部品の一部	内: 外:	内: 外:	52号墓	重量50.0g, サウンドボックス, 7-ーム	
	474	金属製品	黄銅品?	長さ 2.12 幅 2.09 厚さ 0.65	一部欠損	内: 外:	内: 外:	54号墓	重量1.3g	
	475	金属製品	黄銅品?	長さ 4.09 幅 4.89 厚さ 4.71	定形	内: 外:	内: 外:	54号墓	重量12.6g	
	476	銅製品	レコード盤	長さ 25.0 幅 28.0 厚さ 1.82	ほぼ定形	内: 外:	内: 外:	52号墓	重量171g	
	477	金属製品	留め具	長さ 2.85 幅 2.54 厚さ 2.55	定形	内: 外:	内: 外:	133号墓	重量5.3g, 477と付になっている 木製部あり	
	478	金属製品	留め具	長さ 2.86 幅 2.36 厚さ 1.75	定形	内: 外:	内: 外:	133号墓	重量4.7g, 477と付になっている 木製部あり	
	479	金属製品	管?	長さ 19.4 幅 3.65 厚さ 2.72	定形	内: 外:	内: 外:	133号墓	重量27.7g	
	480	金属製品	二つ折り 板状製品	長さ 30.5 幅 18.8 厚さ 0.75	ほぼ定形	内: 外:	内: 外:	354号墓	重量300g	
	481	金属製品	鈴	長さ 6.5 幅 4.36 厚さ 4.42	定形	内: 外:	内: 外:	412号墓	重量16.0g	
	482	ガラス製品	ガラス瓶	長さ 7.31 幅 4.93 厚さ 2.55	定形	内: 外:	内: 外:	54号墓	重量21.0g	
	483	ガラス製品	小瓶	長さ 4.02 幅 2.08 厚さ 2.0	一部欠損	内: 外:	内: 外:	76号墓	重量7.0g	
	484	ガラス製品	瓶	長さ 20.3 幅 6.66 厚さ 6.66	ほぼ定形	内: 外:	内: 外:	182号墓	重量44.3g	
	485	ガラス製品	容器	長さ 2.7 幅 6.45 厚さ 6.42	定形	内: 外:	内: 外:	184号墓	重量84.0g, 容器の中に白色の粉 あり(重量11.2g)	
	486	ガラス製品	酒瓶	長さ 17.8 幅 8.53 厚さ 4.5	定形	内: 外:	内: 外:	185号墓	重量351g	
	487	ガラス製品	瓶	長さ 16.0 幅 8.9 厚さ 8.9	定形	内: 外:	内: 外:	256号墓	重量177g, ガラス栓・ガラス棒 (長さ29.0cm 直径0.31cm) 付き	
	488	ガラス製品	瓶	長さ 8.6 幅 16.4 厚さ 5.56	定形	内: 外:	内: 外:	骨器 A	重量225g, ガラス栓・ガラス棒 (長さ10.95cm 直径0.54cm) 付き	
	489	ガラス製品	瓶	長さ 4.44 幅 4.26	定形	内: 外:	内: 外:	II区(東中部)	重量81.5g	
	490	ガラス製品	眼鏡の レンズ		定形	内: 外:	内: 外:	232号墓	(1)重量3.9g・長さ3.57cm 幅3.3cm・厚さ0.22cm (2)重量4.0g・長さ3.63cm 幅2.82cm・厚さ0.22cm	
	491	ガラス製品	小皿	口径 8.37 幅 4.9 厚さ 1.62	定形	内: 外:	内: 外:	256号墓	重量63.0g	
	492	ガラス製品	コップ	口径 6.25 幅 5.0 厚さ 7.99	定形	内: 外:	内: 外:	258号墓	重量150g	
	493	ガラス製品	水差し	長さ 10.15 幅 9.2 厚さ 7.57	定形	内: 外:	内: 外:	258号墓	重量31.2g	
	494	ガラス製品	不明	長さ 1.46 幅 2.37 厚さ 2.23	約1/2	内: 外:	内: 外:	骨器 B	重量2.0g	
	495	ガラス製品	数珠玉	長さ 1.28 幅 1.18	定形	内: 外:	内: 外:	8号墓	重量2.7g, 数珠	

2. 臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業に伴う発掘調査（1104調査地点）

順	番号	品物	所属(国庫)	長さ(cm)	保存状態	特徴	色	面	出土箇所	備考
	496	ガラス製品	ビー玉	長径 1.8 短径 1.78 厚さ 1.72	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	9号墓	成袋75g	
	497	ガラス製品	ビー玉	長径 1.89 短径 1.88 厚さ 1.84	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	9号墓	成袋86g	
	498	ガラス製品	ビー玉	長径 1.9 短径 1.88 厚さ 1.78	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	9号墓	成袋87g	
	499	ガラス製品	ビー玉	長径 1.94 短径 1.93 厚さ 1.85	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	9号墓	成袋92g	
	500	ガラス製品	ビー玉	長径 1.96 短径 1.93 厚さ 1.95	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	9号墓	成袋92g	
	501	ガラス製品	ビー玉	長径 1.96 短径 1.87 厚さ 1.77	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	9号墓	成袋92g	
	502	ガラス製品	ビー玉	長径 1.84 短径 1.8 厚さ 1.73	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	210号墓	成袋77g	
	503	ガラス製品	ビー玉	長径 1.91 短径 1.89 厚さ 1.82	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋89g	
	504	ガラス製品	ビー玉	長径 1.86 短径 1.82 厚さ 1.81	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋77g	
	505	ガラス製品	ビー玉	長径 1.91 短径 1.87 厚さ 1.81	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋89g	
	506	ガラス製品	ビー玉	長径 1.78 短径 1.77 厚さ 1.73	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋73g	
	507	ガラス製品	ビー玉	長径 1.86 短径 1.84 厚さ 1.79	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋82g	
	508	ガラス製品	ビー玉	長径 1.84 短径 1.82 厚さ 1.78	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋79g	
	509	ガラス製品	ビー玉	長径 1.8 短径 1.77 厚さ 1.77	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋76g	
	510	ガラス製品	ビー玉	長径 1.98 短径 1.84 厚さ 1.87	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋92g	
	511	ガラス製品	ビー玉	長径 1.82 短径 1.79 厚さ 1.84	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋74g	
	512	ガラス製品	ビー玉	長径 1.82 短径 1.82 厚さ 1.74	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋75g	
	513	ガラス製品	ビー玉	長径 1.82 短径 1.82 厚さ 1.69	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋72g	
	514	ガラス製品	ビー玉	長径 1.88 短径 1.88 厚さ 1.85	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋86g	
	515	ガラス製品	ビー玉	長径 1.87 短径 1.83 厚さ 1.92	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋87g	
	516	ガラス製品	ビー玉	長径 1.89 短径 1.89 厚さ 1.7	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋84g	
	517	ガラス製品	ビー玉	長径 1.86 短径 1.85 厚さ 1.85	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋83g	
	518	ガラス製品	ビー玉	長径 1.8 短径 1.79 厚さ 1.69	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋75g	
	519	ガラス製品	ビー玉	長径 1.99 短径 1.86 厚さ 1.78	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	310号墓	成袋93g	
	520	ガラス製品	ビー玉	長径 1.84 短径 1.8 厚さ 1.8	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	第19区中央	成袋86g	
	521	ガラス製品	ビー玉	長径 1.54 短径 1.53 厚さ 1.5	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	第19区中央掘り下り埋土	成袋48g	
	522	ガラス製品	ビー玉	長径 1.79 短径 1.78 厚さ 1.75	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	第19区西部	成袋74g	
48	523	布製品	着袴			内: 外:	内: Hae 外: Hae	258号墓	詳細は1048参照	
	524	絹物	種子		完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	51号墓	計量不能 (0.1g以下)	
	525	絹物	種子		完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	51号墓	計量0.1g	
	526	絹物	種子		一部欠損	内: 外:	内: Hae 外: Hae	51号墓	計量不能 (0.1g以下)	
	527	木製品	装飾品?	長さ 4.90 幅 2.86 厚さ 0.48		内: 外:	内: Hae 外: Hae	54号墓	成袋20g、金属製品(釘)の打ち込みあり	
	528	木製品	装飾品?	長さ 5.24 幅 3.92 厚さ 0.56		内: 外:	内: Hae 外: Hae	54号墓	成袋26g、金属製品(釘)の打ち込みあり	
	529	木製品	帽子	長さ 21.1 幅 1.45 厚さ 0.19		内: 外:	内: Hae 外: Hae	190号墓	成袋72g、製作2年・中身5本、竹筒	

図	番号	品名	種類(形状)	漁長 (cm)	厚さ	材	色	製	加工法	備考
	530	紙製品	新聞紙			内: 外:	内: 外:	内: 外:	250号箱	重量125g
	531	木製品	籠	長さ 幅 厚さ	13.26 11.29 0.73	定形	内: 外:	内: 外:	250号箱	重量32.0g
	532	木製品	編み針	長さ 幅 厚さ	17.5 0.47 0.49	定形	内: 外:	内: 外:	250号箱	重量4.3g
	533	木製品	扇子	長さ 幅 厚さ	19.3 0.6 0.06	中骨のみ	内: 外:	内: 外:	250号箱	重量3.0g、中骨が11本、竹製
	534	木製品	不明	長さ 幅 厚さ	2.21 1.8 0.11	鏡片	内: 外:	内: 外:	250号箱	重量0.6g、裏・表に模様あり
	535	木製品	容器			内: 外:	内: 外:	内: 外:	250号箱	裏面に赤色の模様あり、金色で花の描写あり
	536	布・毛糸製品	織物と編み物			内: 外:	内: 外:	内: 外:	250号箱	重量58.9g、水引含む
	537	布製品	不明			内: 外:	内: 外:	内: 外:	350号箱	重量35.7g
	538	プラスチック製品	ガラガラ	長さ 幅 厚さ	14.07 3.54 0.83	定形	内: 外:	内: 外:	250号箱	重量7.4g
	539	樹脂製品	ヘアピン	長さ 幅 厚さ	8.43 1.55 1.73	定形	内: 外:	内: 外:	250号箱	重量0.4g
	540	樹脂製品	ヘアピン	長さ 幅 厚さ	6.48 2.32 0.21	2/3	内: 外:	内: 外:	114号箱	重量1.2g
	541	樹脂製品	ヘアピン	長さ 幅 厚さ	9.21 3.32 0.21	定形	内: 外:	内: 外:	114号箱	重量2.1g
	542	樹脂製品	ヘアピン	長さ 幅 厚さ	11.8 1.8 0.32	定形	内: 外:	内: 外:	238号箱	重量2.6g
	543	樹脂製品	ヘアピン	長さ 幅 厚さ	10.1 1.73 0.21	定形	内: 外:	内: 外:	338号箱	重量2.0g
	544	樹脂製品	ヘアピン	長さ 幅 厚さ	11.7 2.9 0.38	定形	内: 外:	内: 外:	338号箱	重量3.2g
	545	樹脂製品	ヘアピン	長さ 幅 厚さ	11.1 1.9 0.38	定形	内: 外:	内: 外:	338号箱	重量3.2g
	546	樹脂製品	簪	長さ 幅 厚さ	2.89 7.49 1.98	定形	内: 外:	内: 外:	137号箱	重量3.4g
	547	樹脂製品	簪	長さ 幅 厚さ	4.67 8.29 0.27	定形	内: 外:	内: 外:	156号箱	重量0.1g
	548	樹脂製品	簪	長さ 幅 厚さ	1.81 7.03 0.18	一部欠損	内: 外:	内: 外:	Ⅱ区東中部	重量1.5g
	549	貝	ハマダリ			4/5	内: 外:	内: 外:	20号箱	重量11.5g、左殻(右殻?の鏡片含む)
	550	貝	キヤゴ			定形	内: 外:	内: 外:	20号箱	重量3.4g (8個まとめて計量)
	551	貝	タカラ貝科の一種			約6/5	内: 外:	内: 外:	123号箱	重量43.0g(欠損部約10.4g)、殻底部に1/3欠損あり
	552	貝	不明貝			一部欠損	内: 外:	内: 外:	173号箱の外	重量2.9g
	553	貝	サルボウ			ほぼ定形	内: 外:	内: 外:	Ⅱ区(限り)下/土内	重量33.4g、右殻
	554	貝	タロアビ			ほぼ定形	内: 外:	内: 外:	Ⅱ区(限り)下/土内	重量38.2g
	555	貝	アカシ?			殻輪のみ	内: 外:	内: 外:	Ⅱ区中央	重量17.4g

※図番号のないものは写真のみ掲載

3. 基幹・環境整備（第6病棟等支障配線・配管替え）機械設備工事に伴う発掘調査（1112・1113調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査は、大学附属病院の第6病棟の解体に際し、支障のある配管を新規に敷設する工事に伴って実施した。医学総合研究棟東側からボイラー室前まで、医学教育図書棟及び設備管理棟周辺に及ぶ広範にわたって、配管のための立会調査として掘削を行った。本書では、掘削した範囲の中で発掘調査に切り替えた半について報告する。本センターでは届出1本について調査番号を付している。本事業は埋設する管種により届出が異なるため、それぞれに調査番号を付したが、埋設箇所（掘削範囲）を共有する箇所については併せて調査を行った。

本調査区は、医学教育図書棟の西側に位置する。医学総合研究棟東側から、1112調査区として掘削を進めた。北側から掘削したところ、15m付近で遺物包含層と思われる土層が検出された。このため、南側へ慎重に掘削をすすめ、32.5m付近まで包含層が遺存していることを確認し、発掘調査へ切り替えた。調査期間中に、設備管理棟側へ分岐するルートにおいて調査の必要が高くなったため、条件を整え調査を行った。

b. 調査の経過

- 2011年9月22日 医学教育図書講義棟西側、立会調査実施し包含層を確認。協議を行い発掘調査に切り替える。
- 2011年9月26日 発掘調査開始。遺構検出・掘削作業を行う。
- 2011年9月28日 全景写真撮影、土層図面・測量を行い、調査終了。
- 2011年9月29日 設備管理棟南への分岐範囲調査。遺構検出・掘削・測量・写真等記録作業を実施、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：岡元美子・柴田道子・関律子・高松紀子・中村正明・白都節子・古川昌代・松水一代・松本和徳

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

調査区の北端部（1号住居址）付近ではアスファルト及びバラスの下が包含層（1層）である。やや砂質が強い。地表下0.3m程度での検出である。地表下0.55mで遺構面に達する。1号住居址上の2層は炭などが入る焼土層である。7号住居址付近も同様で、アスファルト・バラス下が地表下0.3m前後で包含層、0.5m前後で遺構面である。調査区南半付近では、アスファルト・バラスの下に現代埋土層があり、地表下0.5m前後で包含層、0.8m前後で遺構面である。

既往の調査で、白川がある北から暗渠が通る南に向かって、旧地形は低く傾斜していることが判明

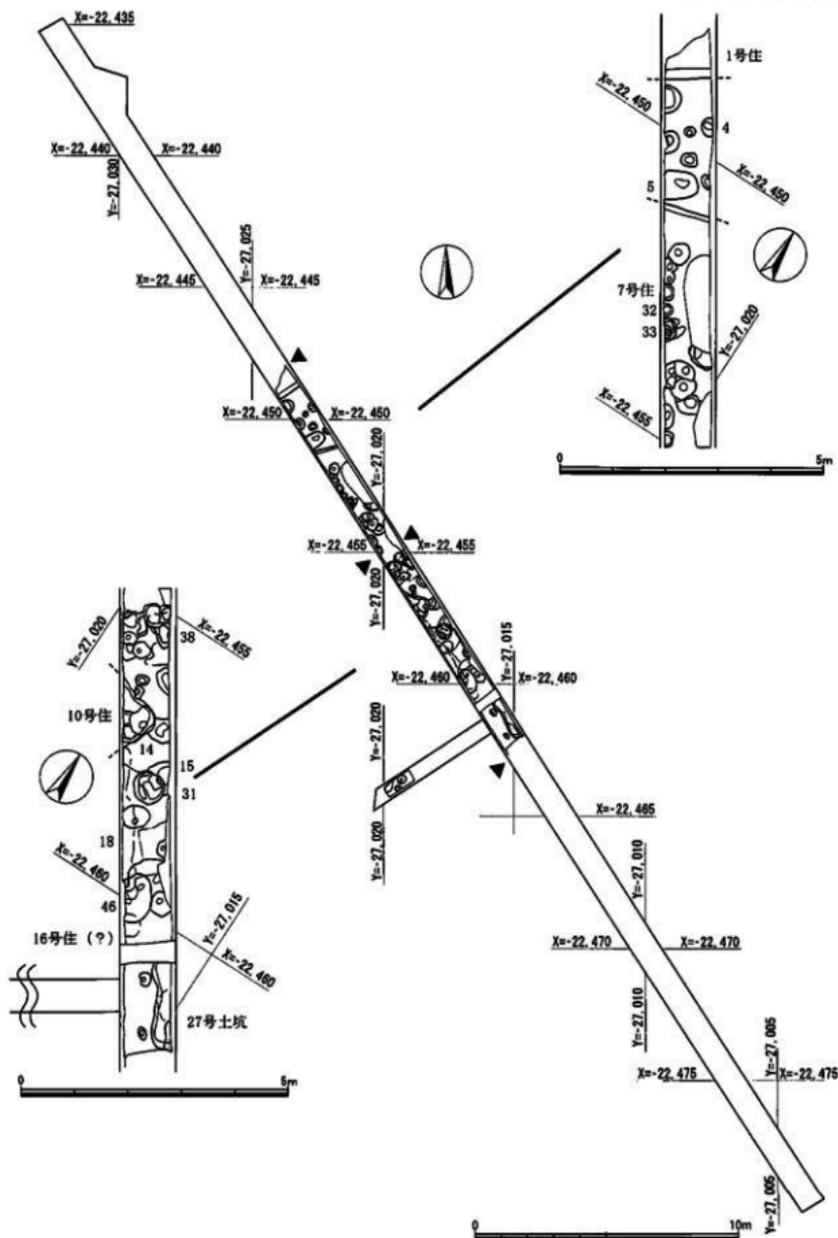


図49 1112・1113調査地点遺構配置図 (1/200・1/100)

している。このため、包含層や遺構面は医学教育図書棟と総合研究棟北側ではアスファルト・バラス直下で検出されるが、南に向かって検出面は深くなる。本調査区は、この傾斜に対し垂直方向をとるため、遺構検出面は南側ほど深くなる。

（3）検出遺構

検出した遺構は、古代の竪穴住居址3基、土坑1基、ピット多数である。

<住居址>

1号竪穴住居址（図50）

調査区の北端に位置する。調査区に直交する壁と思われるなだらかに立ち上がりが検出された。遺物は古代の土師器と須恵器が出土しているが、この1号住居址の向きは南北方向ではなく、北西を向いている。附属病院敷地内の古代の住居址としては、異例である。大半は破壊を受けており、全体の規模は不明である。

7号竪穴住居址（図50）

1号竪穴住居址の南5mに位置する。南壁は前時代のピットとの重複で明確に捕らえられなかったが、僅かに残された壁と思われる立ち上がりから、一辺6mの住居址と考えられる。住居址の主軸は大概ね南北方向であるが、若干西に傾く。9901調査地点では、古代においても若干の軸のズレにより2時期に分かれることが判明している。その成果からすると、本住居址は古代の後の時期、8世紀後半以降の建物となる。出土遺物も矛盾しない。狭い調査区での検出で、さらに東側を攪乱によって破壊されていた。竈は検出されなかった。

10号竪穴住居址（図50）

調査区中央部に位置する。竪穴住居址の北東隅が調査区にかかり、大半は西壁外に外れる。住居址の向きは南北を向いているが、若干東に傾く。出土遺物はない。

16号竪穴住居址？（図50）

27号土坑北側にある攪乱をはさんだ南北に、住居址と思われた範囲があった。古代包含層である2層を掘削すると、砂質の強い3層を検出し、3層の北側の範囲を住居址等の遺構の北辺の可能性があると捉えていた。さらに掘削すると、4層は当該地域の基盤層と同じ灰色（実際は暗褐色）の砂岩ブロックの層が検出された後、古代の包含層と同じ5層、地山土（6層以下）となった。住居址と想定した掘削を行ったが、4層の砂岩層は住居址の埋土としては例がない。南側が既に破壊されており、どの程度の規模になるのか、形状の推定も困難であるが、ここでは住居址の可能性として報告しておく。出土遺物は土師器甕や須恵器壺などが出土している。

<土坑>

27号土坑

調査区の南端に位置し、東壁に沿って南北方向に細長くのびる。現状で長さは3.5m、幅0.9m前後、深さ20cmである。遺物は土師器片が数点出土したのみである。住居址としては他と比較して深さがあり、また一辺が短すぎる。性格は不明である。

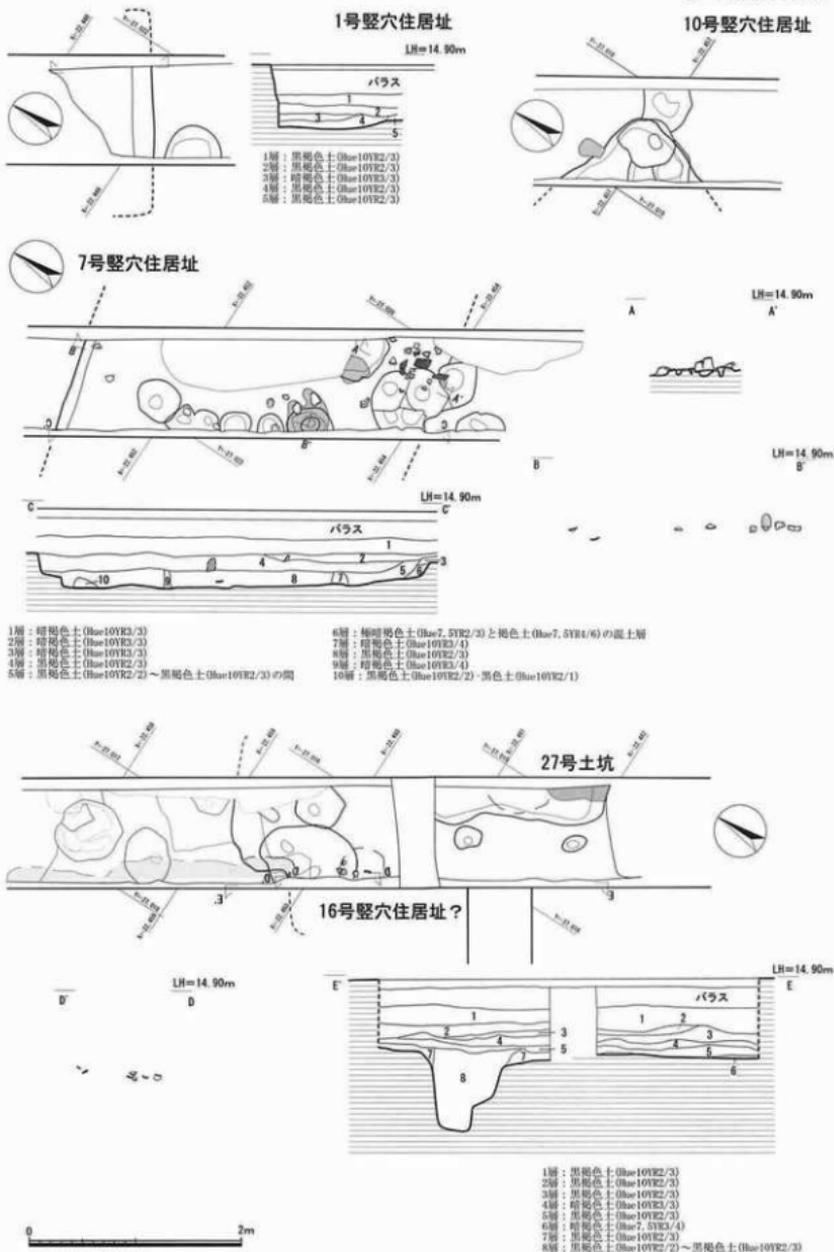


図50 1・7・10・16?号竪穴住居址・27号土坑実測図・西壁土層断面図 (1/50)

<その他>

上記の遺構以外には、ピット（柱穴）が多数検出された。ピットの中には直径・深さともに大きく掘立柱建物を構成する柱穴である可能性を持つと思われるものもあるが、調査範囲が狭長で、南北方向からずれているため、一連のものとして捕らえることが出来なかった。7号住居址の南側には帯状の黒色土の範囲があったため、溝と想定して掘削したが、完掘するとピットが集まる状態となった。7号住居址内西壁した、南壁付近、16号調査区下など、本調査区のピットは大小が重複し一箇所に集中する傾向にある。

16号住居址（？）の北側では、包含層中の浅いレベルで硬化面が検出された。古代の時期の中では、新しい時期の住居址があったと考えられるが、プランの確認は出来なかった。範囲とレベルを記録した。

（4）出土遺物（図51）

1号竪穴住居址（図51：1～4）

1号住居址からは土師器皿、坏、甕の口縁、須恵器蓋などの破片が数点出土した。2の坏は器高が低く大きく開く。8世紀末～9世紀前葉の所産と思われる。

7号竪穴住居址（図51：5～24）

土師器坏、須恵器坏、蓋、甕の口縁、須恵器の甕の胴部が出土した。5～12の土師器坏は、器高が低くやや内湾気味に開き、9世紀前葉のころと思われる。13は底径が大きく、高台はやや内側につき細身である。9世紀初頭の頃か。17・18の須恵器蓋は扁平化しており、9世紀前葉～中葉の頃の所産と思われる。21・22の須恵器坏は高台が外側に付き、22の高台は短い特徴を有する。8世紀後葉～9世紀初頭のころであろう。このほか、8世紀後半の須恵器甕（長頸瓶か？）と思われる二重口縁の破片も出土している。これらから7号住居址は9世紀前葉の時期と考えられる。

16号竪穴住居址（？）（図51：25～29）

土師器甕の口縁から胴部にかけての破片、須恵器坏の口縁部、長頸甕の胴部片が出土した。25～29の特徴からは8世紀後半代と思われる。

その他（図51：30～47、図51：48～73）

30以降はピットおよび包含材の出土である。30は土師器坏で、底部外面に墨書があるが、字は判読不明である。31の土師器坏は深さがあり、口縁端部が如意形に外反する。8世紀前半～中葉頃か。32は土師器坏の口縁端部で、やや内傾する古い特徴を持つ。33は平底で高台を持たず、胴部が直線的に立ち上がり、深さのある坏である。8世紀末か～9世紀初頭のころであろう。34は土師の塊として出土し、19の遺構番号を付した。これらを取り上げた後、その下のピットを38とした。19として取り上げたが破片が35と接合しており、胎土等から同一固体と思われる。火を受けており、器表面は変色と劣化が著しい。小型の丸底甕と思われる。38は非常に薄い須恵器皿、39は扁平化した須恵器蓋である。端部の折り返しがほとんどなくなっている。これらは9世紀前葉～中葉の頃と思われる。41～47は46号ピットから出土した。41は古式土師器甕の口頸部である。43は高坏である。脚部が太く、坏の底部も厚い。横に大きく広がる大型の高坏である。8世紀中葉～後半の時期と思われる。46は須恵器坏で、高台が内側に付き低い。8世紀後半か。47は須恵器甕の肩部である。肩は張らずになだらかに胴部に繋がる。48は口縁部が垂直に立ちながら外反する。7世紀初頭か。49～52は土師器甕の口縁部、頸部、胴部片である。53・54は須恵器蓋である。53は返りがまだ付いており、8世紀前半以前であろう。56は土師器甕（鍋形）で8世紀末～9世紀初頭と思われる。57・58は土師器甕の口縁部である。薄手の

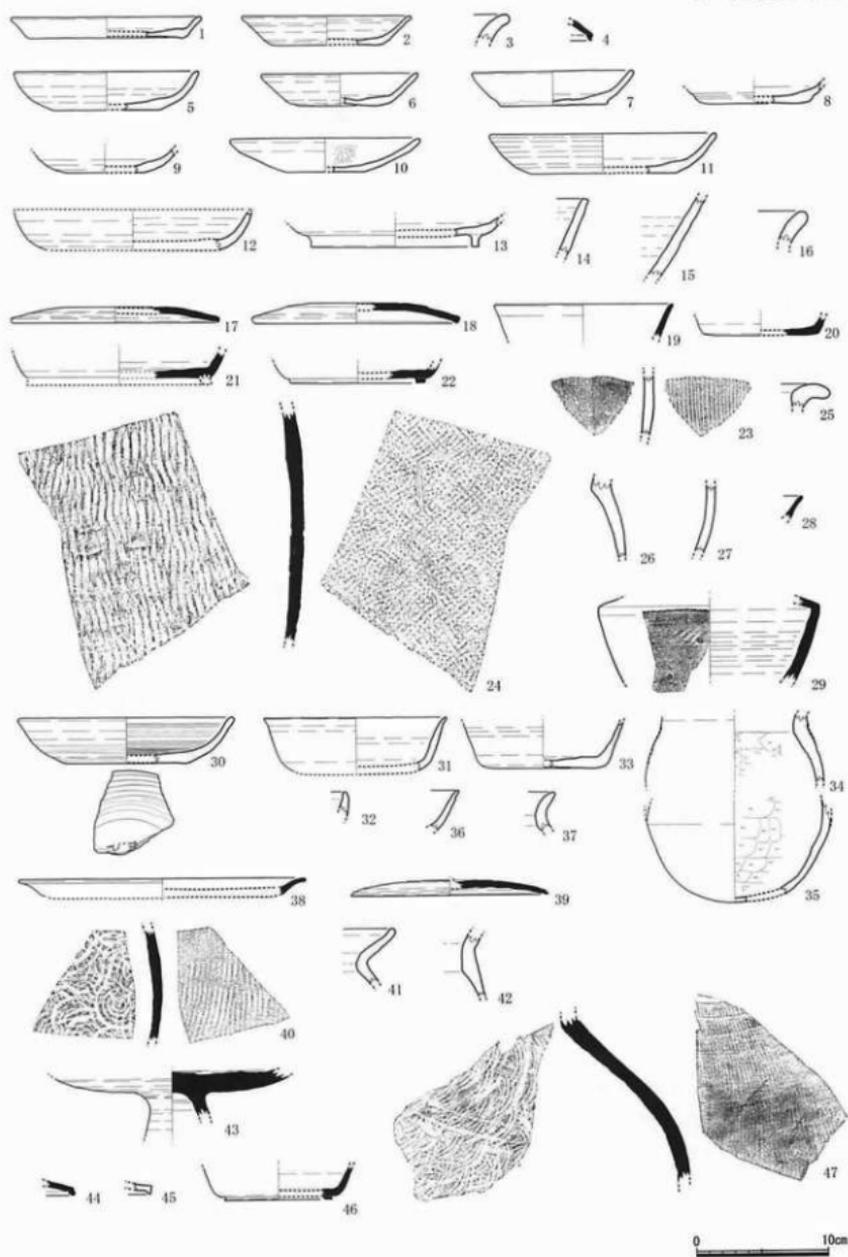


図51 1112・1113調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

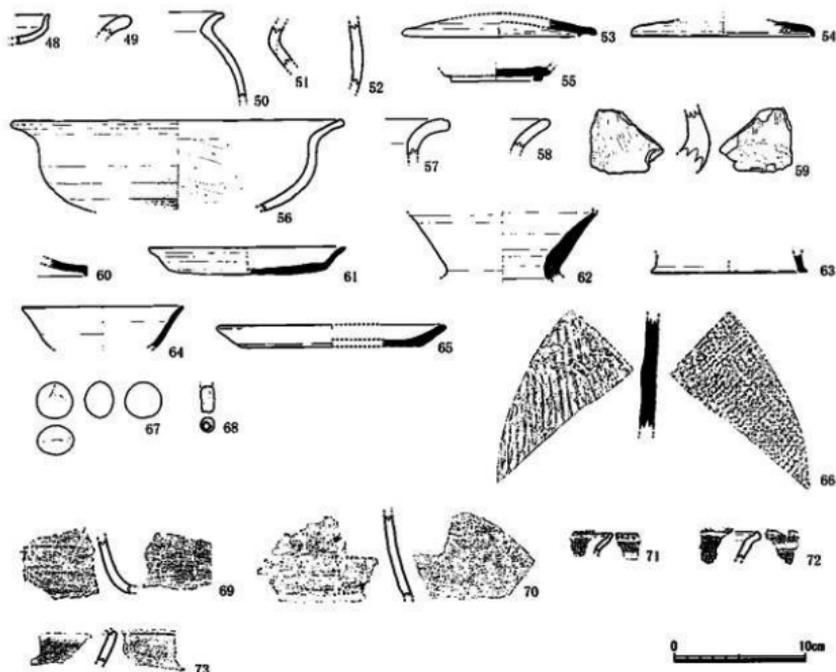


図52 1112・1113調査地点出土遺物実測図2（1/4）

タイプで9世紀前葉～中葉の頃か。60は須恵器高坏の脚端部である。61は須恵器盤。62は長頸壺の頸部である。63は須恵器坏の高台か。

64～68は攪乱出土である。64は大きく開く須恵器坏、65は須恵器皿である。66は須恵器甕の胴部である。67は投弾のような土製品である。68は土製の錘である。エンタシス状にならず、ストローのように直線的である。

69～73は包含層から出土した縄文土器である。後期後葉～晩期初頭の時期である。69は御領式深鉢の頸部、72は天城式～古閑式の深鉢の頸部と思われる。71・72は晩期浅鉢の口縁部、73は胴部である。

（5）まとめ

本調査地点の近隣の調査区を概観すると、総合研究棟建設地（0101調査地点）では、近世（？）の畑地2面の下から古代の住居址1基と古墳時代の住居址2基を検出している。後世の攪乱は著しかったが、古代の住居址が1基であったことは遺構密度が低く感じられ、古代集落の東端であった可能性がある。西に隣接する医学教育図書館棟建設地（0707調査地点）では、大半が旧建物によって破壊されていたが、南側の低地には水田を、北側台地上には住居址11基が営まれていたことが明らかとなった。0707調査地点も、破壊により決して広くはない範囲で11基の住居址が集中して検出されており、集落の中心はやはり少し西側にあったと考えられる。北側では主軸を南北方向に取らない古墳時代の住居

址が検出され、本調査地区の1号住居址はこれらと一連のものと考えられるだろう。0707調査地点で住居址の中心をなすのは7世紀末～8世紀後半代、南側に営まれた水田は9世紀後半～10世紀代以降である。本調査区の遺物をみると、8世紀後半～9世紀前半が主体をなしており、0707調査地点の住居址と水田の造営期間の間を埋める時期である。一帯は飽田郡への国衙移転に伴い、集落が耕作地へと転換したことが知られている。本調査の成果は、一帯における古代集落が耕作地へ転換する以前の、終盤の一端であるかもしれない。

本荘北地区全体を俯瞰してみると、9901・0104・0006・0119調査地点などの成果からは、古墳時代の住居址は概ね西側に偏る傾向があり、古代に入り、次第に集落が東に拡張した可能性がある。ただし、0101調査地点でも古墳時代の住居址が確認されているため、9901調査地点を中心とする集落が本調査地点まで一連のものとして及んでいたのか、別の集落があったのかは未だ決し難い。古代についても同様である。今後の調査成果を持って検討したい。

調査区の制約のため、検出した遺物の全容を捉えることが困難であった。断片的な調査では、本来遺物が持つ情報量が著しく低減するため、やむを得ないとはいえ残念である。しかしながら、小さな調査の成果もこれまでの事業展開と本庄遺跡の保存には活かされてきたと考える。本荘北地区は病院として再開発を繰り返してきた地区ながら、破壊を免れた遺跡は往時の集落の様子を語るには、十分な情報を備えており、今後も保存と最小限の調査による歴史復元に努めたい。

表2 1112・1113調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(部材)	寸法 (cm)	検出層	特徴	色	調査	出土遺構	備考
51	1	土師器	皿	1径 14.4 底径 11.6 器高 1.6	約1/8	内: 同転ナテ, ナテ 外: 同転ナテ, ナテ	内: Hae 25YR6/6 外: Hae 25YR6/6	1号壱穴住居址	内外面赤色化粧土	
	2	土師器	杯	1径 13.0 底径 8.0 器高 2.2	1/8	内: 同転ナテ 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 25YR6/6 外: Hae 25YR6/6	1号壱穴住居址		
	3	土師器	甕	1径 底径 器高	1種部片	内: 同転ナテ 外: 同転ナテ	内: Hae 25YR7/4 外: Hae 25YR7/3	1号壱穴住居址		
	4	須恵器	蓋	1径 底径 器高	1種部片	内: 同転ナテ, 割り 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 25Y5/1 外: Hae 5Y5/1	1号壱穴住居址		
	5	土師器	杯	1径 13.9 底径 8.0 器高 3.0	約1/4	内: 同転ナテ 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 25Y6/6 外: Hae 25Y6/6	7号壱穴住居址		
	6	土師器	杯	1径 12.0 底径 7.6 器高 2.5	約1/4	内: 同転ナテ, ナテ 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 25Y6/4 外: Hae 25Y6/4	7号壱穴住居址42号 ビット		
	7	土師器	杯	1径 12.4 底径 8.2 器高 2.7	約1/2	内: 同転ナテ, ナテ 外: 同転ナテ, ナテ	内: Hae 5YR5/4 外: Hae 5YR5/6	7号壱穴住居址	打明皿?として使用? 内外面にスス付着	
	8	土師器	杯	1径 底径 器高 8.4	底部片1/5	内: 同転ナテ, ナテ 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 25Y6/4 外: Hae 25Y6/4	7号壱穴住居址	赤色化粧土	
	9	土師器	杯	1径 底径 器高 6.0	腹底- 底部片	内: 同転ナテ 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 5YR6/6 外: Hae 5YR6/6	7号壱穴住居址		
	10	土師器	杯	1径 14.6 底径 6.0 器高 2.6	約1/4	内: 同転ナテ, 磨き 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 25Y3/3 外: Hae 30YR5/4	7号壱穴住居址	内面赤色化粧 外面にスス付着	
	11	土師器	杯	1径 17.4 底径 11.2 器高 3.1	約1/8	内: 同転ナテ, ナテ 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 25Y6/6 外: Hae 25Y6/6	7号壱穴住居址		
	12	土師器	杯	1径 底径 器高	部片	内: 同転ナテ 外: 同転ナテ	内: Hae 25Y7/6 外: Hae 25Y7/6	7号壱穴住居址	赤色化粧土	
	13	土師器	碗	1径 底径 器高 13.0	腹底- 底部片	内: 同転ナテ, ナテ 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 5YR6/6 外: Hae 5YR6/6	7号壱穴住居址	赤色化粧土	
	14	土師器	鉢	1径 底径 器高	1種部片	内: 同転ナテ 外: 同転ナテ	内: Hae 25YR6/6 外: Hae 5YR6/6	7号壱穴住居址	内外面にスス付着	
	15	土師器	鉢	1径 底径 器高	部片	内: 同転ナテ 外: 同転ナテ	内: Hae 5YR6/6 外: Hae 5YR7/8	7号壱穴住居址	外面にスス付着	
	16	土師器	甕	1径 底径 器高	1種部片	内: 同転ナテ, ナテ 外: 同転ナテ, ナテ	内: Hae 25Y7/3 外: Hae 25Y7/3	7号壱穴住居址		
	17	須恵器	蓋	1径 底径 器高 15.7	約1/8	内: 同転ナテ, 割り 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 5Y6/1 外: Hae 5Y6/1	7号壱穴住居址		
	18	須恵器	蓋	1径 底径 器高 16.0	1/8	内: 同転ナテ, ナテ, 割り 外: 同転ナテ, 割り	内: Hae 25Y7/1 外: Hae 25Y6/1	7号壱穴住居址	内外面に焼きムラあり	

3. 基幹・環境整備 (第6号棟等支障配線・配管替え) 機械設備工事に伴う発掘調査 (1112・1113調査地点)

調査番号	遺物	層位(層別)	位置 (cm)	形状	特徴	調査	出土品類	備考		
51	19	瓦器類	坏	口径 底径 高さ	13.8	11段部1/8	内: 陶輪ナデ 外: 陶輪ナデ	内: Huc 5Y6/1 外: Huc 5B/1	7号壺穴住居址	
	20	瓦器類	坏	口径 底径 高さ	8.9	底径部1/4	内: 陶輪ナデ 外: 陶輪ナデ、ナデ	内: Huc 5Y6/1 外: Huc 10Y8/1	7号壺穴住居址	
	21	瓦器類	碗	口径 底径 高さ		胴部~底部 約1/4	内: 陶輪ナデ 外: 陶輪ナデ、刷り	内: Huc 5Y6/2 外: Huc 5Y6/1	7号壺穴住居址	
	22	瓦器類	碗	口径 底径 高さ	10.1	底径部 約1/5	内: 陶輪ナデ、ナデ 外: 陶輪ナデ、刷り	内: Huc 5Y4/1 外: Huc 5Y5/1	7号壺穴住居址	
	23	土師器	甕	口径 底径 高さ		胴部片	内: ナデ、刷り 外: ナデ、裏目、刷り キエ	内: Huc 10Y8/4 外: Huc 10Y8/3	7号壺穴住居址	
	24	瓦器類	碗	口径 底径 高さ		胴部片	内: タタキ 外: タタキ	内: Huc 25Y4/1 外: Huc 10YK2/2	7号壺穴住居址	
	25	土師器	甕	口径 底径 高さ		11段部片	内: 陶輪ナデ、刷り 外: 陶輪ナデ	内: Huc 5Y8/6 外: Huc 5Y8/6	16号壺穴住居址 (?)	
	26	土師器	甕	口径 底径 高さ		胴部片	内: 陶輪ナデ、刷り 外: 陶輪ナデ、ナデ	内: Huc 75YK2/4 外: Huc 10Y8/4	16号壺穴住居址 (?)	NO. 3
	27	土師器	甕	口径 底径 高さ		胴部片	内: 刷り 外: ハケ目	内: Huc 75Y8/4 外: Huc 10Y8/3	16号壺穴住居址 (?)	
	28	瓦器類	坏	口径 底径 高さ		11段部片	内: 陶輪ナデ 外: 陶輪ナデ	内: Huc 75Y8/1 外: Huc 75Y8/1	16号壺穴住居址 (?)	
	29	瓦器類	碗	最大径 口径 底径 高さ	16.9	胴部片	内: 陶輪ナデ、刷り 外: 陶輪ナデ、刷り	内: Huc 25Y5/2 外: Huc 75Y5/1	16号壺穴住居址 (?)	
	30	土師器	坏	口径 底径 高さ	16.4 9.0 3.5	1/8	内: 陶輪ナデ、磨き 外: 陶輪ナデ、磨き	内: Huc 5Y8/8 外: Huc 5Y8/8	5号ビット	磨き? 文字不明
	31	土師器	坏	口径 底径 高さ	14.0	11段部1/8	内: 陶輪ナデ 外: 陶輪ナデ	内: Huc 10Y8/4 外: Huc 10Y8/4	14号ビット	磨きムラあり
	32	土師器	坏	口径 底径 高さ		11段部片	内: 陶輪ナデ 外: 陶輪ナデ	内: Huc 5Y8/4 外: Huc 25Y8/4	15号ビット	内外面口唇部赤色化粧土
	33	土師器	坏	口径 底径 高さ	9.0	約1/4	内: 陶輪ナデ、ナデ 外: 陶輪ナデ、ナデ	内: Huc 5YK2/6 外: Huc 5YK2/6	15号ビット	
	34	土師器	甕	最大径 口径 底径 高さ	13.8	胴部片	内: ナデ、刷り 外: ナデ	内: Huc 75Y8/3 外: Huc 75Y8/3	土師一話 (M19) 付着	外面網目 内面にスズコゲ? 付着
	35	土師器	甕	最大径 口径 底径 高さ	16.9	約1/3	内: ナデ、刷り、刷り キエ 外: ナデ、磨きキエ	内: Huc 5Y8/4 外: Huc 75Y8/3	38号ビット 土師一話 (M19)	
	36	土師器	坏	口径 底径 高さ		11段~ 胴部片	内: 陶輪ナデ 外: 陶輪ナデ、刷り	内: Huc 75Y8/4 外: Huc 75Y8/3	31号ビット	
	37	土師器	甕	口径 底径 高さ		11段部片	内: 陶輪ナデ、ナデ 外: 陶輪ナデ	内: Huc 10YK2/3 外: Huc 75YK2/2	31号ビット	内面にコゲ? あり
	38	瓦器類	碗	口径 底径 高さ	21.8	11段~ 胴部片	内: 陶輪ナデ 外: 陶輪ナデ	内: Huc 75Y8/1 外: Huc 75Y8/1	31号ビット	
	39	瓦器類	蓋	口径 底径 高さ	15.2	約1/5	内: 陶輪ナデ、ナデ、 刷り 外: 陶輪ナデ、ナデ、 刷り	内: Huc 75Y7/1 外: Huc 75Y6/1	32号ビット	
	40	瓦器類	碗	口径 底径 高さ		胴部片	内: タタキ 外: 陶輪ナデ、タタキ	内: Huc 8B/0 外: Huc 5Y7/1	33号ビット	
	41	土師器	碗	口径 底径 高さ		11段~ 胴部片	内: 陶輪ナデ、刷り 外: 陶輪ナデ	内: Huc 75Y8/6 外: Huc 5Y8/6	46号ビット (住穴)	外面にスズ付着
	42	土師器	甕	口径 底径 高さ		胴部片	内: 陶輪ナデ、刷り 外: 陶輪ナデ、ハケ目	内: Huc 75Y8/4 外: Huc 75YK2/1	46号ビット (住穴)	外面にスズ付着
	43	瓦器類	高 坏	口径 底径 高さ		1/3	内: ナデ、磨き 外: 陶輪ナデ、刷り	内: Huc 10Y8/3 外: Huc 10Y8/4	46号ビット (住穴)	内面網目 外面に磨きムラあり
	44	瓦器類	蓋	口径 底径 高さ		11段部片	内: 陶輪ナデ、刷り 外: 陶輪ナデ、刷り	内: Huc 8B/0 外: Huc 8B/0	46号ビット (住穴)	
	45	土師器	高 坏	口径 底径 高さ		胴部片	内: 陶輪ナデ、ナデ 外: 陶輪ナデ、ナデ	内: Huc 75Y8/6 外: Huc 75Y8/6	46号ビット (住穴)	
	46	瓦器類	碗	口径 底径 高さ	8.2	胴部~ 底部片	内: 陶輪ナデ 外: 陶輪ナデ、刷り	内: Huc 10Y5/1 外: Huc 8A/0	46号ビット (住穴)	
	47	瓦器類	碗	口径 底径 高さ		胴部片	内: 陶輪ナデ、タタキ 外: 陶輪ナデ、タタキ	内: Huc 5Y5/1 外: Huc 5Y3/1	46号ビット (住穴)	
52	48	土師器	坏	口径 底径 高さ		口縁部片	内: 陶輪ナデ、ナデ 外: 陶輪ナデ、刷り	内: Huc 75Y8/6 外: Huc 75Y8/6	南端部	
	49	土師器	甕	口径 底径 高さ		11段部片	内: 陶輪ナデ 外: 陶輪ナデ	内: Huc 75Y8/4 外: Huc 75YK2/4	南端部	
	50	土師器	甕	口径 底径 高さ		11段~ 胴部片	内: 陶輪ナデ、刷り 外: 陶輪ナデ、ハケ目	内: Huc 10Y8/2 外: Huc 10Y8/2	1号壺穴住居址~5号 ビット	スズ付着 外面一部網目している
	51	土師器	甕	口径 底径 高さ		胴部片	内: 陶輪ナデ、刷り 外: 陶輪ナデ、刷り	内: Huc 10YK2/4 外: Huc 10Y8/4	南山	

図	番号	遺物	種類(品名)	地層 (cm)	出土状況	特 徴	色 調	出土位置	備 考
52	52	土師器	甕 口径 底径 高さ		割断片	内: 割り 外: 磨る	内: Huc 5YR5/4 外: Huc 7.5YR5/4	P-1	外側にスス?コゲ?付着 内面一部にコゲ?あり
	53	灰土器	蓋 口径 底径 高さ	15.0	口縁断片	内: 磨細ナデ, 磨り 外: 磨細ナデ	内: Huc 7.5Y7/2 外: Huc 7.5Y6/1	10号壺穴住居址付近	
	54	灰土器	蓋 口径 底径 高さ		口縁~ 割断片	内: 磨細ナデ 外: 磨細ナデ	内: Huc 5Y6/1 外: Huc 5Y3/1	1号壺穴住居址~5号 ピット, 地山	
	55	灰土器	甕 口径 底径 高さ	7.0	底断片1/8	内: 磨細ナデ, 磨り 外: 磨細ナデ	内: Huc 5Y6/1 外: Huc 5Y6/1	南端部	
	56	土師器	壺 (胴部) 口径 底径 高さ	25.2	約1/4	内: 磨細ナデ, 磨り 外: 磨細ナデ, ハナ目	内: Huc 10YR7/3 外: Huc 7.5YR7/3	包含層	外側にスス・コゲ付着
	57	土師器	甕 口径 底径 高さ		口縁~ 割断片	内: 磨細ナデ, 磨り 外: 磨細ナデ, ハナ目	内: Huc 5YR5/6 外: Huc 5YR5/6	包含層	
	58	土師器	甕 口径 底径 高さ		口縁断片	内: 磨細ナデ 外: 磨細ナデ	内: Huc 10YR7/2 外: Huc 10YR7/3	包含層	
	59	土師器	甕 口径 底径 高さ		割断片	内: 磨り 外: ナデ, ハナ目	内: Huc 10YR5/3 外: Huc 10YR7/3	包含層	
	60	灰土器	高 杯 口径 底径 高さ		脚断片	内: 磨細ナデ, 磨り 外: 磨細ナデ, 磨り	内: Huc 10Y5/1 外: Huc 10Y5/1	包含層南半	
	61	灰土器	皿 口径 底径 高さ	15.0 12.0 2.1	1/2	内: 磨細ナデ, ナデ 外: 磨細ナデ, 磨り	内: Huc 10Y5/1 外: Huc 7.5Y5/1	包含層	内面一部に自然釉あり
	62	灰土器	甕 口径 底径 高さ		割断片	内: 磨細ナデ 外: 磨細ナデ	内: Huc 2.5Y5/1 外: Huc 2.5Y5/1	包含層	
	63	灰土器	甕 口径 底径 高さ	12.0	脚断片	内: 磨細ナデ, 磨り 外: 磨細ナデ, 磨り	内: Huc 5Y4/1 外: Huc 5Y4/1	包含層	
	64	灰土器	杯 口径 底径 高さ	12.2	口縁断片1/8	内: 磨細ナデ 外: 磨細ナデ	内: Huc 7.5YR5/4 外: Huc 7.5YR6/4	覆瓦	
	65	灰土器	皿 口径 底径 高さ	17.5 13.4 1.7	約1/8	内: 磨細ナデ 外: 磨細ナデ, 磨り	内: Huc 5Y7/1 外: Huc 5Y7/1	覆瓦	
	66	灰土器	甕 口径 底径 高さ		割断片	内: ナデ, タタキ 外: ナデ, タタキ	内: Huc 2.5Y5/1 外: Huc 5YR3/3	覆瓦	
	67	土製品	投 擧 長さ 幅 厚さ	275 28 2.25	完 形	内: 外: ナデ	内: Huc 外: Huc 10YR3/3	7号壺穴住居址	外側にスス?付着
	68	土師器	土 桶 長さ 幅 高さ	20 1.0 1.1	約1/3	内: 外: ナデ, 指オサエ	内: Huc 外: Huc 10YR7/4	7号壺穴住居址	
	69	縄文土器	圓錐形土器 口径 底径 高さ		割断片	内: ナデ 外: 磨る	内: Huc 2.5Y7/3 外: Huc 2.5Y7/3	包含層	
	70	縄文土器	圓錐形土器 口径 底径 高さ		割断片	内: ナデ 外: ナデ, 磨る	内: Huc 2.5Y7/3 外: Huc 10YR7/1	7号壺穴住居址	
	71	縄文土器	圓錐形土器 口径 底径 高さ		口縁断片	内: 磨き 外: 磨き	内: Huc 10YR3/1 外: Huc 7.5Y2/1	土器一括 (M19)	黒色磨研土器
	72	縄文土器	圓錐形土器 口径 底径 高さ		口縁断片	内: 磨き 外: 磨き	内: Huc M2/0 外: Huc 10YR7/2	18号壺穴住居(?)	内照黒色磨研?
	73	縄文土器	圓錐形土器 口径 底径 高さ		割断片	内: 磨き 外: 磨る	内: Huc 5Y2/1 外: Huc 5Y3/1	包含層	

4. 基幹・環境整備（第6病棟等支障配線・配管替え）機械整備工事に伴う発掘調査（1112調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査区は、本荘北地区である附属病院の入退院棟の北側、第6病棟の東側、医学教育図書棟の南西隅の場所に排水溝を新設する工事に伴う発掘調査である。2011年10月26日に立会調査を実施し、南北7m、東西2.3mの範囲を地表下0.55mから1.6mまで掘削した。掘削範囲の北側より1.3m地点からさらに南へ1.7mの部分は、地表下2.5mまで掘り下げる必要があるため、さらに掘削を進めた。その結果、地表下2.2m地点で地山を確認し、南北方向に延びると考えられる溝状の遺構を検出したので、発掘調査に切り替えて10月27・28・31日に発掘調査を実施した。発掘調査の総面積は6.3㎡である。

b. 調査の経過

- 2011年10月26日 調査開始。溝状遺構検出。
2011年10月27日 溝状遺構西半部掘削開始。写真撮影。調査区西壁セクション図作成。
2011年10月28日 溝状遺構西半部完掘。写真撮影。溝状遺構セクション図作成。東半分掘削。
2011年10月31日 週末の雨により壁面崩落のためその部分の土壌を撤去。溝状遺構完掘。写真撮影。溝状遺構平面図作成および測量。調査終了。

c. 調査の組織

- 調査員：石丸恵利子
事務担当：村田知聖
発掘作業員：古川昌代・松永一代
整理作業員：井上裕美・入江山真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序（図53）

調査区の基本土層は、地表下0.2mはコンクリートとバラス（1層・2層）が敷かれ、3層から9層までは、現代埋土と考えられる。10層は、締りが強い黒褐色の粘性のシルト層で、部分的に赤い鉱物の粒子を含む。11層もしまりが強い暗褐色の粘質土層で、まだらに赤褐色土を含む。10層と11層が溝状遺構の覆土と考えられる。

（3）検出遺構

<溝状遺構>

1号溝状遺構（図53）

地表下約2.0mで、調査区はほぼ中央に北北東に延びる溝状遺構の西方の立ち上がり部を確認した。東方の立ち上がりは調査区外に相当するため、その幅を知ることはできない。また、調査区下場の3.5㎡の狭小な範囲内で確認できた溝の深さは約0.65mを測るが、東方側でさらに深くなる可能性がある。なお、調査区の北東側に存在する医学部図書講義棟新営工事に伴う発掘調査（0707調査地点）において、調査区南側に溝が検出されており、立ち上がり部掘方の方向から、0707調査地点の10号溝に関連

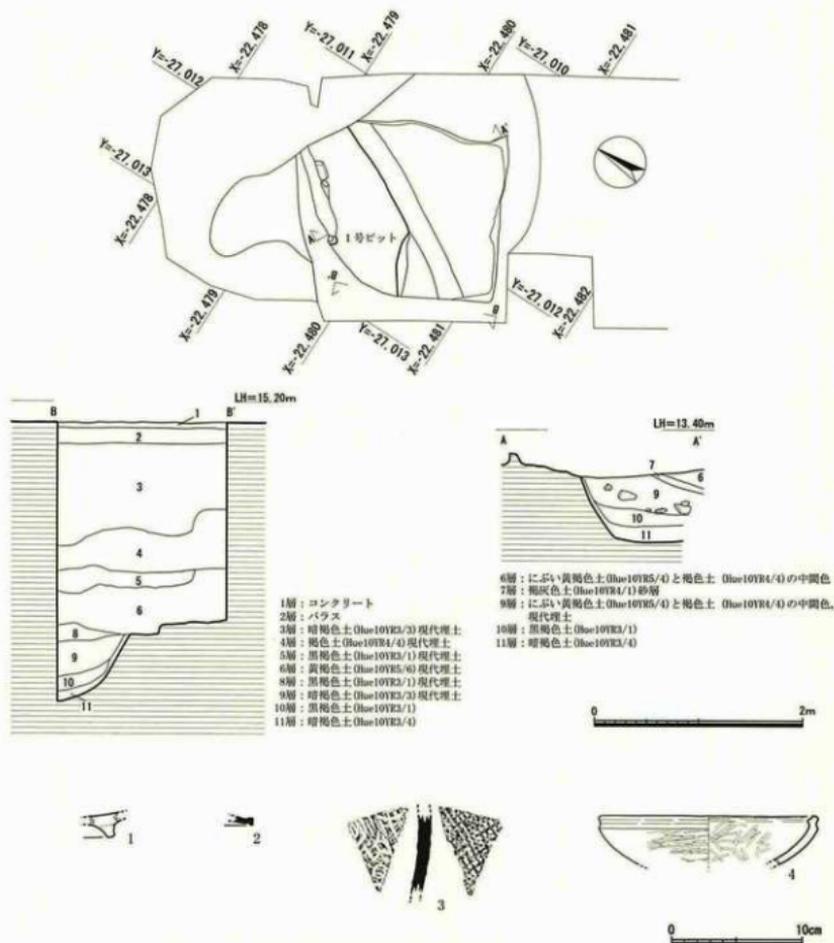


図53 1112調査地点遺構配置図・出土遺物実測図 (1/50・1/4)

する遺構である可能性が高い。溝の覆土から出土した遺物は、土師器片や古代の須恵器片少量である。10号溝からは、8世紀後半～9世紀後半を中心とする土師器や須恵器が多量に出土しており、本調査区の1号溝状遺構についても同時期に相当する可能性がある。

(4) 出土遺物

1号ピット出土遺物 (図53:2)

図53:2は須恵器の蓋である。扁平な蓋で、8世紀後半から9世紀初頭頃の様相を呈している。

包含層出土遺物（図53：1, 3）

図53：1は土師器の高台付の碗であり、高台の貼り付けは粗雑である。表面全体に赤色化粧土が施されている。9世紀中頃のものと思われる。図53：3は須恵器の壺の胴部破片で、古代期に相当するものであろう。

縄文土器（図53：4）

図53：4は浅鉢の口縁部で、表裏面ともに丁寧に磨きが施されている。縄文時代晩期の黒川式の浅鉢と考えられる。胴部の張り出しが弱く頸部が短いもので、黒川式の中でも新式の範疇に含まれるものと思われる。

(5) まとめ

調査面積は狭小な範囲で時代を特定する遺物も少量であったが、0707調査地点において検出された溝とのつながりが推定される遺構の一部を確認することができた。より西側の第6病棟までの間には、狭い範囲ではあるが遺構や遺物包含層が残存している可能性がある。ただし、1号溝状遺構の覆土上層には現代埋土が含まれており、上層においては建物建設時の基礎等の設置により壊されている可能性が高い。また、地表下2mより下層においては、溝などのように深く掘り込まれた遺構であれば検出される可能性が残されているといえる。

また、本調査区では、縄文晩期の浅鉢を確認したが、0707調査地点では縄文後期後半の土器が多く出土し、また東側に隣接する0101調査地点でも縄文晩期前半の鉢もしくは浅鉢が出土している。これらのことから、0101調査地点から1112調査地点までの一体には、縄文時代後晩期において人が利用した痕跡が広がっているであろうことも確認することができた。

表13 1112調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	位置 (cm)	調査層	特徴	色	調査箇所	備考
53	1	土師器	碗	111F 底点	破片	内：H48+デ 外：H48+デ、磨り	内：Hue 7.5YR6-6 外：Hue 7.5YR6-6	包含層	赤色化粧土
	2	須恵器	壺	111F 底点	111F破片	内：H48+デ、磨り 外：H48+デ、磨り	内：Hue 7.5Y6 1 外：Hue 7.5Y6 1	1号ピット	
	3	須恵器	壺	111F 底点	割破片	内：タタキ 外：タタキ	内：Hue 7.5Y5-2 外：Hue 7.5Y6-2	包含層	
	4	縄文土器	浅鉢	111F 底点	約1.8	内：+デ、磨り 外：+デ、磨り	内：Hue 10Y2-1 外：Hue 10Y2-1	包含層	

5. 基幹・環境整備（第6病棟等支障配線・配管替え）機械設備工事 その2に伴う発掘調査（1114調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査の目的は1112・1113調査地点と同様である。本調査区は、医学教育図書棟の北側を通る1112調査地点の延長部に相当する。設備管理棟北側、ボイラー設備の北側25mの区間について立会調査を実施したところ、東側13mの間は遺跡が遺存していること判明した。このため、当該部分については発掘調査に切替え、実施した。

b. 調査の経過

2011年10月11日 設備管理棟北側区間の立会調査実施。西側から掘削開始、途中で包含層検出。
東側13mの区間について本調査切替えを決定。

2011年10月12日 発掘調査開始。遺構検出・掘削作業を行う。

2011年10月13日 午前全景写真撮影、土層図面・測量を行い、調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：柴田道子・松永一代

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・與嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

本調査区の基本層序は、1：10cmのアスファルト、2：地表下0.45mまでバラス、3：暗褐色土層（10YR2/3）、4：暗褐色土層（10YR2/2）である。4層の下、地表下0.75mで地山（遺構面）である。4層が古代の遺物包含層である。3層は綺麗な土であるが4層より若干色が明るく、また砂質である。近世の土層の可能性はある。

（3）検出遺構

検出した遺構は、古代の竪穴住居址1基、古代の溝1条、近世の溝1条、ビットである。

<住居址>

9号竪穴住居址（図54）

調査区の西側に位置する。調査区西端から2.2～4m付近が9号竪穴住居址の南壁と考えられるが、大半は攪乱により破壊されている。東壁は検出できなかった。恐らく、調査区中央の攪乱によって破壊されたと思われる。住居址の主軸は概ね北を向いている。東側では一部硬化した床面を検出した。竈の跡或いはその存在を示す粘土等は検出されなかった。

<溝>

18号溝

調査区東側で検出した。幅0.4m、深さ0.1mの小さな溝である。南北を向いており、埋土からも古

代の溝と考えられる。

19号溝

調査区西端で検出した。方位は南北ではなく、調査区に直行し、白川に向かっている。埋土は3層と同じ土で、古代よりはやや新しい。向きなどから古代以降、恐らく近世ではないかと思われる。溝の西肩は既に破壊されていた。二段掘りになっており、下の溝はやや向きを越える。現状では、上の溝で幅約1.1m、幅約0.5で一端0.1mの深さまで落ちる。さらに0.2mの深さに落ちる。

<その他>

上記の遺構以外にピット（柱穴）が多数検出されたが、掘立柱建物を構成する一連のものとしては、捉えることが出来なかった。

（4）出土遺物（図54）

出土した遺物は碎片が多く、図化に耐えうるもののみ掲載した。1は須恵器の蓋である。9号竪穴住居址と住居内の10号ピットの近くを掘削中に出土した。いずれに伴うかは不明である。2は土師器坏である。遺構面直上の包含層出土である。深さがあり、開かずに立ち上がる。8世紀中葉のころと思われる。3は調査区の西半分の遺構面直上の包含層出土である。2と同様に土師器の坏で、底部が厚い。8世紀中葉から後半か。4は土師器坏の底部である。径が大きく厚みもある。回転ヘラ切の後にナデを施す。5は土師器坏である。大きく開く。調査区の東半分の遺構面直上の包含層出土である。9世紀前半のころと思われる。6は土師器碗（坏）の底部である。高く細い広大が、底部の端に付く。9世紀前半～中葉か。7・8は須恵器坏の口縁部である。調査区西半分の包含層から出土した。7は口径が大きく、口縁端部が外半する。8世紀後葉～末か。8は内湾気味の口縁である。8世紀中葉～後葉か。9～11は9号竪穴住居址の南壁を破壊している擾乱からの出土である。参考として掲載する。9は須恵器蓋である。10は土師器甕の胴部片である。11は土師器甕の口縁部である。口径が小さい。12・13は縄文土器片である。12は後晩期の土器の胴部片であろう。13は波状口縁の頂部である。僅かに液状となった頂部に1点の押点があり、下に二本の凹線が廻る。上段の凹線の上には短い（途切れた）凹線があり、若干施文が雑な印象がある。

（5）まとめ

本調査地点は、1112・1113調査地点同様に狭長な調査区であった。しかし、調査区全体で遺構を検出したことは、近辺におけるトレンチ調査としては成果を得た。

0101調査地点、0707調査地点で確認された集落と9901調査地点一帯で確認された集落が、一連のものであるか否かは判断が困難である。0101・0707調査地点と0712・9901調査地点の間には設備管理棟および第6病棟が建設されており、今後この間で調査を実施したとしても遺構（集落）を確認できる可能性は非常に低いであろう。1114調査地点と本書で報告する0304調査地点は、この二つの集落間を繋ぐ調査事例と言える。

0304調査地点と本調査地点の結果からすれば、いずれも遺構検出面積の点においては制限があるものの、古墳時代の住居址は確認されず、本調査地点は古墳時代の遺物も無い。0712調査地点においても、調査区東半には古墳時代の住居址は存在せず、西半に偏っていた。これらのことから、古墳時代の住居址群は9901・0712調査地点一帯で収束するのではないかと考えられる。古代の住居址は、少数

5. 基幹・環境整備（第6病棟等支障配線・配管替え）機械設備工事その2に伴う発掘調査（1114調査地点）

表14 1114調査地点出土遺物一覧表

品	番号	遺物	種類(品類)	基底 (cm)	埋 入 深	特 徴	色 相	出土層位	備 考	
54	1	土師器	蓋	口径 底径 高さ		口縁部片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ	内：Ihae 25YR5/6 外：Ihae 25YR5/6	I区・9号聖穴住居址・10号ピット	内外両面赤色化粘土
	2	土師器	坏	口径 底径 高さ	128	1/8	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ、黒り	内：Ihae 75YR6/3 外：Ihae 75YR6/3	I区・包含層・地山層	
	3	土師器	坏	口径 底径 高さ		口縁～ 胴部片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ、黒り	内：Ihae 75YR7/6 外：Ihae 75YR7/6	I区・包含層・地山層	焼きムラあり
	4	土師器	坏	口径 底径 高さ		底部片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ、ナテ	内：Ihae 5YR5/6 外：Ihae 10YR7/3	I区西半・包含層・地山	内外両面赤色化粘土 底面に焼きムラあり
	5	土師器	坏	口径 底径 高さ		底面1/2	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ、ナテ	内：Ihae 5YR7/6 外：Ihae 75YR7/6	I区西半・包含層・地山	底面に黒炭？あり
	6	土師器	碗	口径 底径 高さ		底面1/8	内：黒粘テラ、ナテ 外：黒粘テラ、黒り	内：Ihae 5YR5/6 外：Ihae 5YR5/6	I区・包含層・地山層	外面にスス付着
	7	須恵器	坏	口径 底径 高さ		口縁～ 胴部片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ	内：Ihae 75YR/1 外：Ihae 75YR/1	I区西半・包含層・地山	
	8	須恵器	坏	口径 底径 高さ		口縁～ 胴部片	内：黒粘テラ 外：黒粘テラ	内：Ihae 25Y6/2 外：Ihae 5Y6/1	I区西半・包含層・地山	
	9	須恵器	蓋	口径 底径 高さ		口縁部片	内：黒粘テラ、黒り 外：黒粘テラ	内：Ihae 25YR5/6 外：Ihae 25YR5/6	I区・9号聖穴住居址・埋土	内外両面赤色化粘土
	10	土師器	蓋？	口径 底径 高さ		胴部片	内：黒り 外：ナテ	内：Ihae 75YR5/4 外：Ihae 75YR3/1	I区・9号聖穴住居址・埋土	外面にスス付着
	11	土師器	蓋	口径 底径 高さ		口縁部片	内：黒粘テラ、黒り 外：ナテ	内：Ihae 5YR6/4 外：Ihae 5YR6/4	I区・9号聖穴住居址・埋土	内外面にスス付着
	12	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 高さ		胴部片	内：ナテ 外：ナテ、黒り	内：Ihae 10YR5/3 外：Ihae 10YR5/3	I区・9号聖穴住居址 床下	
	13	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 高さ		口縁部片	内：ナテ 外：ナテ	内：Ihae N15/0 外：Ihae 10YR2/1	I区西半・包含層・地山	内面黒色物質？、外面口唇部に 押戻文、スス付着

6. 基幹・環境整備（旧中央診療棟とりこわし）工事に伴う発掘調査（1129調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査区は、本荘北地区にある附属病院の旧中央診療棟（MRI-CT装置棟、旧中央診療-1・2）のとりこわしおよび周辺整備に伴う発掘調査である。工事範囲をⅠ～Ⅳ区に区切って立会調査をおこなった結果、旧中央診療棟-1（Ⅳ区）の基礎撤去工事の際に発掘調査を実施した。建物上部を撤去後、2012年2月16日から基礎撤去のための掘削を南東隅より開始した。当時の工事は手掘りによる作業と思われ、基礎構架の余掘りが狭く、基礎間に地表下1.4mで地山の残存を確認した。調査区中央部は基礎間が狭く、すべて埋土であったが、南側および北側においては地山が残存し、ピット数基を確認したため、熊本市文化財課に許可を得た後に、発掘調査に切り替えて調査を実施した。発掘調査の総面積は716.0㎡である。

b. 調査の経過

- 2012年2月17日 基礎撤去掘削の際、建物内部地点でピット・溝検出。発掘調査に切り替え、調査開始。
- 2012年2月20日 建物北側外周部で土坑・ピット検出。測量、写真撮影。
- 2012年2月21日 作業員投入、遺構検出および掘り下げを行う。写真撮影。遺構測量。
- 2012年2月27日 写真撮影。遺構測量。発掘調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：白都節子・古川昌代

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・興嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

建物内部の場所において地山の検出面は地表から1.5～1.6mであるが、調査地点の北側は共同溝の埋土、東側は旧中央診療棟-2が隣接し、南側は管理棟とつながっている。また、西側は0733調査地点において基礎撤去が行われた場所であり、掘削範囲周辺はすべて埋土であるため、本調査区における基本土層は、地表下約1.5mに一部（フーチング間）地山が残存すること以外は不明である。

（3）検出遺構

<溝>

1号溝（図55）

調査区西側を北東－南西方向に流れる断面逆台形の溝である。検出面において、幅0.5m、深さ0.2mを測るが、上面は建物建設時に削平されたと考えられ、幅、深さともにさらに大きかった可能性がある。覆土の色調は（Hue2.5YR 4/2）を呈する。

<土坑>（図55）

1号土坑

調査区南西に位置する1.1×0.6m、最大深0.3mの不整形な土坑である。遺物は土師器および須恵器の小破片が出土しているのみである。

2号土坑

1号溝の北側に位置する0.9×0.7m、深さ0.25mの土坑である。北側部分はフーチンの掘方で削平されている。土師器甕の口縁部破片や胴部破片が数点出土している。覆土は上下2層を確認することができるが、遺物はいずれも上層より出土している。上層は黄灰色（Hue25YR 4/1）の粘質土層で、下層はより暗みを増す暗青灰色（Hue5PB 4/1）の粘質土層である。

3号土坑

1号溝の南西端に位置する0.9×0.8m、深さ0.5mの土坑で、1号溝を切る形で形成されている。遺物としては、土師器甕の口縁や胴部、高坏などのいずれも小破片が土坑の底から出土している。

4号土坑

4号土坑は、調査区の北西部、建物北側に沿って0.6mの幅で掘削した場所で確認した。北側は共同溝の掘りかた、南側は建物基礎の掘りかたで壊されているが、残存部分で径1.6m、深さ0.35mを測る。土坑の南東隅で土師器の甕、その直下に敷石と台石と思われる礫が並べて配置されている状況を確認した。土師器甕は4世紀末から5世紀の様相を呈するものである。

5号土坑

4号土坑の西側に位置する不整形の土坑で、南側は4号土坑同様に建物基礎の掘りかたで壊されている。残存部分で0.9×0.5m、深さ0.2mの浅い落ち込みである。土師器片と須恵器片が覆土よりわずかに出土したのみである。

6号土坑

2号土坑の東に位置し、0.6×0.5m、深さ0.2mの浅い土坑である。半分に割れた滑石製の紡錘車が土坑覆土の上部で出土している。

7号土坑

6号土坑の東に位置し、0.7×0.4m、深さ0.4mの土坑である。北側はフーチンの掘りかたで削平されている。土師器の鉢もしくは甕、壺の底部破片が1点出土している。

8号土坑

調査区の東端、1号溝の南に位置する、0.8×0.4m、深さ0.25mの土坑で、遺物は出土していない。

<ビット>（図55）

ビットは1号～24号まで15基を確認した（9基は前述の溝と土坑のため欠番）。形態は、径0.25～0.5mの円形もしくは楕円形を呈し、深さ0.15～0.4mを測るものである。そのうち、1～3号、5号、

7～10号、13号、21号ピットから土師器、須恵器の小破片が出土しているのみである。20号からは円礫が出土しているが加工の痕跡は認められなかった。

(4) 出土遺物

4号土坑出土遺物 (図56: 1, 4, 5)

図56: 1は土師器の甕である。胴部最大径は中位にある球形の胴部をもち、口縁部がやや内湾したものである。4世紀末から5世紀頃の様相を呈する。図56: 4は、台石として使用されたと思われるもので、一部平面部分とくぼみ部分に光沢があり、擦ったような痕跡が観察できる。図56: 5は、端部および中央のややくぼんだ部分に敲打痕が確認されたため敲石とした。遺物は、土坑の南東端で、台石と敲石が並べられ、その上に土師器の甕がつぶれたような状態で検出された。

6号土坑出土遺物 (図56: 6)

図56: 6は滑石製の紡錘車で、半分に割れた状態のものである。ピットの中央部分、土坑埋土の底に近い部分で出土している。

その他の出土遺物 (図56: 2, 3)

図56: 2は土師器の坏で、内外面ともに赤色化粧土が施されている。図56: 3は須恵器の坏である。外面に軸葉が掛けられ、黒味を帯びている。いずれも8世紀代のものと考えられる。

(5) まとめ

本調査区は、地表下約1.2mまでは建物基礎によって全面で破壊を受けていたが、建物北側と南端の一部で古墳時代から古代の遺構面が残っていることを確認することができた。その地点周辺では、建物基礎が小さく工事の際の掘削範囲が狭かったことが幸いしていると考えられる。これまでの周辺の調査(0801調査地点、0733調査地点)においては、建物基礎によって大きく破壊を受けていることが報告されているため、本調査区において遺構面が確認できた点は有意義なことである。今後、本調査区周辺で建物がなかった部分の掘削については、狭小な範囲であっても遺構面が残されている可能性があるため注意が必要である。

出土遺物については、網田龍生氏、檀佳克氏、原田範昭氏、増田直人氏(以上、熊本市教育委員会文化振興課)に御教示をいただいた。記して厚く感謝申し上げます。

6. 基幹・環境整備（旧中央診療棟とりこわし）工事に伴う発掘調査（1129調査地点）

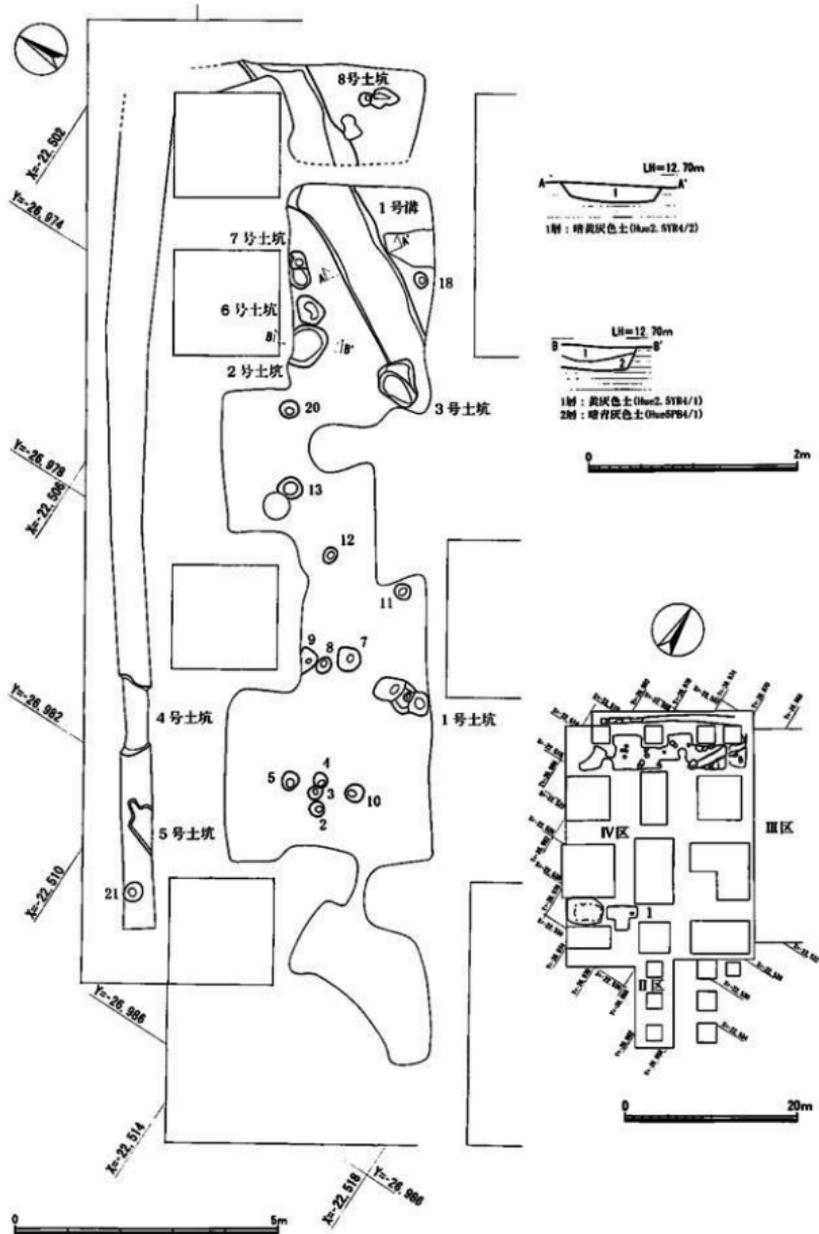


図55 1129調査地点遺構配置図・1号溝・2号土坑土層断面図・遺構配置全体図（1/100・1/50・1/600）

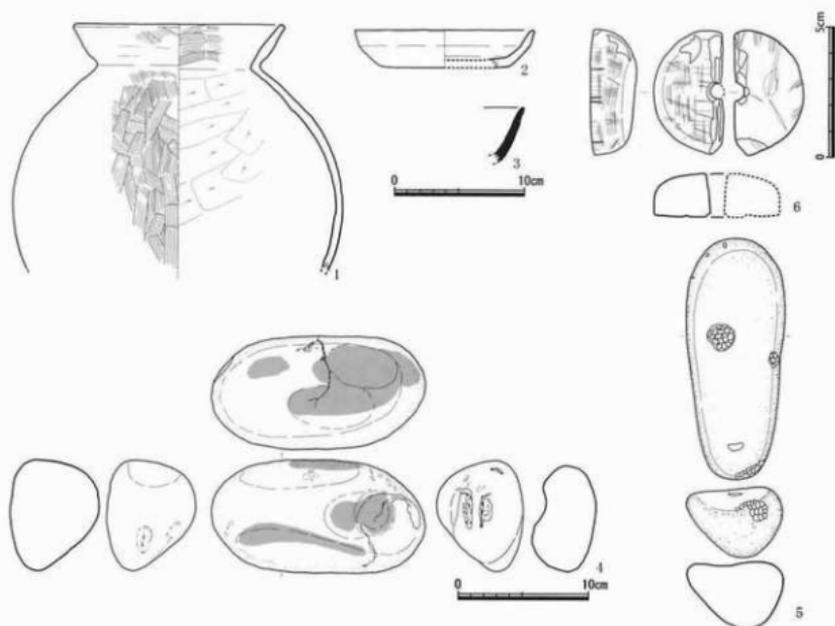


図56 1129調査地点出土遺物実測図 (1/4・1/2)

表15 1129調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色	質	出土遺構	備考
56	1	土器	甕	口径 160 最大径 249 器高	約1/3	内: 削り 外: ハヤ目	内: Blue 5YR5/6 外: Blue 5YR2/1		IV区 4号土坑	
	2	土器	坏	口径 13.8 底径 100 器高 29	約1/5	内: 回転十字 外: 回転十字	内: Blue 5YR5/6 外: Blue 5YR5/6		IV区 西外側南端	赤色化粧土
	3	須恵器	坏	口径 底径 器高	1/2 割部片	内: 回転十字 外: 回転十字	内: Blue 5Y4/1 外: Blue 5Y6/2		IV区 西外側北より	
	4	石器	白石?	長さ 16.35 幅 8.65 厚さ 6.7	完整	内: 外:	内: Blue 外: Blue		IV区 4号土坑	重量1310g
	5	石器	崩石	長さ 18.5 幅 7.6 厚さ 5.4	完整	内: 外:	内: Blue 外: Blue		IV区 4号土坑	重量1072g
	6	石器	柄杓準	長さ 4.7 幅 2.65 厚さ 1.7	1/2	内: 外:	内: Blue 外: Blue		IV区 6号土坑	重量31g

7. 基幹・環境整備（第6病棟とりこわし）工事に伴う発掘調査（1145調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査区は、本荘北地区にある附属病院の第6病棟とりこわし工事に伴う発掘調査である。工事範囲をⅠ～Ⅲ区に区切って立会調査を行った結果、第6病棟北側東半部の共同溝および給気塔等撤去部（Ⅱ区）において、共同溝が東側側面に垂直に曲がる部分の東外側の地表下約0.9～1.0mに、厚さ0.15mのコンクリートの貼り床が検出された。コンクリートの貼り床はとりこわし工事に含まれているため、工事範囲内の貼り床を撤去後、地表下1.2～1.3mで一部地山面を確認した。精査した結果、土坑や溝が検出されたため、熊本市文化財課に発掘調査への切り替え許可を得て調査を実施した。発掘調査の総面積は624㎡である。

b. 調査の経過

2012年4月2日 土坑を検出。発掘調査に切り替え調査開始。遺構検出。順次掘り下げ。

2012年4月4日 写真撮影。土坑および溝の測量。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・興嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

調査区の基本土層は、東壁セクションで地表下1.0mまではコンクリート床設置後の埋戻し土で、幅0.15mのコンクリート床面、さらにその下の地表から約1.2m以下が遺構検出面である。コンクリートの貼り床設置範囲では上部の遺物包含層は全て削平されていると考えられる。

（3）検出遺構

<溝>

1号溝（図57）

遺構検出面4.5×3.3mの範囲において検出された、北西-南東方向に延びる断面U字形の溝である。幅1.6m、深さ0.7mを測る。覆土は、やや粘性のある暗い褐灰色（Hue10YR 5/1）砂質土である。遺物は出土していない。

<土坑>

1号土坑（図57）

調査区西側に位置する1.3×1.0mのやや不整形な土坑である。土坑の深さは0.55mで、さらに深い部分で0.7mを測る。覆土は、ややしまりのある黒褐色（Hue10YR 3/2）砂質土である。土師器の坏、

須恵器の蓋などが出土している。

2号土坑 (図57)

調査区南端に位置する1.1×0.9mの土坑で、南側は工事の際の掘りかたで削平されている。1号溝を切る形で形成されている。土坑の深さや0.7mである。覆土は、やや粘性のある暗いオリーブ褐色 (Hue2.5Y 3/2) の砂質土である。土師器と須恵器の坏の破片が少量出土している。

(4) 出土遺物

1号土坑出土遺物 (図57: 1, 2, 4~10, 12~14, 16)

図57: 1と2と4は土師器の坏である。図57: 5・6は土師器の甕の口縁部破片である。図57: 7は土師器の甕の口縁部破片である。図57: 8は瓶の取っ手で、先端は欠損しているが、やや上部にせりあがった形態を呈する。図57: 9・10は須恵器の坏蓋である。図57: 12は須恵器の甕の頸部破片である。内外面に釉薬が掛けられている。図57: 13は須恵器の甕もしくは甕の胴部破片である。図57: 14は須恵器の赤焼けの甕の胴部破片である。出土した土器類はいずれも破片であるが、7~8世紀頃の特徴を有する。図57: 16は鉄鏃である。

2号土坑出土遺物 (図57: 3, 11, 15)

図57: 3は土師器の坏で、内外面に丹塗りが施されている。図57: 11は須恵器の坏であり、3とともに古代に相当するものである。図57: 15は素焼きの蓋と考えられるものであるが胎土から近世以降の新しいものの様相を呈する。

(5) まとめ

本調査区においても遺構面が確認されたのは約15㎡の狭い範囲であったが、溝と土坑が検出され古代を中心とした遺物が確認された。調査区周辺の建物と建物の間などの狭い範囲には、地表下1m前後に遺物包含層および遺構面が残されている可能性があり、今後の調査に期待したい。

出土物については、網田龍生氏、檀佳克氏、原田範昭氏、増田直人氏 (以上、熊本市教育委員会文化振興課) に御教示をいただいた。記して厚く感謝申し上げます。

7. 基幹・環境整備（第6南棟とりこわし）工事に伴う発掘調査（1145調査地点）

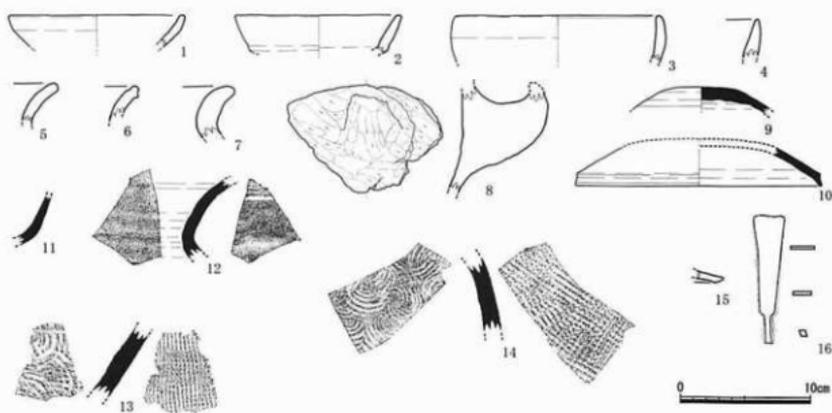
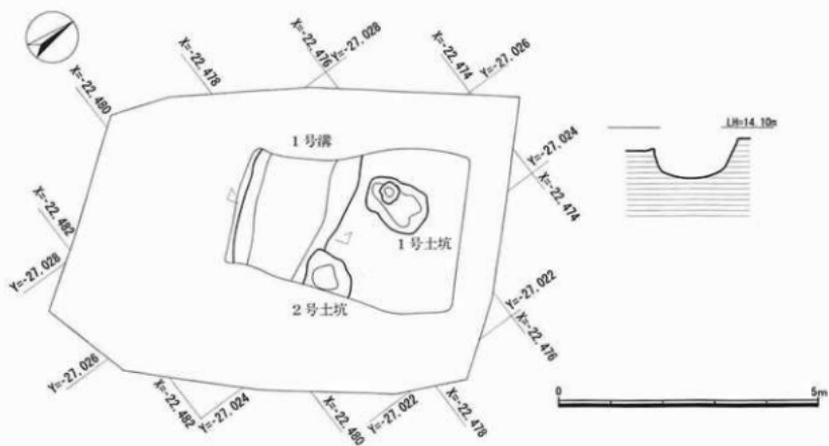


図57 1145調査地点遺構配置図・出土遺物実測図（1/100・1/4）

表16 1145調査地点出土遺物一覧表

図 番号	遺物	種類(図例)	発見 地点 (cm)	発 見 品	特 徴	色 相	出土位置	備 考
57	1	土師器	坏	口縁部片	内：黒粘土質 外：黒粘土質	内：Hue 75YR7/6 外：Hue 75YR2/6	Ⅱ区1号土坑	
	2	土師器	坏	口縁部片	内：黒粘土質 外：黒粘土質	内：Hue 75YR7/6 外：Hue 75YR6/6	Ⅱ区1号土坑	
	3	土師器	坏	口縁部片	内：黒粘土質、ナツ 外：ナツ	内：Hue 25YR5/6 外：Hue 25YR4/6	Ⅱ区2号土坑	内外面丹塗りあり
	4	土師器	坏	口縁部片	内：黒粘土質 外：黒粘土質	内：Hue 75YR6/6 外：Hue 75YR6/6	Ⅱ区1号土坑	
	5	土師器	甕	口縁部片	内：黒粘土質 外：黒粘土質	内：Hue 75YR6/6 外：Hue 75YR6/6	Ⅱ区1号土坑	
	6	土師器	甕	口縁部片	内：黒粘土質 外：黒粘土質	内：Hue 75YR6/6 外：Hue 75YR6/6	Ⅱ区1号土坑	
	7	土師器	甕	口縁部片	内：ナツ、ハケ目 外：ナツ、ハケ目	内：Hue 75YR6/6 外：Hue 75YR6/6	Ⅱ区1号土坑	
	8	土師器	甕	把手のみ	内：黒り 外：ナツ、黒り	内：Hue 75YR7/4 外：Hue 10YR8/2	Ⅱ区1号土坑の東地山 頂上	
	9	灰土器	甕	胴部片	内：黒粘土質、ナツ 外：黒粘土質、黒り	内：Hue 25Y5/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅱ区1号土坑	
	10	灰土器	甕	口縁部片	内：黒粘土質 外：黒粘土質、黒り	内：Hue 5Y5/2 外：Hue 25Y6/2	Ⅱ区1号土坑	
	11	灰土器	坏	胴部片	内：黒粘土質 外：黒粘土質、黒り	内：Hue 75Y6/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅱ区2号土坑	
	12	灰土器	甕	胴部片	内：黒粘土質 外：黒粘土質	内：Hue 75Y3/6 外：Hue 5Y6/1	Ⅱ区1号土坑	内外面自然釉あり
	13	灰土器	甕? 壺?	底辺部片	内：タタキ 外：タタキ	内：Hue 10Y4/1 外：Hue 10Y3/1	Ⅱ区1号土坑	
	14	灰土器	甕	胴部片	内：タタキ 外：タタキ	内：Hue 5YR6/4 外：Hue 5YR6/6	Ⅱ区1号土坑	赤焼
	15	土師器?	甕?	口縁部片	内：黒粘土質 外：黒粘土質	内：Hue 75YR7/6 外：Hue 75YR6/6	Ⅱ区2号土坑	
	16	鉄器	鉄 刀 鍔	長さ 16.0 幅 2.4 厚さ 0.65	一部欠損	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅱ区1号土坑

V 本莊中地区の調査

1. 医学部基礎研究棟（A棟）とりこわし工事に伴う発掘調査（1106調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査区は、研究棟の上屋と基礎の撤去および周辺整備にともなう発掘調査である。撤去する建物は昭和33年に建設され、地下室を有することから、建物基礎の上部まで地表下約1.6mがすでに削平されている。ただし、南側に隣接する0314調査地点において、基礎間に旧地表面が残存し、複数の溝やピットが確認されているため、本調査区においても遺物や遺構が確認される可能性があった。撤去建物はコンクリート基礎によって東西方向に26スパン、南北方向に2もしくは3スパンで構築されている。東側から順に文化財の確認を行った結果、基礎上部の高さから約20cm前後下（地表下1.6m）で、基礎間に地山を確認した。表面の精査をおこなったところ、ピット状の落ち込みを確認したため、熊本市文化財課に許可を得た後に、発掘調査に切り替えて調査を実施した。また、建物周辺においては、東から10・11スパンの建物北側の看板移設場所においても調査をおこなった。発掘調査の総面積は1,156.0㎡である。

b. 調査の経過

- 2011年10月17日 建物内部基礎間の埋土を東側から掘削開始。
- 2011年11月1日 遺構面検出。
- 2011年11月4日 作業員を投入し発掘調査開始。東半部で遺構面掘削。写真撮影。遺構測量。
- 2011年11月21日 西半部の掘削開始。遺構面検出。
- 2011年11月24日 作業員を導入し遺構面掘削。溝、ピットを検出し掘削。
- 2011年11月25日 写真撮影。遺構測量。
- 2011年12月9日 建物外周部北側の看板移設箇所の掘削。
- 2011年12月14日 看板移設先をさらに深く掘削する必要が生じ、掘削開始。ピット検出し掘削。写真撮影。発掘調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：古川昌代・柴田達子・松永一代

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

建物基礎撤去における掘削は、すべて建物建設の際の埋土内で行ったため、地表から約1.6mまでが建物建設の際の埋土で、それ以下が地山である。北東隅において建物外周部の掘削を行った際、地表から0.7mが現代埋土で、さらに0.5mが遺物包含層、それより下の地表下1.2mで地山を確認することができた。

1. 医学部基礎研究棟（A棟）とりこわし工事に伴う発掘調査（1106調査地点）

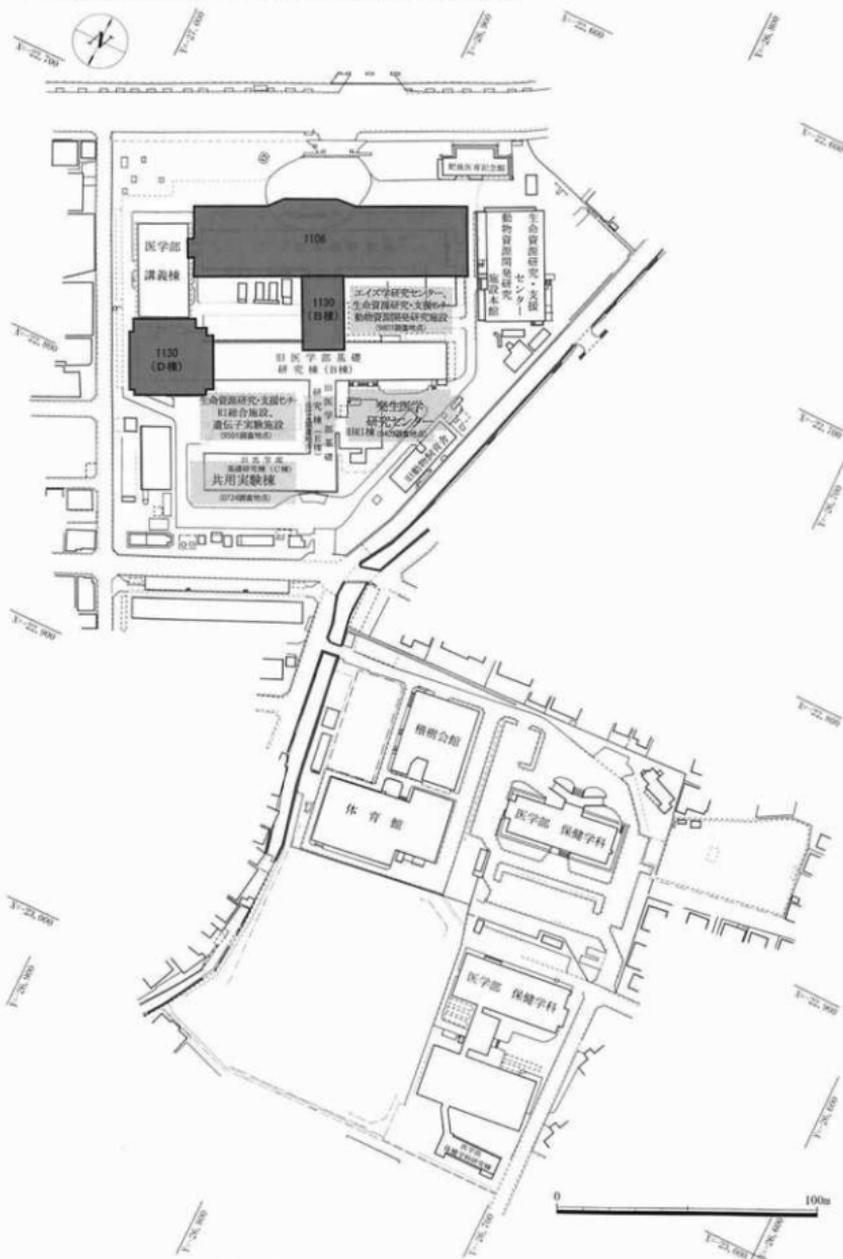


図58 本荘中地区における調査地点配置図（1/2000）

(3) 検出遺構**<溝> (図60)****1号溝**

東から9スパン南側の北東隅で、ほぼ東西方向の溝を確認した。幅0.8m、深さ0.15mを測る。やや粘性を帯びる砂質土の覆土を完掘した結果、底部は畝状に凹凸をなす形状であった。溝本来の立ち上がり部分はすでに削平され、底部のみが残存したものと考えられる。遺物は確認されなかった。

2号溝

東から20スパンの北側で、北西-南東方向に延びる溝を確認した。南側の立ち上がりは基礎の掘り方で削平されているため幅は不明である。覆土より瓦や須恵器の壺の破片が出土している。近世の溝ではないかと考えられる。

3号溝

東から21-23スパン南側で北東-南西に延びる溝を確認した。溝内部と考えられる部分はすべて砂層で、ほぼ溝の底まで掘削を受けている状態だと思われる。遺物は出土していない。

<土坑・ピット>

調査区内で土坑3基とピット19基を確認した。土坑は0.3×0.5mや0.5×0.8mの不整形なもので、ピットは径0.15-0.35m、深さ0.1-0.3mのもので、10・12号ピットのみから土師器片が出土している。

(4) 出土遺物**2号溝出土遺物 (図61: 2・4・5)**

図61: 2は須恵器の壺と考えられる胴部の破片である。図61: 4は平瓦の破片で、近世のものと考えられる。図61: 5は涼炉の支え部分の破片と考えられるものである。

包含層出土遺物 (図61: 1・3・6)

図61: 1は土師器の高杯の胴部破片で、弥生末-古墳時代初頭の様相を呈するものである。図61: 3は壺の口縁部破片である。図61: 6は全体的に表面に磨きの痕跡が認められたため磨り石とした。

(5) まとめ

本調査区においても、0314調査地点同様に既存建物の基礎間に溝やピットが残存するのを確認することができた。調査区南東隅において、9801調査地点で検出された溝の続きが残存するのではと期待されたが、既存建物の掘削深度が深かったためか検出することはできなかった。

なお本調査区周辺、特に調査区北側などの過去に建物が建設されていない場所では、地表下0.7m前後で遺物包含層や遺構面が検出される可能性があるため、今後の整備や工事においては注意が必要である。

出土遺物については、網田龍生氏、檀佳克氏、原田範昭氏、増田直人氏（以上、熊本市教育委員会文化振興課）に御教示をいただいた。記して厚く感謝申し上げます。

1. 医学部基礎研究棟 (A棟) とりこわし工事に伴う発掘調査 (1106調査地点)

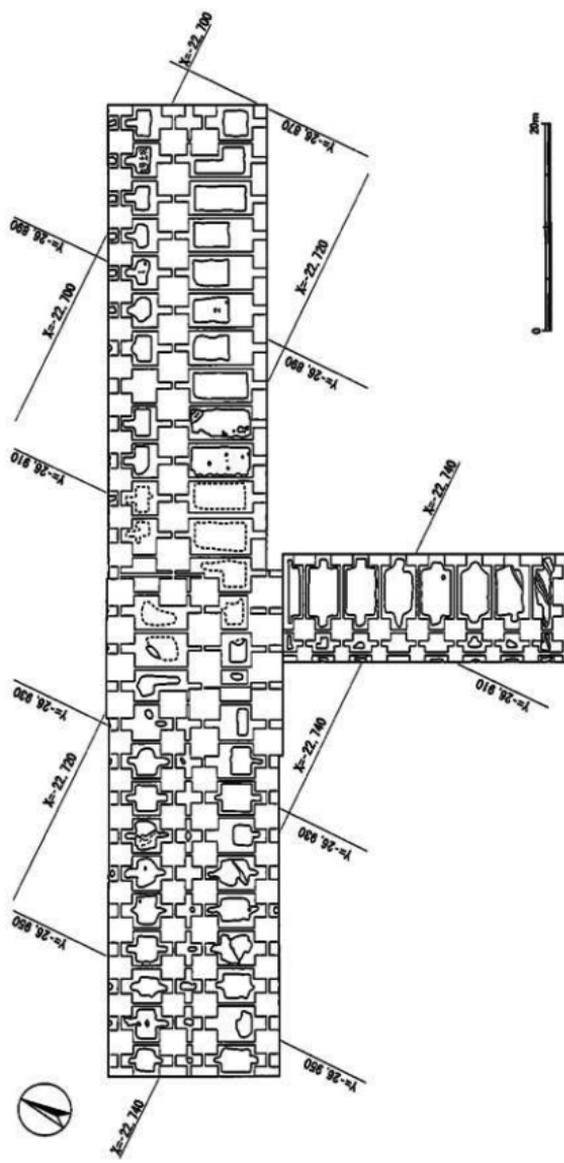


図59 1106・1130調査地点遺構配置図 (1/500)

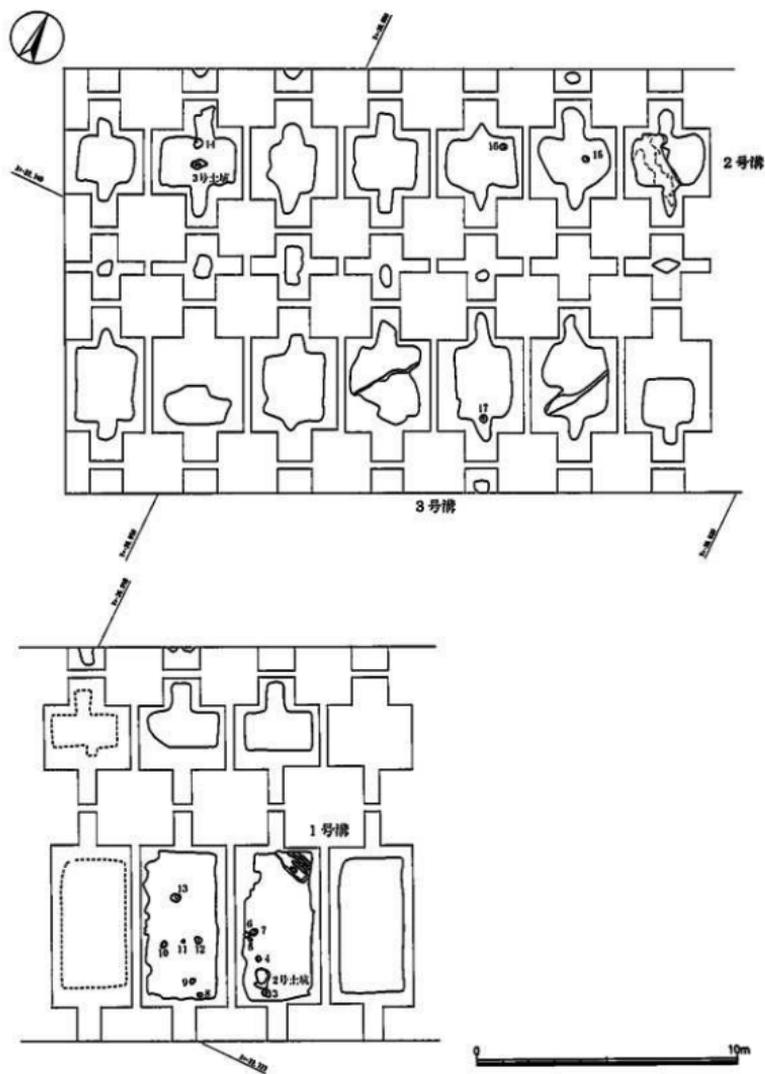


図60 1106調査地点透視配置図 (1/200)

1. 医学部基礎研究棟（A棟）とりこわし工事に伴う発掘調査（1106調査地点）



図61 1106調査地点出土遺物実測図（1/4）

表17 1106調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(図録)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土状況	備 考
61	1	土器器	高 坏	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR7/3 外：Hue 10YR7/3	建物外周北側看板新設箇所	
	2	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：タタキ 外：タタキ	内：Hue 2.5Y5-1 外：Hue 10YR5/3	2号溝（北側の東から20スパン目）	
	3	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/1 外：Hue 7.5YR6/1	建物外周北側看板新設箇所	
	4	須恵器	瓦?	口径 底径 器高	破 片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR5/2 外：Hue 7.5Y7/1	2号溝（北側の東から20スパン目）	
	5	土器器	塗 鉢	口径 底径 器高	支えのみ	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 2YR6/6	2号溝（北側の東から20スパン目）	
	6	石 器	磨り石	長さ 30.8 幅 4.9 厚さ 3.7		内： 外：	内：Hue 外：Hue	南側の東から1スパン目	重量458g 全体的に磨きあり

2. 医学部基礎研究棟（B・D棟）とりこわし工事に伴う発掘調査（1130調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査区は、医学部基礎研究棟 B・D 棟とりこわしに伴う発掘調査である。B 棟西端部分は建設時にすべて包含層が掘削されており、遺構・遺物ともに確認することができなかったが、D 棟部分においては、建物基礎間に地山の残存を確認できたため、遺構の検出が期待された。北側から順に掘削を開始し、南端に溝を検出したため、熊本市文化財課に許可を得た後に発掘調査に切り替えて調査を実施した。発掘調査の総面積は448.0㎡である。

b. 調査の経過

2012年1月24日 ビットおよび溝を確認。発掘調査開始。
 2012年1月26日 遺構検出および順次掘り下げ。溝セクション図作成。写真撮影。測量。
 2012年1月27日 さらに西側の掘削。溝のつづき検出。遺構掘り下げ。写真撮影。測量。
 発掘調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子
 事務担当：村田知聖
 発掘作業員：なし
 整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山岸早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

本調査区においては、東側と南側の基礎は残し、さらに外側の掘削は行っていない。また、北側はすでに A 棟建設時に削平されており、西側についても掘り方内での掘削であったため、基本層序は地表下から溝の立ち上がり検出された面（地表下約1.6m）まではすべて現代埋土である。

（3）検出遺構

<溝>

1号溝（図62）

北から7・8スパンにおいて北東-南西方向に延びる溝を確認した。幅3.3m、深さ0.35mを測る。溝の覆土を掘り上げた底部分は、中央付近がやや盛り上がった畝状を呈する。もともとはさらに深い溝であったと推測されるが、上部は削平によって失われ、溝の底部のみが確認できたものである。覆土より、土師器の甕、須恵器の壺などの土器とウシの歯（上顎左右の臼歯）及び四肢骨が出土している。近世から近代の溝と考えられる。

<土坑>

北から5スパンの南東隅で、0.4×0.7mの土坑を1基確認したが、遺物は出土していない。

（4）出土遺物

1号溝出土遺物（図62：1～7）

図62：1と2は土師器で、1は甕の口縁部破片である。2は甕と考えられる口縁部破片で、外面に流水文が刻まれている。図62：3～6は須恵器である。3は坏で、古墳時代に相当する特徴を有するものである。4は措鉢の底部で、赤焼けのものである。5と6は甕の胴部破片であり、近世のものと考えられる。ウシの歯は上顎左右の臼歯で、左は第3前臼歯から第3後臼歯までの5本、右は第4前臼歯から第3後臼歯の4本が確認できたが、これら以外の破片もあることから、頭蓋骨が溝に埋没し、遊離歯のみが残存した1個体分であると考えられる。また、四肢骨骨幹部の破片も出土しているが、部位は不明である。

（5）まとめ

本調査区においても、1106調査地点同様に基礎間に遺構面が残されていた。検出された1号溝は、その位置と方向から判断して、9511調査地点の30号溝（近世初期の遺物を含む）と9801調査地点の3号溝（19世紀後半以降）に連続するものと理解することができる。1106調査地点および1130調査地点のD棟（B棟西側部分は重機による掘削と考えられる）は、手掘りによって掘削して構築された建物であり、このような古い建物においては地下室を有するものであっても基礎間に遺構面が残存している可能性が高いことが示された。

出土遺物については、網田龍生氏、檀佳克氏、原田範昭氏、増田直人氏（以上、熊本市教育委員会文化振興課）に御教示をいただいた。記して厚く感謝申し上げます。

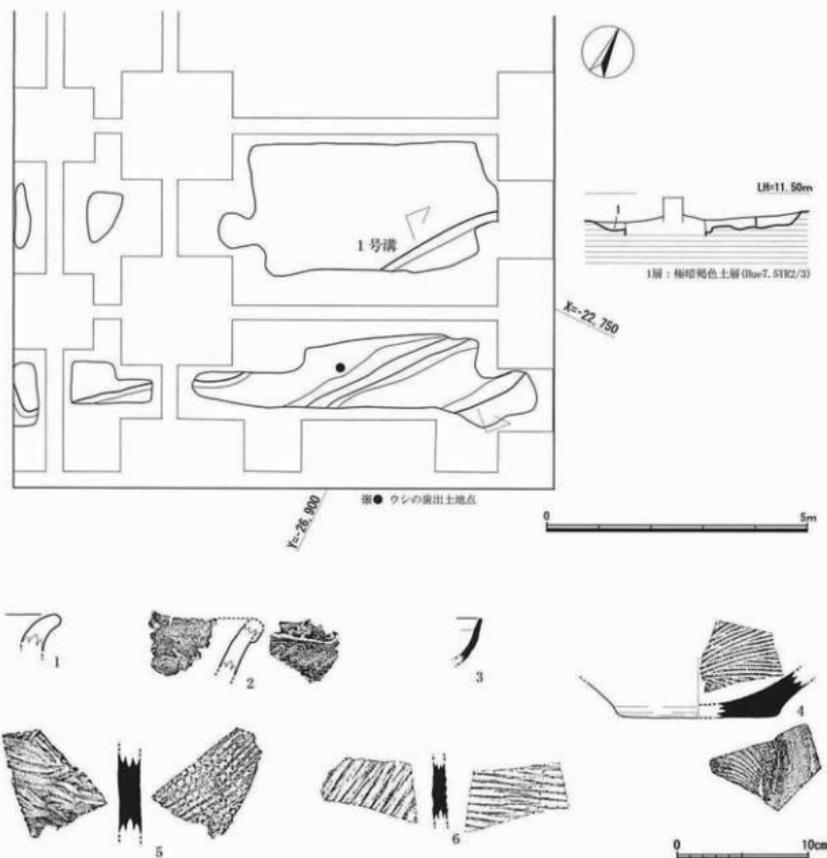


図62 1130調査地点道構配置図・出土物実測図 (1/100・1/4)

表18 1130調査地点出土遺物一覧表

図番号	遺物	種類(部種)	法量 (cm)	現存量	特徴	色調	出土道構	備考
62	1	土師器	甕	口縁部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hae 7.5YR5/4 外: Hae 7.5YR4/3	1号溝	
	2	土師器	壺?	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hae 5Y6/1 外: Hae 5Y6/1	1号溝	外面流木文
	3	須恵器	杯	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hae 7.5Y5/1 外: 回転ナデ	1号溝	
	4	須恵器	すり鉢	底部片	内: ナリ目 外: ナデ	内: Hae 7.5YR7/6 外: Hae 7.5YR6/6	1号溝	赤地
	5	須恵器	壺	胴部片	内: ナデ 外: ナデキ	内: Hae 7.5Y5/1 外: Hae 7.5Y6/1	1号溝	
	6	須恵器	壺	胴部片	内: ナデキ 外: ナデキ	内: Hae 5Y6/1 外: Hae 5Y6/1	1号溝	
	7	動物骨	ウシ歯(離歯)		内: 外:	内: Hae 外: Hae	1号溝	上顎左 P' ~ M' 上顎右 P' ~ M'

※番号7は写真のみ掲載

VI 大江地区の調査

1. 北門周辺環境整備（植栽・外灯）工事に伴う発掘調査（1125調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査区は、大江地区である薬学部北門周辺における植栽や外灯などの環境整備工事に伴う発掘調査である。12月19日、立会調査を実施した結果、植栽3ヶ所、外灯撤去および新設各1ヶ所の工事掘削面積19.5㎡のうち、外灯新設箇所地地表下1.55mにおいて溝状の遺構を確認した。このため、熊本市文化財課に連絡し、発掘調査の許可を得たのちに、発掘調査に切り替えて12月20日に発掘調査を実施した。その結果、南北方向に延びる溝の西方の立ち上がりを検出した。その他の地点においては、すべて埋土内の掘削であった。発掘調査の総面積は6.4㎡である。

b. 調査の経過

2011年12月20日 調査開始。溝状遺構検出、順次掘り下げ。写真撮影、測量。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：石丸恵利子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古岡満代・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山岸早苗・奥嶺友紀也

（2）調査区の基本層序

調査区の基本土層は、北側壁セクションで地表から0.35mは表土（1層）、1.55mまでが暗い褐色土層（2層：Hue10YR 4/2）、その下部にはややオリブ色を帯びた暗い灰褐色土層（3層：Hue5Y 3/1）が、0.4m程の厚さで堆積している。3層が溝の覆土に相当する。

（3）検出遺構

<溝>

1号溝（図64）

外灯新設箇所の東西2.8m、南北2.3mの調査区内において、クスノキの根を撤去した下部において、南北方向に延びる断面逆台形の溝の西方の立ち上がりを確認した。立ち上がり上面は、調査区のほぼ中央に位置する。東方の立ち上がりは調査区外であるため、溝の幅は不明である。溝の深さは約0.6mを測る。布目瓦と敲石が、溝の底部で出土しており、古代以降の遺構と考えられる。

（4）出土遺物

1号溝出土遺物（図64：1・2）

図64：1は、古代のものと考えられる丸瓦（布目瓦）である。表面はナデにより丁寧に調整され、割れ目部分で、約3cm単位での粘土紐の積み上げの状態が観察できる。また、裏面全体に布目の痕が認められるが、端部（実測図下方）に布が縦じ合わされた部分の模様を観察することができる（写

1. 北門周辺環境整備（植栽・外灯）工事に伴う発掘調査（1125調査地点）

真図版71：1）。図64：2は敲石とした。細かな敲打の痕跡は観察できていないが、円礫の一部が強い衝撃により剥離したものである。表面は部分的に光沢がある。そのほか、溝の覆土から土師器の要と思われる胴部の破片が2点出土している。

(5) まとめ

大江地区では、これまで掘削深度の深い大規模な調査は行われていないが、既設建造物の修理や改修などにもなう立会・発掘調査によって、約0.5～1.4mで包含層および地山が検出されることが明らかになっている。本調査区西側の0906調査地点（薬学部薬フロンティアセンター新営その他工事に伴う立会調査）では、地表下0.9mで水田土（時期は不明）が検出され、本調査区南側の0718調査地点（薬学部本館耐震改修工事にともなう発掘調査）では、地表下1.4m前後で南北方向に走る幅約2mで深さ0.35mの溝が確認されている。本調査区で検出された1号溝の位置と方向から、0718調査地点で確認された溝へとつながる可能性がある。また、今回の調査は非常に狭小な範囲であったが、溝の検出や瓦の出土によって、当調査区周辺に人が暮らした痕跡が残されていることを明らかにすることができた。大江遺跡群は、熊本市内でも有数の大規模で貴重な古代を中心とした遺跡群であり、大江地区（薬学部地区）は、その南西端に位置する。大江地区における生活の様相を知るために、今後の周辺調査に期待したい。

布目瓦については、金田一精氏（熊本市教育委員会文化振興課）に御教示をいただいた。記して厚く感謝申し上げます。

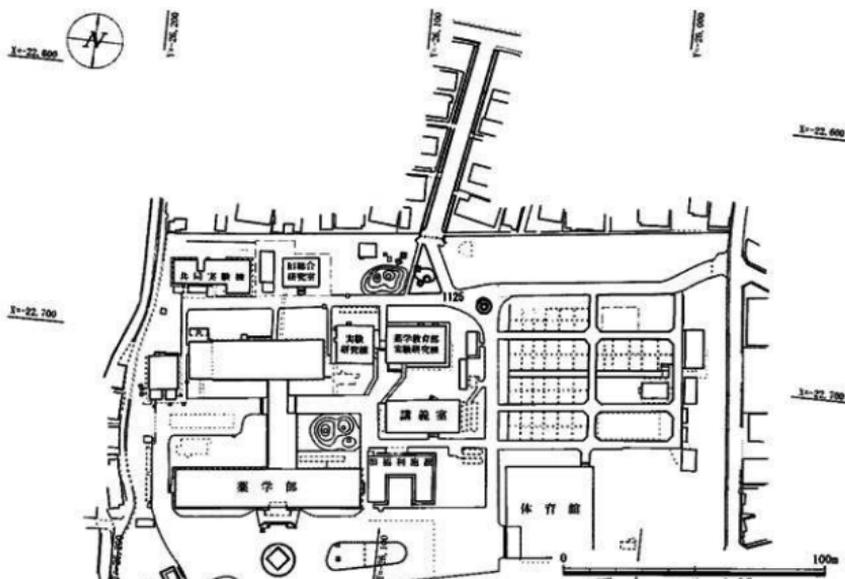


図63 大江地区（薬学部）における調査地点配置図（1/2000）

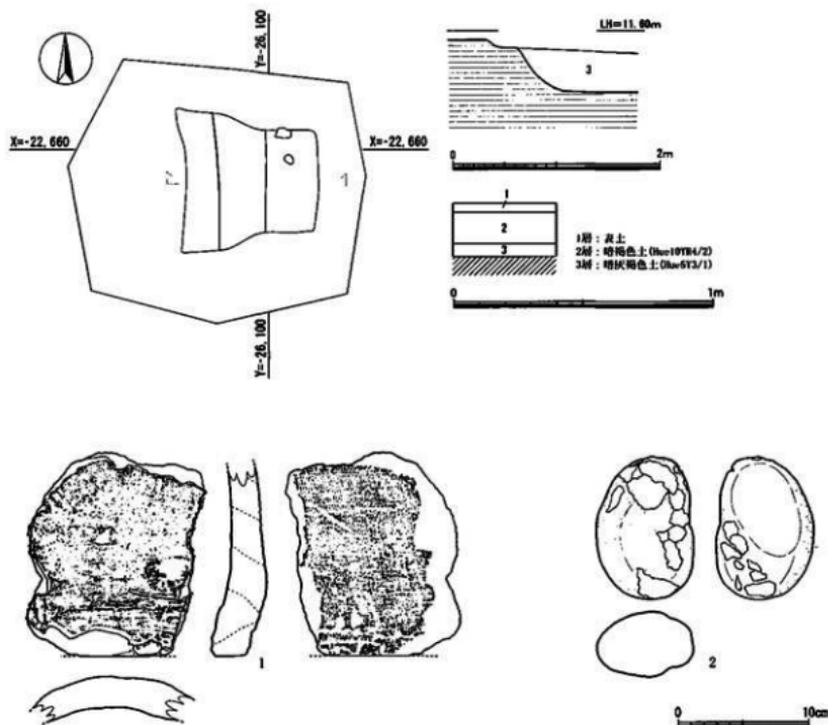


図64 1125調査地点遺構配置図・基本土層柱状模式図・出土物実測図 (1/50・1/20・1/4)

表19 1125調査地点出土物一覧表

面	番号	遺物	種類(部材)	法量 (cm)	形状	特徴	色	出土位置	備考
64	1	瓦	半瓦	長さ 15.65 幅 13.45 厚さ 3.1	破片	内: 赤土 外: 赤土	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y6/1	1号溝	
	2	石器	砥石?	長さ 10.9 幅 7.5 厚さ 5.0	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	1号溝	重量533g 一部破損

写 真 图 版



写真1 作業風景（北東より）



写真2 道路部分完掘状況（南より）

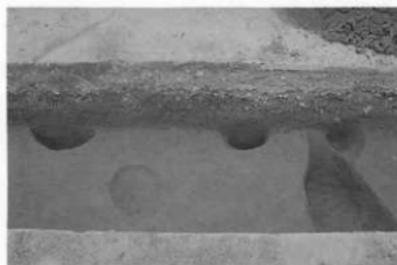


写真3 道路部分完掘状況（東より）



写真4 資料館緑地帯掘削状況（北より）



1



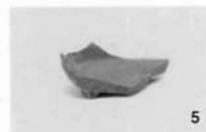
2



3



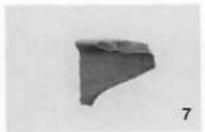
4



5



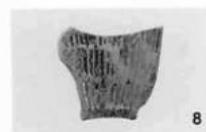
6



7



8



8



写真5 作業風景（北東より）



写真6 トレンチ1掘削状況（西より）



写真7 1号竪穴住居址掘削状況（南より）



写真8 トレンチ3溝状遺構掘削状況（東より）

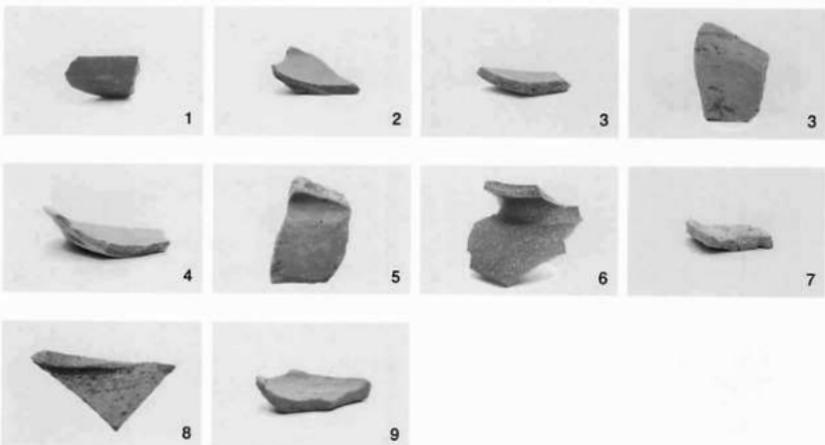




写真9 作業風景 (西より)



写真10 竈粘土検出状況 (南より)



写真11 2号竈穴住居址掘削状況 (東より)



写真12 2号竈穴住居址遺物出土状況 (東より)



写真13 調査区完掘状況 (北より)



写真14 調査区南壁土層断面（北西より）



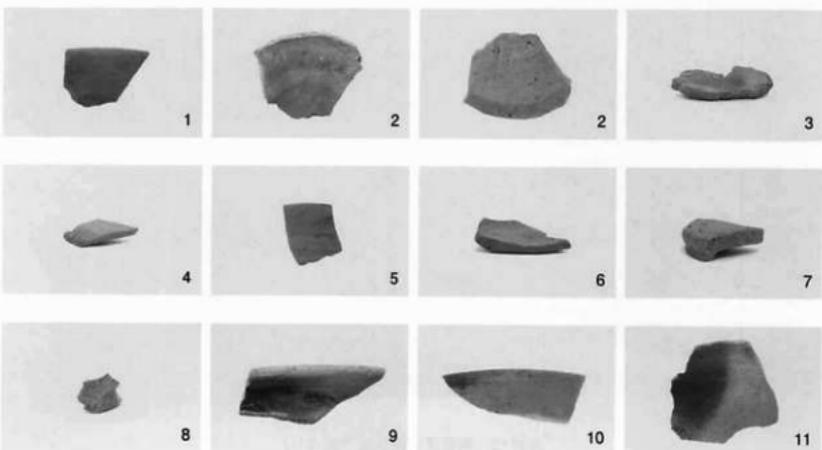
写真15 宮緑研究室学生見学



写真16 見学の様子（北東より）



写真17 測量体験の様子（北西より）



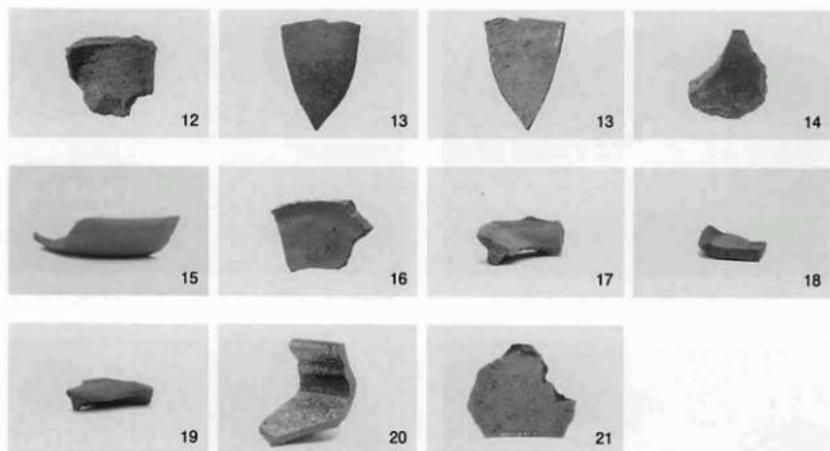




写真18 II-①掘削後の状況(南東より)



写真19 II-②西端ピット掘り下げ後の状況(東より)



写真20 II区③掘削風景(北西より)



写真21 II区③地山検出面(北より)



写真22 甕棺墓半截状況(北より)



写真23 II区③作業風景(東より)



写真24 II区③甕棺掘り上げ後の状況(北より)



写真25 II区③南壁セクション(北より)



写真26 II区④完掘状況(北より)



写真27 II区⑤-1調査区全景(北より)



写真28 II区⑤-2遺構完掘状況(西より)



写真29 II区⑥-1作業風景(南より)



写真30 II区⑥-2第4スパン遺構面上面(北より)



写真31 II区⑥-3第5スパン遺構面上面(北より)



写真32 II区⑥-4第6スパン住居址掘削状況(東より)



写真33 II区⑥-5第6スパン掘削状況(北より)



写真34 II区⑥ 掘削状況(南より)



写真35 II区⑥ ピット半截状況(北より)



写真36 II区⑥ 掘削状況(南西より)



写真37 II区⑥ 住居址掘削状況(東より)



写真38 II区⑥-1 作業風景(北より)



写真39 II区13-2 住居址掘削状況 (南東より)



写真40 II区16-1 調査風景 (南より)

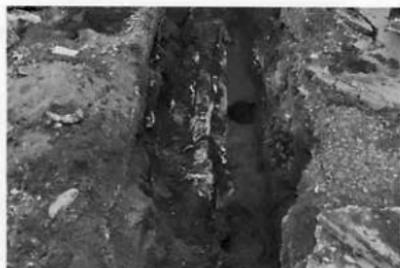


写真41 II区16-2 完掘状況 (西より)



写真42 II区19-1 作業風景 (西より)



写真43 II区19-2 樹1ピット掘削状況 (南より)



写真44 II区19-3 樹2ピット掘削状況 (東より)



写真45 III区2-1 西側全景 (南より)



写真46 III区2-2 溝完掘状況 (南より)

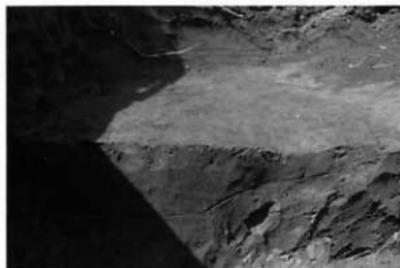


写真47 III区②-3 清土層断面 (南より)



写真48 III区②-4 東側全景 (北より)



写真49 IV区③-1 作業風景 (北より)



写真50 IV区③-2 遺構掘削状況 (南より)



写真51 IV区③-3 中央ビット掘削状況 (西より)



写真52 IV区③ 南半ビット掘削状況 (西より)



写真53 IV区④ 北半部掘削状況 (西より)



写真54 IV区⑥-1 作業風景 (東より)



写真55 IV区⑥ 東西部西部遺構面検出状況(東より)



写真56 IV区⑥-3 東西部西半掘削状況(東より)



写真57 IV区⑥-4 東西部遺構掘削状況(東より)



写真58 IV区⑥-5 東西部遺構掘削状況(北より)



写真59 IV区⑥-6 東西部東端部掘削状況(東より)



写真60 IV区⑦-1 作業風景(東より)



写真61 IV区⑦-2 調査区東半完掘削状況(東より)



写真62 IV区⑦-3 調査区西半完掘削状況(西より)



写真63 N区⑦-4 ビット完掘状況 (南より)



写真64 N区⑧-1 調査風景 (東より)



写真65 N区⑧-2 緑地帯北部完掘状況 (南より)



写真66 N区⑧-3 道路南半完掘状況 (南より)



写真67 N区⑧-4 道路北半完掘状況 (南より)



写真68 N区⑧-5 道路北端完掘状況 (北より)



写真69 N区⑨-1 作業風景 (西より)



写真70 N区⑨-2 ビット完掘状況 (西より)



写真71 M区⑩-1 調査風景 (北より)



写真72 M区⑩-2 第3スパン完掘状況 (北より)



写真73 M区⑩-3 第4スパン完掘状況 (南より)



写真74 M区⑩-4 第6スパン完掘状況 (西より)



写真75 M区⑭-1 作業風景 (南東より)



写真76 M区⑭-2 南北トレンチ完掘状況 (北より)



写真77 M区⑭-3 東西トレンチ東半完掘状況 (東より)



写真78 M区⑭-4 東西トレンチ西半完掘状況 (東より)



写真79 N区⑮-1 作業状況 (第10スパン) (西より)



写真80 N区⑮-2 第10スパンピット1完掘状況 (西より)



写真81 N区⑮-3 第10スパンピット2・3完掘状況 (南より)



写真82 N区⑱-1 作業風景 (第1スパン) (西より)



写真83 N区⑱-2 ピット1完掘状況 (東より)



写真84 N区⑱-3 ピット2完掘状況 (東より)



写真85 N区⑳-1 作業風景 (北より)



写真86 N区⑳-2 第1スパン完掘状況 (南より)



写真87 IV区②-1 作業風景 (北より)



写真88 IV区②-2 第2スパン完掘状況 (北より)



写真89 IV区②-3 第4スパン完掘状況 (西より)



写真90 IV区②-4 第4スパン完掘状況 (北より)



写真91 V区④-1 作業風景 (西より)



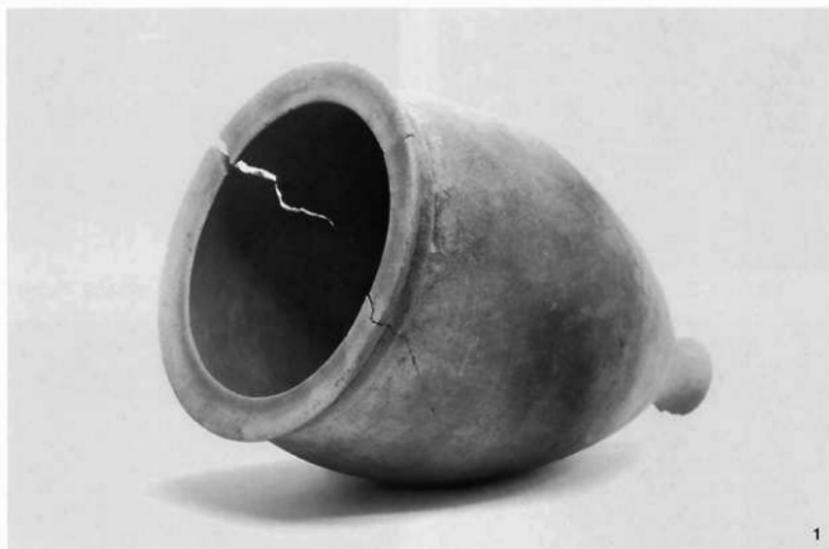
写真92 V区④-2 遺構検出状況 (西より)

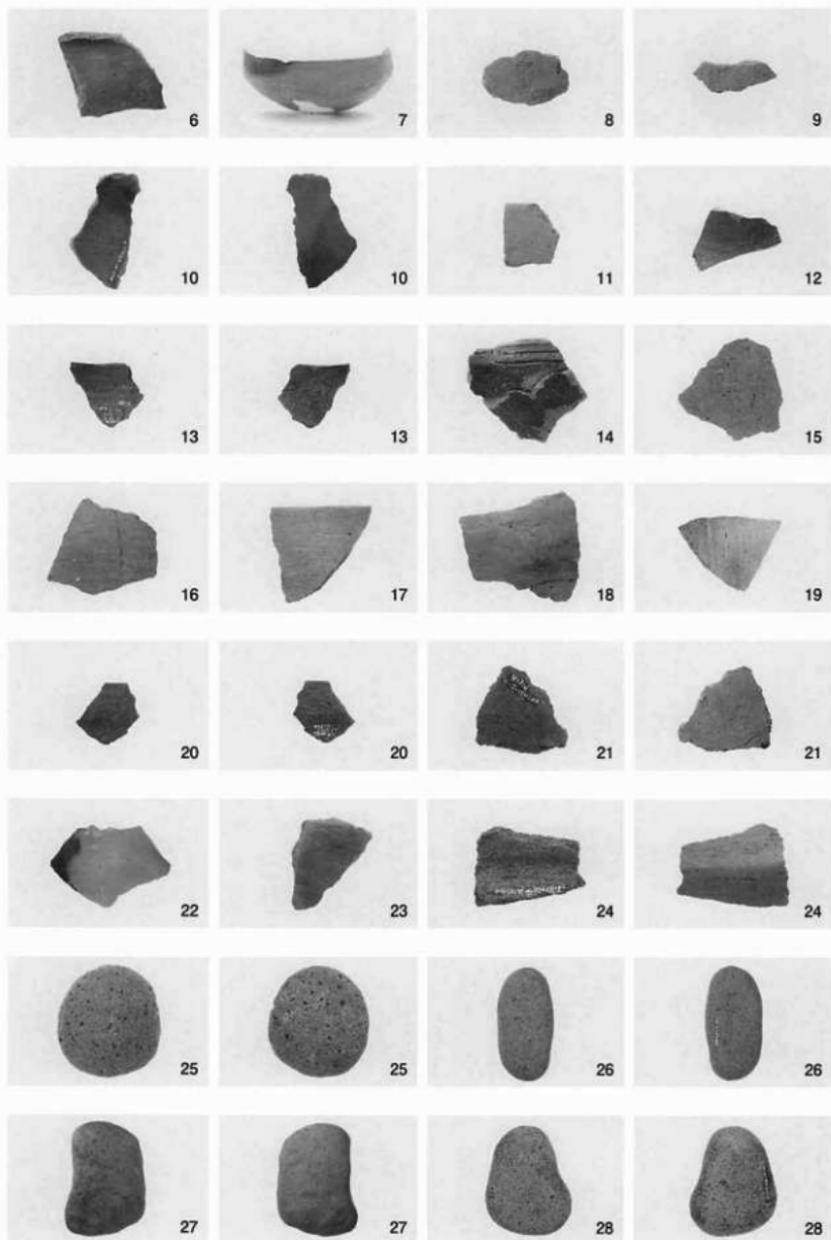


写真93 V区④-3 遺構検出状況 (西より)



写真94 VI区④-1 畑検出状況 (南より)





図版18 1121調査地点出土遺物3





写真95 調査区全景 (北西より)



写真96 調査区全景 (北側) (北東より)



写真97 作業風景



写真98 作業風景



写真99 1号竪穴住居址土層断面(南東より)



写真100 1号竪穴住居址完掘状況(北西より)



写真101 3号竪穴住居址掘削状況(南より)



写真102 59号竪穴住居址土層断面（北西より）



写真103 59号竪穴住居址発掘状況（南東より）



写真104 掘立柱建物（南より）



写真105 作業風景



写真106 92号溝完掘状況（南東より）



写真107 92号溝土層（南東より）



写真108 51号溝遺物出土状況（西より）



写真109 51号溝遺物出土状況（北西より）



写真110 51号溝完掘状況 (西より)



写真111 51号溝遺物出土状況 (北西より)



写真112 51号溝遺物出土状況 (北東より)



写真113 51号溝遺物出土状況 (西より)



写真114 51号溝土層断面 (北東より)



写真115 15号溝敷石検出状況（南東より）



写真116 15号溝断面（北東より）



写真117 15号溝（北西より）

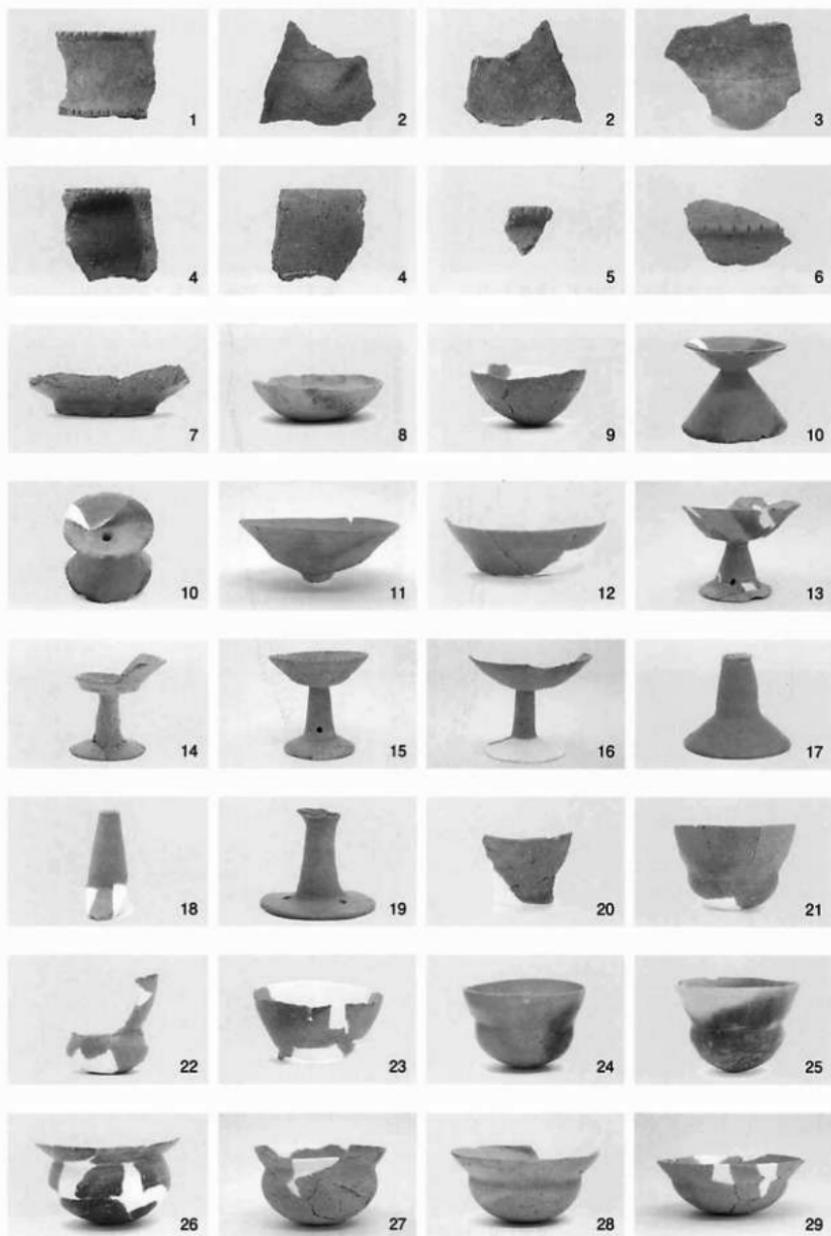


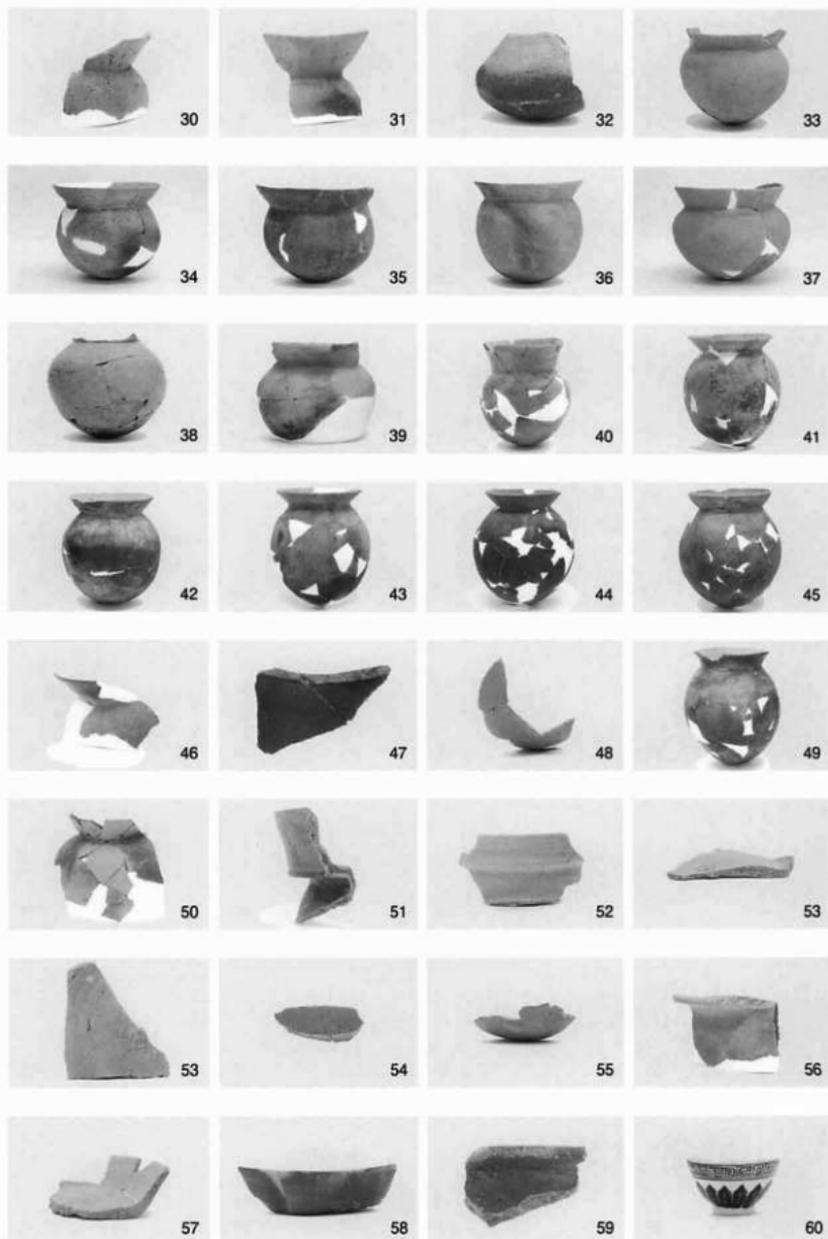
写真118 15号溝完掘状況（南西より）



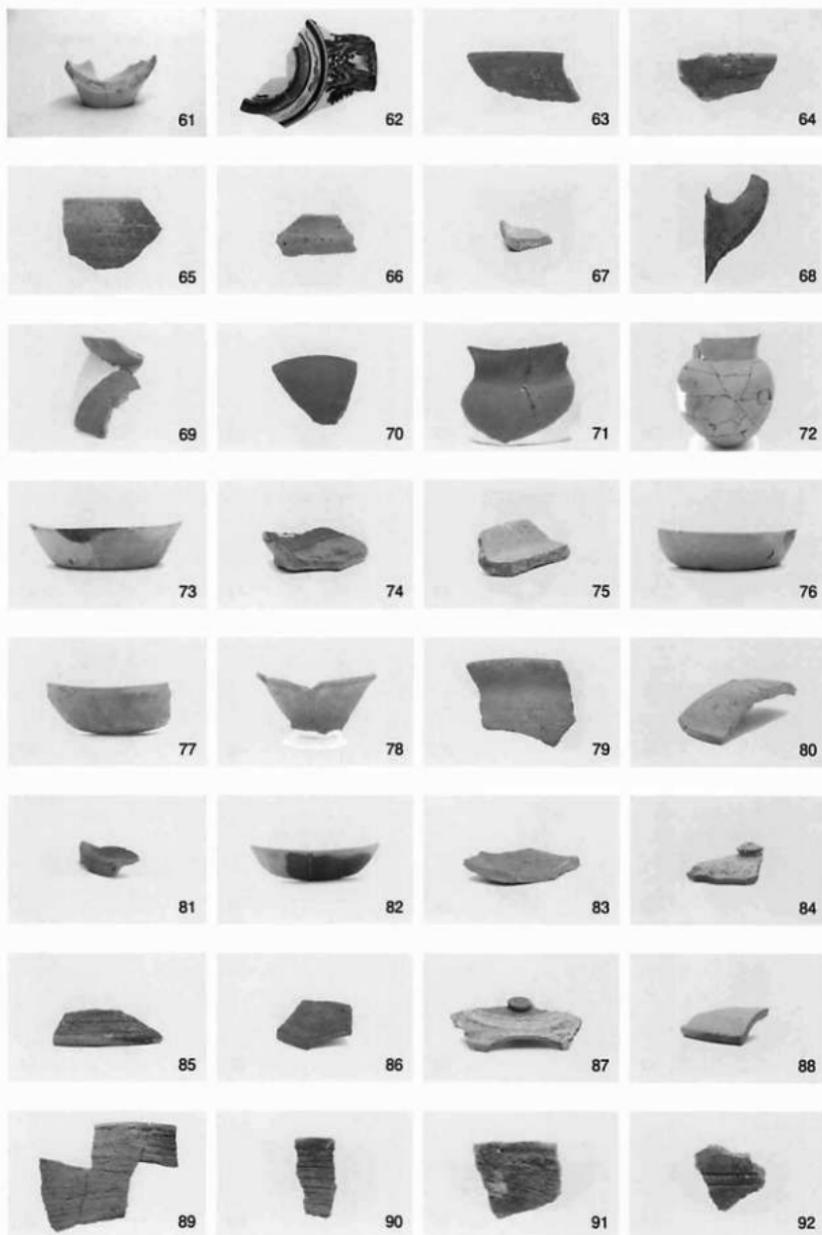
写真119 15号溝全景（北西より）

図版24 0304調査地点出土遺物 1





図版26 0304調査地点出土遺物3



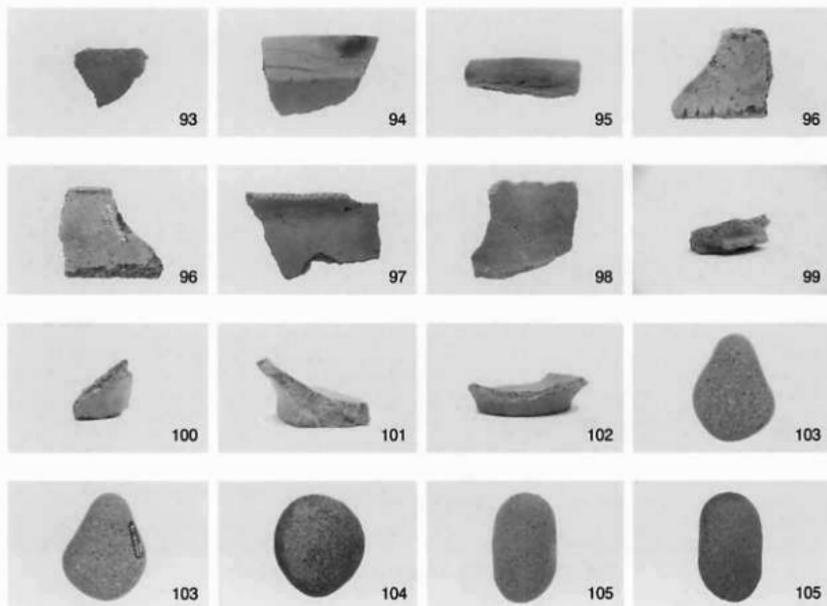




写真120 近代墓掘り上げ後の状況：東側（南より）



写真121 近代墓掘り上げ後の状況：南側（東より）



写真122 近代墓掘り上げ後の状況：中央（東より）



写真123 近代墓掘り上げ後の状況：北側（東より）



写真124 南壁セクション遠景（北東より）



写真125 西壁セクション遠景：南半部（北東より）



写真126 西壁セクション遠景：北半部（南東より）



写真127 北壁セクション遠景（南東より）



写真128 作業風景（東より）



写真129 作業風景



写真130 21・47号墓検出状況（北より）



写真131 278・260号墓周辺検出状況（南より）

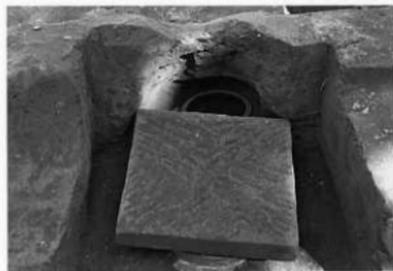


写真132 334・335号墓検出状況（南より）



写真133 334・335・413号墓検出状況(南より)



写真134 100号甕棺(南より)



写真135 231号甕棺埋設状況(南西より)



写真136 100号甕棺に刻まれた文字



写真137 232号甕棺に刻まれた文字



写真138 1号竪穴住居址完掘後状況(南より)



写真139 1号竪穴住居址完掘後状況(北東より)



写真140 1号竪穴住居址竪 (北東より)

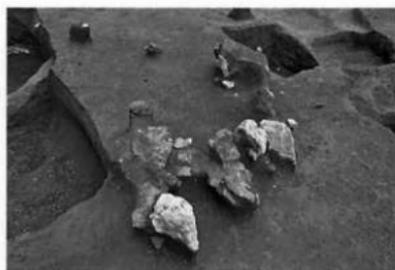


写真141 1号竪穴住居址竪 (南西より)



写真142 1号竪穴住居址完掘後状況:北側(西より)



写真143 1号竪穴住居址完掘後状況:南側(西より)



写真144 2号竪穴住居址上面硬化面検出状況(北西より)

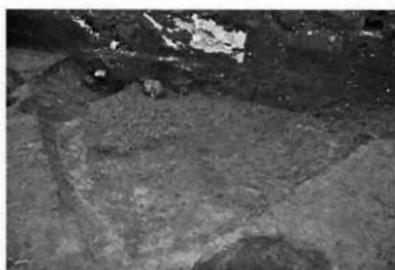


写真145 2号竪穴住居址上面掘り上げ状況(南西より)



写真146 2号竪穴住居址完掘後の状況(南より)

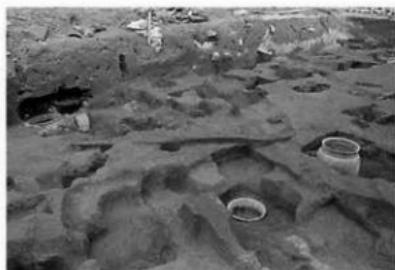


写真147 3号竪穴住居址掘削状況:ベルト残(北西より)



写真148 3号竪穴住居址掘削状況：ベルト残（北東より）



写真149 3号竪穴住居址焼土・粘土塊（西より）



写真150 3号竪穴住居址上面完掘後状況（東より）



写真151 3号竪穴住居址完掘後状況（南より）



写真152 3号竪穴住居址完掘後状況（南東より）



写真153 4号竪穴住居址竈（南より）

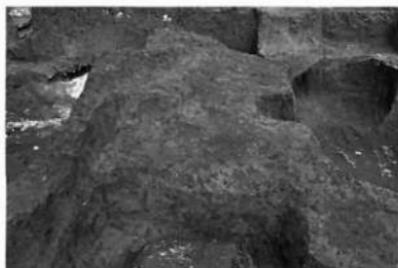


写真154 4号竪穴住居址完掘後の状況：西側立ち上がり（南より）



写真155 4号竪穴住居址完掘後の状況（南東より）



写真156 11号墓 (南より)



写真157 35号墓 (南西より)



写真158 39号墓 (北東より)



写真159 43号墓 (北東より)



写真160 88号墓 (北より)



写真161 128・138号墓 (東より)



写真162 132・144号墓 (南より)



写真163 134・193・168号墓 (東より)



写真164 149号墓六道銭出土状況(南西より)



写真165 151号墓(南より)



写真166 153号墓(北より)

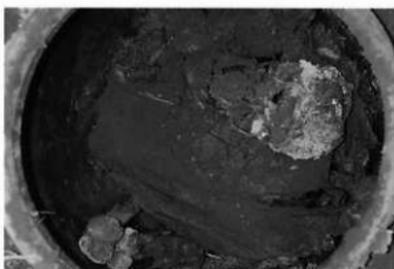


写真167 184号墓(南より)



写真168 192号墓(北より)



写真169 211号墓(西より)



写真170 231号墓(北東より)



写真171 253号墓(西より)

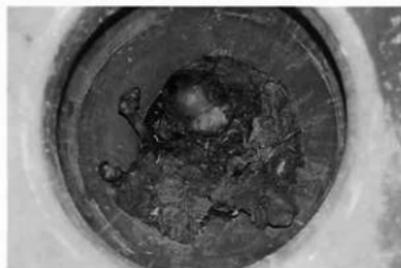


写真172 258号墓 (北より)



写真173 279・280・331号墓 (東より)



写真174 283号墓 (南より)



写真175 287号墓 (西より)



写真176 291号墓 (北より)



写真177 336号墓 (西より)

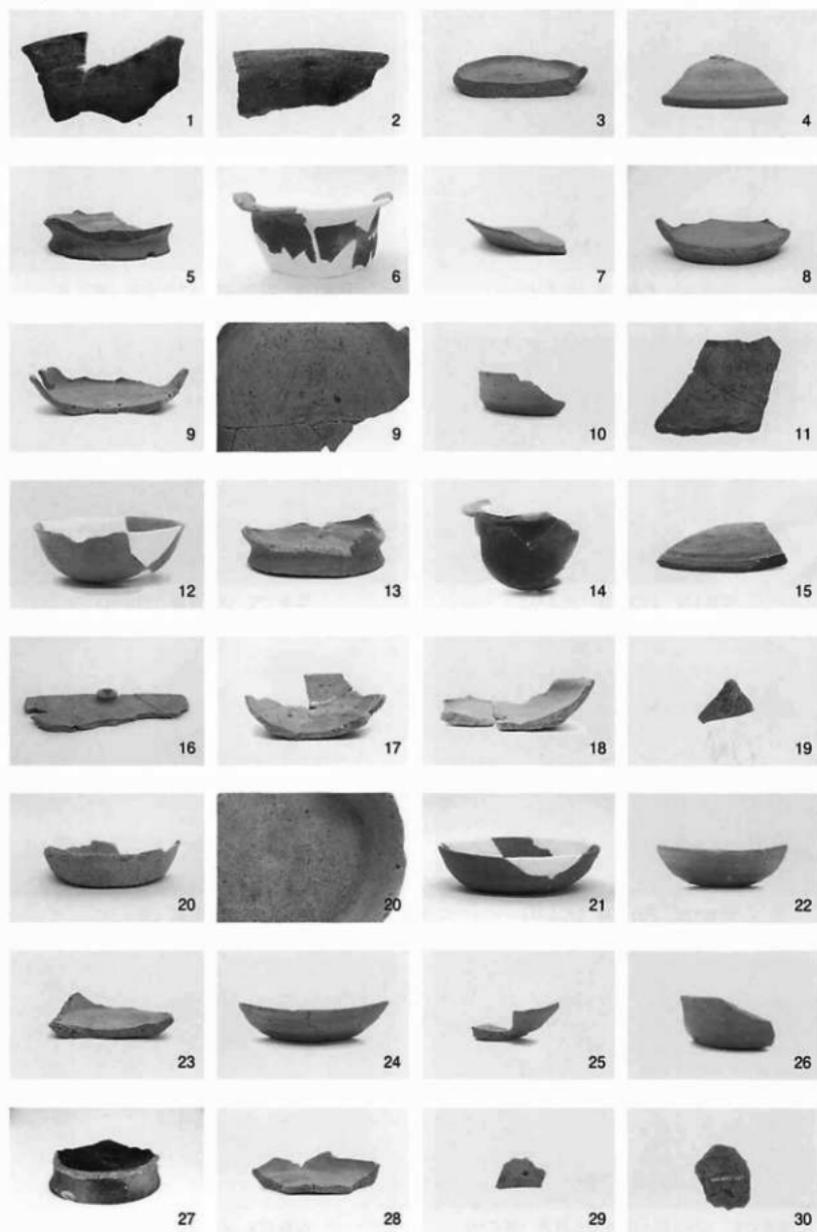


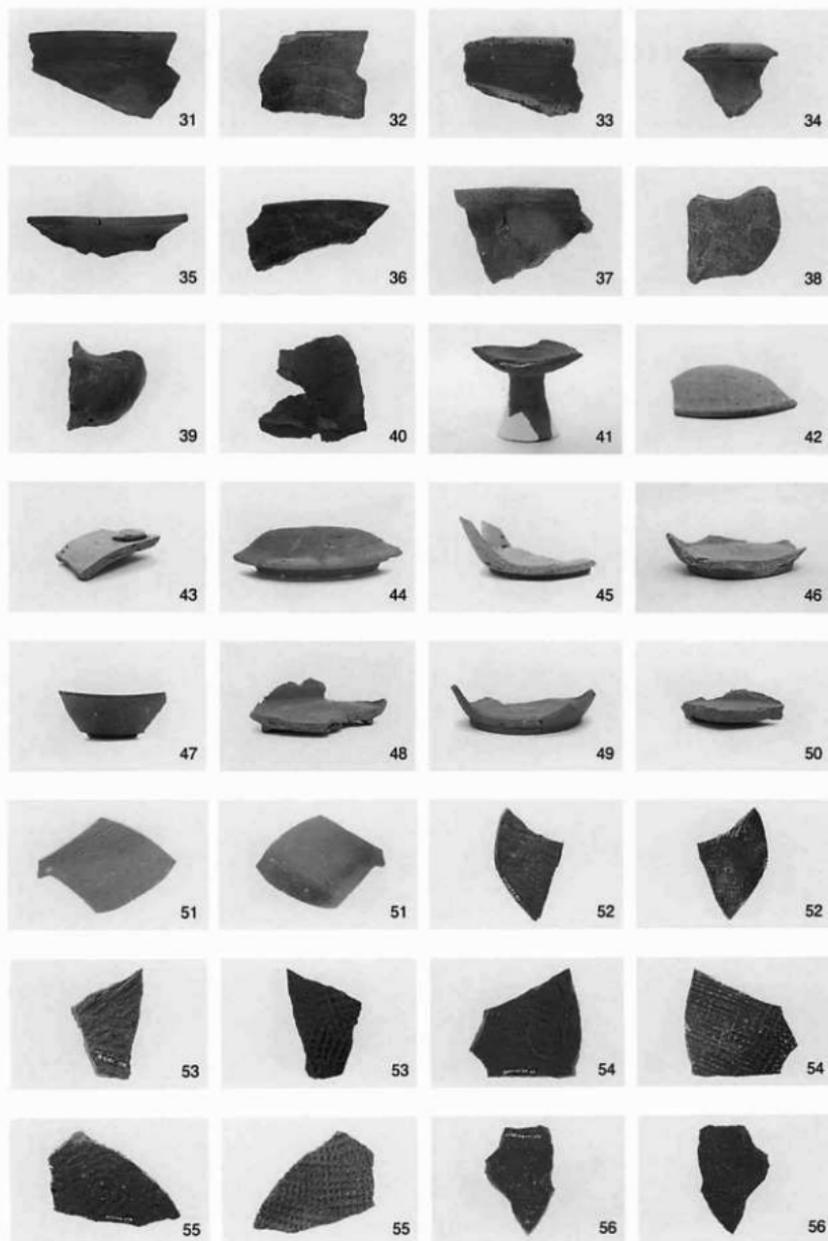
写真178 391号墓六道銭出土状況 (東より)



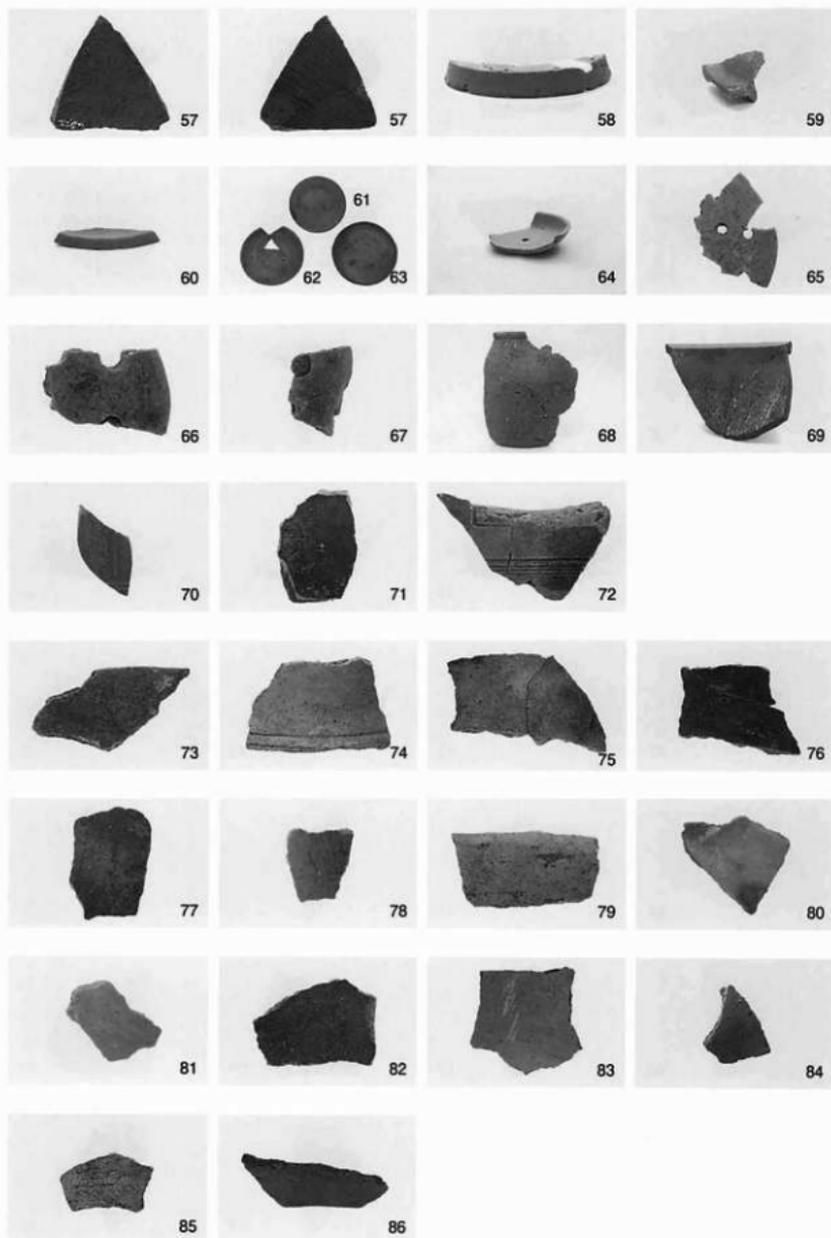
写真179 410号墓 (南より)

図版36 1104調査地点出土遺物 1





图版38 1104调查地点出土遗物3



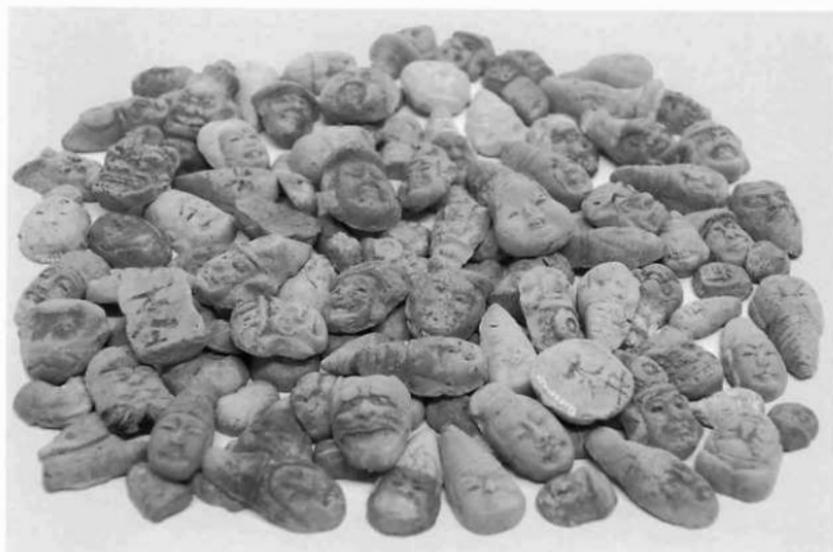
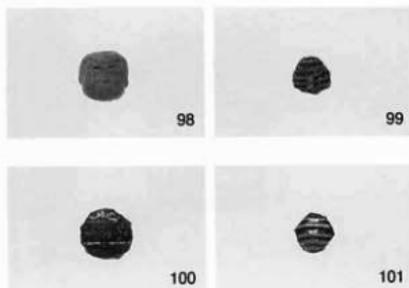
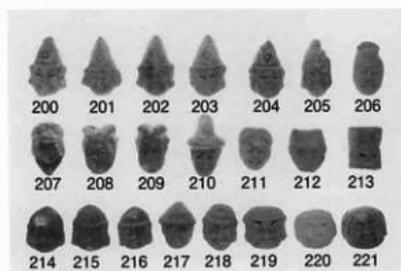
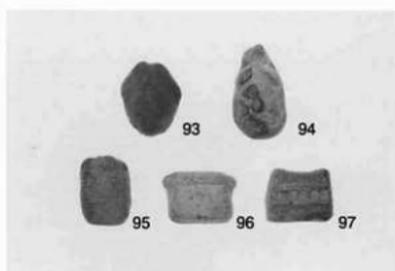
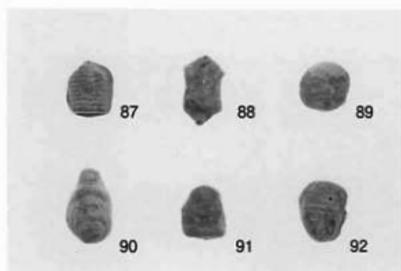
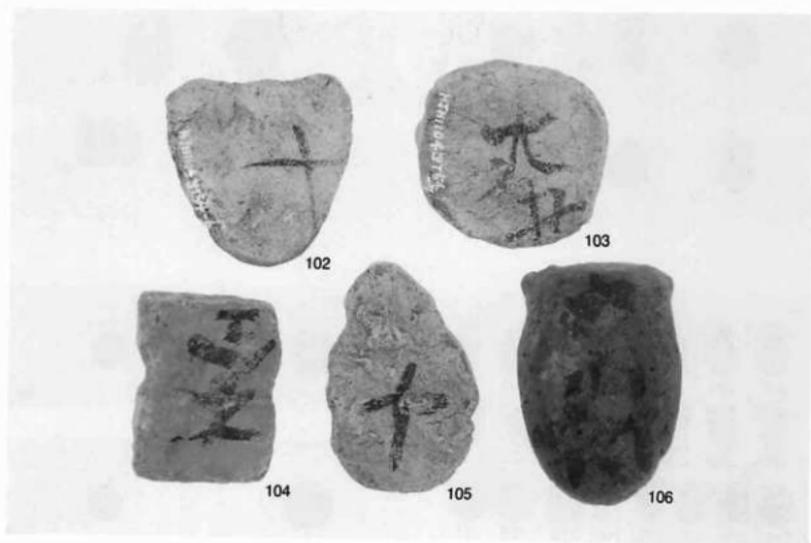
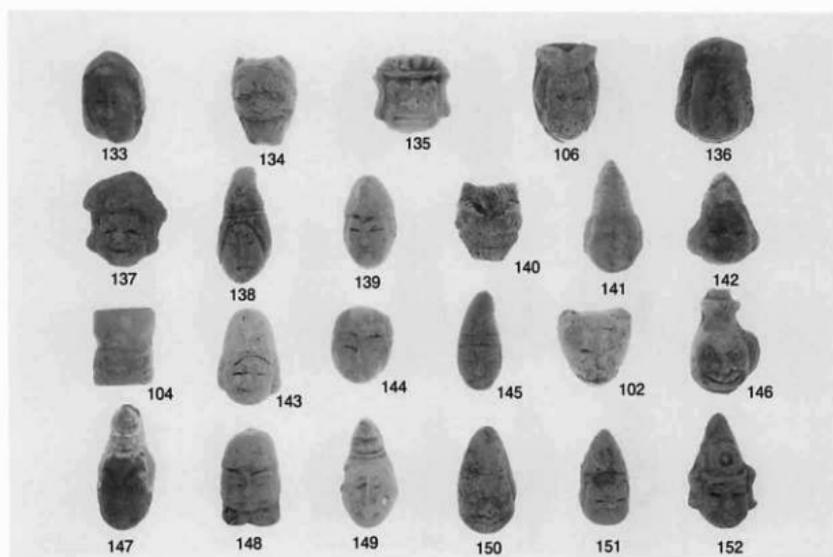
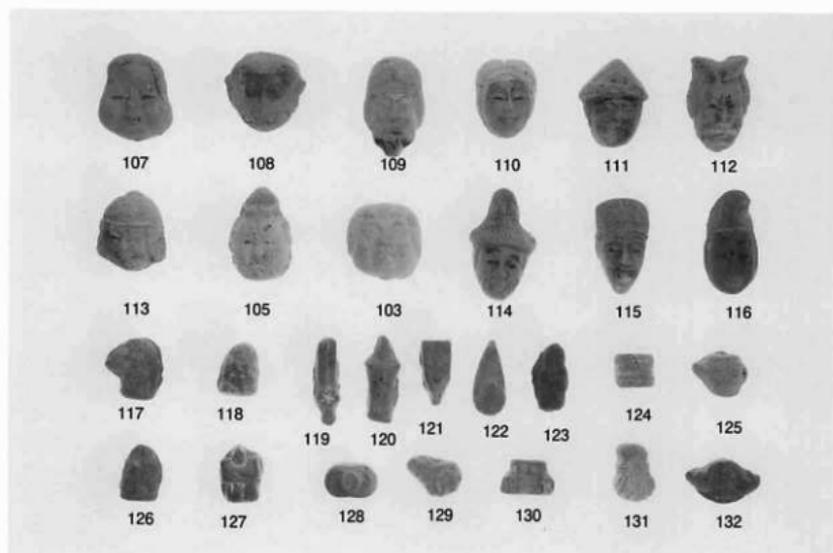


写真180 1104調査地点出土 泥メンコ

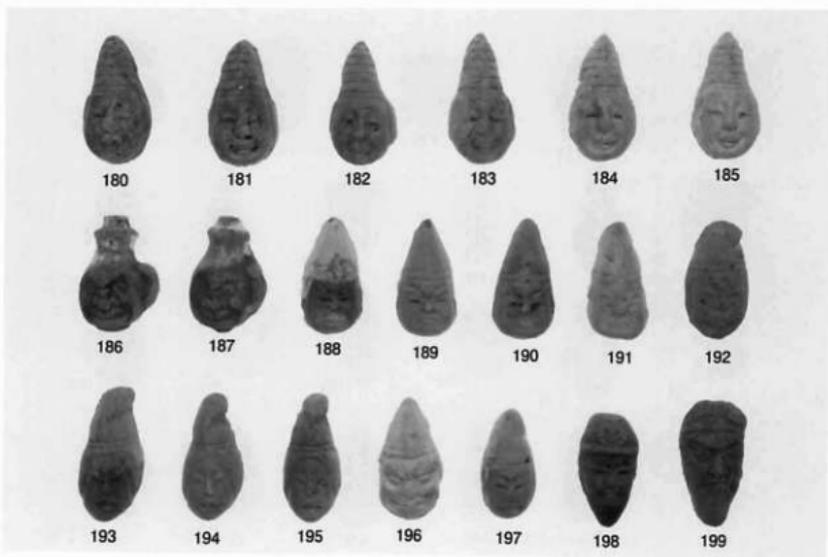


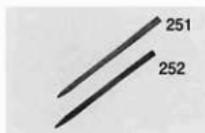
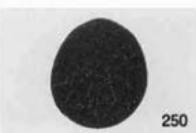
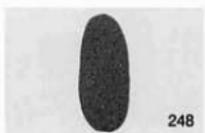
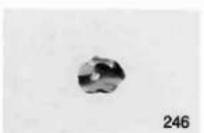
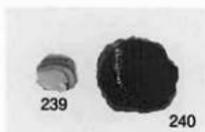
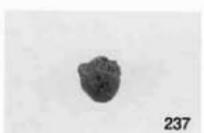
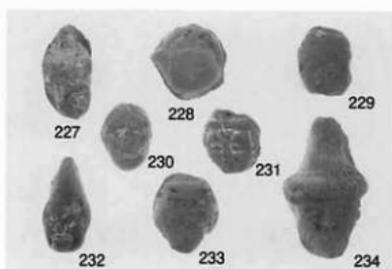
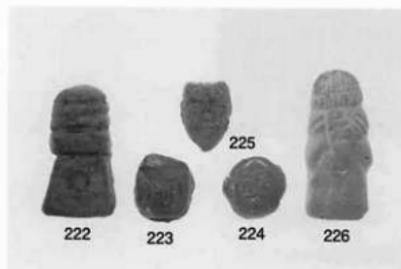
図版40 1104調査地点出土遺物5



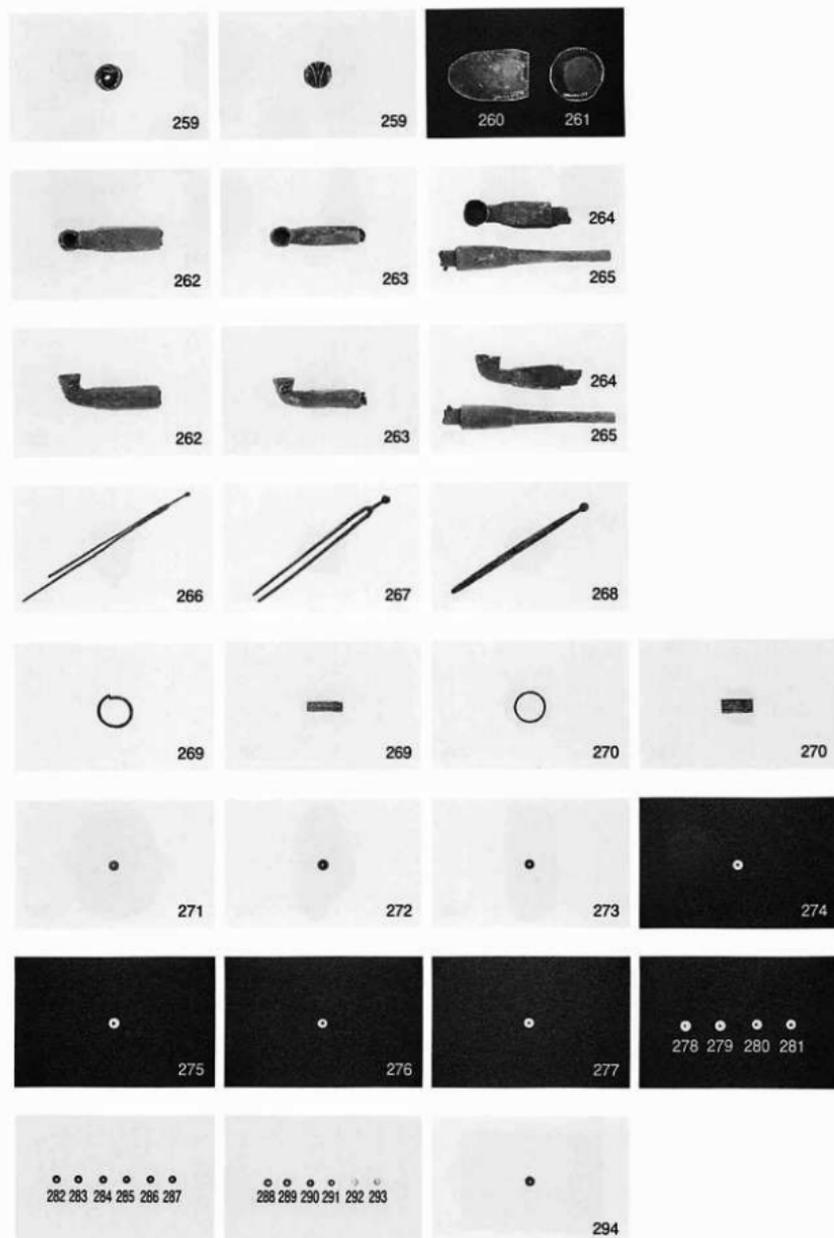


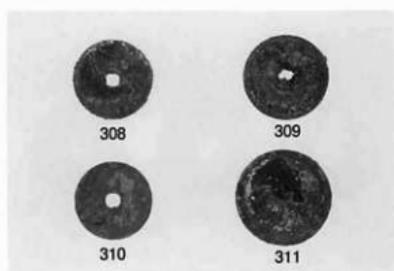
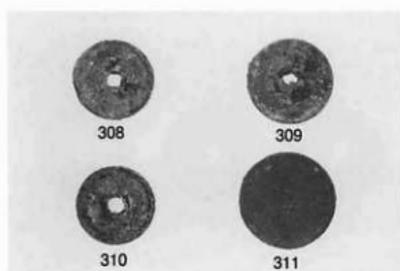
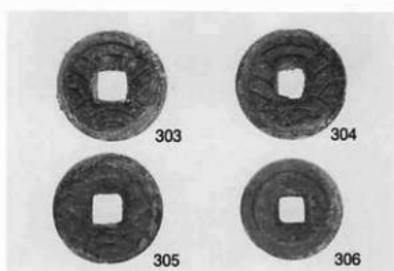
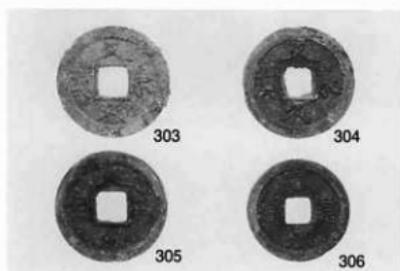
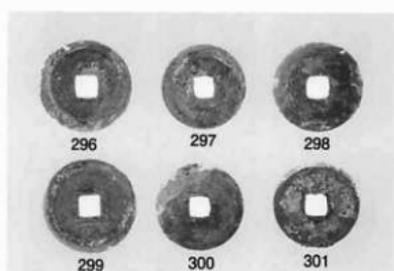
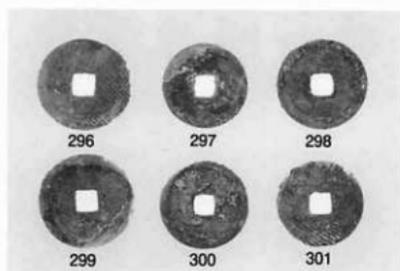
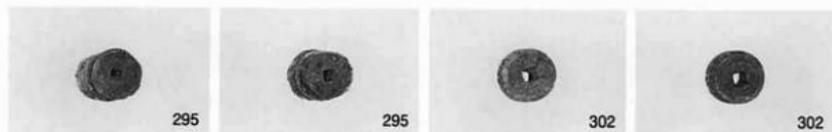
図版42 1104調査地点出土遺物7



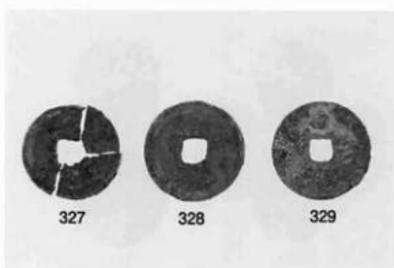
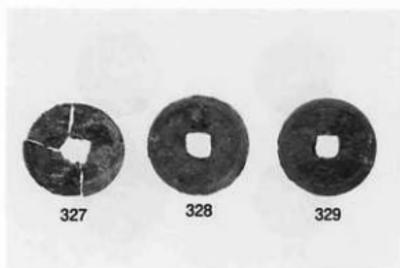
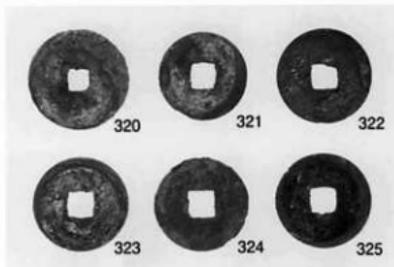
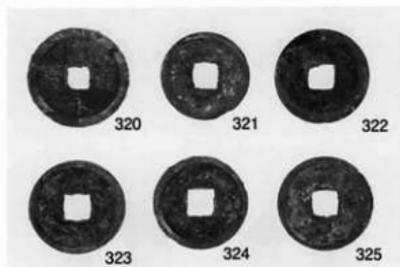
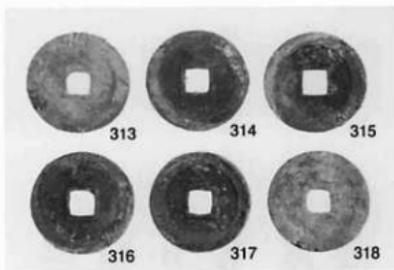
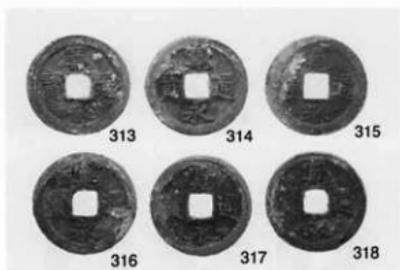


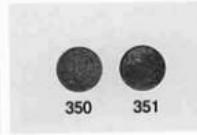
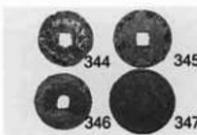
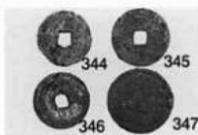
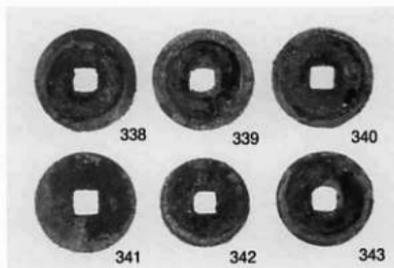
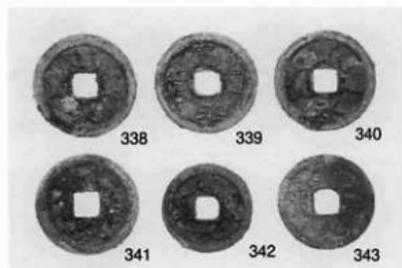
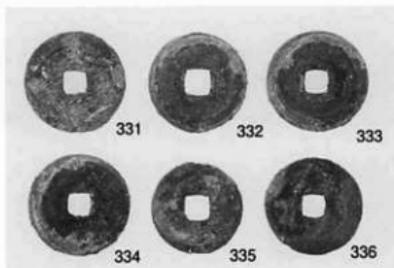
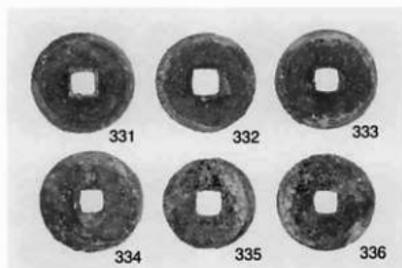
図版44 1104調査地点出土遺物9

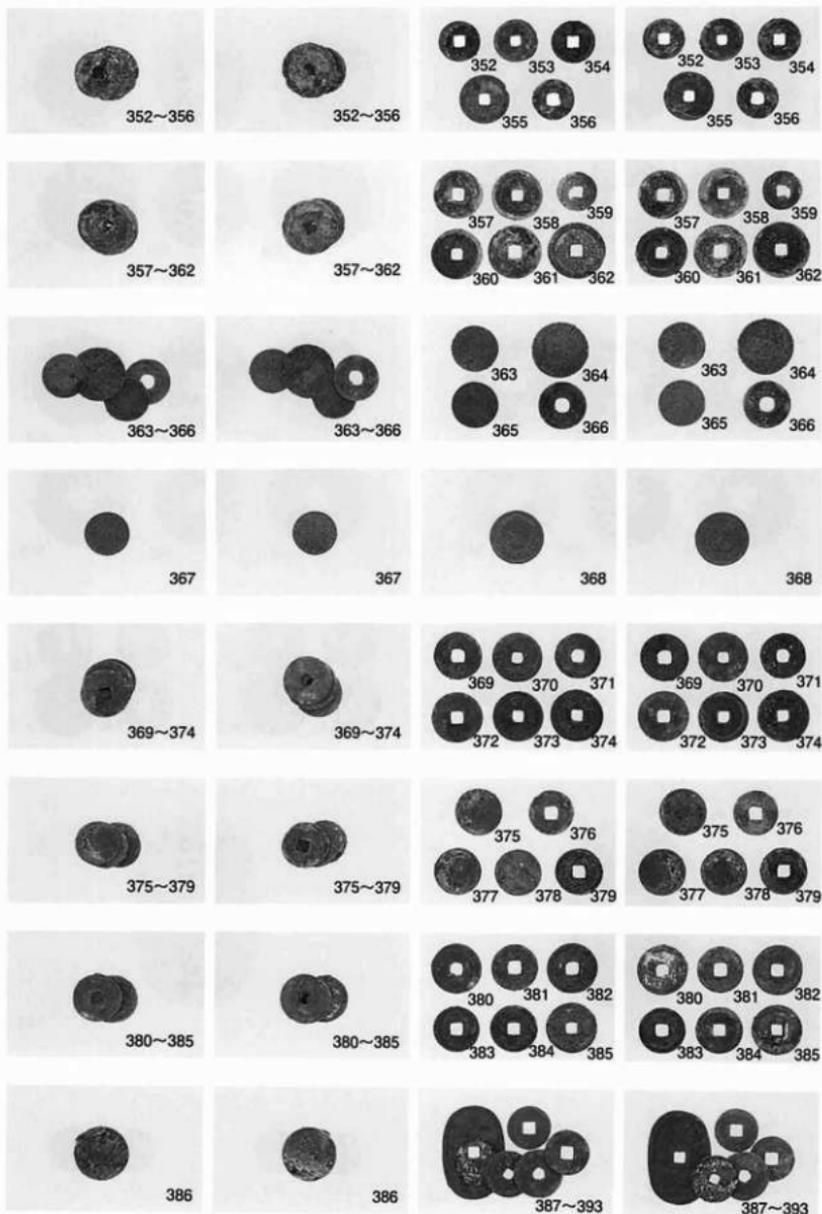


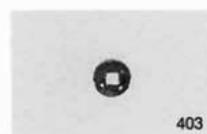
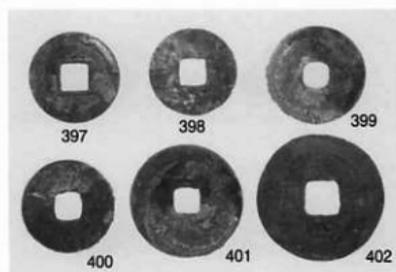
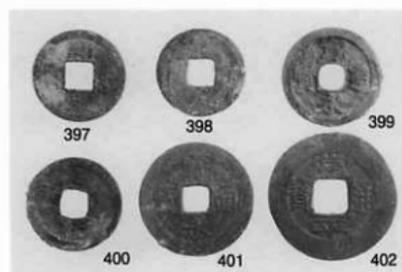
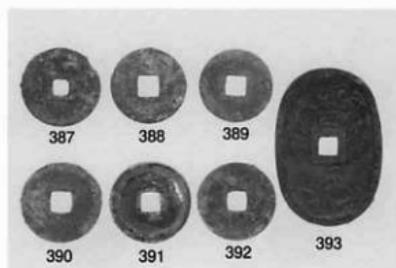
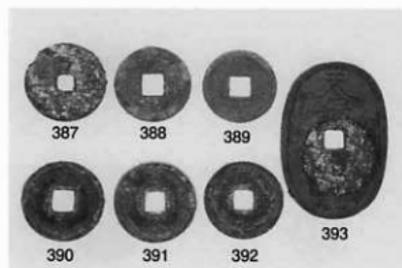


図版46 1104調査地点出土遺物11

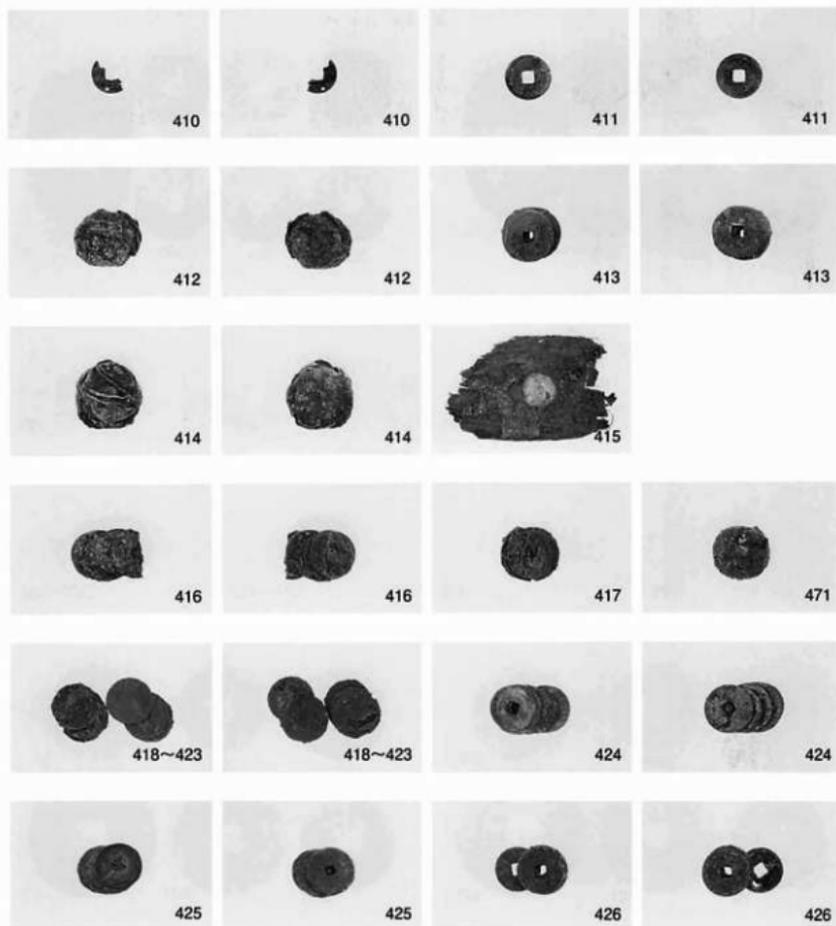




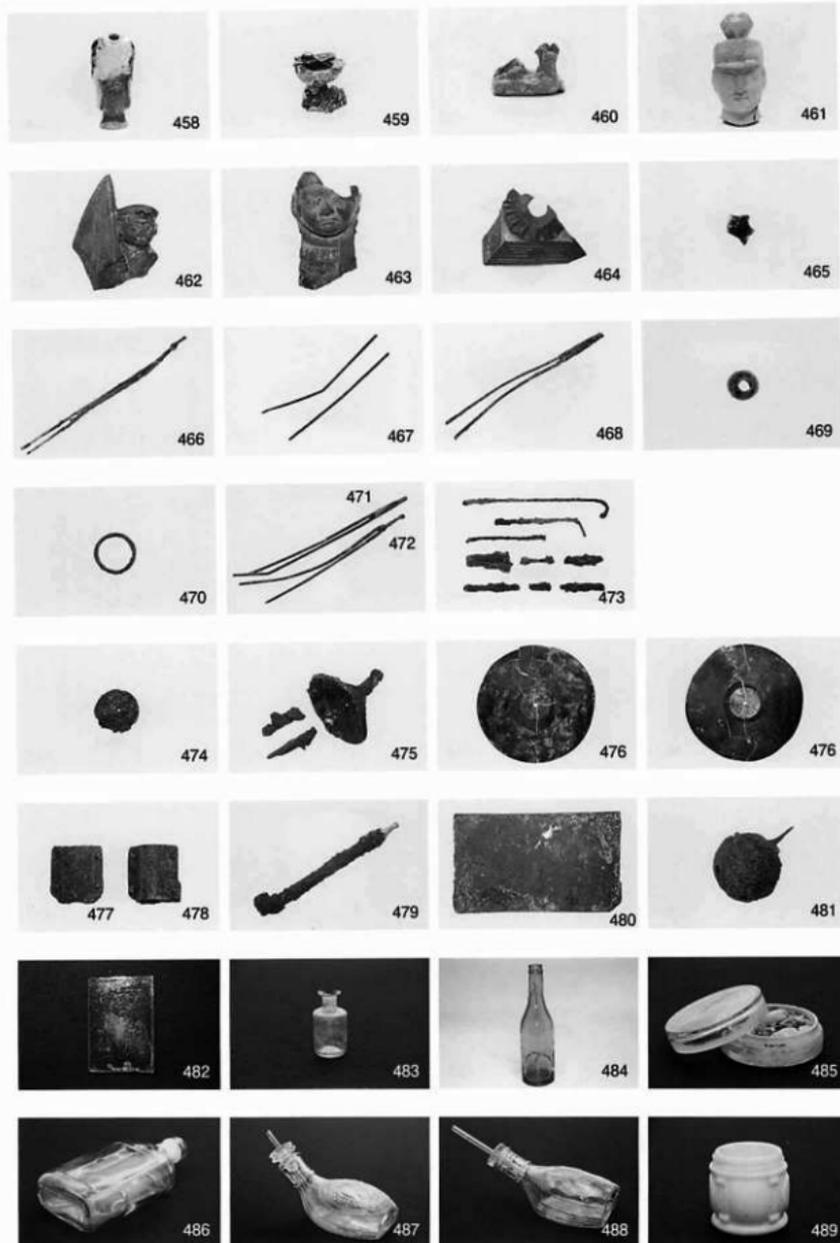


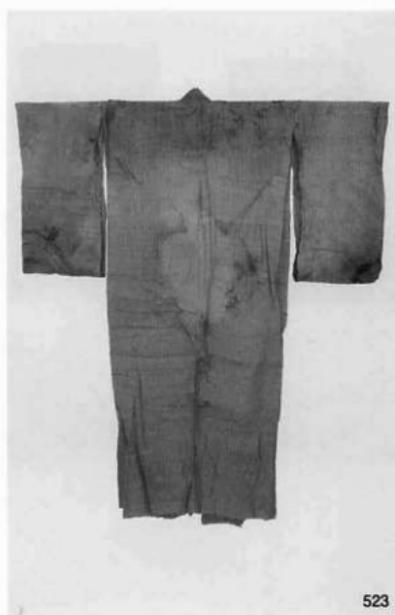
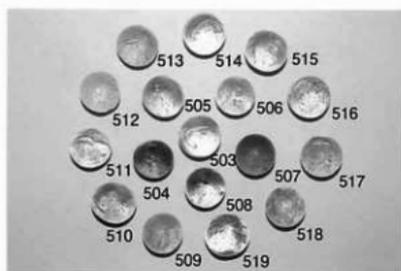
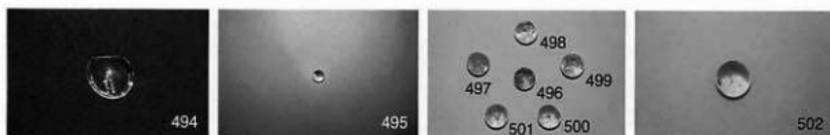
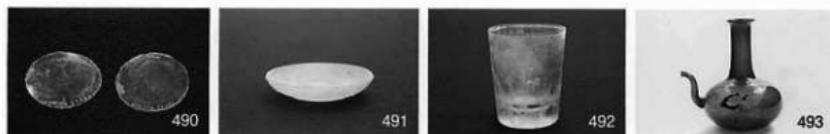


図版50 1104調査地点出土遺物15









图版54 1104調查地点出土遺物19

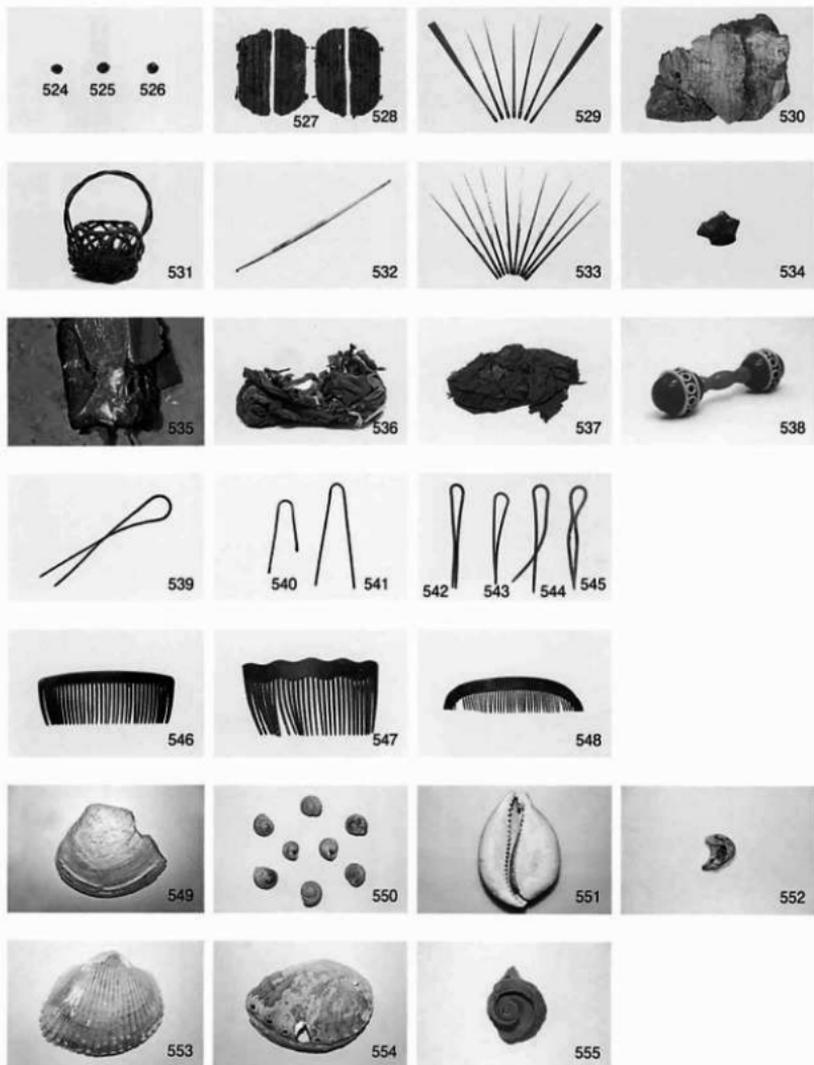




写真181 調査区全景 (北より)

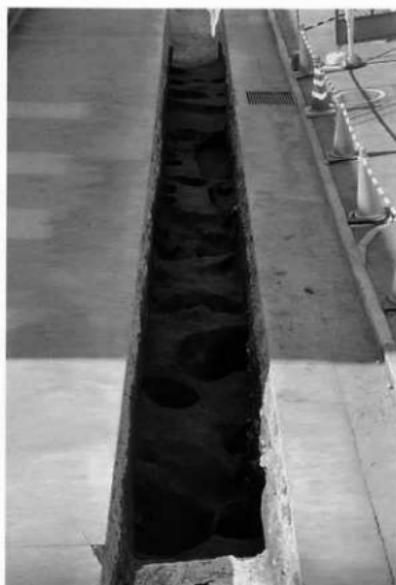


写真182 調査区全景 (南より)

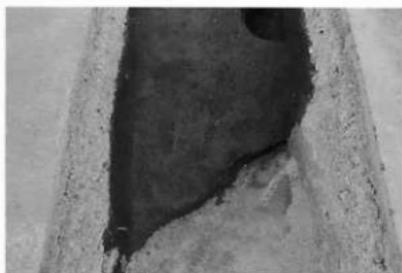


写真183 1号竪穴住居址完掘状況 (北より)



写真184 1号竪穴住居址東壁土層断面 (西より)



写真185 7号竪穴住居址遺物出土状況 (北西より)



写真186 7号竪穴住居址付近完掘状況 (南西より)



写真187 7号竪穴住居址西壁（北東より）



写真188 10号竪穴住居址完掘状況（北西より）



写真189 16号竪穴住居址？掘削状況（東より）



写真190 16号竪穴住居址？西壁土層断面（南東より）



写真191 16号竪穴住居址？下ビット群（東より）



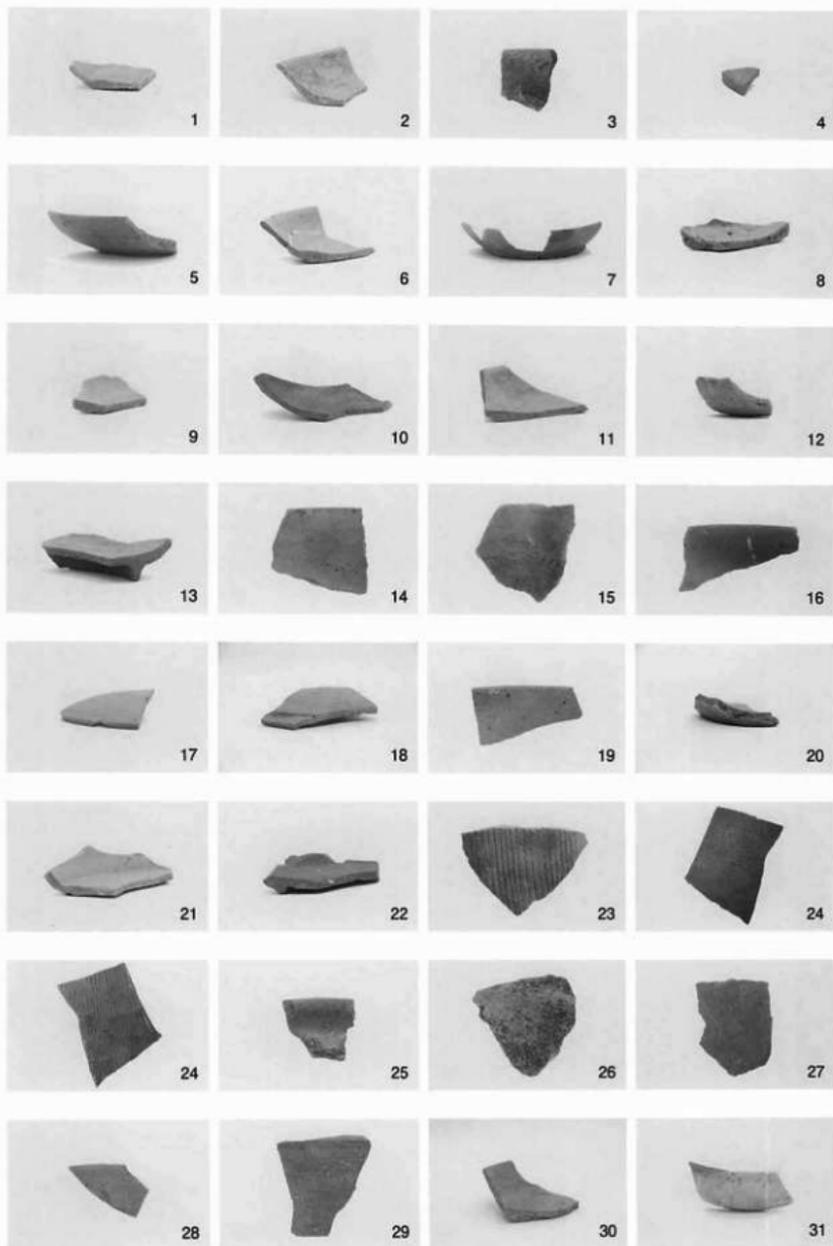
写真192 16号竪穴住居址？北側ビット群（東より）

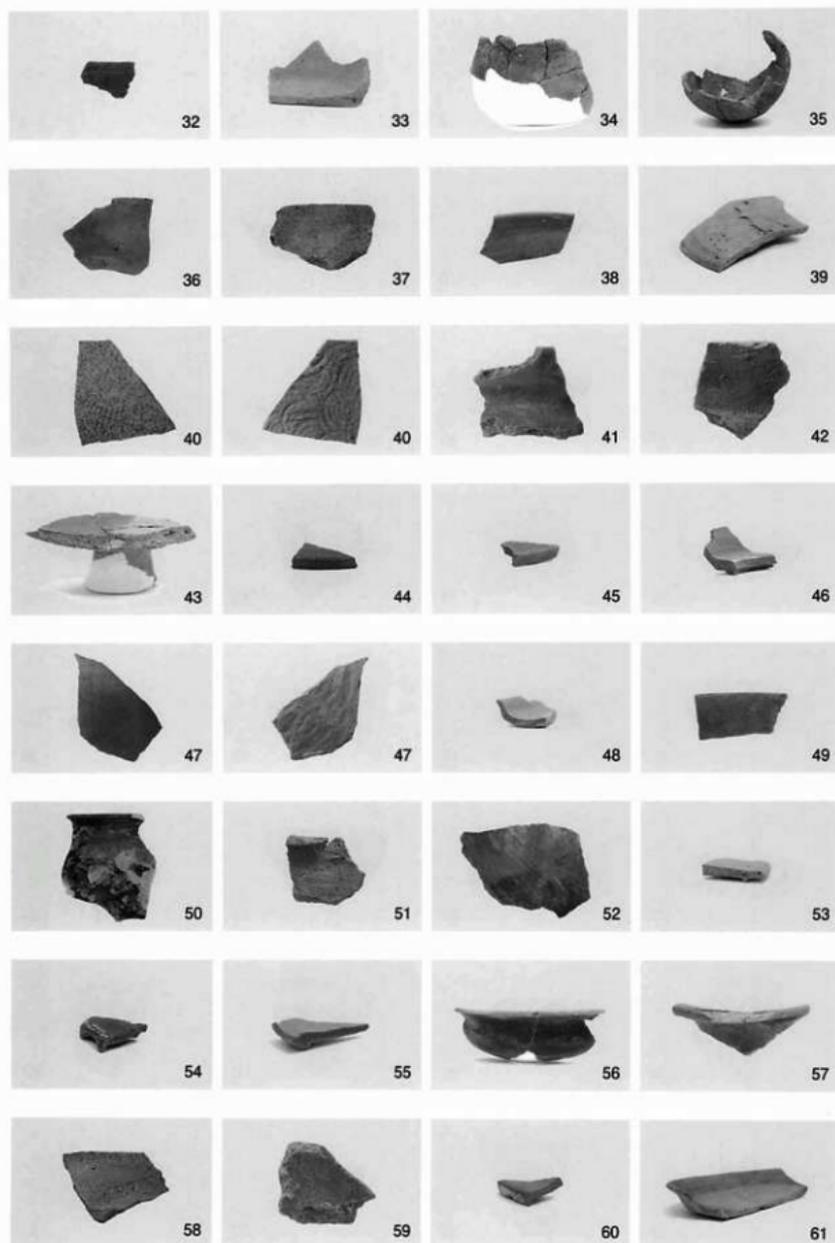


写真193 27号土坑付近（南より）



写真194 管理棟南東西部東端遺構検出状況（東より）





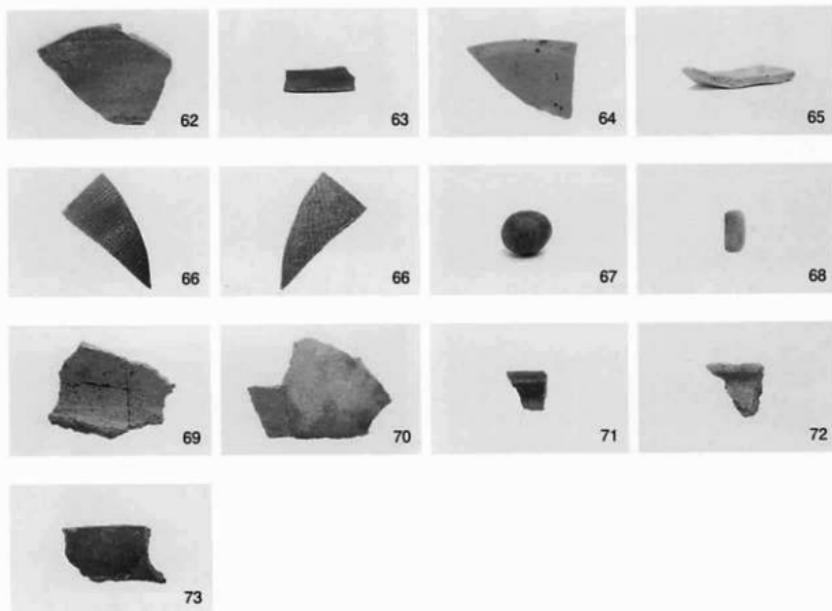




写真195 調査区掘削風景（北より）

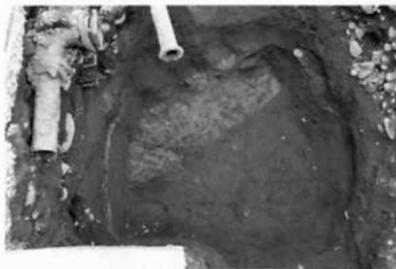


写真196 溝状遺構上場検出状況（南より）

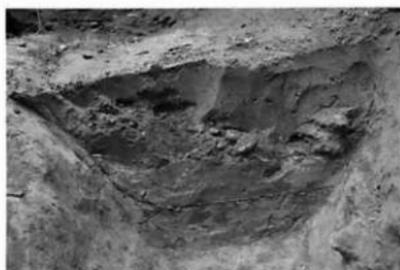


写真197 溝状遺構土層断面（西より）



写真198 調査区被害壁土層（西より）



写真199 調査区西壁土層（東より）

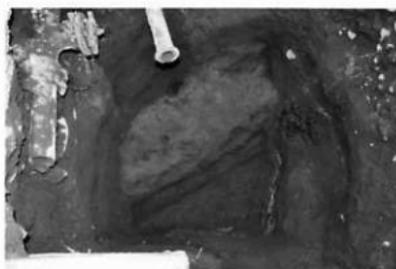


写真200 溝状遺構完掘状況（南より）



1



2



3



3



4



写真201 作業風景 (西より)



写真203 調査区全景 (東より)



写真202 作業風景 (東より)



写真204 9号竖穴住居址掘削状況 (東より)



写真205 3号ビット・18号溝掘削状況 (南西より)



写真206 調査区東半ビット群 (東より)



写真207 調査区東端ビット掘削状況 (東より)

図版62 1114調査地点出土遺物

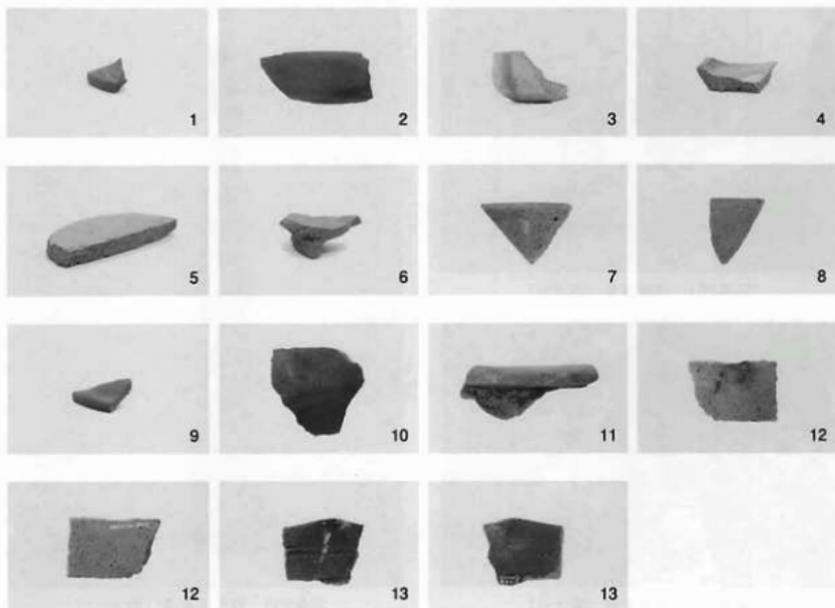




写真208 IV区掘削風景 (北東より)



写真209 IV区調査区西側包含層完掘状況 (北東より)



写真210 IV区調査区中央包含層完掘状況 (北より)



写真211 IV区調査区東側包含層完掘状況 (北西より)



写真212 1号溝土層断面 (南西より)



写真213 1号溝完掘状況 (南西より)

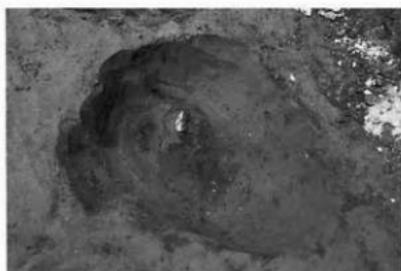


写真214 15号ピット遺物出土状況 (東より)



写真215 17号ピット (半截) 遺物出土状況 (西より)



写真216 調査区完掘状況全景 (東より)



写真217 建物外周部掘削状況 (西より)



写真218 4号土坑遺物(土器)出土状況 (西より)



写真219 4号土坑遺物(石器)出土状況 (西より)



1



2



3



4



4



5



6



6



6



写真220 掘削風景 (東より)



写真221 II区遺構検出面 (南より)



写真222 II区遺構検出面 (東より)



写真223 遺物出土状況 (南西より)



写真224 II区掘り下げ後の状況 (南より)



写真225 1号溝土層断面(北より)

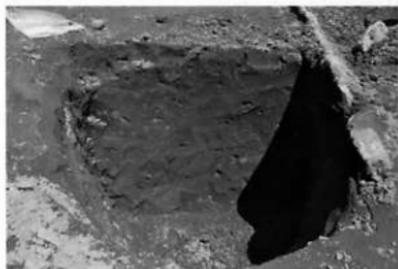


写真226 2号土坑土層断面(西より)

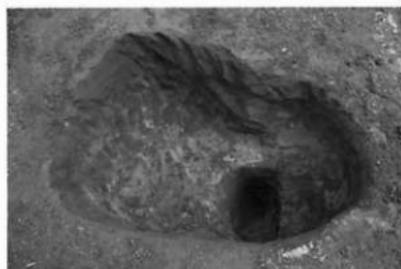


写真227 1号土坑掘り上げ状況(北より)

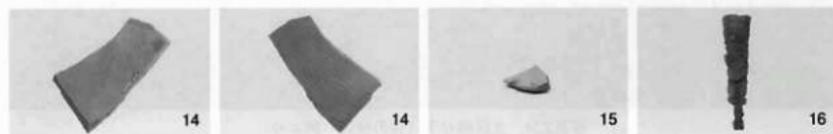
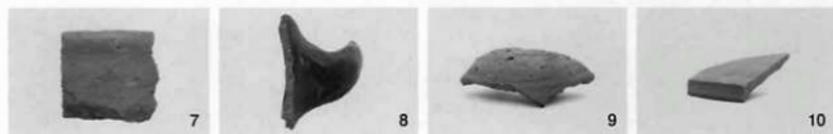
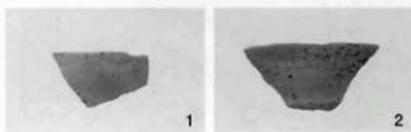




写真228 掘削風景 (東より)



写真229 南9スパン1号溝掘り上げ状況 (北より)



写真230 南10スパン作業風景 (南より)



写真231 南9・10スパン掘り上げ状況 (南より)



写真232 北20・21スパン2号溝検出状況 (北より)



写真233 2号溝掘削作業風景 (南西より)



写真234 2号溝土層断面 (北より)



写真235 2号溝掘り上げ状況 (北より)



写真236 南23スパン3号溝掘り上げ状況(南より)



写真237 南22スパン3号溝掘り上げ状況(南より)



写真238 南21スパン3号溝掘り上げ状況(南より)



写真239 北25スパンピット掘り上げ状況(南西より)



写真240 看板移箱先掘削後(北より)



1



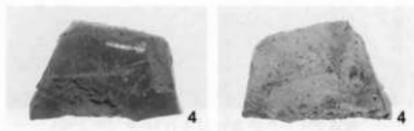
2

2



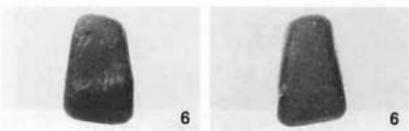
3

5



4

4



6

6



写真241 掘削風景（南西より）



写真242 1号溝検出面遠景（西より）



写真243 1号溝北側立ちあがり部検出状況（西より）



写真244 1号溝土層断面：東側（西より）



写真245 1号溝掘り下げ後の状況：東側部分（西より）



写真246 1号溝掘り上げ後の状況：全体（西より）

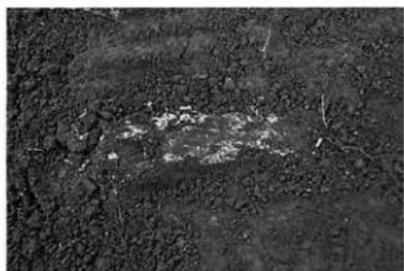
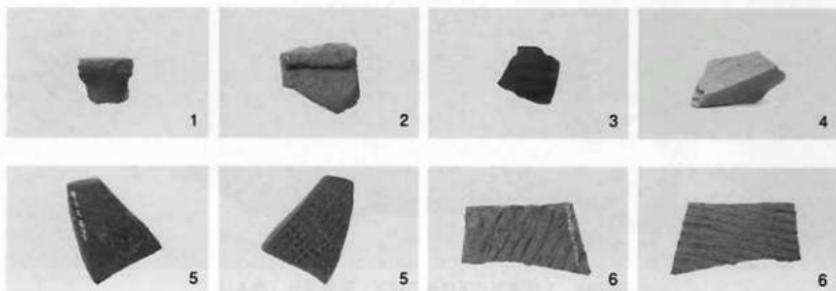


写真247 動物骨出土状況（北西より）



7



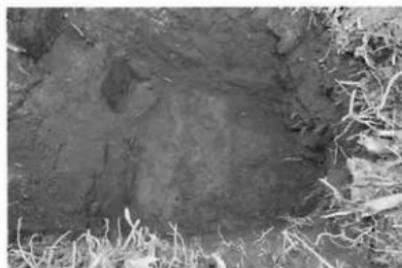


写真248 1号溝西側立ち上がり部検出状況(南より)



写真249 1号溝床面遺物出土状況(西より)



写真250 1号溝南壁土層断面(北より)



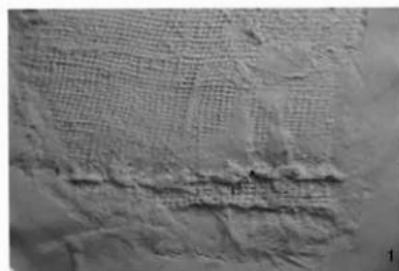
写真251 1号溝完掘状況(南より)



1



1



1



2



2

報告書抄録

ふりがな								
くまもとだいがくこうないいせきはつくつちようさほうこく区								
題名								
熊本大学構内道路見直し調査報告書								
副題名								
巻次								
シリーズ名								
熊本大学環境文化財調査報告書								
シリーズ号								
区								
編者名								
大坪志子・石丸恵利子・村田知聖								
編集機関								
熊本大学環境文化財調査センター								
所在地								
〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3832 FAX. 096-342-3832								
発行年月日								
2013年3月29日								
所収道路名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	道路番号					
MA113 本庄道路 (0304地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	285	32° 47' 33"	130° 42' 54"	20030602 ～ 20030702	333.5㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MA113 黒髪町道路 (0603地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 49' 00"	130° 43' 39"	20060411	32.1㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MA113 黒髪町道路 (0604地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 49' 00"	130° 43' 39"	20060411 ～ 20060412	25.12㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MA113 本庄道路 (1104地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	285	32° 47' 49.9"	130° 42' 47.6"	20110406 20110621 ～ 20110922	試掘31.2㎡ 発掘503.9㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MA113 本庄道路 (1106地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	285	32° 47' 40.8"	130° 42' 45.4"	20110624 20111017 ～ 20111019 20111101 20111104 20111110 20111121 20111124 20111126 20111128 20111209 20111212 ～ 20111214	1556.04㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MA113 本庄道路 (1112地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	285	32° 47' 51"	130° 42' 42"	20110921 20110922 20110926 ～ 20110929 20111004 20111011 20111026 ～ 20111028 20111031	500㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MA113 本庄道路 (1113地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	285	32° 47' 49.7"	130° 42' 41.5"	20110921	264.83㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MA113 本庄道路 (1114地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	285	32° 47' 50.3"	130° 42' 40.6"	20111011 ～ 20111013 20111017 20111018 20111101 20111111	184.81㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MA113 黒髪町道路 (1116地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 49' 0.8"	130° 43' 37.8"	20111024 ～ 20111027	20㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MA113 黒髪町道路 (1121地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 46.9"	130° 43' 37.8"	20111128 ～ 20120604	7748.6㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MA113 大江道路 (1125地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	283	32° 47' 43.2"	130° 43' 17.3"	20111219 20111220	8.37㎡	学校敷地内の開発事業に伴う

MAE14 本庄遺跡 (1129地点)	熊鷹本	県市 庄	43 201	285	32° 47' 48"	130° 42' 43.9"	20120117 20120118 20120120 20120203 20120206 20120207 20120216 20120217 20120220 20120221 20120227	716㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MAE15 本庄遺跡 (1130地点)	熊鷹本	県市 庄	43 201	285	32° 47' 40.1"	130° 42' 45.9"	20111209 20111213 20111214 20120124 20120126 20120127 20120208 20120215	1169.6㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
MAE16 本庄遺跡 (1145地点)	熊鷹本	県市 庄	43 201	285	32° 47' 47.2"	130° 42' 41.9"	20120326 20120327 20120402 20120404 20120821 ～ 20120823	427.30㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構			主な遺物		特記事項	
MAE14 本庄遺跡 (0304地点)	集落址	縄文・弥生・ 古墳・古代・ 近世	住居址・溝			縄文土器・縄文石器・土師器・ 須恵器・近代陶磁器			
MAE15 扇塚町遺跡 (0603地点)	集落址	古代	溝状遺構・ピット			土師器・須恵器			
MAE15 扇塚町遺跡 (0604地点)	集落址	古代	住居址?・溝状遺構・ ピット			土師器・須恵器			
MAE15 本庄遺跡 (1104地点)	集落址・墓地	古代・近代	住居址・竪穴・ピット			土師器・須恵器・人骨・鏡・ 泥面子・埴輪			
MAE15 本庄遺跡 (1106地点)	集落址	古墳・古代・ 近世	溝・ピット			土師器片・須恵器			
MAE15 本庄遺跡 (1112地点)	集落址	古墳・古代・ 近世	竪穴住居址・溝状遺構・ ピット			土師器・須恵器			
MAE15 本庄遺跡 (1113地点)	1112調査地点 と同様	1112調査地点と 同様	1112調査地点と同様			1112調査地点と同様			
MAE15 本庄遺跡 (1114地点)	集落址	古代・近世	住居址?・溝・ピット			なし			
MAE15 扇塚町遺跡 (1116地点)	集落址	古代	竪穴住居址?・ピット			古代土師器・須恵器			
MAE15 扇塚町遺跡 (1121地点)	集落址	縄文・弥生中期・ 古代・中世前期・ 近現代期	住居址?・土坑・溝・ 溝状遺構・ピット・ 土坑状遺構・畑 (畝)			埴輪・縄文土器片・土師器片・ 須恵器片・円礫・黒曜石チップ・ 黒曜石片・礫石(燧石?)			
MAE15 大江山遺跡群 (1125地点)	集落址	古代	溝			土師器片・磁石・瓦片			
MAE15 本庄遺跡 (1129地点)	集落址	古墳・古代	溝・土坑・ピット			古代土師器・須恵器・石製品			
MAE15 本庄遺跡 (1130地点)	集落址	中世以降	溝・土坑・ピット			土師器片・動物骨			
MAE15 本庄遺跡 (1145地点)	集落址	古代・中世以降	溝・土坑・ピット			土師器片・瓶の取手・須恵器片			

熊本大学埋蔵文化財調査報告書 第9集
熊本大学構内遺跡発掘調査報告書Ⅸ
(2003、2006、2011年度)

平成25年3月27日 印刷

平成25年3月29日 発行

編集・発行 熊本大学埋蔵文化財調査センター

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1

TEL 096(342)3832 FAX 096(342)3832

印刷 シモダ印刷株式会社

